

平成 20 年度

甲州市母子保健調査報告書

平成 21 年 12 月

山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座



平成 20 年度

甲州市母子保健調査報告書

平成 21 年 12 月

山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座



## はじめに

昨年、甲州プロジェクトが旧塩山プロジェクト開始から数えて20周年を迎え、記念シンポジウムを開催いたしました。そこで、これまでの成果を報告し、今後の本プロジェクトのあり方が熱く語られ、「継続」「還元」「発信」のキーワードのもとに、地域の子どもとその家族のためにこのプロジェクトを続けていくことを確認しました。

さて、今年は、2000年からはじまった介護保険制度によって、高齢者や介護の面に注目が集まり、次々に対策が講じられて10年が経過しました。それによって、不十分な点はあるものの、介護保険制度以前に比べて、介護を取り巻く環境はかなり改善したと思います。一方で、子どもたちを取り巻く状況はどうでしょうか。確かに乳幼児死亡率などの保健医療水準は世界トップレベルを維持しています。子どもたちの喫煙率も過去10年間で半減しており、子どもたちの健康施策は数字の上では改善しています。しかし、子どもたちを取り巻く環境が改善したという実感を持つことができているでしょうか。日々報道される子どもの虐待や薬物乱用、増加傾向にある10代の自殺、そして、経済的理由から通常の医療が受けられない子どもたちや進学できない子どもたちが増えています。統計の数値と実態が乖離し始めているのかもしれないかもしれません。私たちとしては実感を反映する新たな母子保健指標の開発に取り組む必要性を感じます。

2009年は政権交代も手伝って、子どもや健康、環境といった言葉がキーワードとなり、今後、子育てやワークライフ・バランスを中心とした政策が展開されることが期待されます。その中で、これまで培ってきた本プロジェクトの成果がこれからの政策に反映されるように努めることも重要な使命だと思います。本プロジェクトがより一層、地域住民の母子保健の向上につながり、その中から全国へ、そして世界へ発信できる成果を得て、地球上の子どもたちとその家族の幸せにつながることを夢見ながら、地域の皆様とともに一歩ずつ前に進んで行くことができればと思います。

最後になりましたが、調査にご協力いただいた甲州市の皆様および関係者に深く感謝いたします。

2009年12月

山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座  
教授 山縣然太郎



# 甲州市母子保健調査プロジェクト組織

山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座

教授	山縣 然太郎
助教	田中 太一郎
助教	近藤 尚己
助教	鈴木 孝太（報告書作成担当）
助教	安藤 大輔
助教	佐藤 美理
大学院生	白石 裕子、豊田 淑恵、高岸 弘美、 伊藤 貴子、永井 亜貴子、渡邊 かおり、 小竹 久美子、小林 たつ子、村松 照美、 須田 由紀、西村 明子、古屋 洋子、 関口 文尚、孫 大鵬、森川 三郎、 依田 純子、下園 美保子、井川 由貴、 木村 昌彦、芳我 ちより、丸山 和美、 安田 貢
研究生	兒玉 末
技術専門職員	今井 小絵
技術補佐員等	山田 七重、薬袋 淳子、川村 由美子、 安達 麻衣子、雨宮 志乃、川窪 ゆう子、 五味 美香（報告書（表・グラフ）作成担当） 原 直子

甲州市 福祉保健部 健康増進課





# 目次

I. 調査実施概要	1
II. 調査結果概要	5
III. 調査回答者の属性	15
IV. 調査結果	35
IV - 1. 母子健康手帳交付時	37
IV - 2. 1歳6か月児健診時	69
IV - 3. 3歳児健診時	103
IV - 4. 5歳児健診時	133
V. 調査票	157
V - 1. 母子健康手帳交付時調査票	159
V - 2. 1歳6か月児健診時調査票	163
V - 3. 3歳児健診時調査票	167
V - 4. 5歳児健診時調査票	171
VI. 個別研究	175
VI - 1. Is Maternal Smoking during Early Pregnancy a Risk Factor for All Low Birth Weight Infants?	177
VI - 2. Confirmatory factor analysis of the Child Feeding Questionnaire (CFQ) in Japanese elementary school children.	178
VI - 3. Association between maternal lifestyle during early pregnancy and subsequent childhood obesity in Japan	179
VI - 4. Relationship between Prenatal Alcohol Exposure and Depressive Symptoms in Children	180
VI - 5. Association between maternal lifestyle during early pregnancy and onset phase of childhood overweight	181
VI - 6. 地域の母子保健長期縦断調査 (甲州プロジェクト) 20年間の概要	182
VI - 7. 子どもの肥満を予防するための、2つのアプローチ ー甲州市母子保健長期縦断研究から	183
VI - 8. 体格変化と小学生の超音波骨強度指標の関連の検討 ー甲州市母子保健長期縦断研究から	184
VI - 9. 中学生におけるボディイメージがメンタルヘルスに及ぼす影響	185

VI - 10. 手ばかりを用いた食事摂取量と小・中学生肥満の関連	
－甲州市母子保健長期縦断研究から－	----- 186
VI - 11. 小学生のう蝕と5歳児の生活習慣の縦断的検討	
－甲州市母子保健長期縦断研究から－	----- 187
VI - 12. 1歳6か月までの、低出生体重児の発育や親の意識などの検討	----- 188
VI - 13. 思春期におけるメンタルヘルスの経年的検討	----- 189
VI - 14. 子どもの肥満と親の食意識の関連	
－甲州市母子保健長期縦断研究より－	----- 190
VI - 15. 妊娠初期の喫煙が小児期のBMIの変化に及ぼす影響の縦断的検討	
－甲州市母子保健長期縦断研究から－	----- 192
VI - 16. 児童生徒の体型が抑うつ状態に及ぼす影響	
－甲州市母子保健長期縦断研究・思春期追跡調査より－	----- 193
VI - 17. その他新聞記事等	----- 194

## I . 調査実施概要

## I. 調査実施概要

## I. 調査実施概要

### 1. 調査の目的

甲州市における妊娠、出産、育児、母子の健康、生活習慣等の母子保健の現状を把握し、今後の母子健康行政に役立てることを目的とするものである。

### 2. 調査対象

妊婦に関しては平成 20 年度に母子健康手帳交付を甲州市で申請した妊婦に対して行った。児に対しては、平成 20 年度に甲州市で実施された 1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診、5 歳児健診受診者を対象とした。

### 3. 調査方法

調査の実施はアンケート用紙を各健診の受診予定者に、健診案内とともにあらかじめ郵送し、記入の上、健診時に持参する形式をとった。健診当日に記入漏れの事項や事故に関する二次質問などを面接で聴取した。

今年度より調査票の内容を一部改訂した。

### 4. データの保管及び、集計方法

データの入力は Microsoft Access2003 を使い、統計ソフト SASver9.1 による単純集計を行った。Microsoft Excel 2003 を用いて図表化を行った。

## I. 調査実施概要

## II. 調查結果概要

## II. 調查結果概要



## II. 調査結果概要

## 1. 対象と回収率

甲州市において、平成 20 年度（平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月の間）に、母子健康手帳交付をした妊婦、1 歳 6 か月児(1.6 歳児と略)健康診査、3 歳児健康診査、5 歳児健康診査を、それぞれ受診した幼児の母親を対象として行った。妊婦に対しては母子健康手帳交付時に直接自記式調査を行った。1.6 歳、3 歳、5 歳の各健診時では健診日の 2, 3 週間前に自宅に郵送した調査票を前もって記入した上で健診日に持参してもらい、未記入者は当日記入する形で調査を行った。各健診における回収率は例年高く、これらの調査から得られる結果はほぼ悉皆調査と考えられ、甲州市の母子の実態を把握していると考えられる。

妊婦の調査年月		回答者数	対象者数	回収率
母子手帳交付時	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月	219	246	89.0%
対象児の出生年月		受診者数	対象者数	回収率
1 歳 6 か月児健診	平成 18 年 10 月～平成 19 年 9 月生	229	268	85.5%
3 歳児健診	平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月生	252	314	80.3%
5 歳児健診	平成 15 年 4 月～平成 16 年 3 月生	281	306	91.8%

## 2. 分析対象者数、無回答の取り扱い

上記の解析対象者全員から、記入漏れや無回答を解析対象から除外し、各分類の頻度と有効回答数に対する割合を算出した。質問項目によっては、複数回答もしくは、前質問での選択者のみの回答もある。

## 3. 妊婦・母親の生活習慣及び就労

## 両親の年齢

母親の年齢は、母子手帳交付時、平均 30.1 歳と、昨年度とほぼ同様であった。父親の年齢のばらつきが母親の年齢のばらつきよりも大きかった。

	母子手帳	1.6 歳	3 歳	5 歳
母親の平均年齢±標準偏差(歳)	30.1±5.2	32.4±4.7	33.9±4.4	35.2±4.7
父親の平均年齢±標準偏差(歳)	32.2±6.2	34.9±5.8	35.7±5.6	37.6±6.4

## 届出

母子手帳交付の届出週数は平均 10.2 週であり、昨年度よりさらに早くなっている傾向を認めた。12 週までの届出が 86.6%であり、昨年度に比べ大幅に増加し、8 週未満での届出も 29.2%と昨年度（19.7%）に比べて大きく増加している。

**妊娠の計画**

妊娠が計画的であったものの割合は 48.6%であり、昨年度とほぼ同様であった。

**挙児希望数**

子供の希望は夫婦とも 2 人もしくは 3 人を希望する人が約 90%を占め、昨年度より増加した。

**喫煙**

妊娠初期の喫煙率は 6.5%であり、昨年度とほぼ同様であった。過去の喫煙を含めると 38.4%が喫煙経験ありと回答した。こちらは昨年度に比べ増加している。

妊娠初期の夫の喫煙率は 53.6%であり、過去の喫煙を含めると 73.2%に喫煙経験があると回答していた。全体的に例年とほぼ同程度であった。女性より妊娠による禁煙を行っている割合も少なかった。

1.6 歳児健診時における母親の喫煙率は 14.5%であり、昨年度より増加していた。

**飲酒**

妊娠により飲酒をやめた割合は 41.9%にのぼり、昨年と同様妊婦がアルコールの胎児への与える影響を考慮している結果となった。妊娠中も飲酒をすると回答した割合は 3.7%と、このところ減少傾向を認めている。

**妊婦の食生活**

朝食を毎日食べている人は約 70%であり、昨年度より減少していた。逆に朝食をまったく食べないと回答した人は 10.3%であり、こちらは増加している。

**就労状況(就労率、就労割合)**

妊娠時、1.6 歳、3 歳、5 歳児健診時それぞれの就労率は、52.3%、45.2%、56.3%そして 68.7%であった。出産時に仕事をやめ、児が 1.6 歳から 3 歳の間に再度就労を行う母親の傾向が見られた。今年度は、妊娠時以外の就業率が昨年度よりも増加していた。また、出産後はパート職に就く人が多くみられた。

	母子手帳	1.6 歳	3 歳	5 歳
仕事をしている	113 ( 52.3 )	103 ( 45.2 )	139 ( 56.3 )	189 ( 68.7 )
仕事をしているが現在休職中	7 ( 3.2 )	7 ( 3.1 )	9 ( 3.6 )	12 ( 4.4 )
仕事はしていない(専業主婦)	94 ( 43.5 )	118 ( 51.8 )	98 ( 39.7 )	74 ( 26.9 )
学生である	2 ( 0.9 )	0 ( 0 )	1 ( 0.4 )	0 ( 0 )

## 就労状況（就労日数、就労時間）

母子手帳交付時および各年齢において、就労日数の最頻値は 5 日であったが、就労時間は、母子手帳交付時（8 時間）と比べて、出産後は 8 時間と 4～6 時間の 2 峰性の分布になる傾向が認められた。

## 4. 発育

## 1.6 歳、3 歳、5 歳児の発育、肥満度

各年齢の身長、体重の平均値は例年とほぼ同様であった。肥満度 20%以上の割合は、3 歳、5 歳児でそれぞれ 1.2%（3 名）、2.9%（8 名）となっていた。1.6 歳児では、肥満度 20%以上の児は存在しなかった。昨年度に比べ、1.6 歳、3 歳児で減少し、5 歳児で増加していた。

男児	1.6 歳	3 歳	5 歳
平均身長±標準偏差 (cm)	80.1±2.9	95.1±3.6	107.1±3.8
平均体重±標準偏差 (kg)	10.5±1.1	14.5±1.6	17.9±1.9

女児	1.6 歳	3 歳	5 歳
平均身長±標準偏差 (cm)	79.0±2.9	93.5±3.3	106.8±3.9
平均体重±標準偏差 (kg)	10.1±1.0	13.6±1.4	17.8±2.4

## 5. 子供の生活

## 欠食

欠食がある子どもの割合は、5歳児で昨年度より増加していた。

	3歳	5歳
欠食あり	6 ( 2.4 )	7 ( 2.5 )
欠食なし	244 ( 97.6 )	272 ( 97.5 )
合計	250 ( 100 )	279 ( 100 )

## おやつ

おやつは時間を決めて与えると回答した割合は、1.6歳児 58.0%、3歳児 56.9%、5歳児 59.4%となっており、1.6歳児では昨年度よりも増加していた。

	1.6歳	3歳	5歳
時間を決めて与える	131 ( 58.0 )	137 ( 56.9 )	164 ( 59.4 )
欲しがる時に与える	50 ( 22.1 )	60 ( 24.9 )	65 ( 23.6 )
特に気をつけていない	45 ( 19.9 )	44 ( 18.3 )	47 ( 17.0 )
合計	226 ( 100 )	467 ( 100 )	276 ( 100 )

## 起床、就寝時刻、昼寝時間

起床時刻は各年齢において7時台と回答した人が約45～60%であった。1.6歳、3歳児では6時半に起床する割合が昨年度より増えていた。

一方、就寝時刻も各年齢ともに21時台と回答した人が約60%であったが、1.6歳、3歳児では22時以降に就寝する割合が昨年度に比べ減少している。しかし3歳児で23時半と回答した割合が急増していた。5歳児ではピークが21時から21時半に移動した。

昼寝時間は年齢と共に少なくなり、5歳児では12.4%（24名）が昼寝をしないと回答したが、昨年より大幅に減少した。

	1.6歳	3歳	5歳
しない	0 ( 0.0 )	1 ( 0.5 )	24 ( 12.4 )
1時間未満	2 ( 0.9 )	1 ( 0.5 )	9 ( 4.6 )
1時間	35 ( 15.5 )	56 ( 26.2 )	84 ( 43.3 )
2時間	141 ( 62.4 )	139 ( 65.0 )	75 ( 38.7 )
3時間以上	48 ( 21.2 )	17 ( 8.0 )	2 ( 1.0 )
合計	226 ( 100 )	214 ( 100 )	194 ( 100 )

戸外での遊び

1.6歳では約3/4、3歳では約80%が「戸外でよく遊ぶ」と回答した。

	1.6歳	3歳
よくある	169 ( 74.1 )	203 ( 82.2 )
ときどきある	52 ( 22.8 )	40 ( 16.2 )
あまりない	6 ( 2.6 )	3 ( 1.2 )
ほとんどない	1 ( 0.4 )	1 ( 0.4 )
合計	228 ( 100 )	247 ( 100 )

TVの時間

TVを見る時間は、1時間～2時間と2時間～3時間を合わせて約70%であった。

	3歳	5歳
見ない	3 ( 1.2 )	1 ( 0.4 )
1時間未満	35 ( 14.0 )	25 ( 9.1 )
1～2時間	100 ( 40.0 )	115 ( 41.8 )
2～3時間	82 ( 32.8 )	93 ( 33.8 )
3～4時間	23 ( 9.2 )	33 ( 12.0 )
4～5時間	5 ( 2.0 )	6 ( 2.2 )
5時間以上	2 ( 0.8 )	2 ( 0.7 )
合計	250 ( 100 )	275 ( 100 )

保育所・幼稚園への通園

1.6歳児と3歳児の間で、通園の有無の割合が逆転しており、この間に通園を開始する家庭が多いことがうかがえた。

	1.6歳	3歳
通園あり	80 ( 34.9 )	183 ( 74.4 )
通園なし	149 ( 65.1 )	63 ( 25.6 )
合計	229 ( 100 )	246 ( 100 )

事故、病気

事故やケガで医療機関の受診した割合は、1.6 歳児、3 歳児で、それぞれ 21.8%、17.7% であり、救急外来の受診割合はそれぞれ、43.4%、40.3%で、どちらも昨年度よりも減少した。また、病気で入院したことがある割合は、1.6 歳児で 22.3%、3 歳児で 17.4%と今年度は 3 歳児で少し減少していた。

事故やケガで受診	1.6 歳	3 歳
はい	50 ( 21.8 )	43 ( 17.7 )
いいえ	179 ( 78.2 )	200 ( 82.3 )
合計	229 ( 100 )	243 ( 100 )

救急外来の受診	1.6 歳	3 歳
ある	97 ( 43.4 )	98 ( 40.3 )
ない	126 ( 56.5 )	145 ( 59.7 )
合計	223 ( 100 )	243 ( 100 )

病気で医療機関に入院	1.6 歳	3 歳
ある	51 ( 22.3 )	42 ( 17.4 )
ない	178 ( 77.7 )	199 ( 82.6 )
合計	229 ( 100 )	241 ( 100 )

かかりつけの医師

かかりつけ医師は、92.1% (211 名) の母親がいると回答した。(1.6 歳児)

## 6. 育児の状況

### 母親のストレス

ストレスをいつも感じる母親は、母子手帳交付時および各健診時において、10～15%程度認められた。

ストレスを感じる	母子	1.6 歳	3 歳	5 歳
いつも	27 ( 12.6 )	20 ( 8.9 )	32 ( 13.1 )	33 ( 12.4 )
時々	134 ( 62.6 )	152 ( 67.9 )	161 ( 66.0 )	161 ( 60.3 )
ほとんど感じない	53 ( 24.8 )	52 ( 23.2 )	51 ( 20.9 )	73 ( 27.3 )
合計	214 ( 100 )	224 ( 100 )	244 ( 100 )	267 ( 100 )

ストレスの解消については、各調査時期とも 70%～80%がストレスを解消できている、まあまあできていると回答した。

ストレスの解消	母子	1.6 歳	3 歳	5 歳
できている	46 ( 21.5 )	68 ( 30.1 )	65 ( 26.5 )	92 ( 33.3 )
まあまあできている	125 ( 58.4 )	112 ( 49.6 )	135 ( 55.1 )	132 ( 47.8 )
できていない	16 ( 7.5 )	24 ( 10.6 )	22 ( 9.0 )	23 ( 8.3 )
何ともいえない	27 ( 12.6 )	22 ( 9.7 )	23 ( 9.4 )	29 ( 10.5 )
合計	214 ( 100 )	226 ( 100 )	245 ( 100 )	276 ( 100 )

### ストレスの内容

家庭での人間関係、育児について、経済的な心配事について、といったことが各健診時においてストレスの内容となっている。母子手帳交付時では、家庭での人間関係や育児に関しての悩みの割合が少なく、家庭以外での人間関係など、それ以外の悩みも同じくらいの割合で存在していた。また、昨年度に比べ、経済的な心配事を中心に、それぞれの悩みの割合が増加していた。

### 夫の育児への関わり

夫が子供によく接すると答えた割合は、1.6 歳児では約 2/3 であったが、3 歳、5 歳児では約 60%と年齢とともに少しずつ低下していた。

	1.6 歳	3 歳	5 歳
よく接する	147 ( 66.8 )	148 ( 62.5 )	154 ( 59.9 )
普通	66 ( 30.0 )	84 ( 35.4 )	89 ( 34.6 )
あまりかまわない	7 ( 3.2 )	5 ( 2.1 )	14 ( 5.5 )
合計	220 ( 100 )	237 ( 100 )	257 ( 100 )

## 育児についての夫婦の会話

夫婦の会話をよくすると回答した割合は、各年齢とも70～80%であった。しかし、子どもの年齢が上がるにつれて減少する傾向を認めた。

	1.6 歳	3 歳	5 歳
よくする	180 ( 81.8 )	184 ( 78.0 )	185 ( 72.8 )
時々する	33 ( 15.0 )	46 ( 19.5 )	56 ( 22.1 )
あまりしない	4 ( 1.8 )	4 ( 1.7 )	6 ( 2.4 )
ほとんどしない	1 ( 0.5 )	1 ( 0.4 )	5 ( 2.0 )
何ともいえない	2 ( 0.9 )	1 ( 0.4 )	2 ( 0.8 )
合計	220 ( 100 )	236 ( 100 )	254 ( 100 )

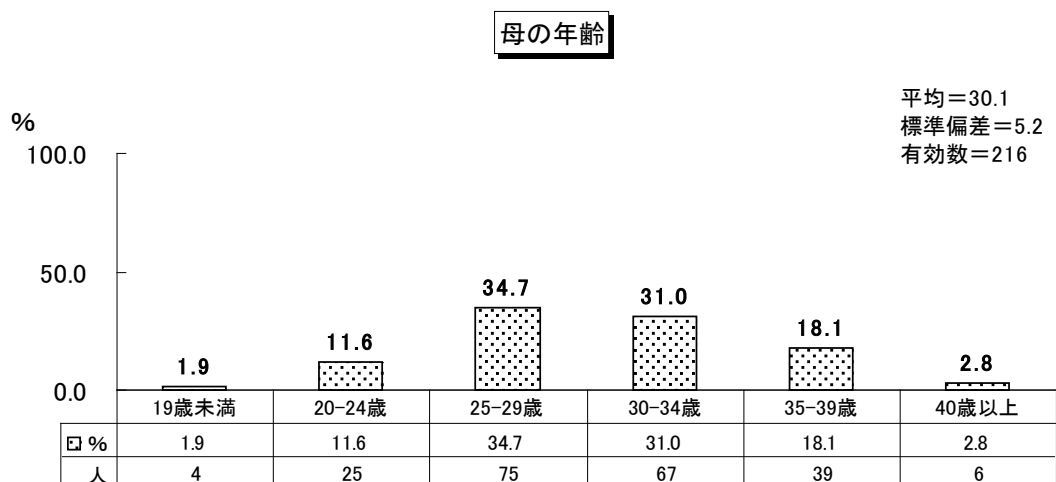


### Ⅲ. 調査回答者の属性

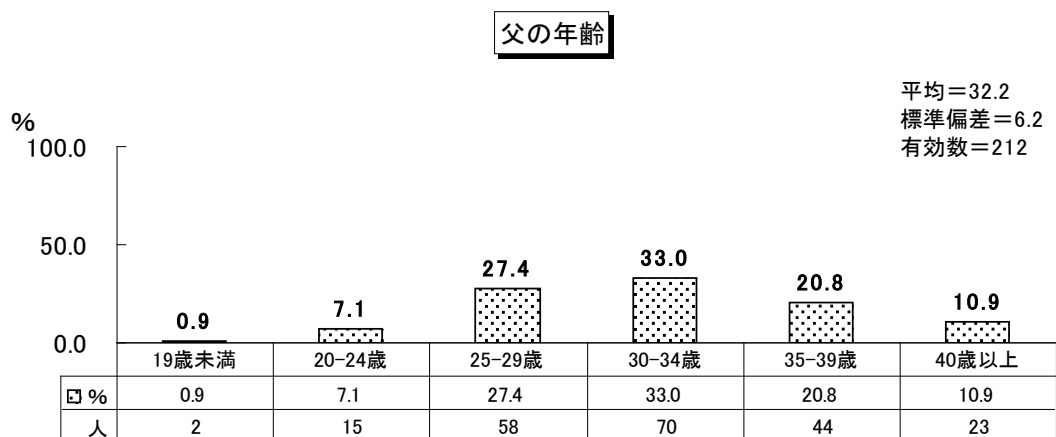
### Ⅲ. 調査回答者の属性

1. 手帳交付時

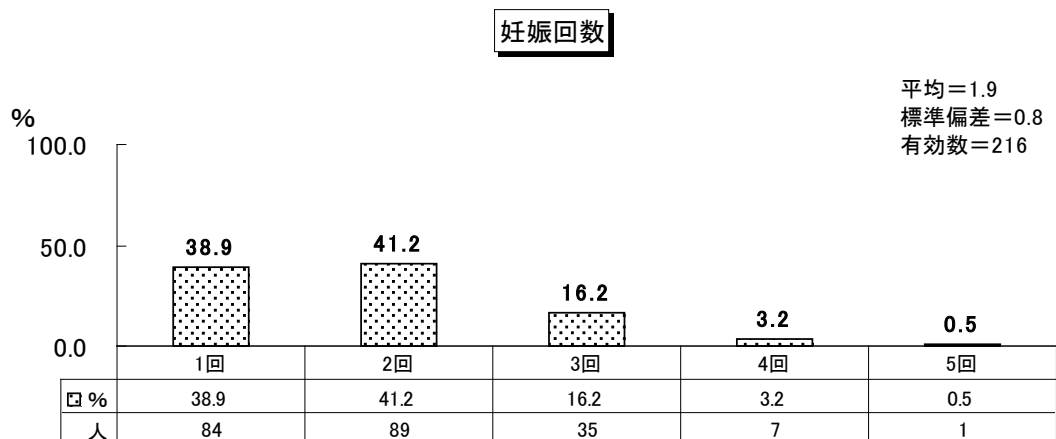
(1) 母親（回答者）の年齢



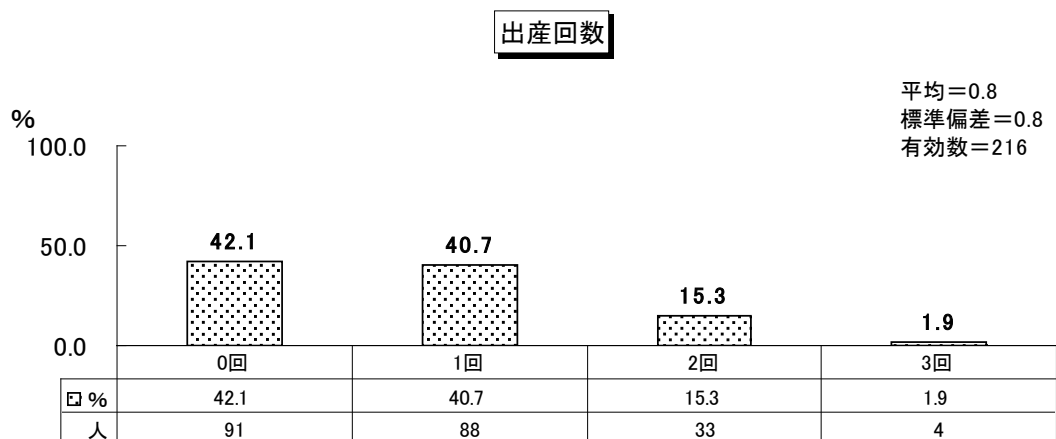
(2) 父親（回答者の夫）の年齢



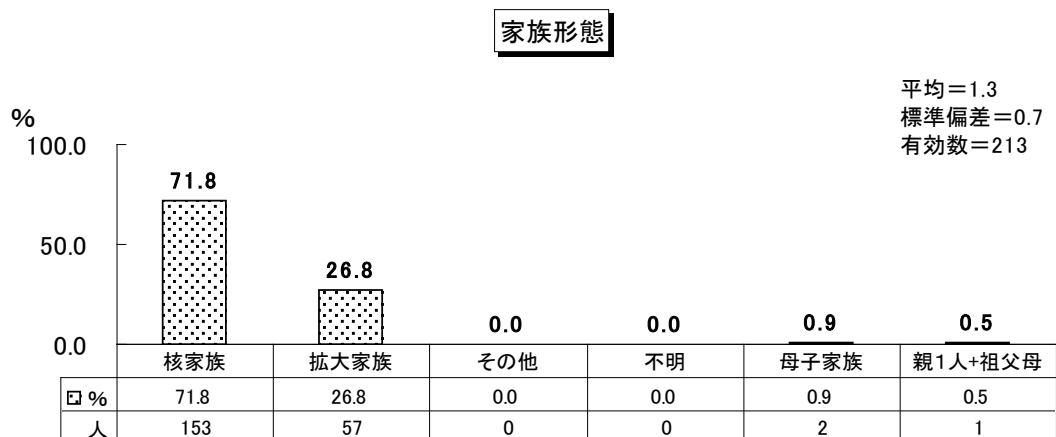
(3) 妊娠回数



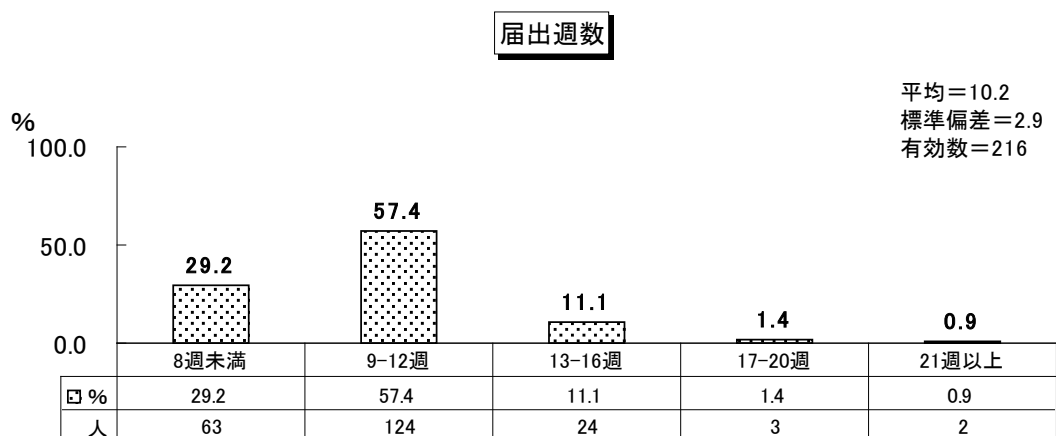
(4) 出産回数



(5) 家族形態

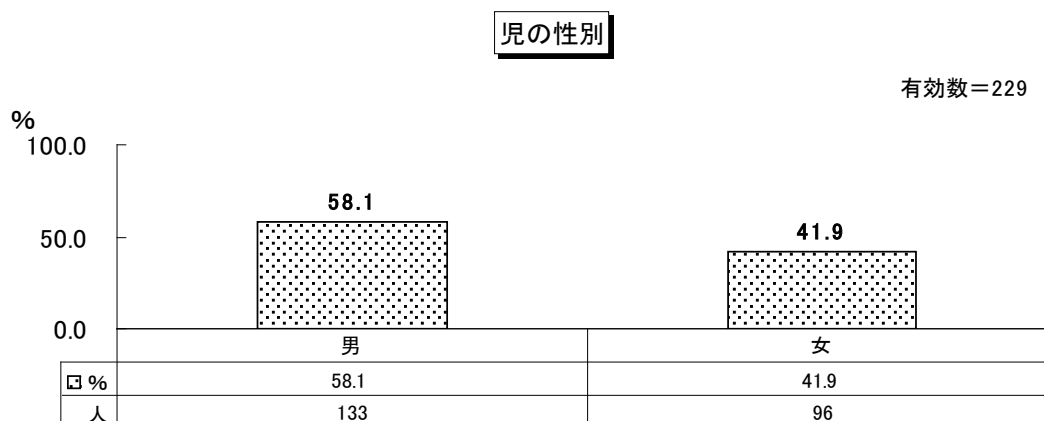


(6) 届出週数

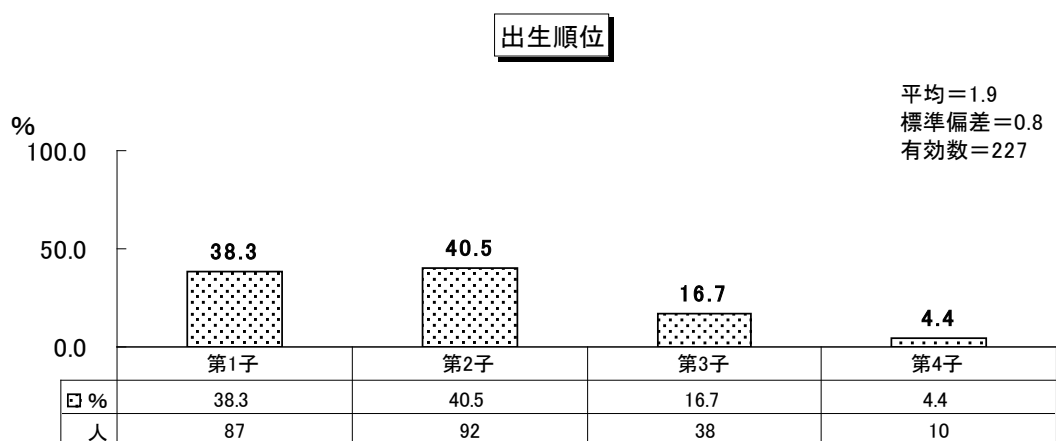


2.1 歳6ヶ月児健診時

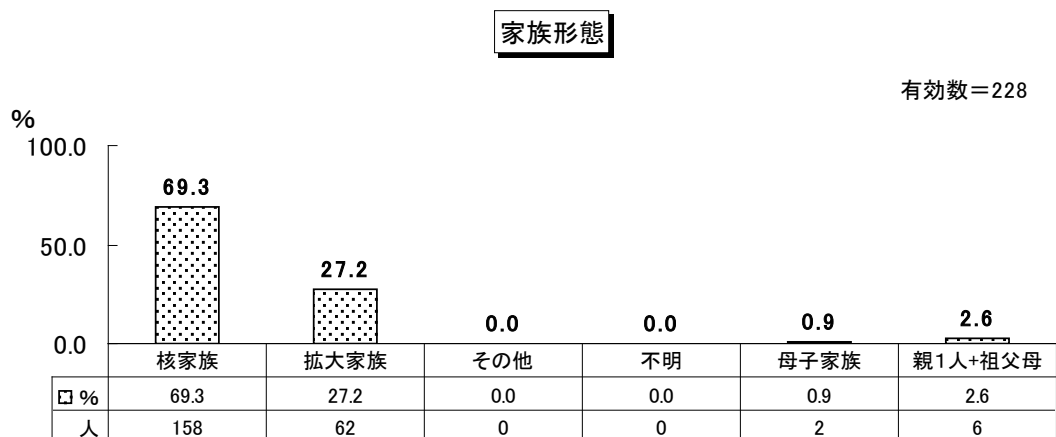
(1) 児の性別



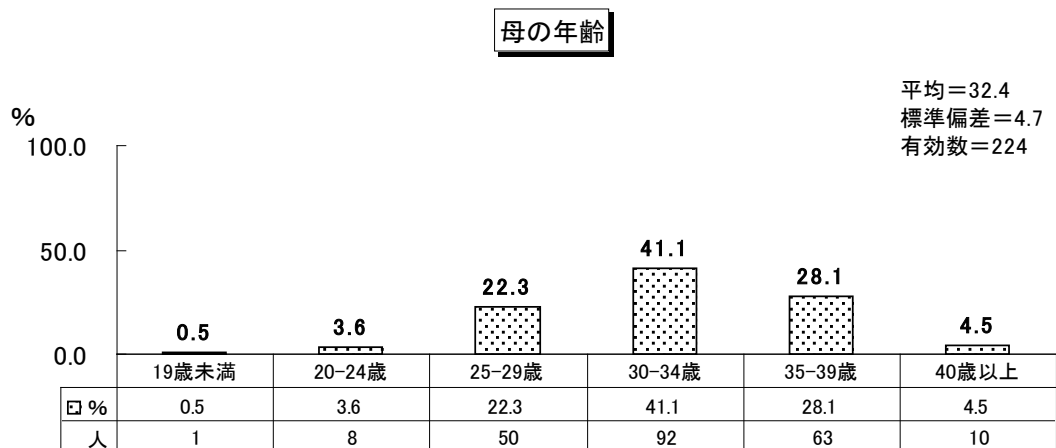
(2) 出生順位



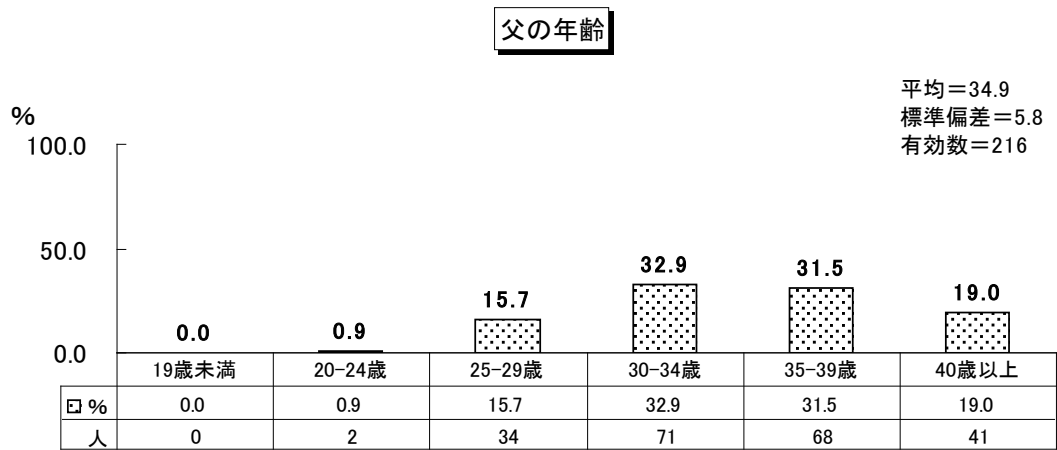
(3) 家族形態



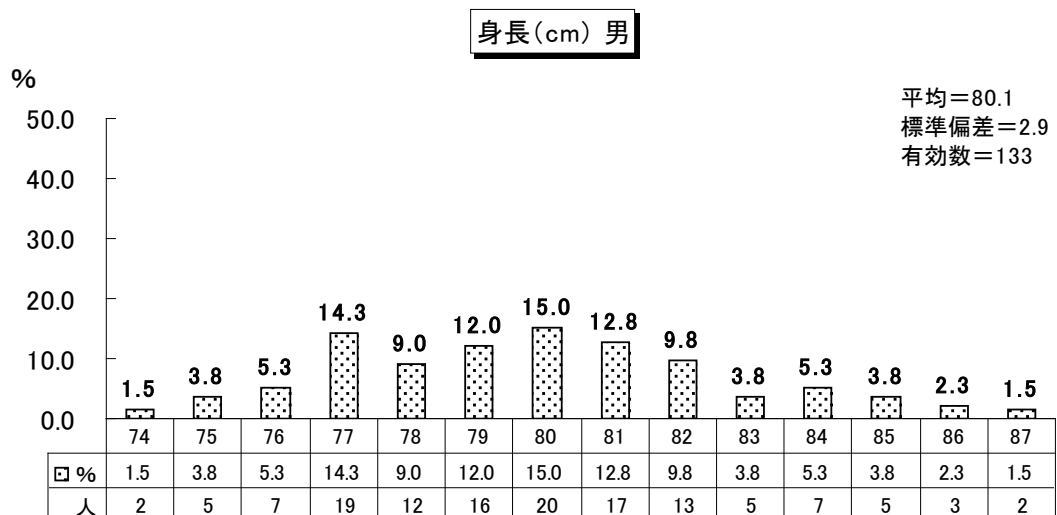
(4) 母親の年齢



(5) 父親の年齢

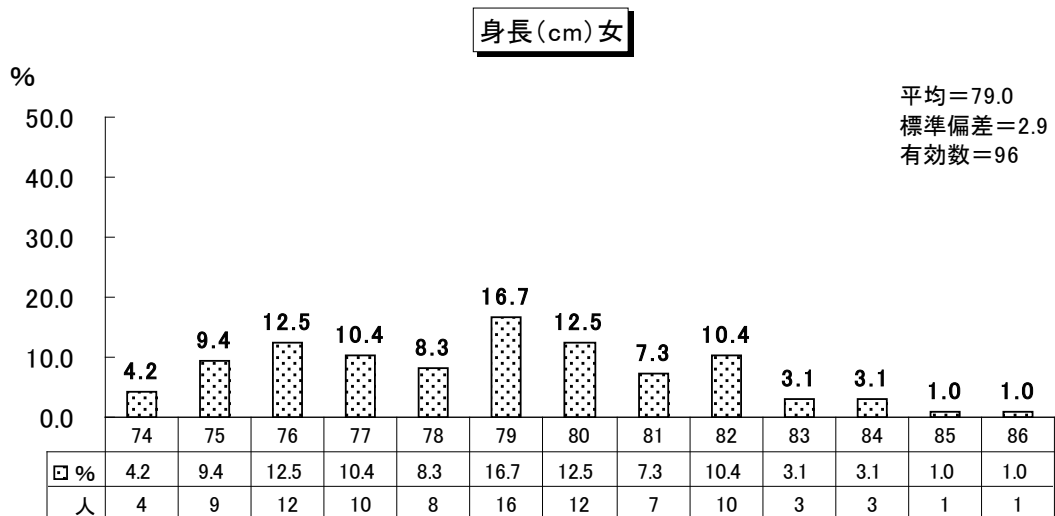


(6) 身長

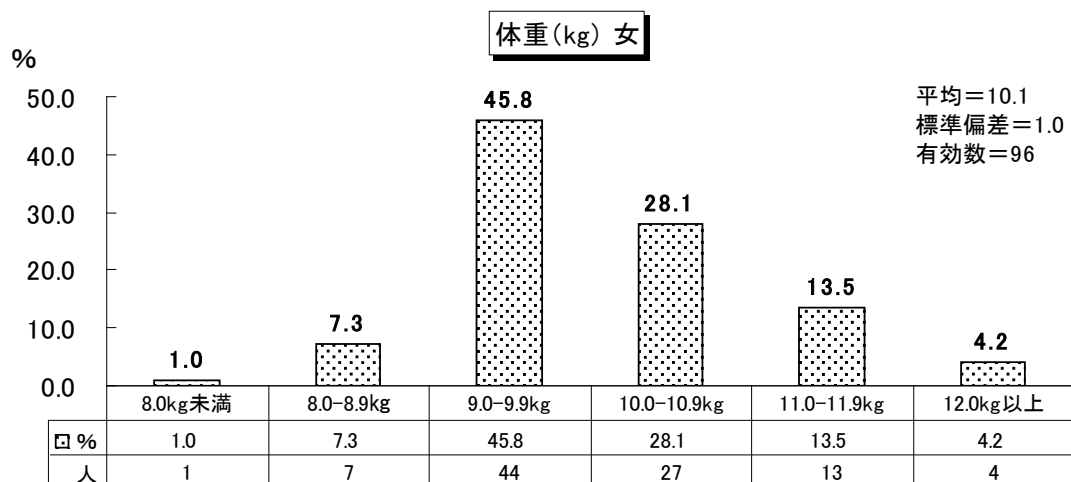
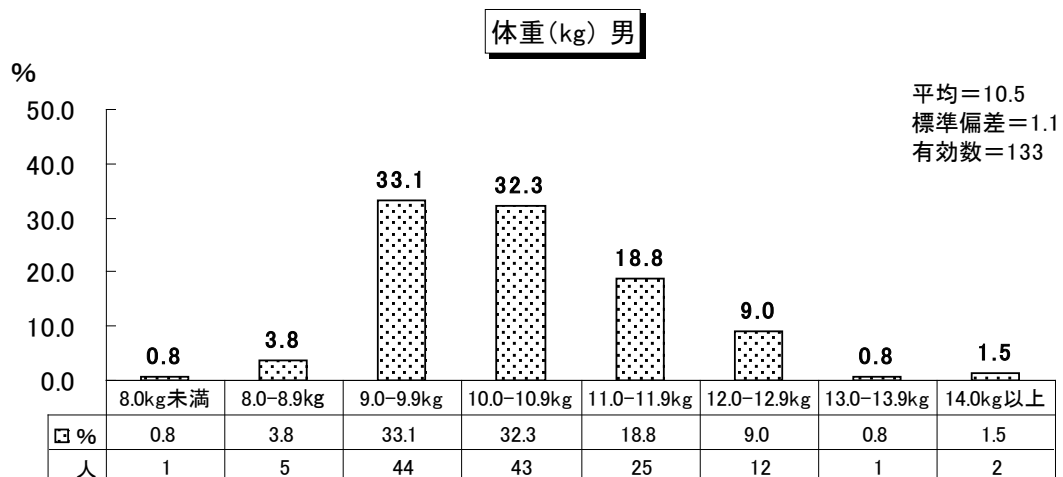




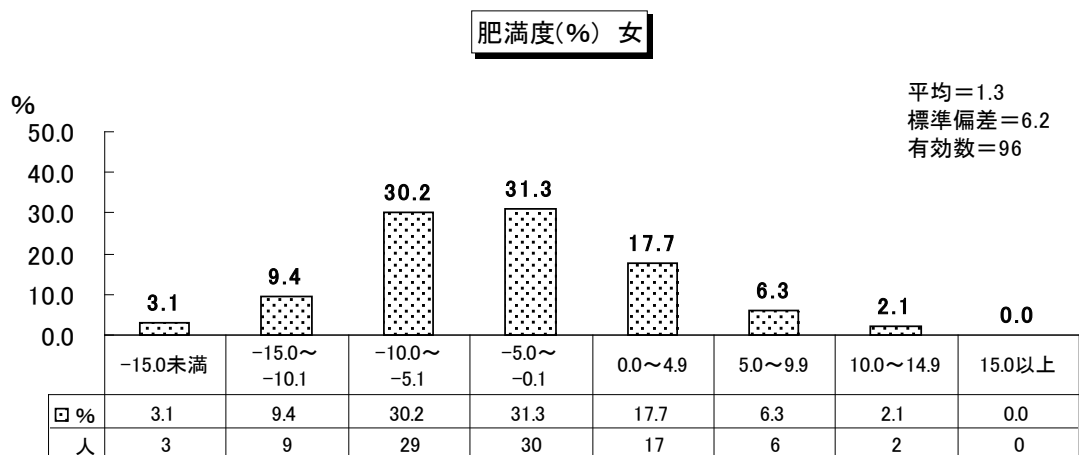
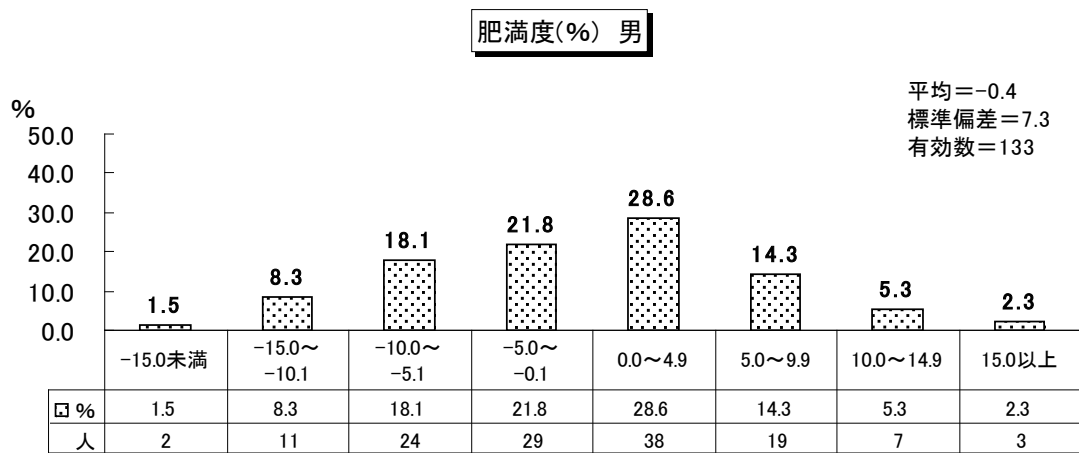
Ⅲ. 調査回答者の属性 (1歳6ヶ月健診時)



(7) 体重

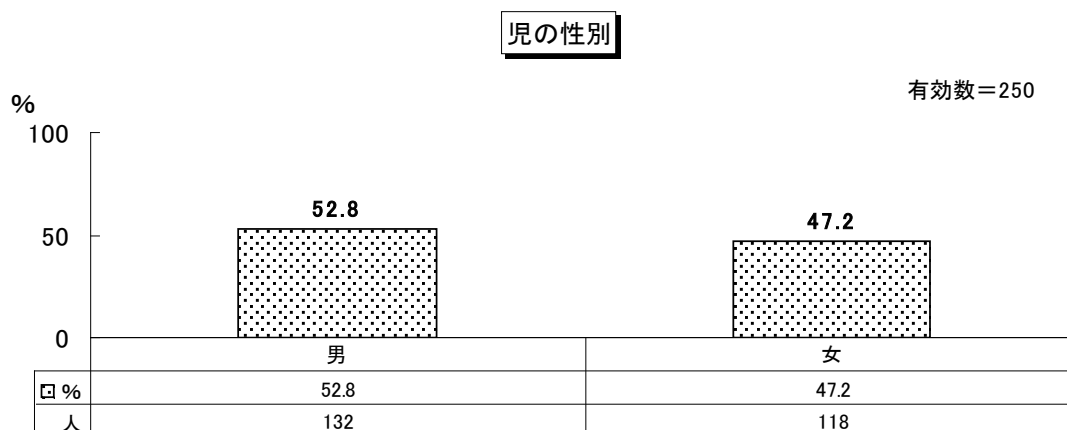


(8) 肥満度

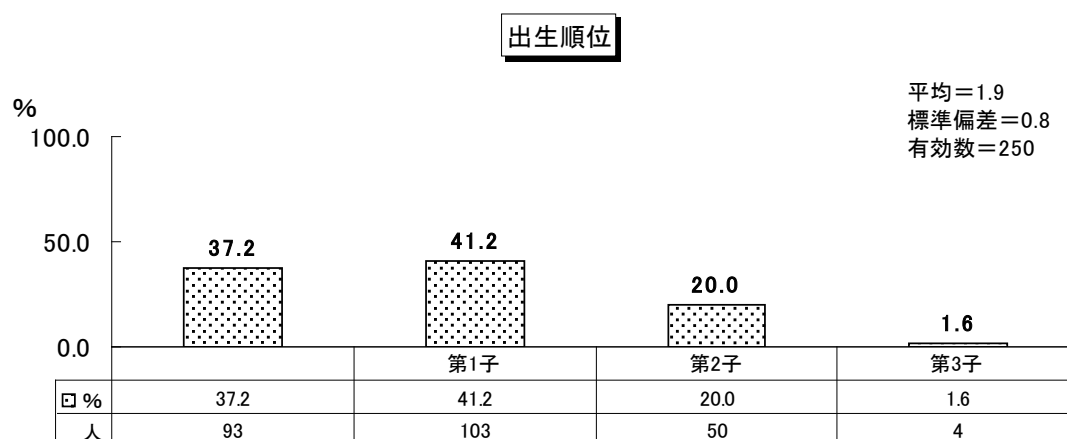


3.3 歳児健診時

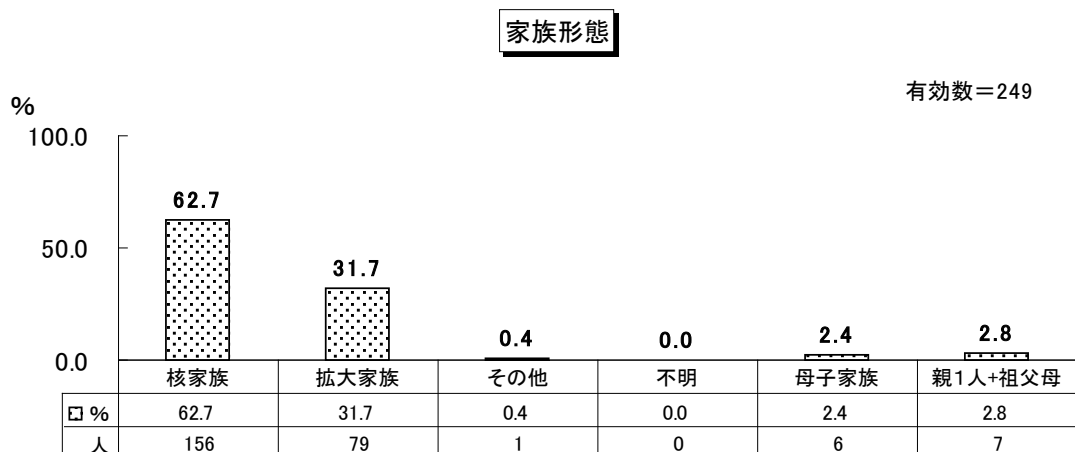
(1) 児の性別



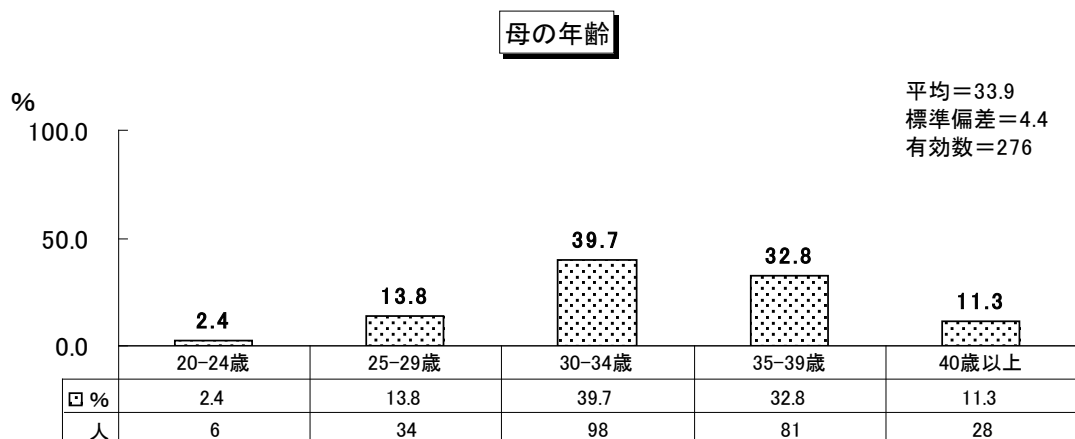
(2) 出生順位



(3) 家族形態

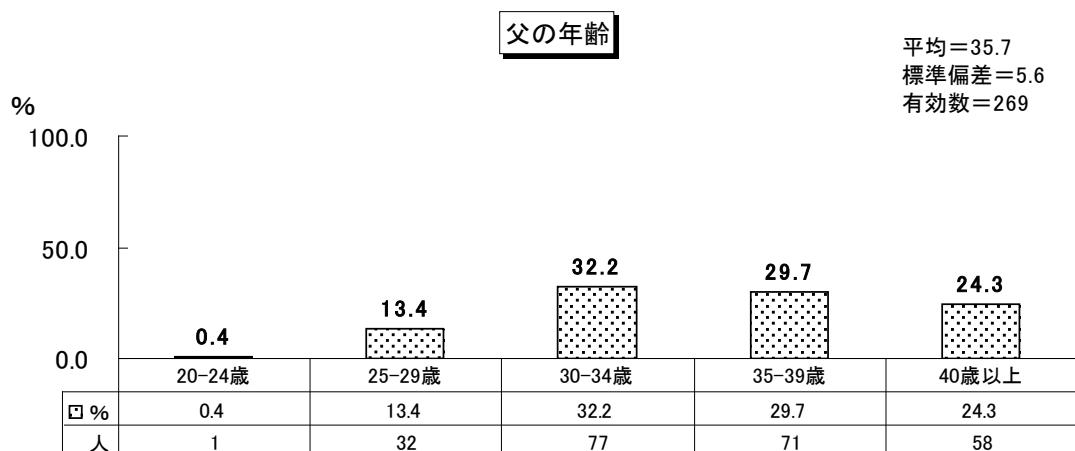


(4) 母親の年齢

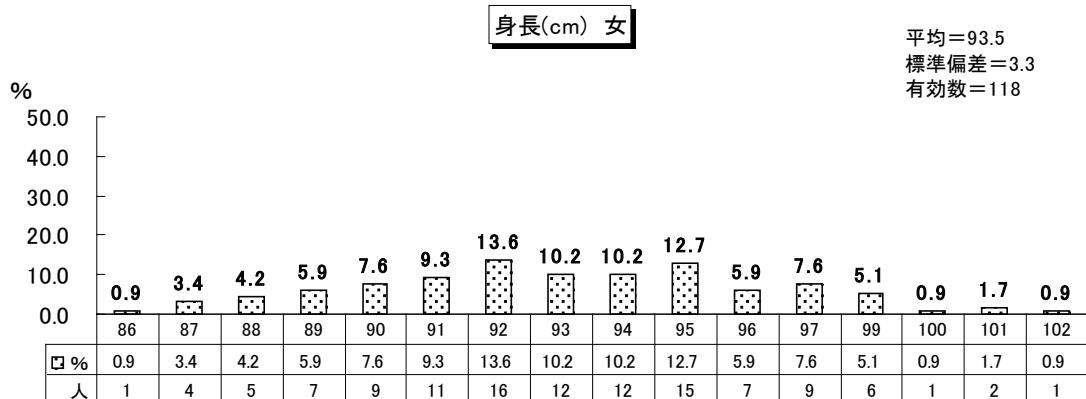
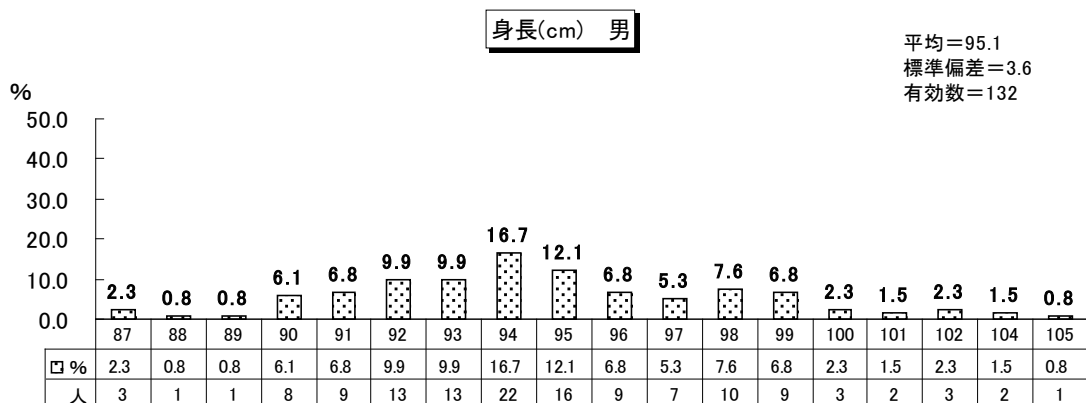


Ⅲ. 調査回答者の属性 (3歳児健診時)

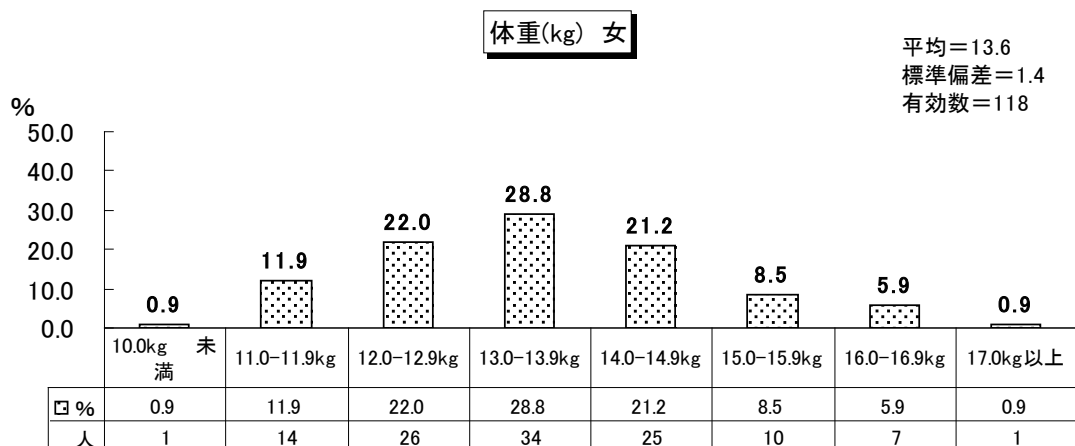
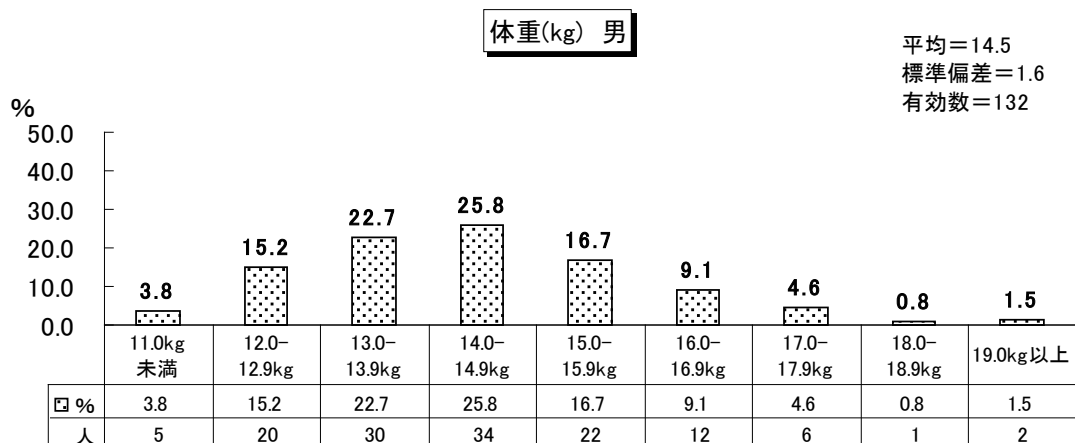
(5) 父親の年齢



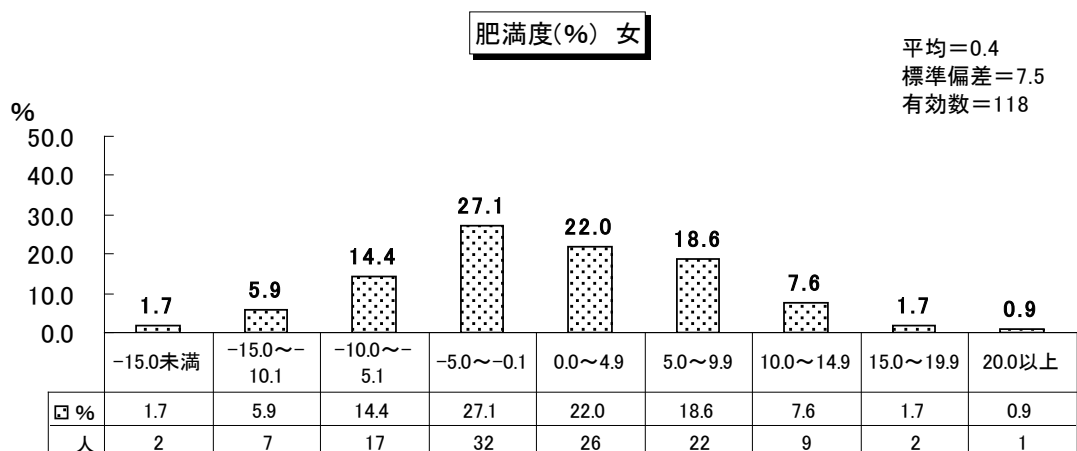
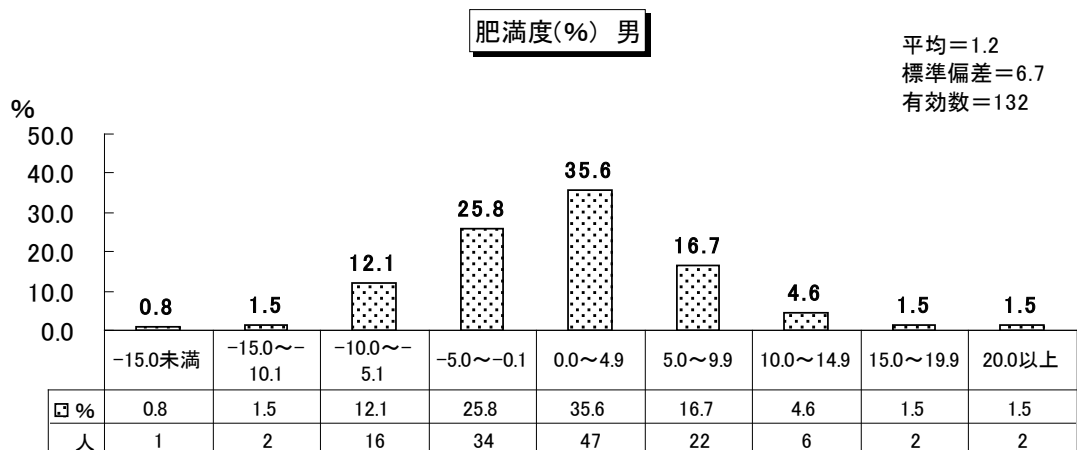
(6) 身長



(7) 体重

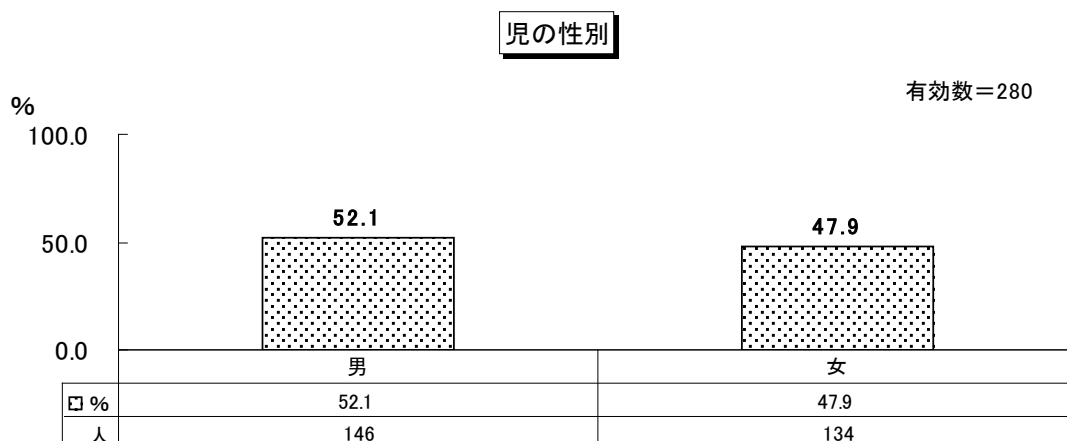


(8) 肥満度

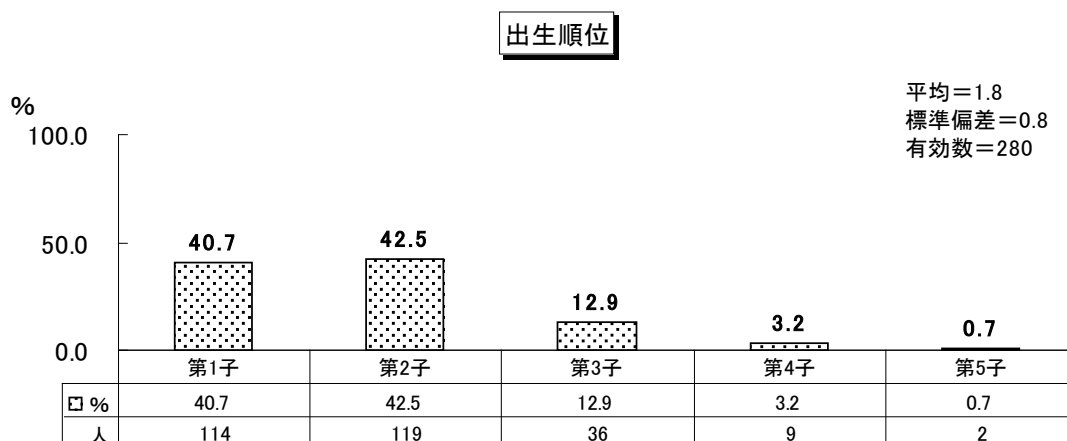


4. 5歳児健診時

(1) 児の性別

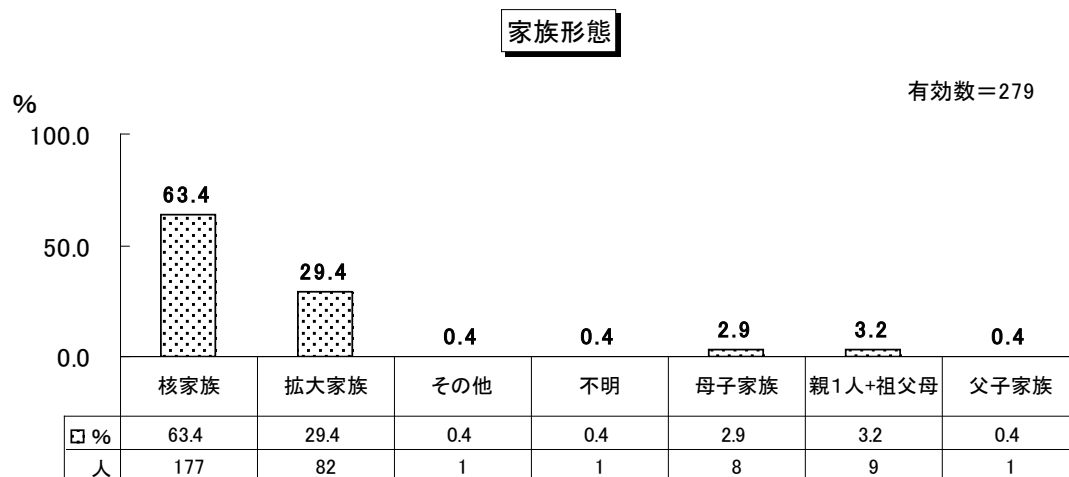


(2) 出生順位

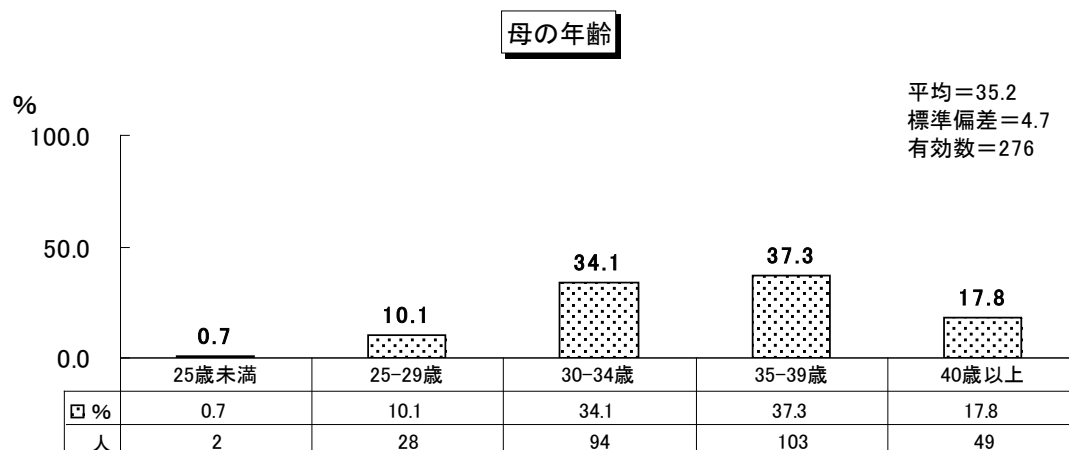




(3) 家族形態

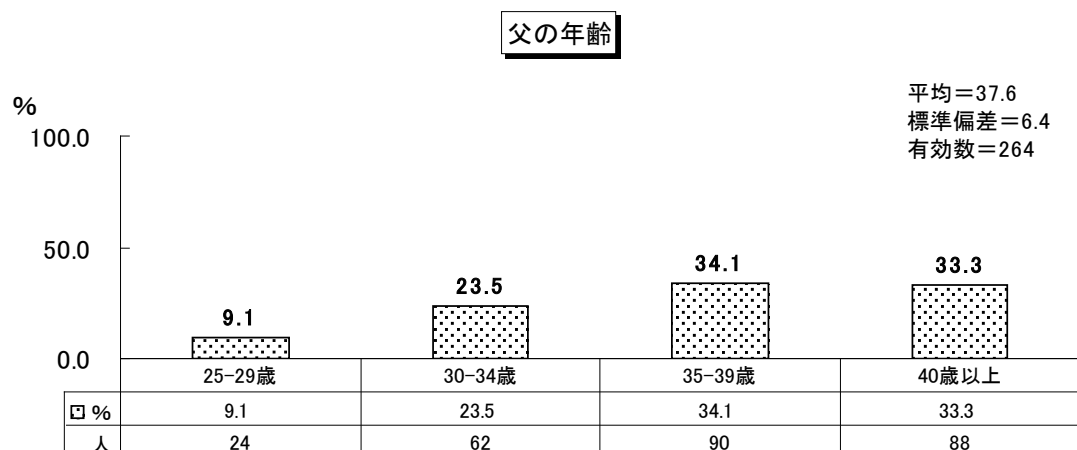


(4) 母親の年齢

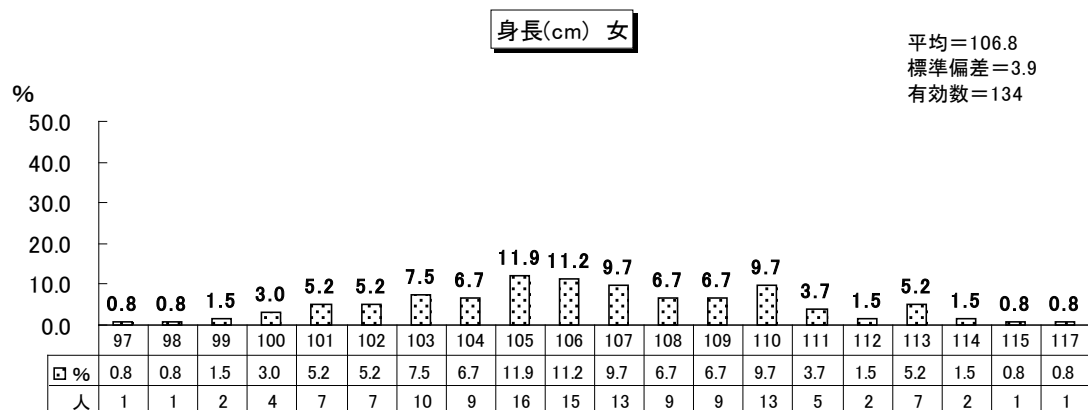
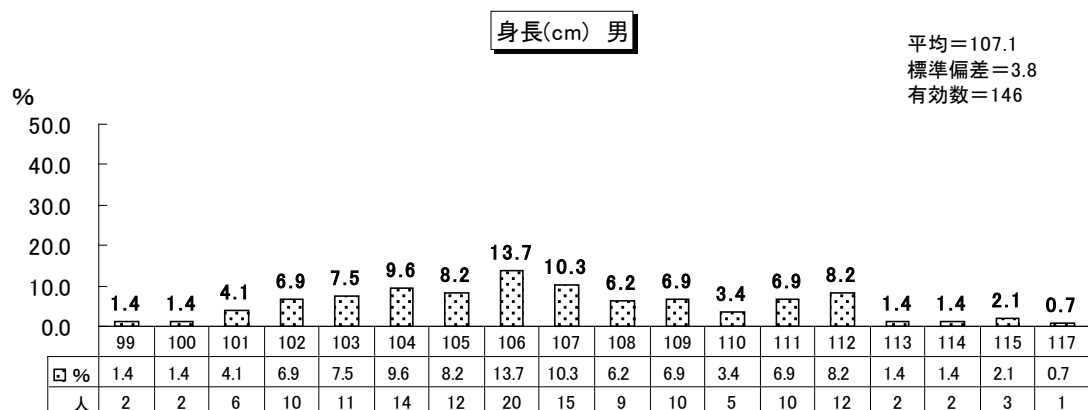


Ⅲ. 調査回答者の属性 (5歳児健診時)

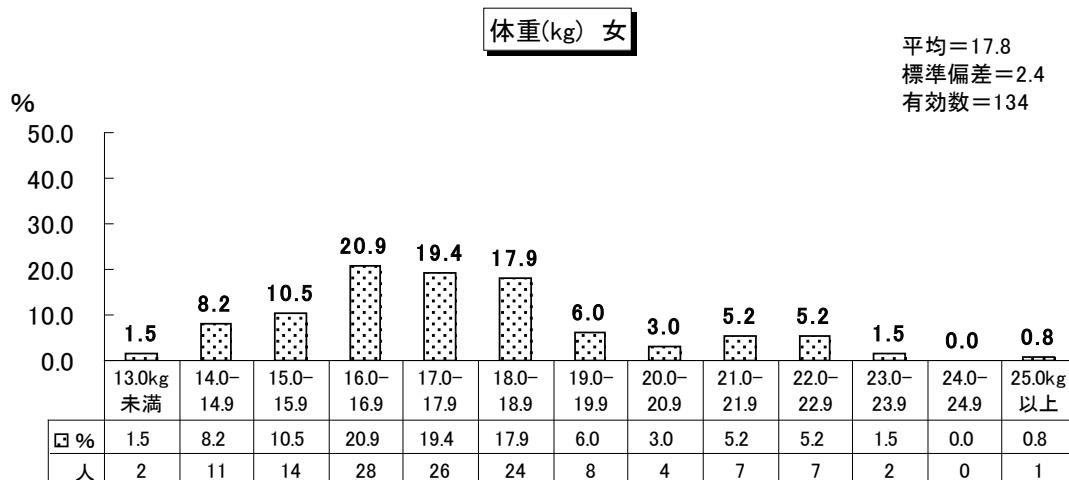
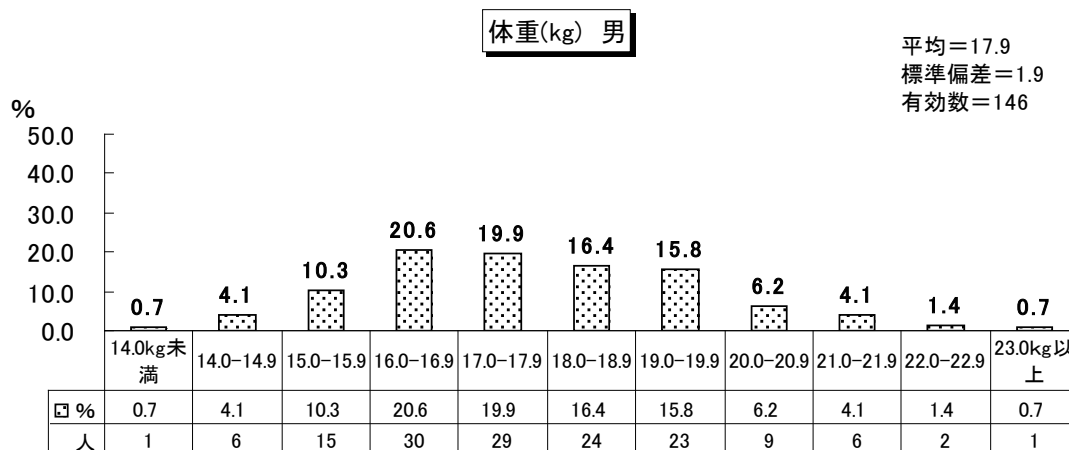
(5) 父親の年齢



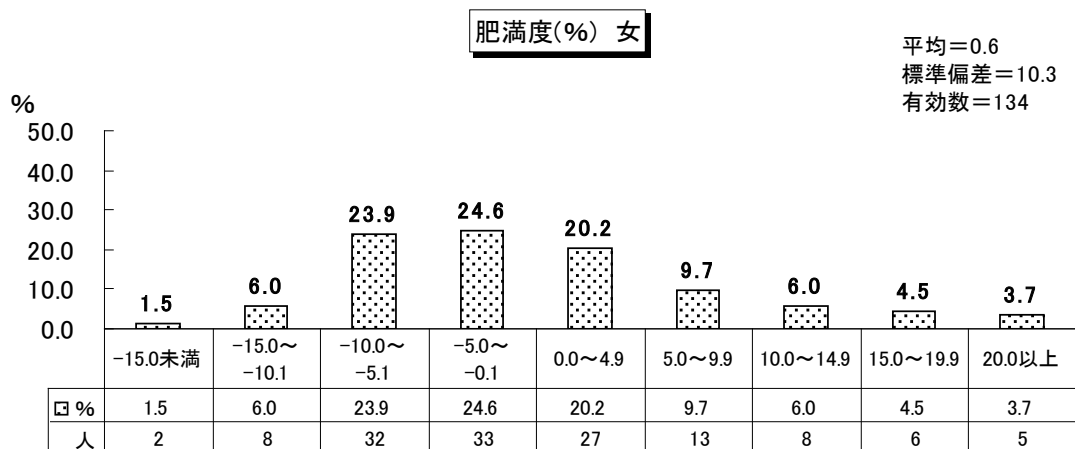
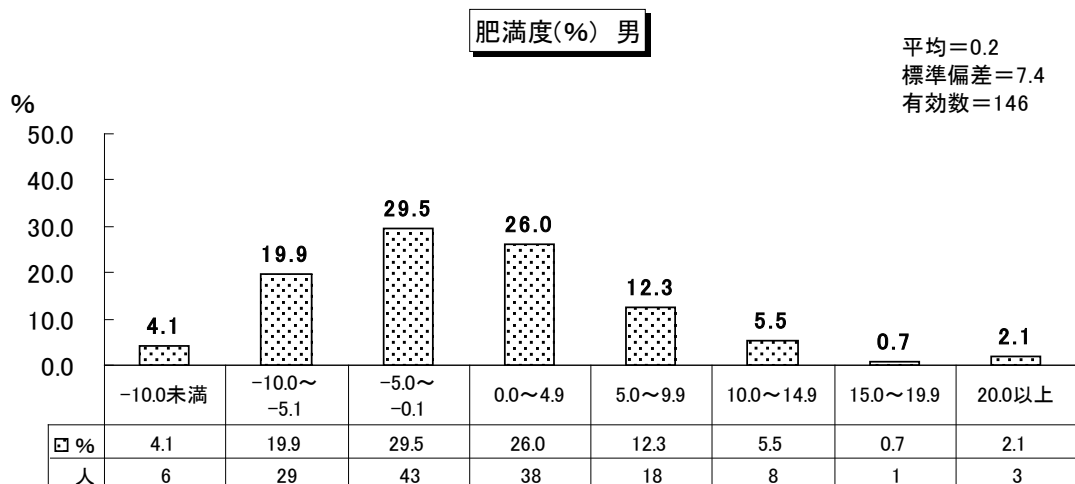
(6) 身長



(7) 体重



(8) 肥満度



## IV. 調查結果



## IV-1. 母子手帳交付時

#### IV. 調査結果（母子手帳交付時）

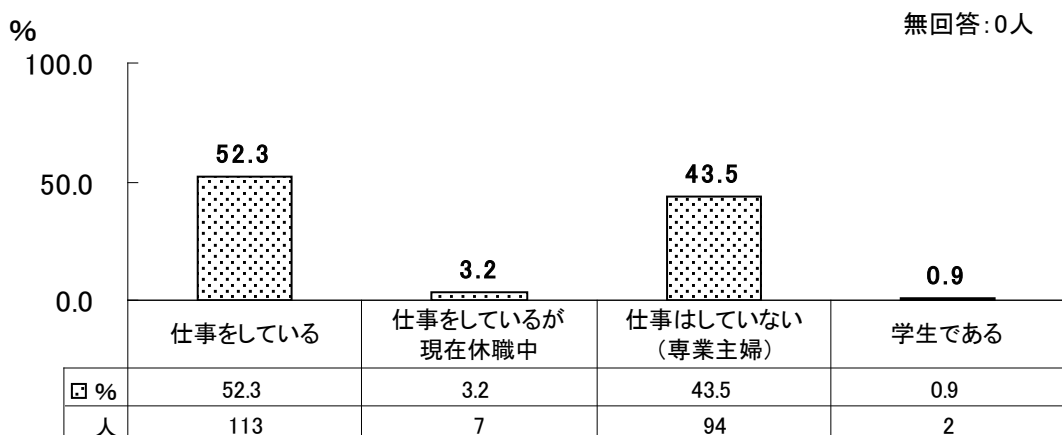


Q1. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

1. 仕事をしている
2. 仕事はしているが現在休職中である
3. 仕事はしていない（専業主婦である）
4. 学生である

→3, 4 と答えた方は  
Q3. へお進みください

**Q1.あなたのお仕事の有無について**

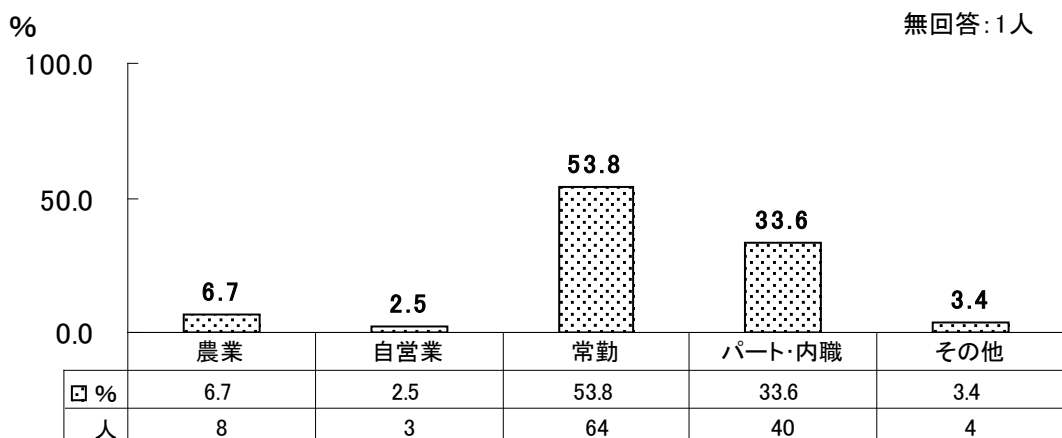


Q2. Q1 で 1. 2. と答えた方のみお答えください。

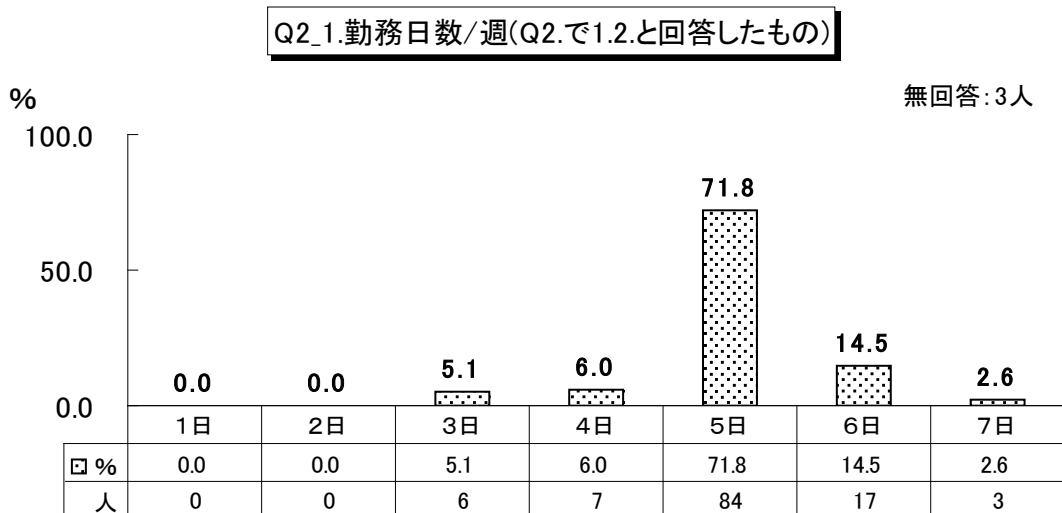
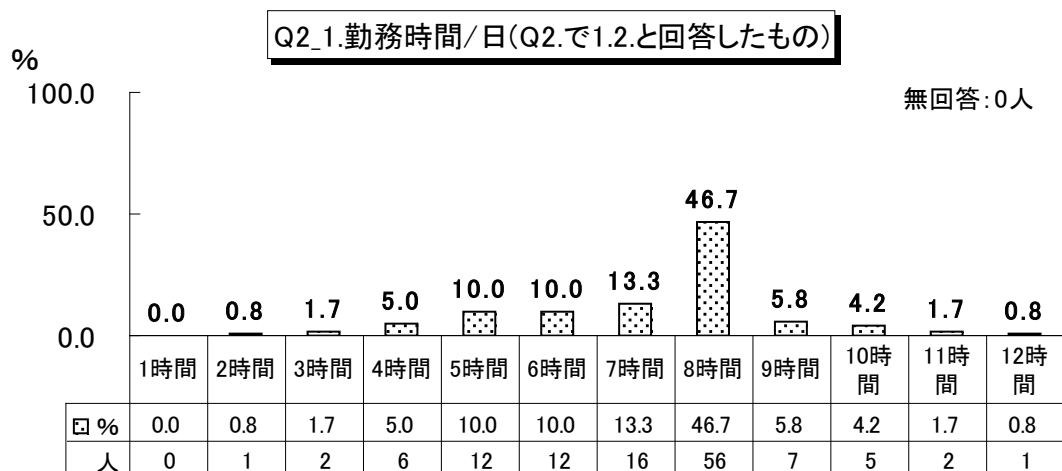
あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業
2. 自営業
3. 常勤
4. パート・内職
5. その他 ( )

**Q2.あなたのお仕事の有無について(Q1で1.2.と答えた方)**



2-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日（ ）時間 週（ ）日勤務



Q3、妊娠とわかった時の気持ちはどんなでしたか。

SQ1. あなた自身

↓

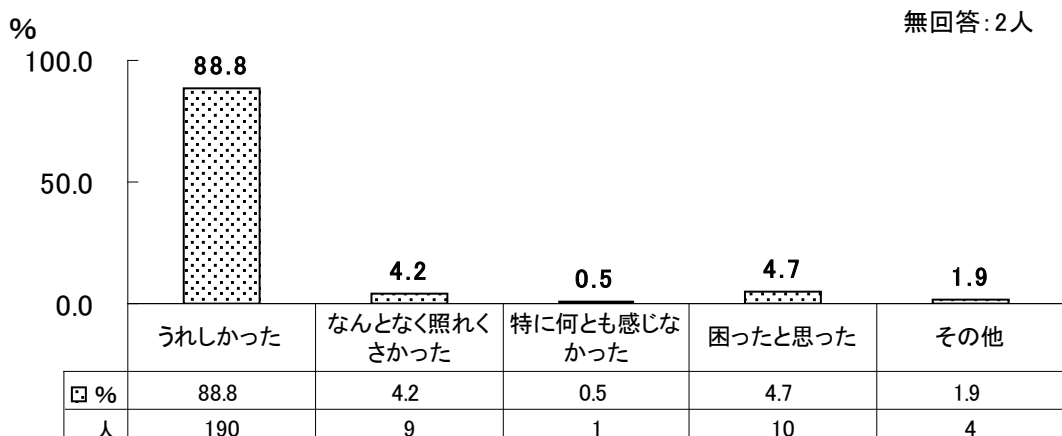
1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他（ ）

SQ2. 夫

↓

1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他（ ）

**Q3\_SQ1.妊娠とわかった時の気持ち【あなた自身】**

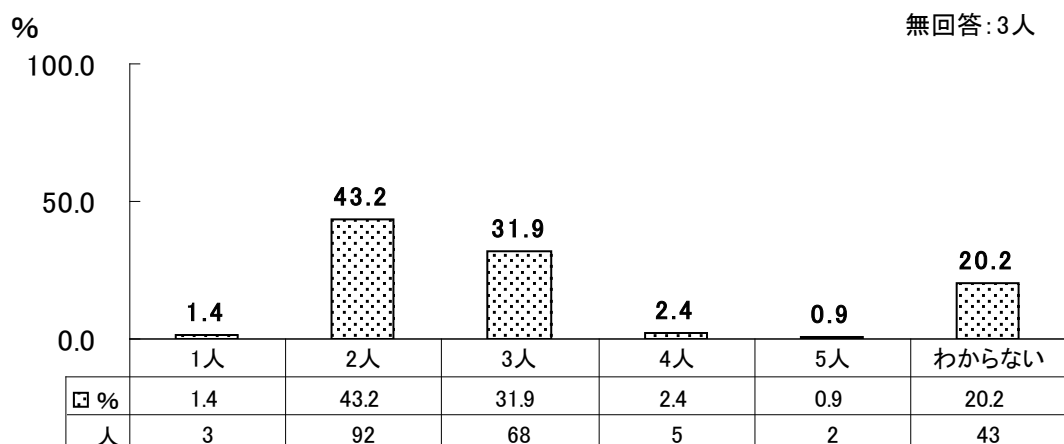


**Q3\_SQ1.妊娠とわかった時の気持ち【夫】**





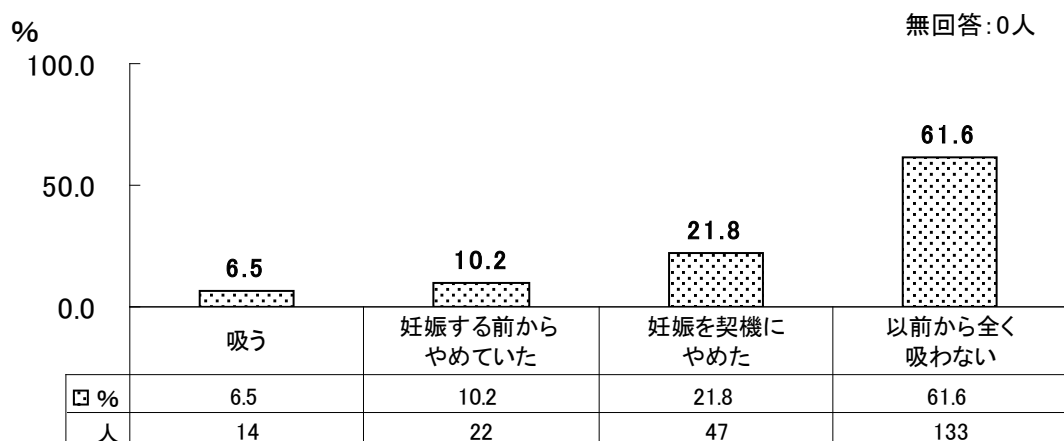
## Q5\_2. 子供は全部で何人くらい希望しますか【夫】



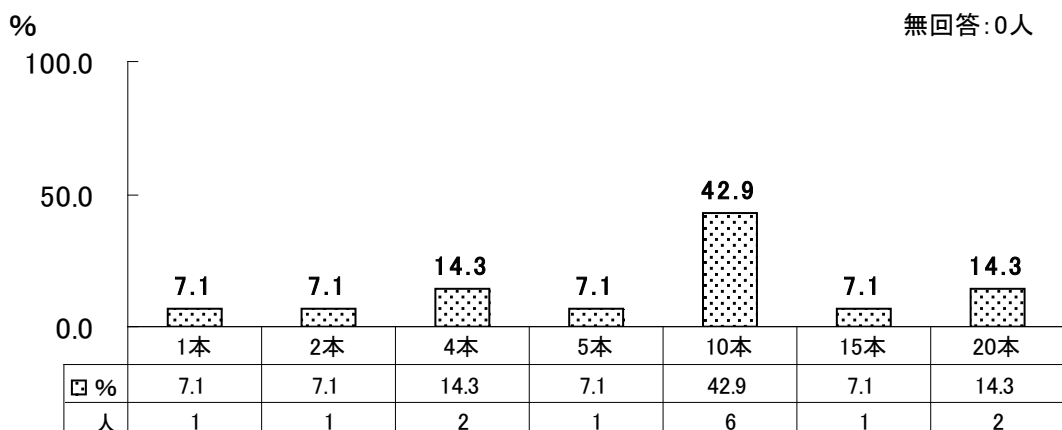
Q6. あなたはタバコを吸いますか。

1. 吸う（一日平均\_\_\_本、今まで\_\_\_年間吸っている）
2. 妊娠する前からやめていた（以前一日平均\_\_\_本、今まで\_\_\_年間吸った）
3. 妊娠を契機にやめた（以前一日平均\_\_\_本、今まで\_\_\_年間吸った）
4. 以前から全く吸わない

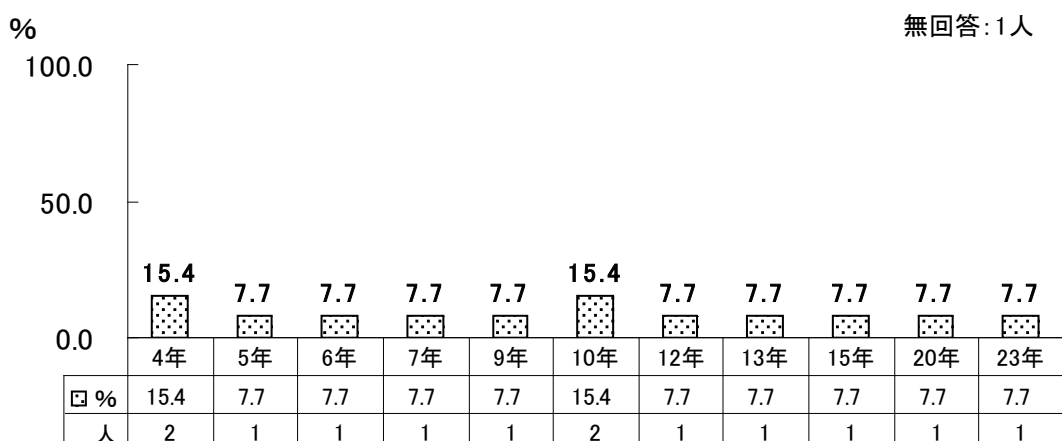
## Q6. あなたはタバコを吸いますか



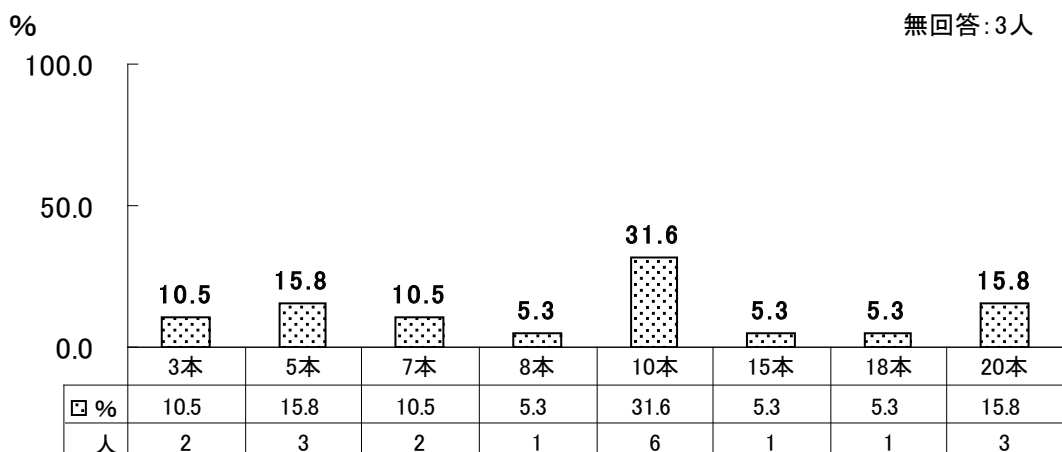
Q6.一日平均\_\_本吸っている(Q6で1.と回答したもの)



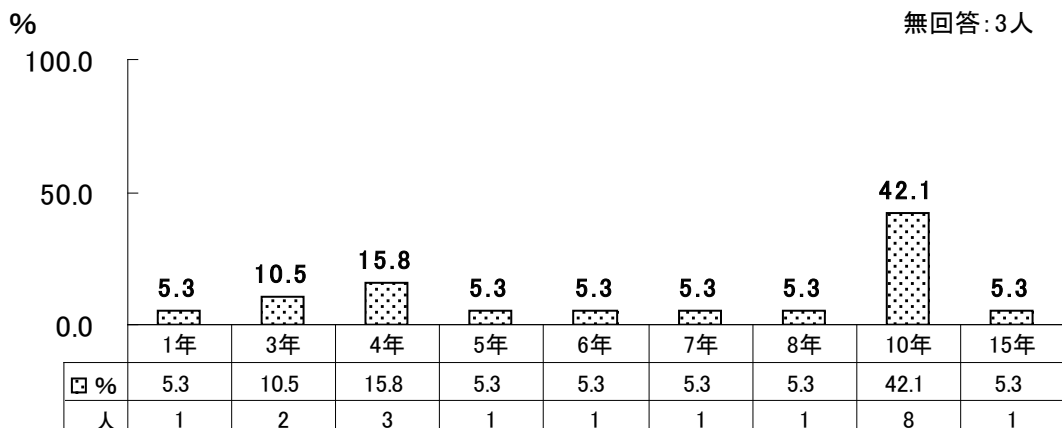
Q6.今まで\_\_年間吸っている(Q6で1.と回答したもの)



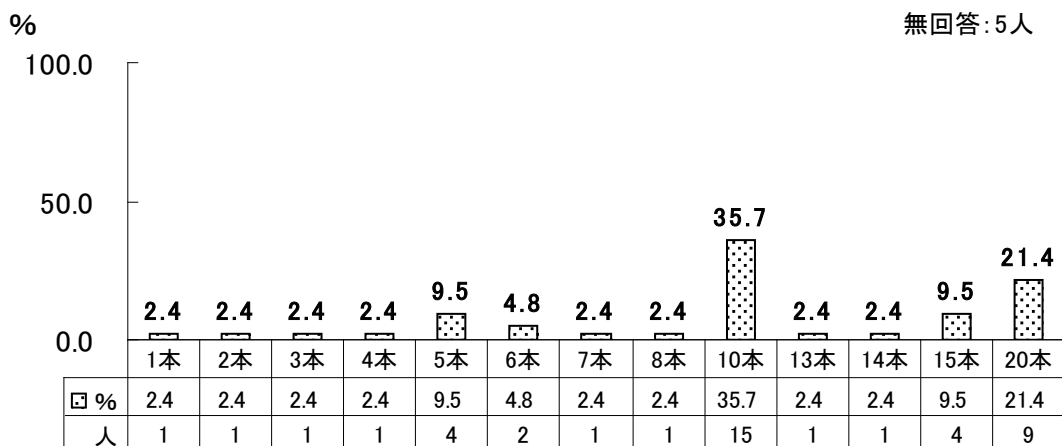
Q6.一日平均\_\_本吸っている(Q6で2.と回答したもの)



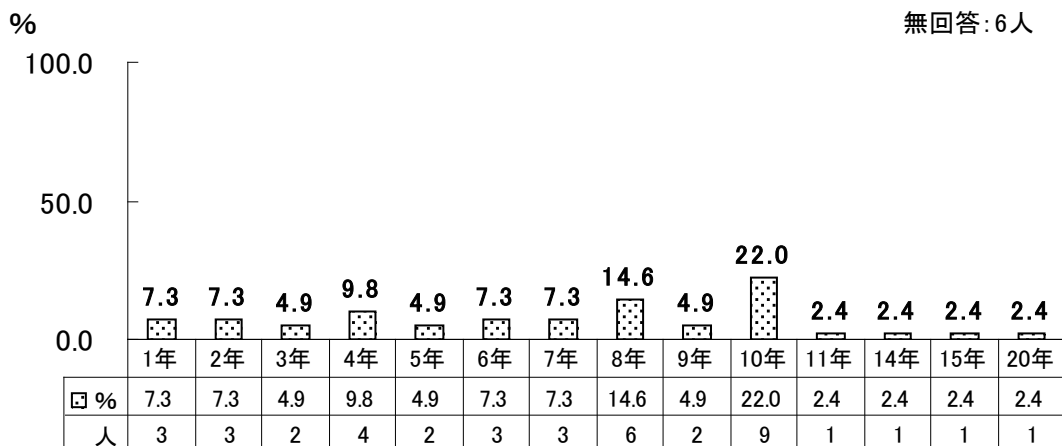
Q6.今まで\_\_年間吸っている(Q6で2.と回答したもの)



Q6.一日平均\_\_本吸っている(Q6で3.と回答したもの)



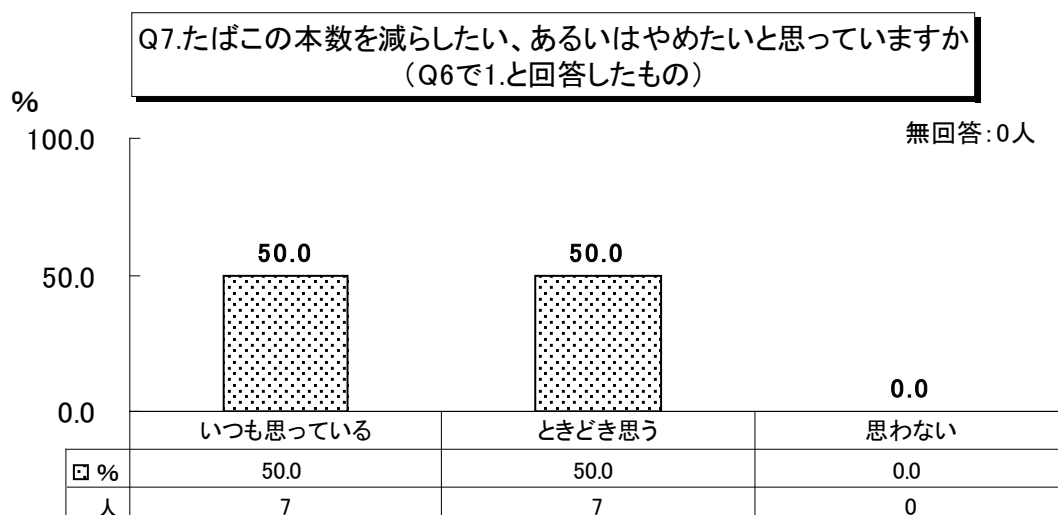
Q6.今まで\_\_年間吸っている(Q6で3.と回答したもの)



Q7. Q6で1. と答えた方のみお答えください。

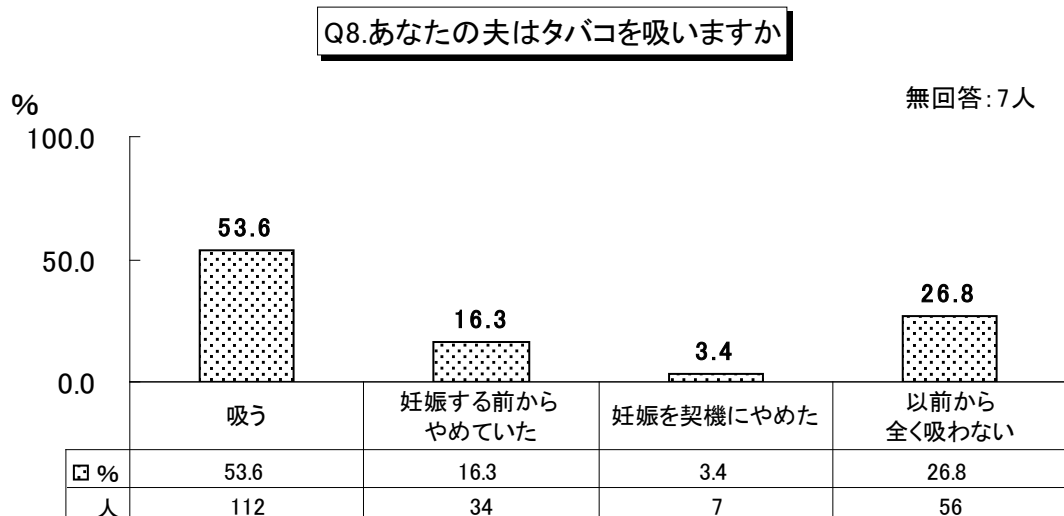
あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

1. いつも思っている      2. ときどき思う      3. 思わない



Q8. あなたの夫はタバコを吸いますか。

1. 吸う（一日平均\_\_\_本）  
 2. 妊娠する前からやめていた  
 3. 妊娠を契機にやめた  
 4. 以前から全く吸わない



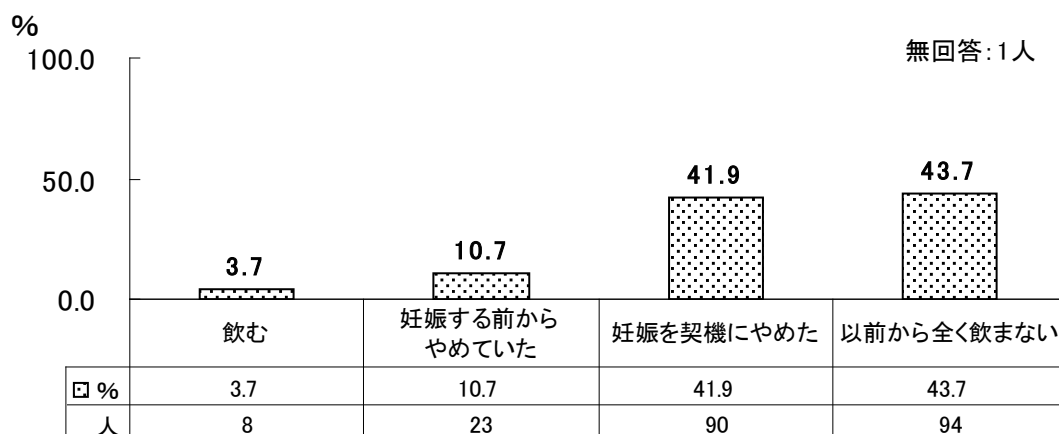




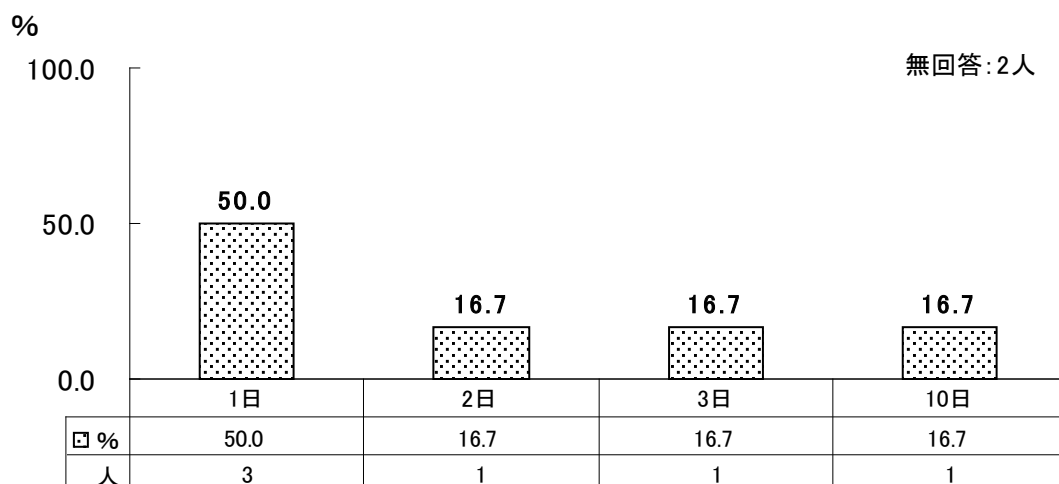
Q10. あなたはお酒を飲みますか。

1. 飲む（月平均\_\_日、\_\_年間飲んでいる）
2. 妊娠する前からやめていた（以前、月平均\_\_日、\_\_年間飲んでいた）
3. 妊娠を契機にやめた（以前、月平均\_\_日、\_\_年間飲んでいた）
4. 以前から全く飲まない

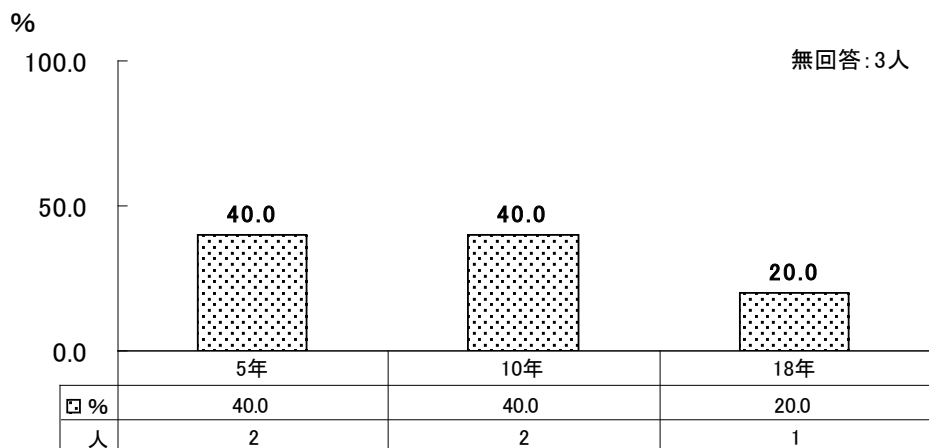
Q10.あなたはお酒を飲みますか



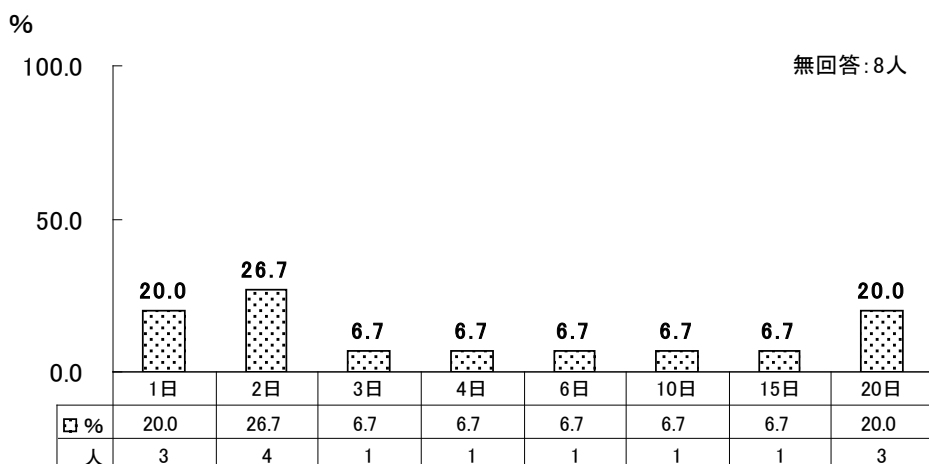
Q10.【月平均\_\_日】(Q10で1と回答したもの)



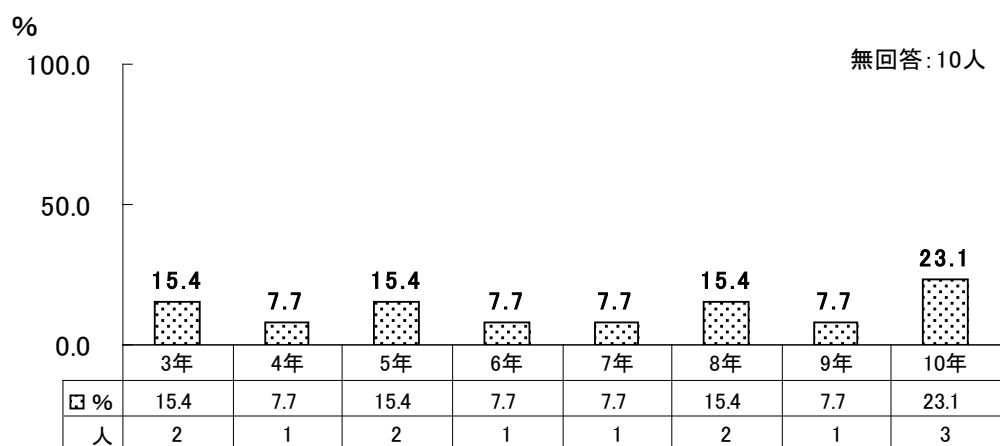
**Q10.【\_\_年間】(Q10で1.と回答したもの)**



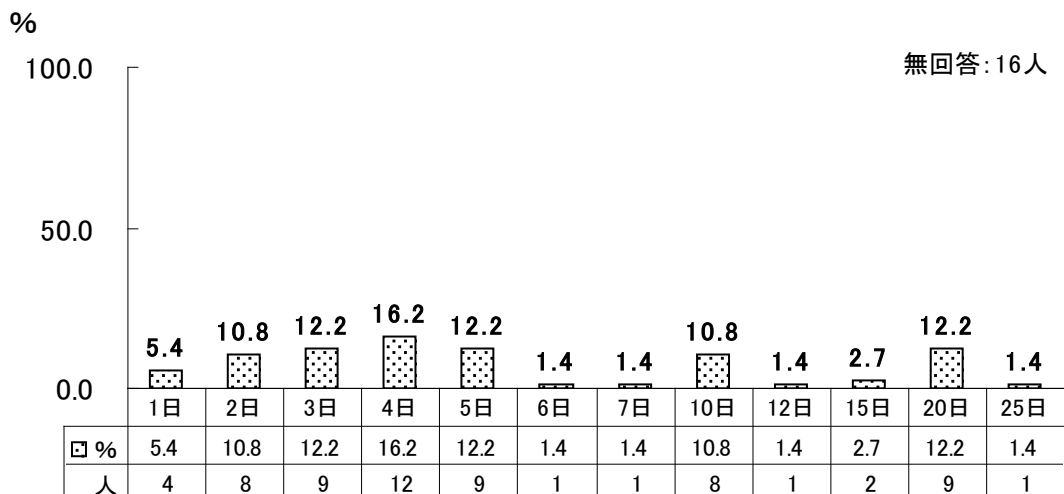
**Q10.【月平均\_\_日】(Q10で2.と回答したもの)**



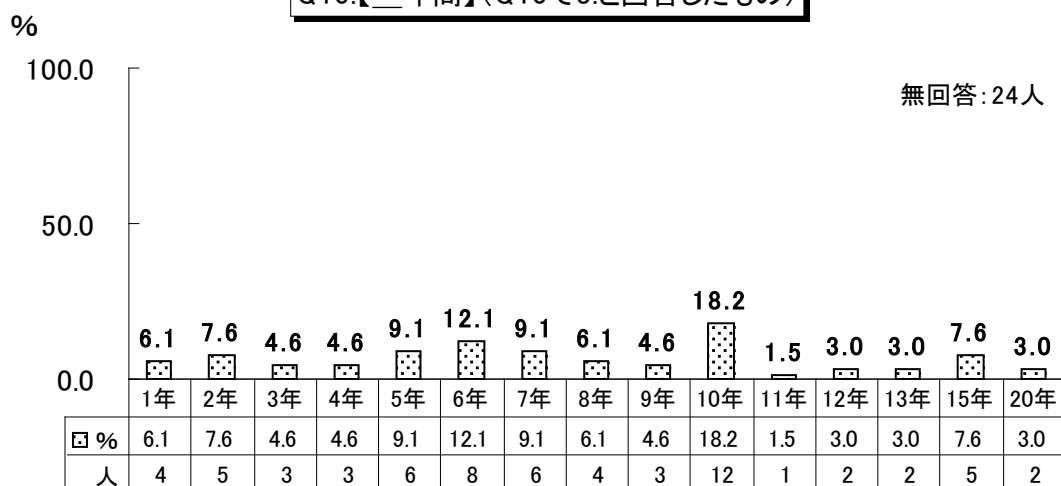
**Q10.【\_\_年間】(Q10で2.と回答したもの)**



**Q10.【月平均\_\_日】(Q10で3と回答したもの)**



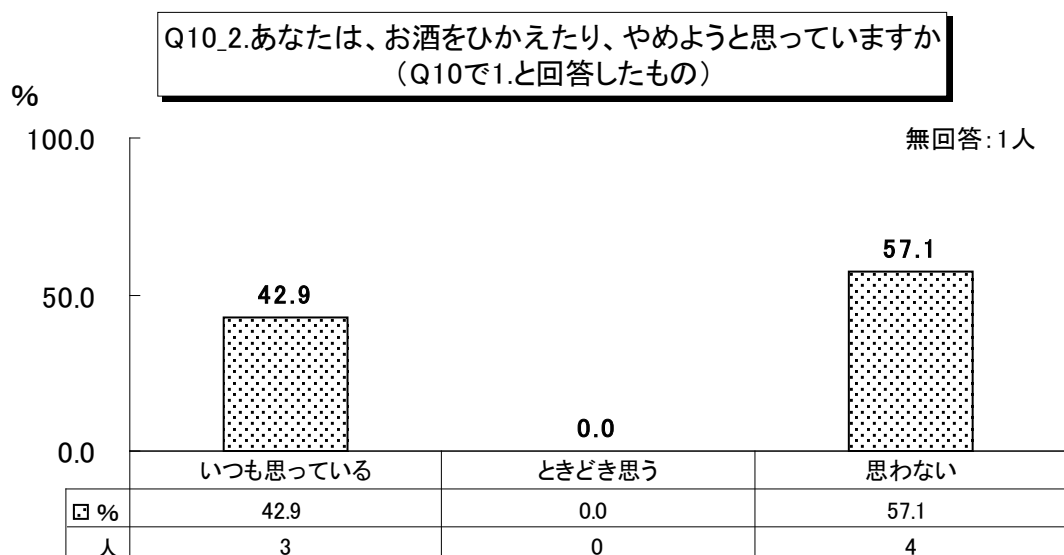
**Q10.【\_\_年間】(Q10で3と回答したもの)**





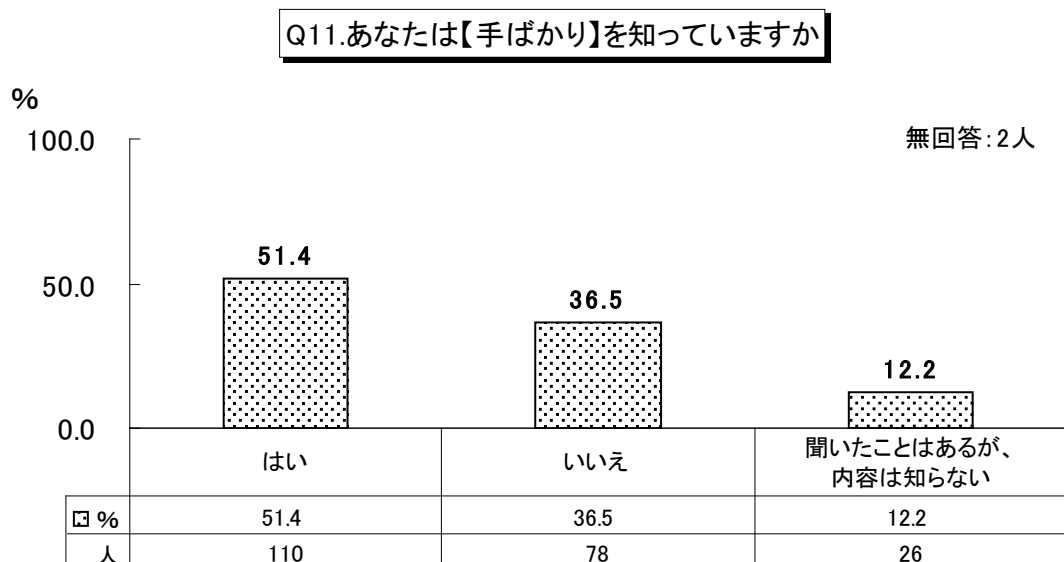
10-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている      2. ときどき思う      3. 思わない



Q11. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

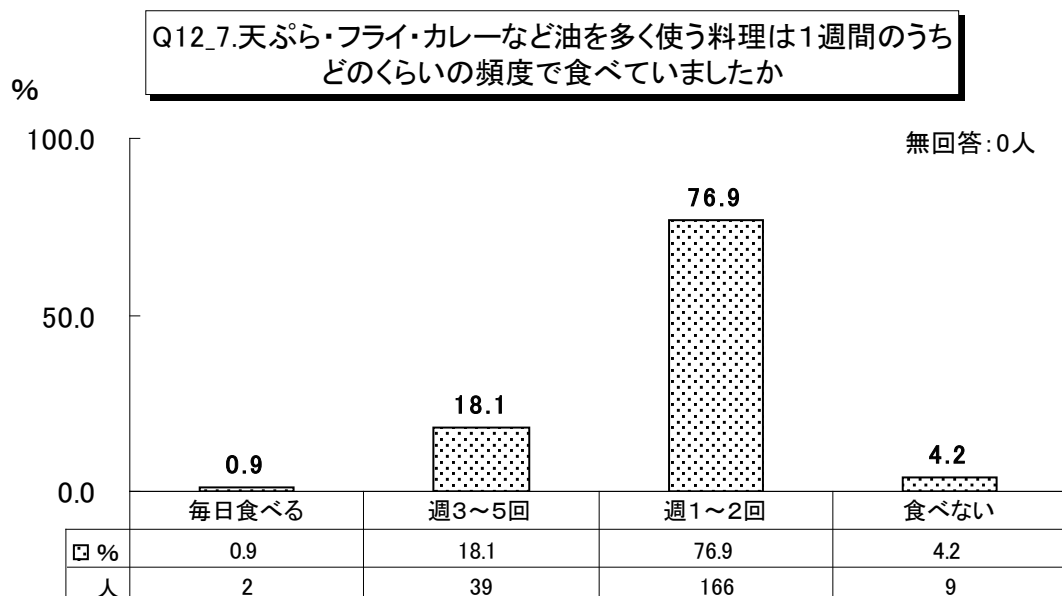
1. はい      2. いいえ      3. 聞いた事はあるが、内容は知らない





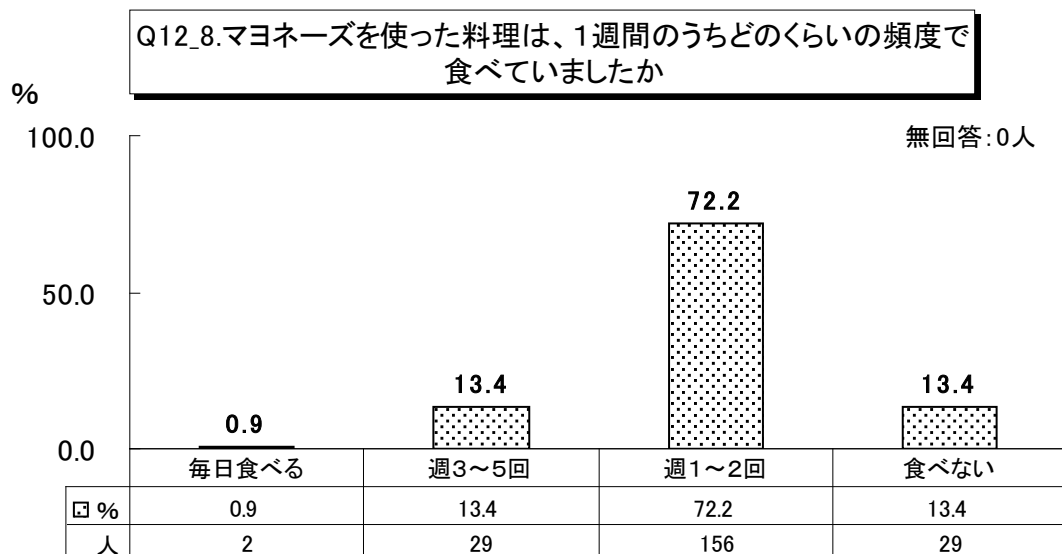
12-7. 天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていましたか。（それぞれの食品は単独ではなく、トータルして考えてください）

1. 毎日食べる      2. 週3～5回      3. 週1～2回      4. 食べない



12-8. マヨネーズを使った料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていましたか。

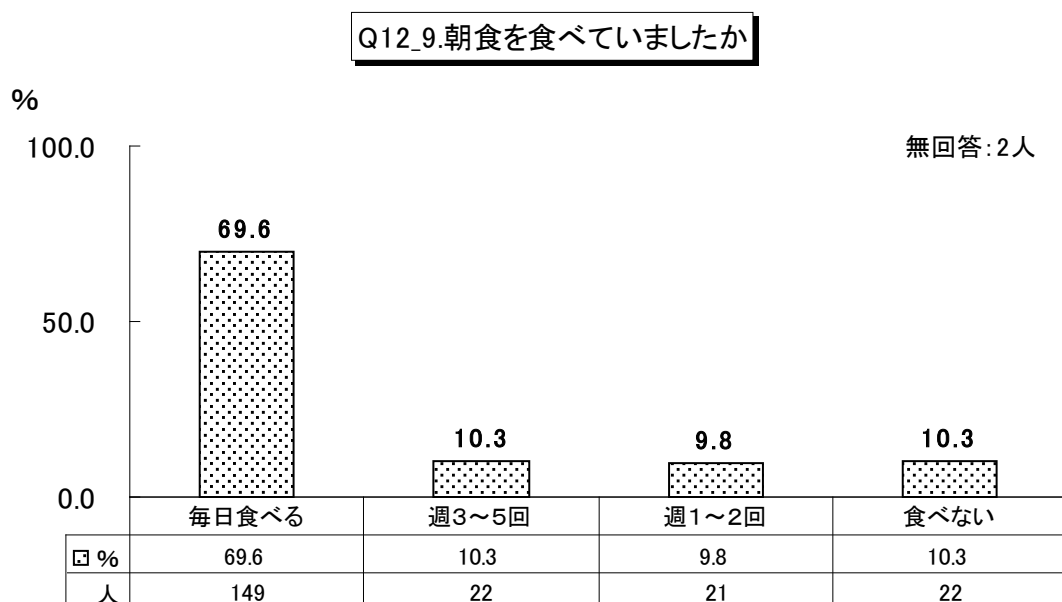
1. 毎日食べる      2. 週3～5回      3. 週1～2回      4. 食べない





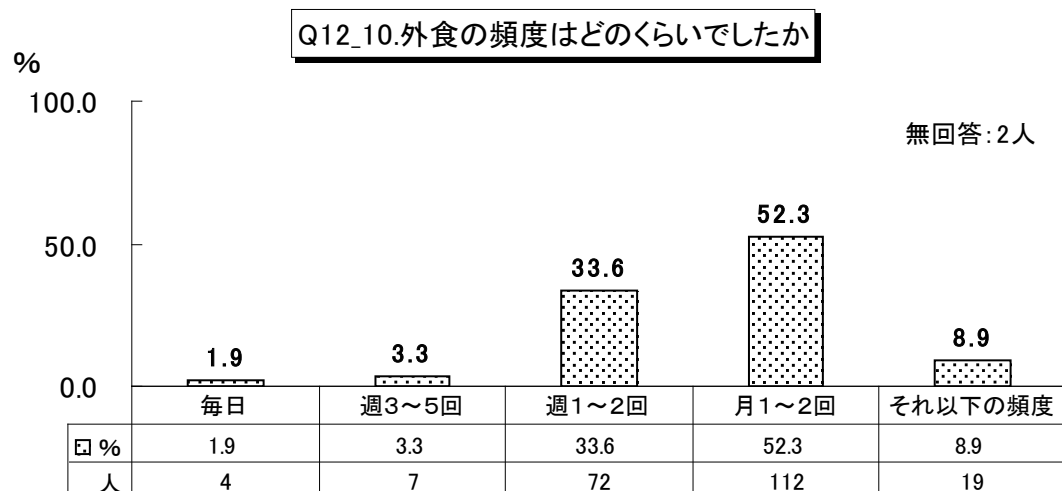
12-9. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる 2. 週3～5回 3. 週1～2回 4. 食べない



12-10. 外食の頻度はどのくらいでしたか。

1. 毎日 2. 週3～5回 3. 週1～2回  
4. 月1～2回 5. それ以下の頻度



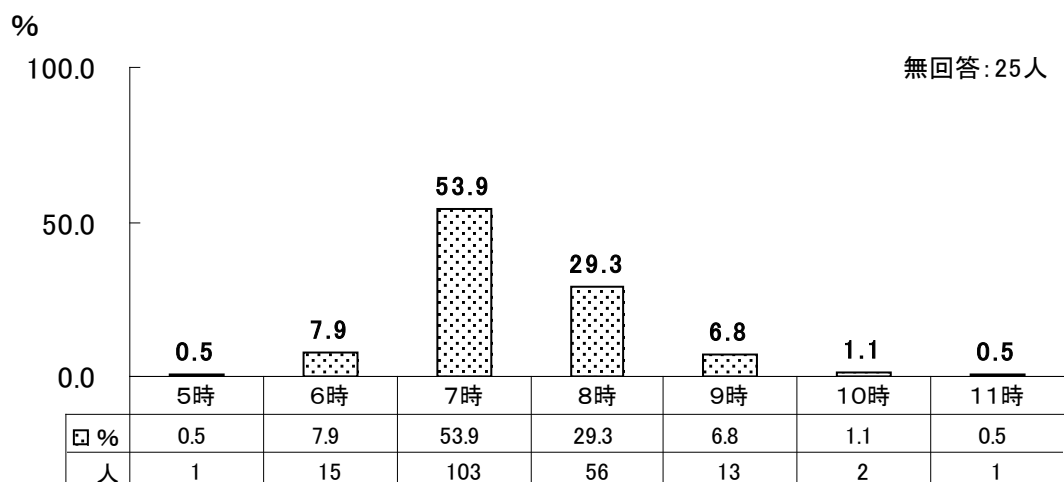
12-11. 妊娠前の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろでしたか？平日と休日で異なった場合は平日のことをお書きください。

朝食 ( ) 時 ころ

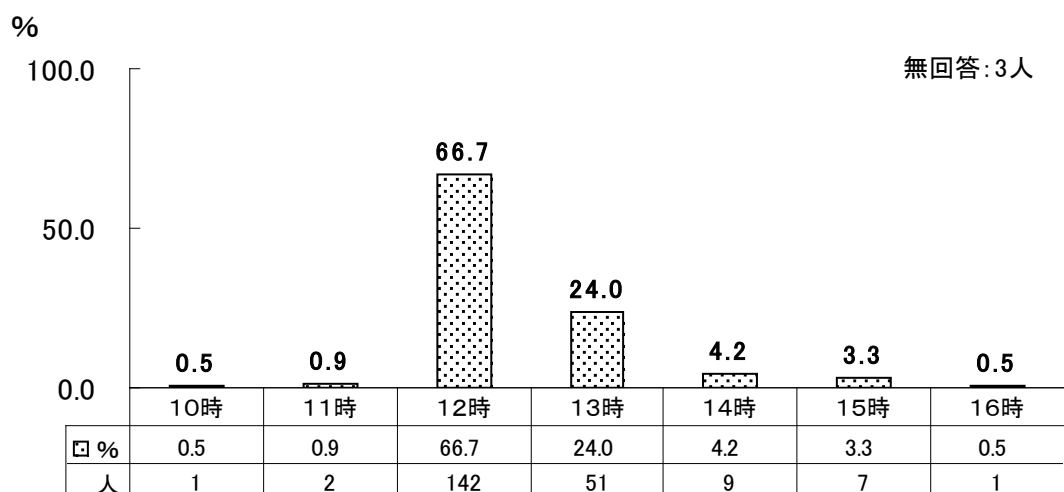
昼食 ( ) 時 ころ

夕食 ( ) 時 ころ

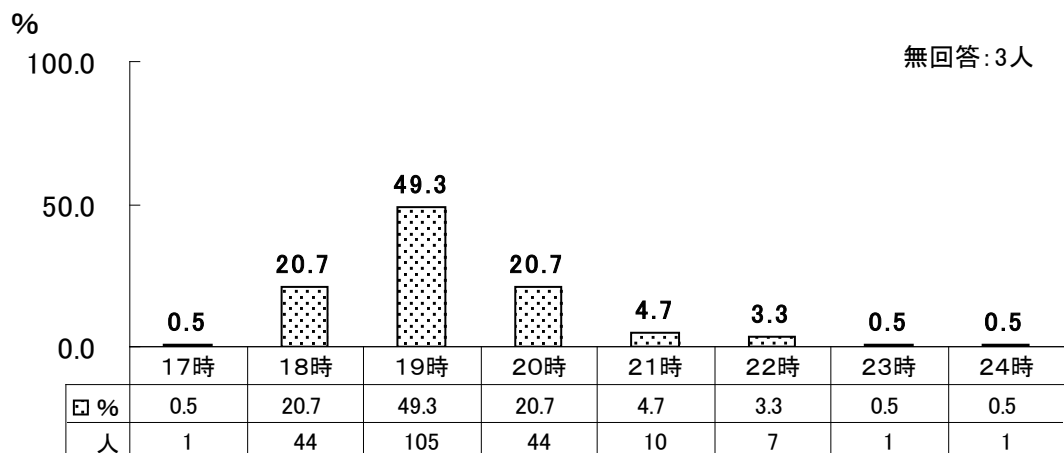
**Q12\_11.妊娠前、食事を食べるのは何時頃でしたか【朝食】**



**Q12\_11.妊娠前、食事を食べるのは何時頃でしたか【昼食】**



**Q12\_11.妊娠前、食事を食べるのは何時頃でしたか【夕食】**



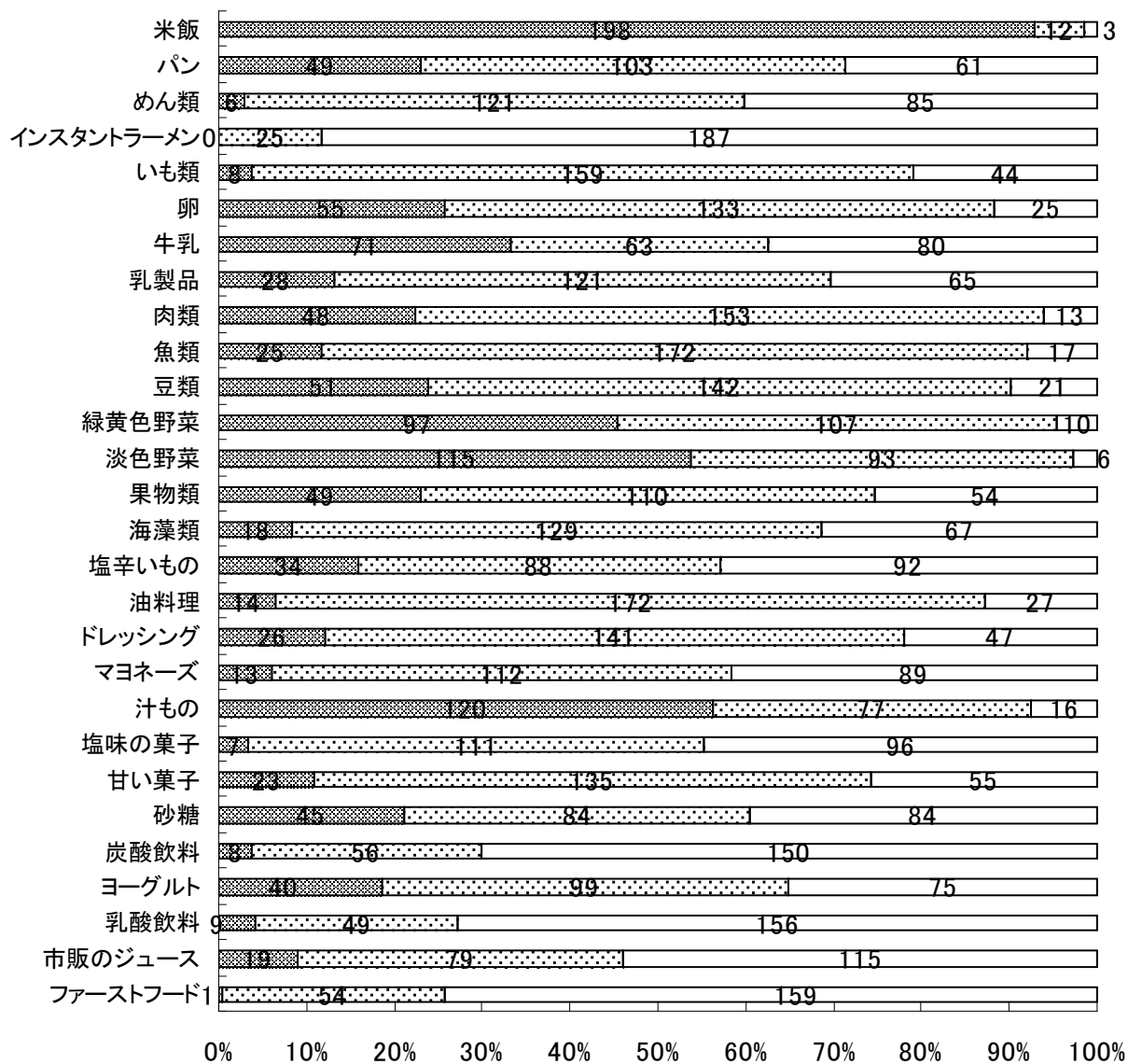
## IV. 調査結果（母子手帳交付時）

Q13. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。  
 当てはまる箇所に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類（インスタントラーメン以外）	1	2	3
インスタントラーメン （カップラーメン含む）	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品（チーズなど）	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類（豆腐・納豆などを含む）	1	2	3
緑黄色野菜（ピーマン・にんじんなど）	1	2	3
淡色野菜（きゅうり・キャベツなど）	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの（つくだに・漬け物など）	1	2	3
油料理（フライ・肉炒めなど）	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの（味噌汁・すましなど）	1	2	3
塩味のお菓子（ポテトチップなど）	1	2	3
甘いお菓子（砂糖を含むもの）	1	2	3
砂糖（コーヒー・紅茶に入れるものを 含む）	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料（ヤクルトなど）	1	2	3
市販のジュース（スポーツ飲料含む）	1	2	3
ファーストフード（ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど）	1	2	3

Q13.妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか

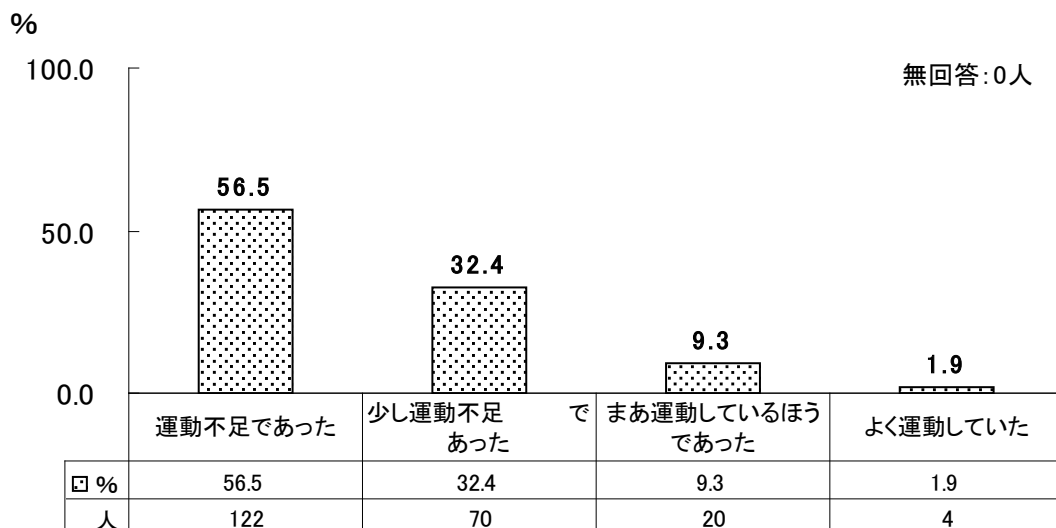
■ ほとんど毎日 □ 週3回位 □ ほとんどとらない



Q14. 妊娠前、あなたは運動不足だと思っていましたか。

1. 運動不足であった
2. 少し運動不足であった
3. まあ運動している方であった
4. よく運動していた

Q14.妊娠前、あなたは運動不足だと思っていましたか

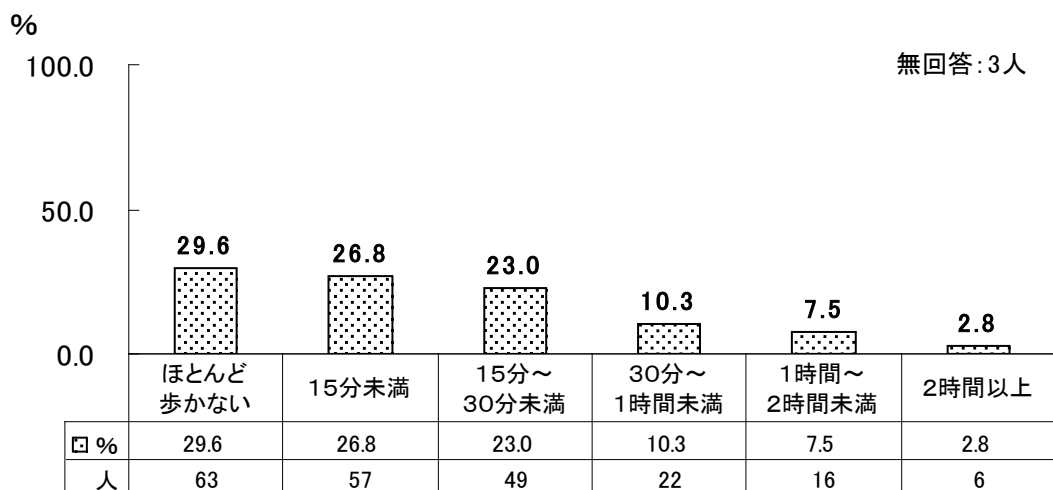


Q15. 妊娠前、あなたは一日に戸外をどのくらい歩きましたか。

（平日についてお答えください）

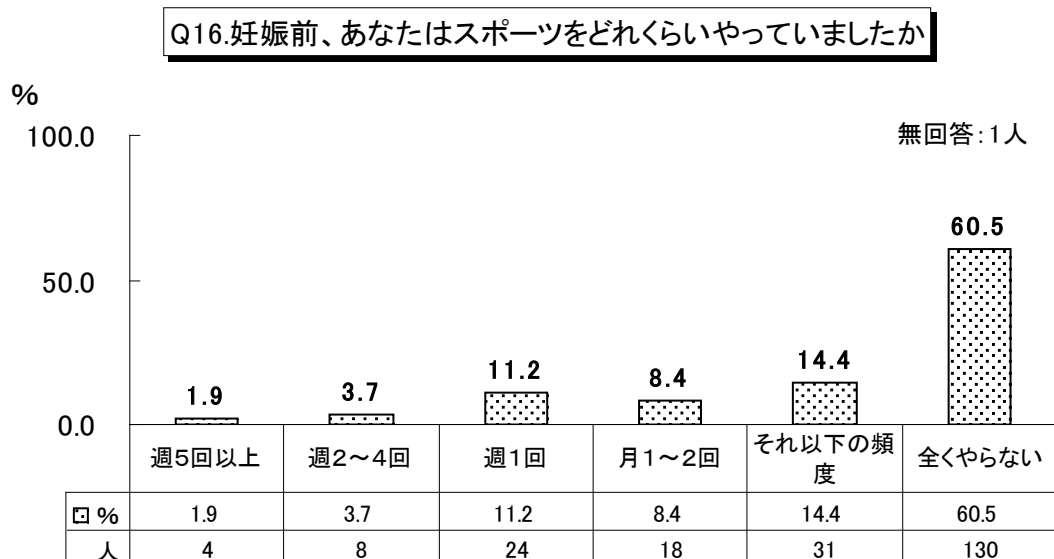
1. ほとんど歩かない
2. 15分未満
3. 15分～30分未満
4. 30分～1時間未満
5. 1時間～2時間未満
6. 2時間以上

Q15.妊娠前、あなたは一日に戸外をどのくらい歩きましたか



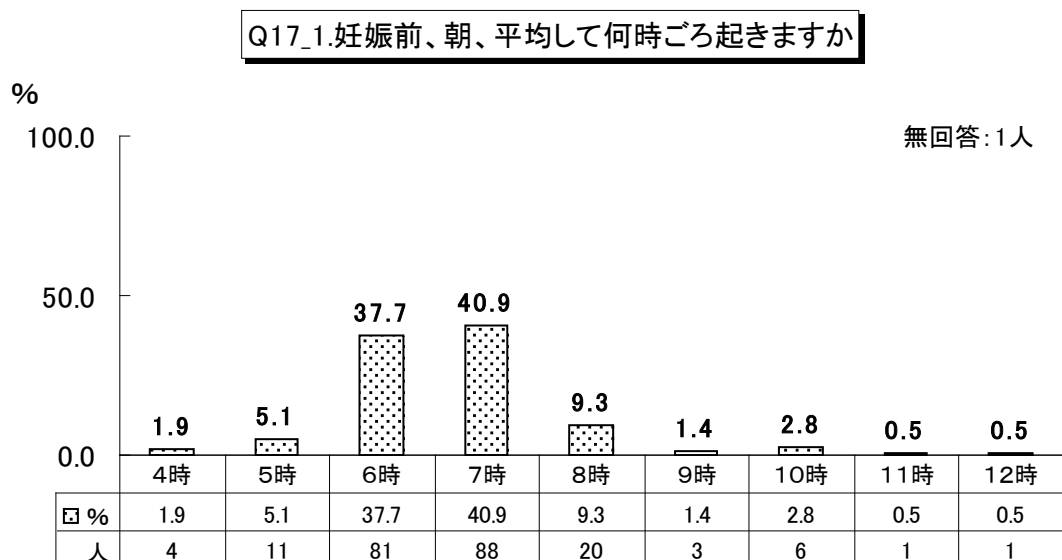
Q16. 妊娠前、あなたはスポーツ（ジョギング・エアロビクス・テニス・卓球・水泳・ゴルフ・その他）をどれくらいやっていましたか。

1. 週5回以上
2. 週2～4回
3. 週1回
4. 月1～2回
5. それ以下の頻度
6. 全くやらない

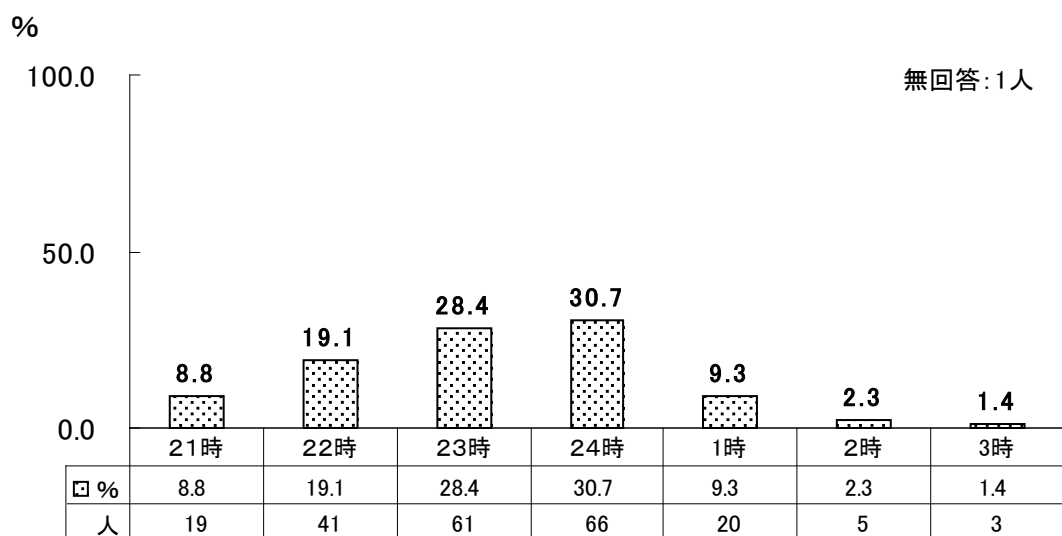


Q17. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝時間についてうかがいます。

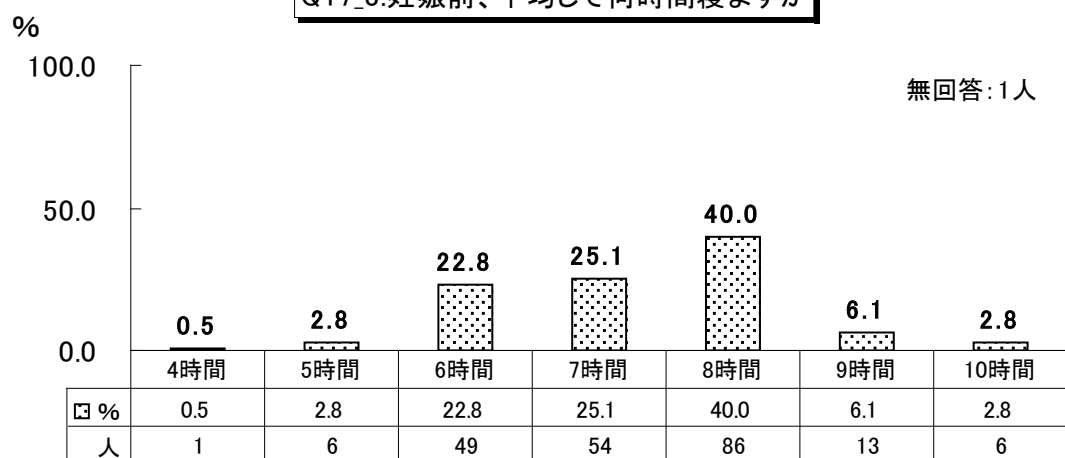
1. 朝、平均して何時ごろ起きますか ( ) 時ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか ( ) 時ころ
3. 平均して何時間寝ますか ( ) 時間位



Q17\_2.妊娠前、夜、平均して何時ごろ寝ますか



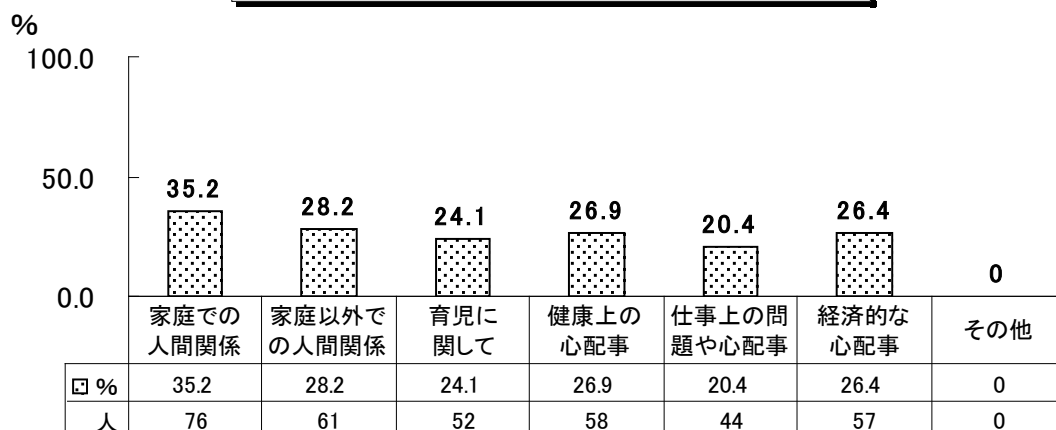
Q17\_3.妊娠前、平均して何時間寝ますか





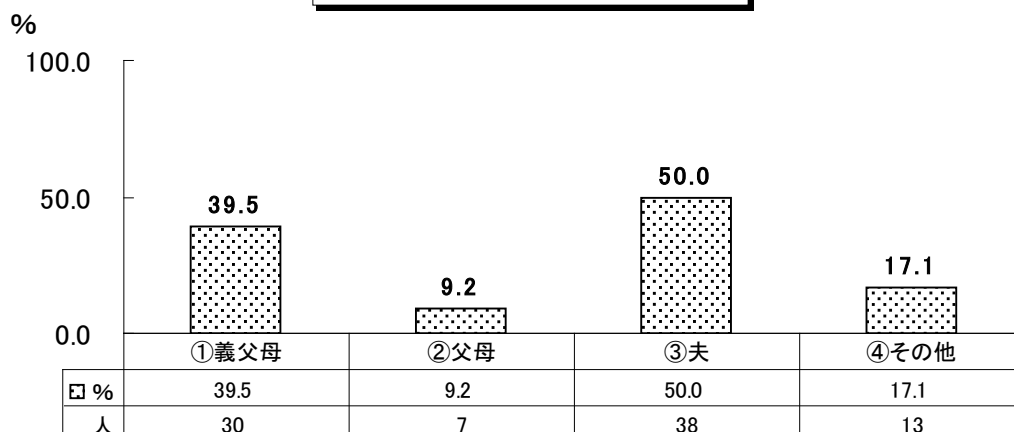


**Q19.あなたはどのようなことがストレスだと感じますか**



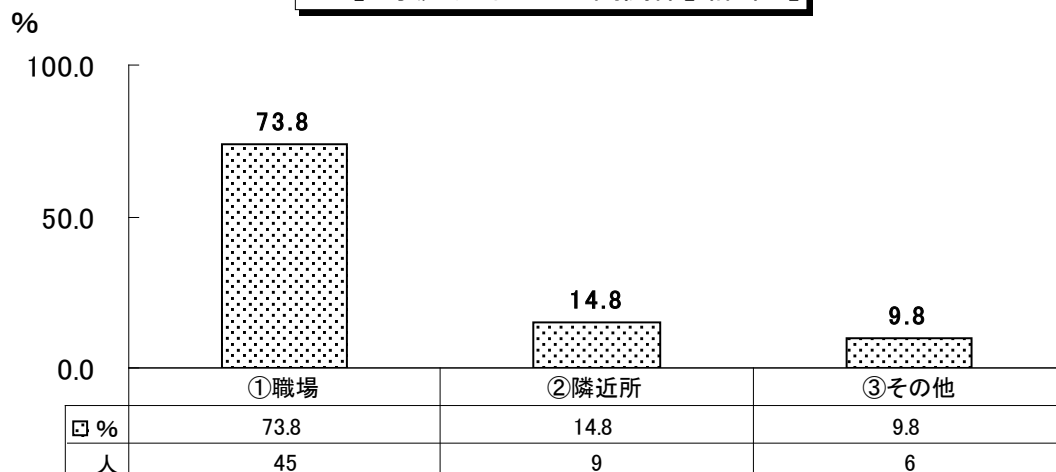
(○をつけた人の数 複数回答有り)

**Q19\_1.家庭での人間関係【詳細】**

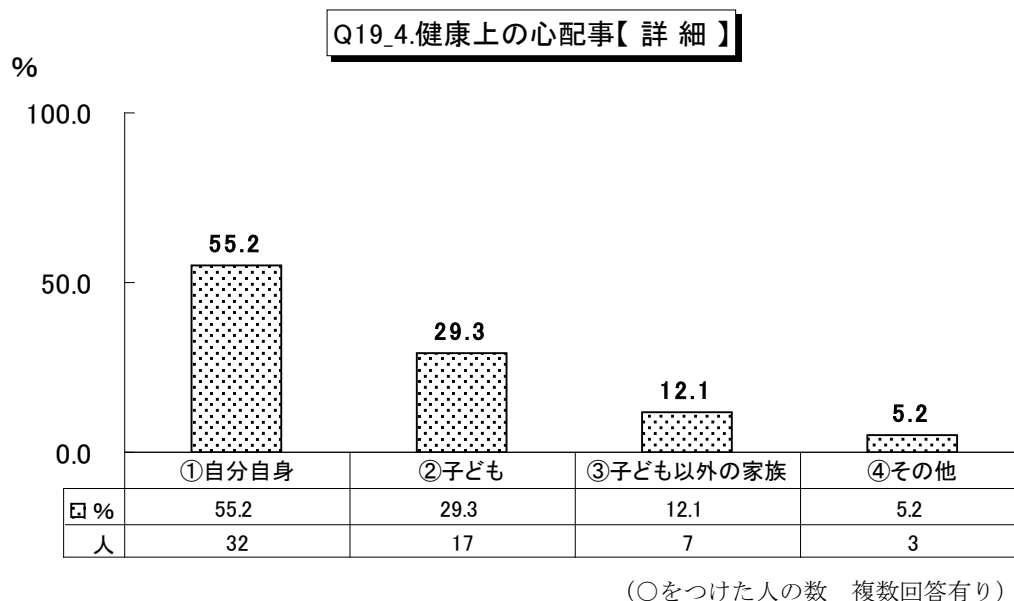


(○をつけた人の数 複数回答有り)

**Q19\_2.家庭以外での人間関係【詳細】**

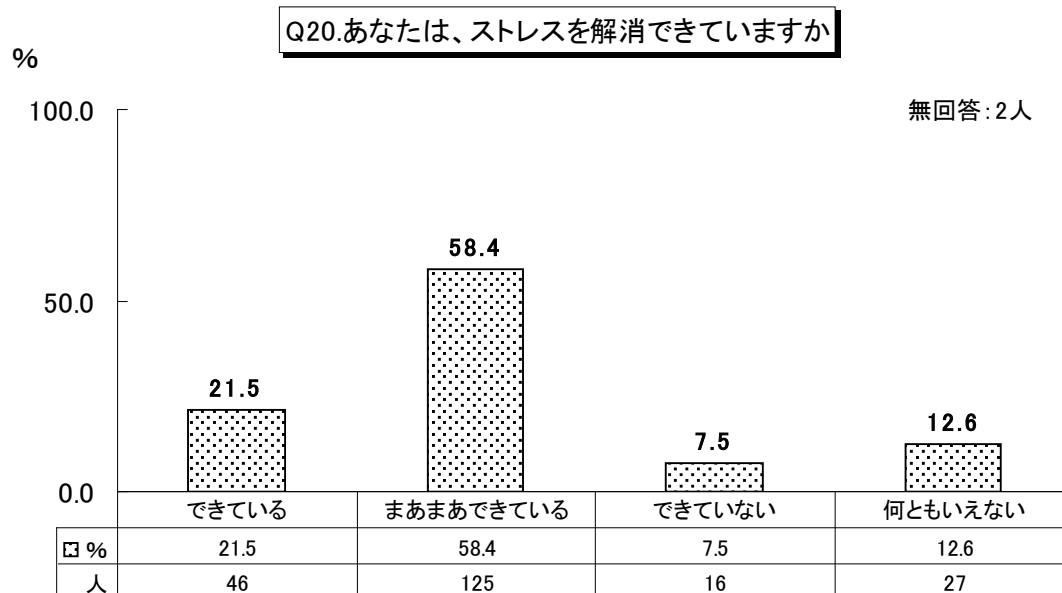


(○をつけた人の数 複数回答有り)



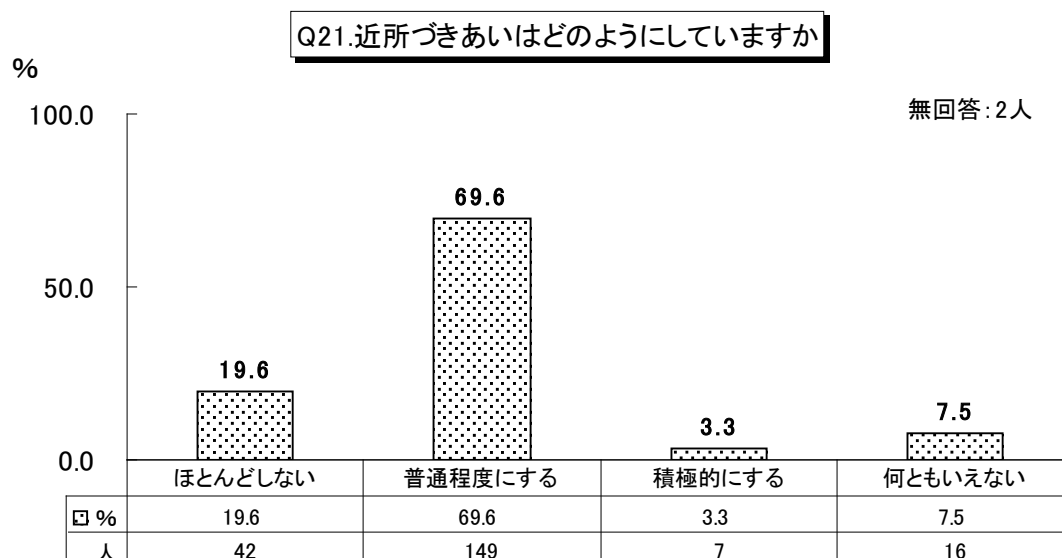
Q20. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



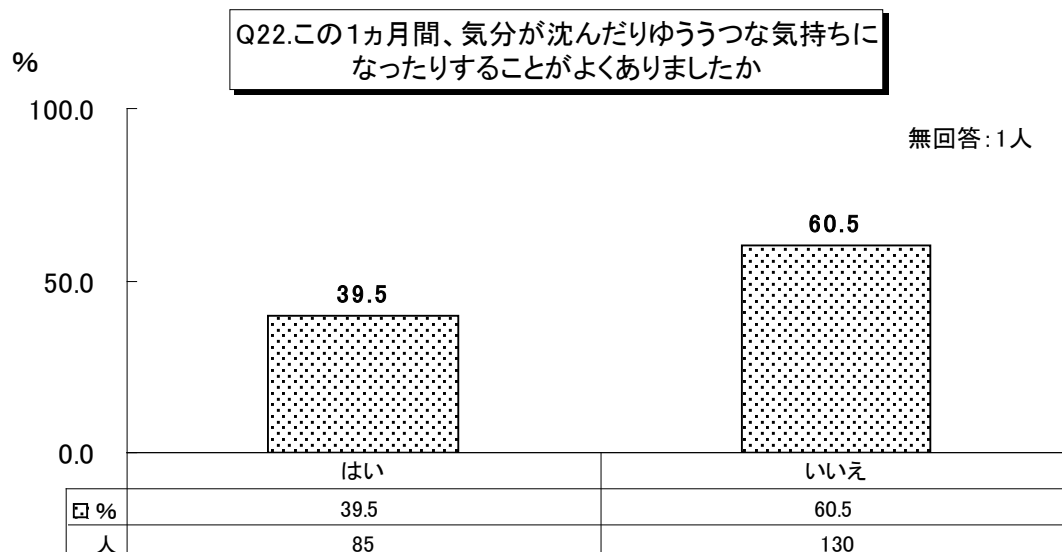
Q21. 近所づきあいはどのようにしていますか。

1. ほとんどしない 2. 普通程度にする 3. 積極的にする 4. 何ともいえない



Q22. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

1. はい 2. いいえ





#### IV. 調査結果（母子手帳交付時）

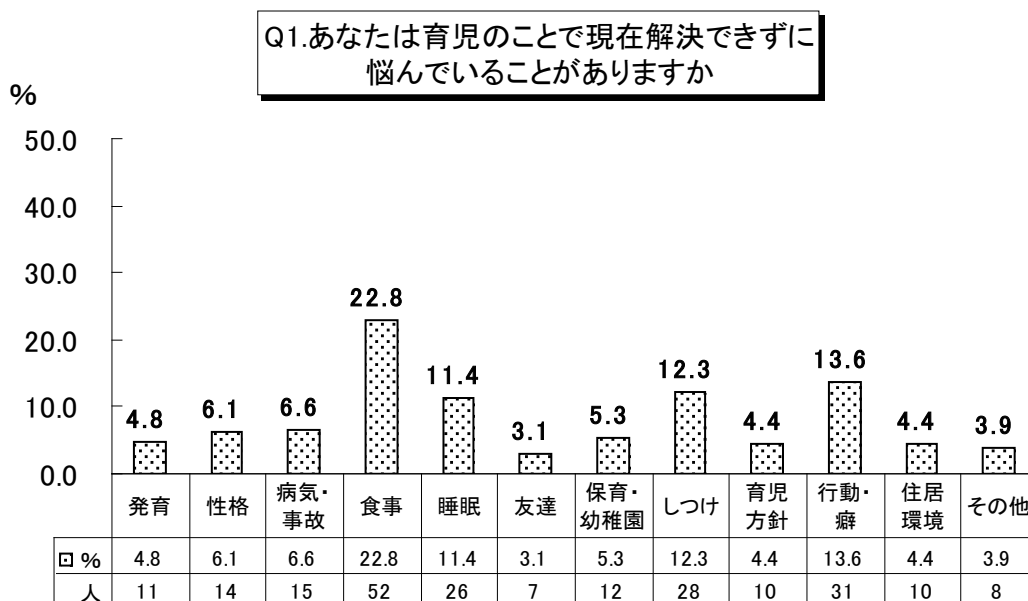
## IV-2.1 歳6ヶ月児健診時

#### IV. 調査結果（1歳6ヶ月児健診時）



Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ( )
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ( )
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ( )
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ( )
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ( )
- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ( )
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ( )
- ⑧しつけについて (トイレトレーニング含む) 1. ない 2. ある ( )
- ⑨保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ( )
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ( )
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ( )
- ⑫その他 1. ない 2. ある ( )

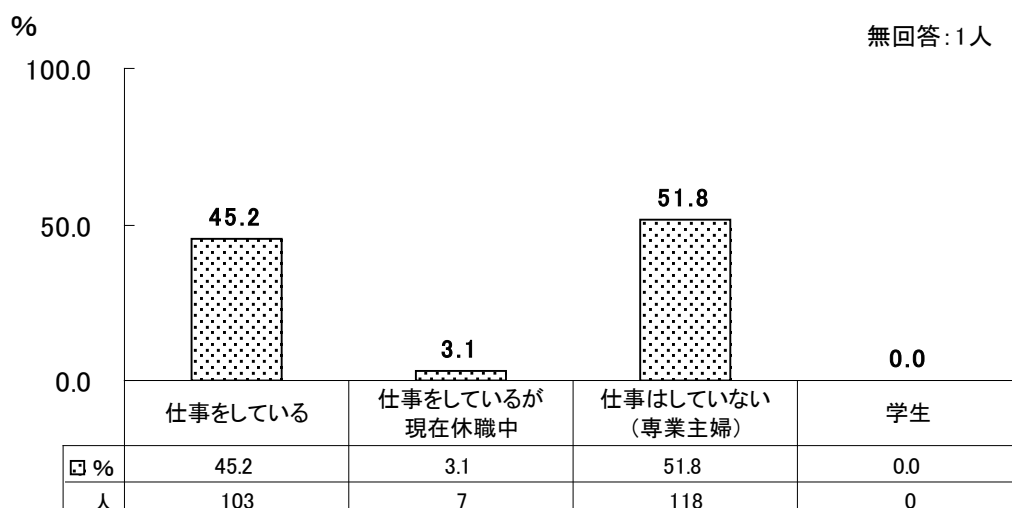


Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

1. 仕事をしている
2. 仕事はしているが現在休職中である
3. 仕事はしていない (専業主婦である)
4. 学生である

→3. 4. と答えた方は  
Q4. へお進みください

**Q2.あなたのお仕事の有無について**

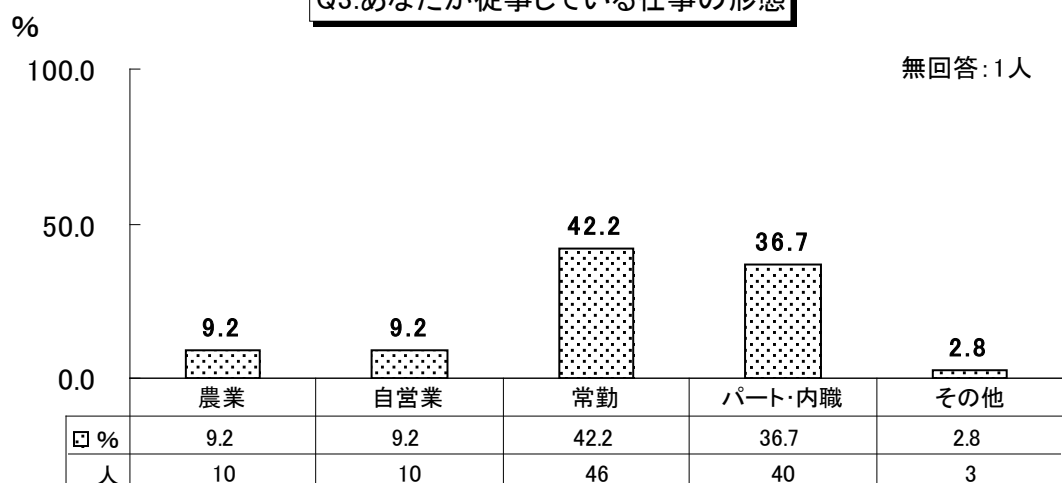


Q3. Q2で1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

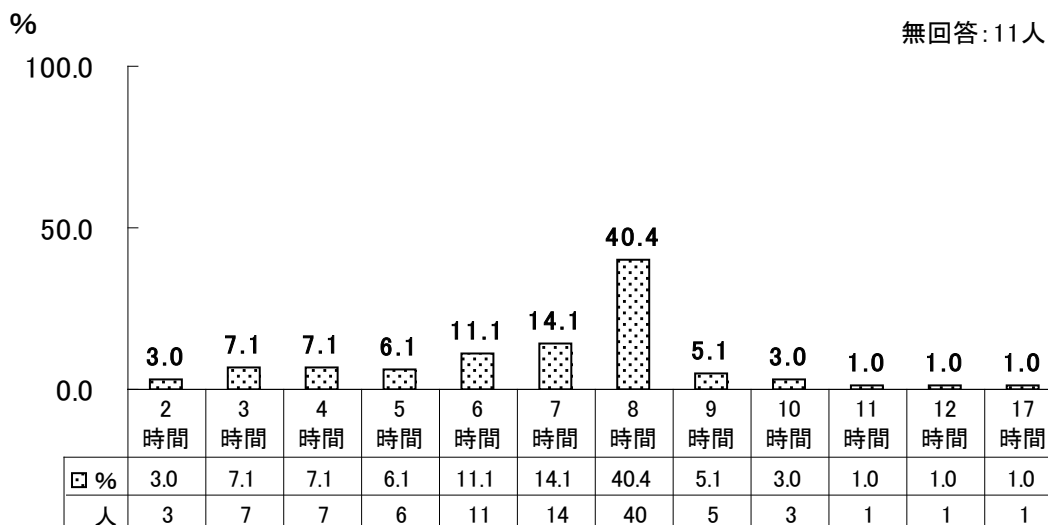
1. 農業
2. 自営業
3. 常勤
4. パート・内職
5. その他 ( )

**Q3.あなたが従事している仕事の形態**

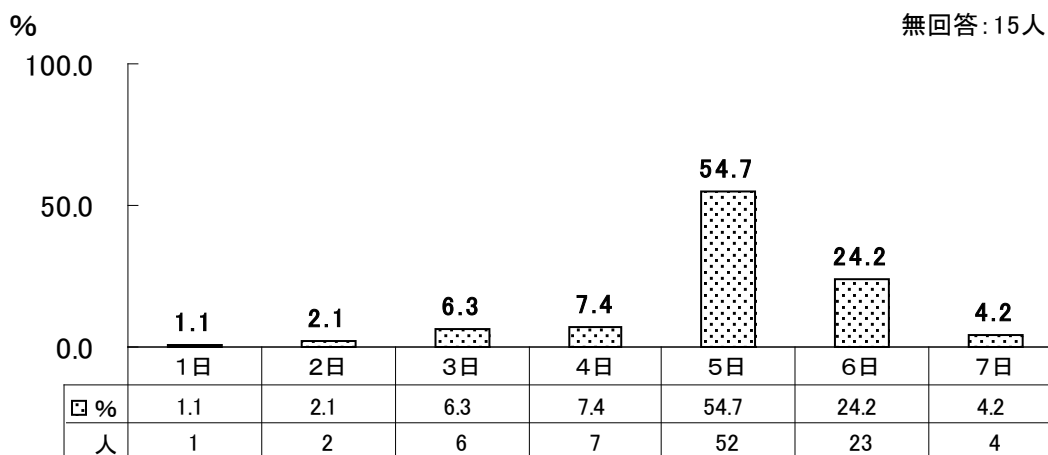


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 ( ) 時間 週 ( ) 日勤務

**Q3\_1.勤務時間/日(Q2.で1.2.と回答したもの)**



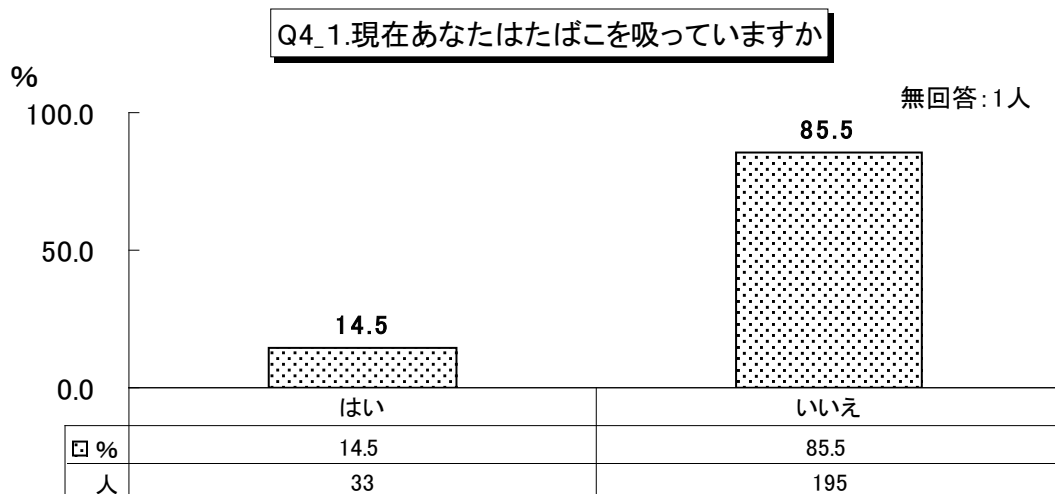
**Q3\_1.勤務日数/週(Q2.で1.2.と回答したもの)**



Q4. たばこについておききします。

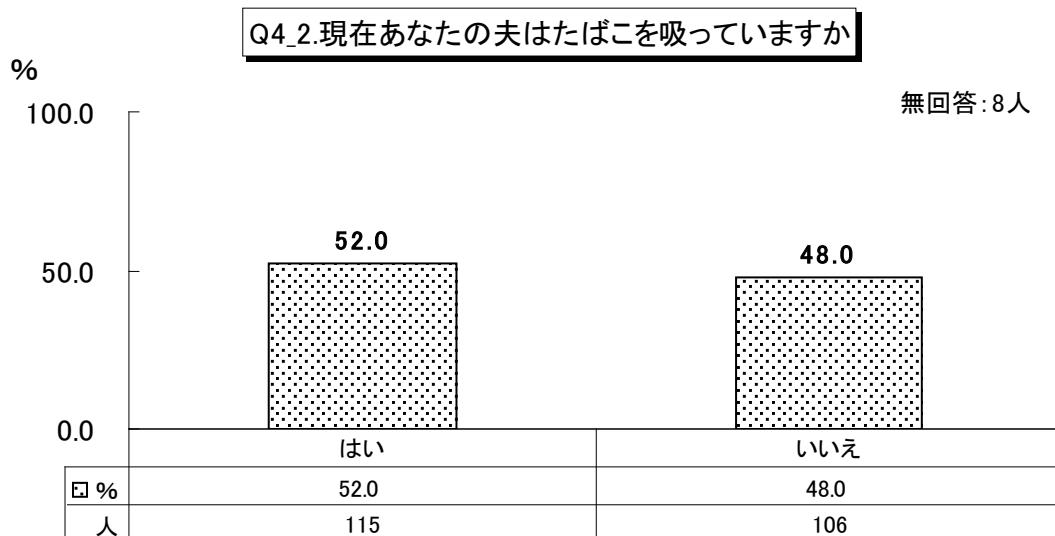
4-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。

1. はい                      2. いいえ



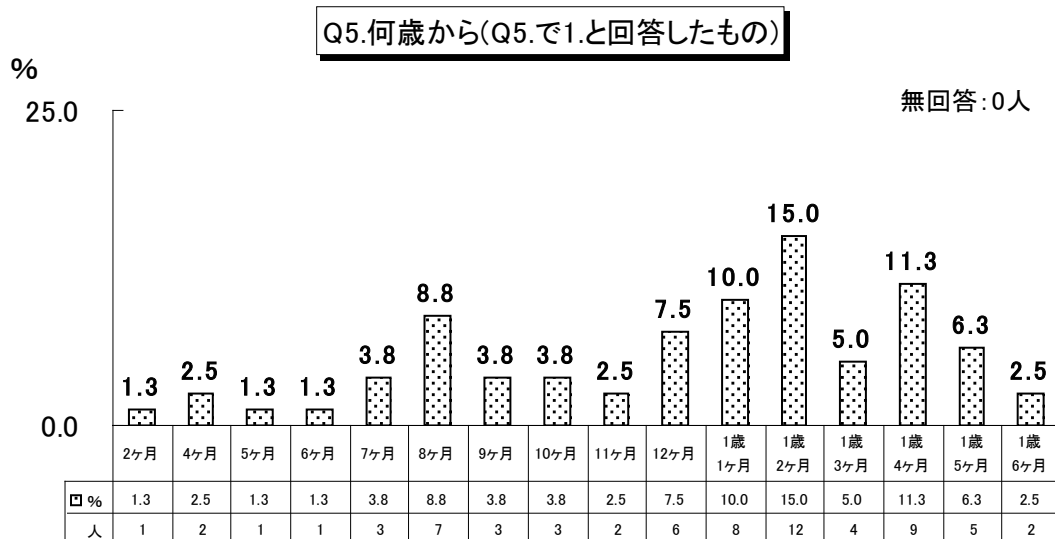
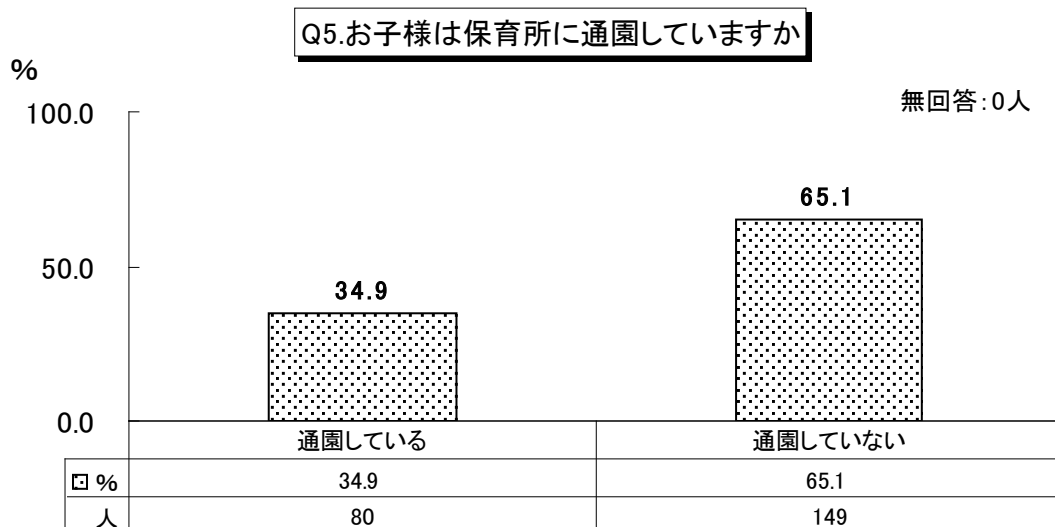
4-2. 現在あなたの夫はたばこを吸っていますか。

1. はい                      2. いいえ



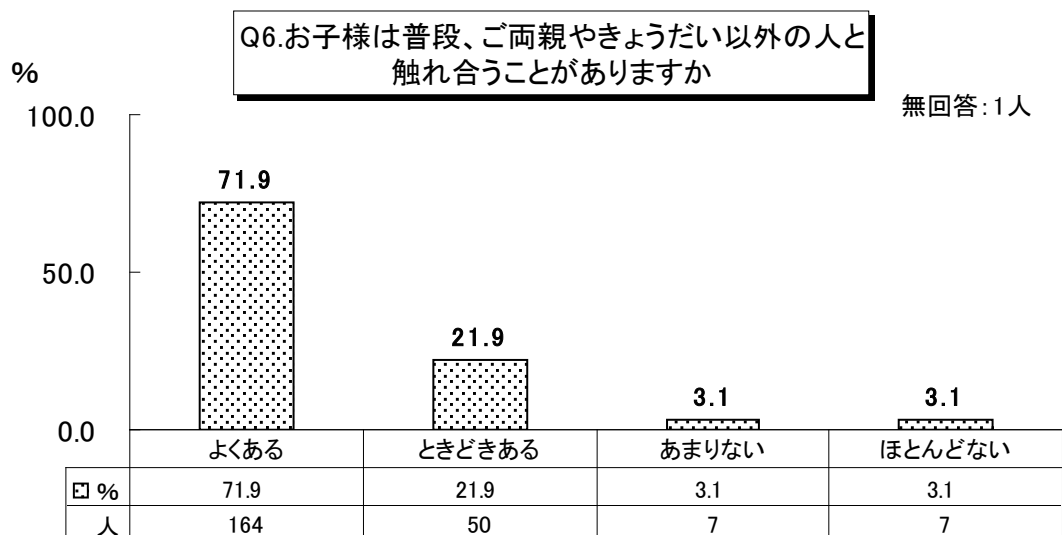
Q5. お子様は保育所に通園していますか。

1. 通園している ( 歳 カ月から)      2. 通園していない



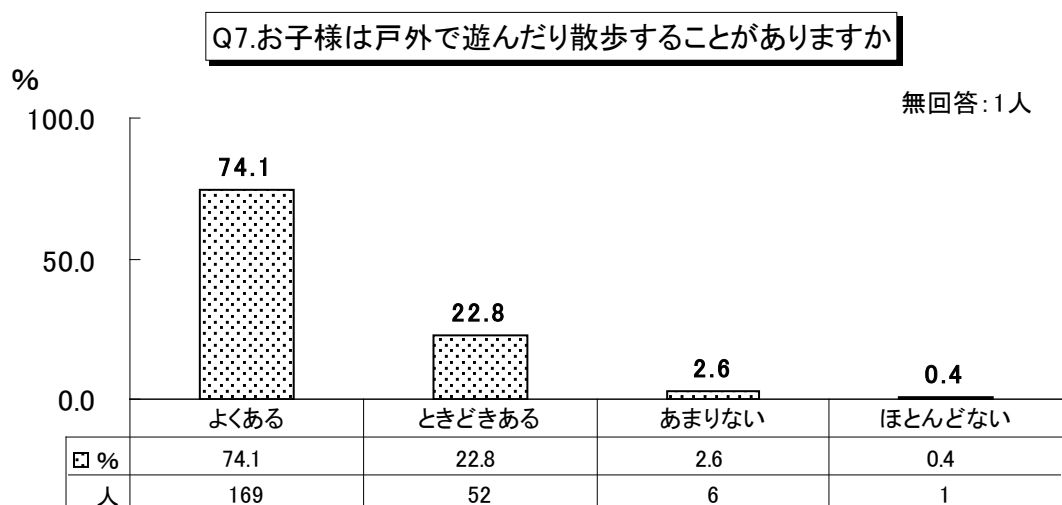
Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



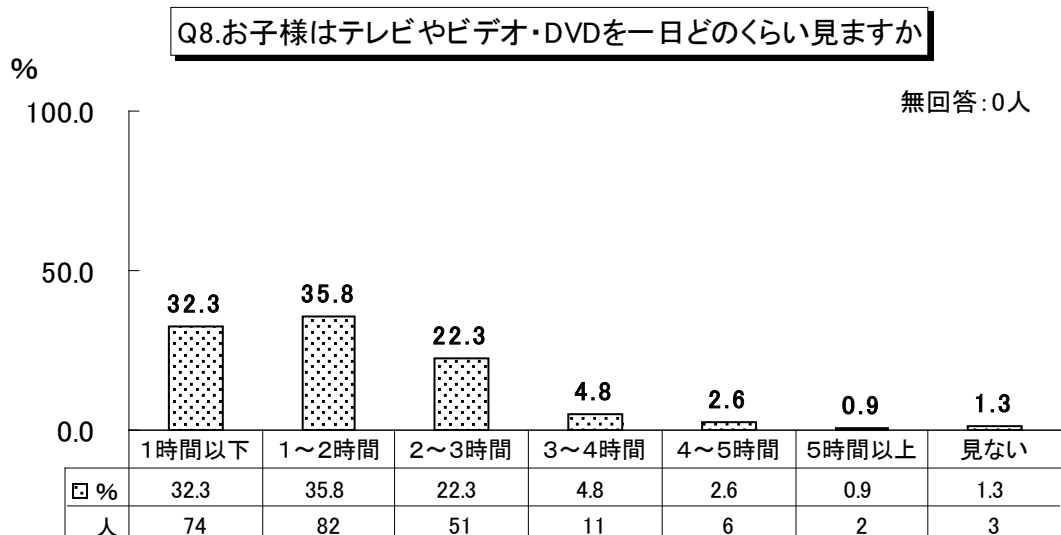
Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



Q8. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

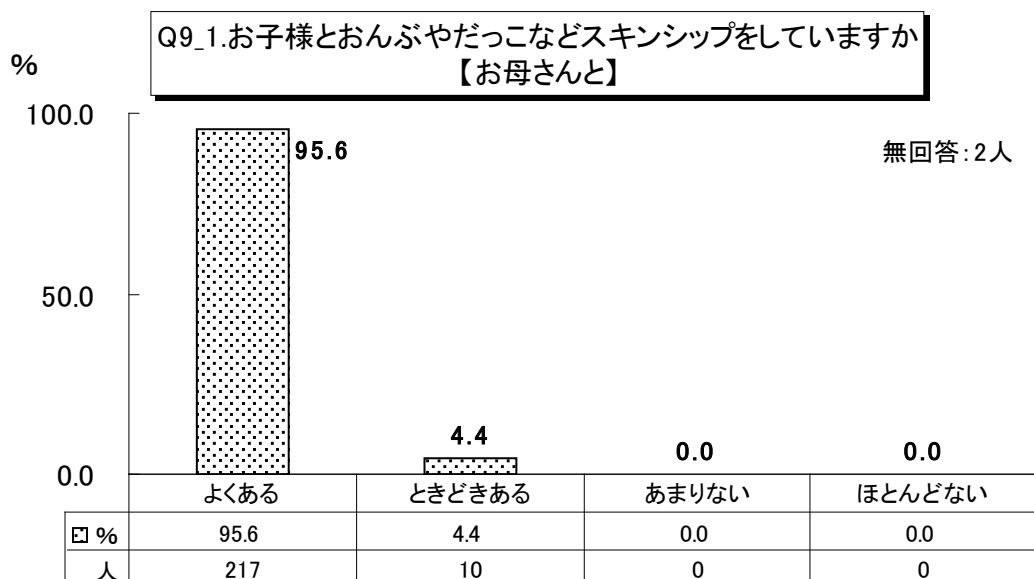
- 1. 1時間以下      2. 1～2時間      3. 2～3時間      4. 3～4時間
- 5. 4～5時間      6. 5時間以上      7. 見ない



Q9. お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか？お母さんとお母さん以外の  
の人についてそれぞれお答えください。

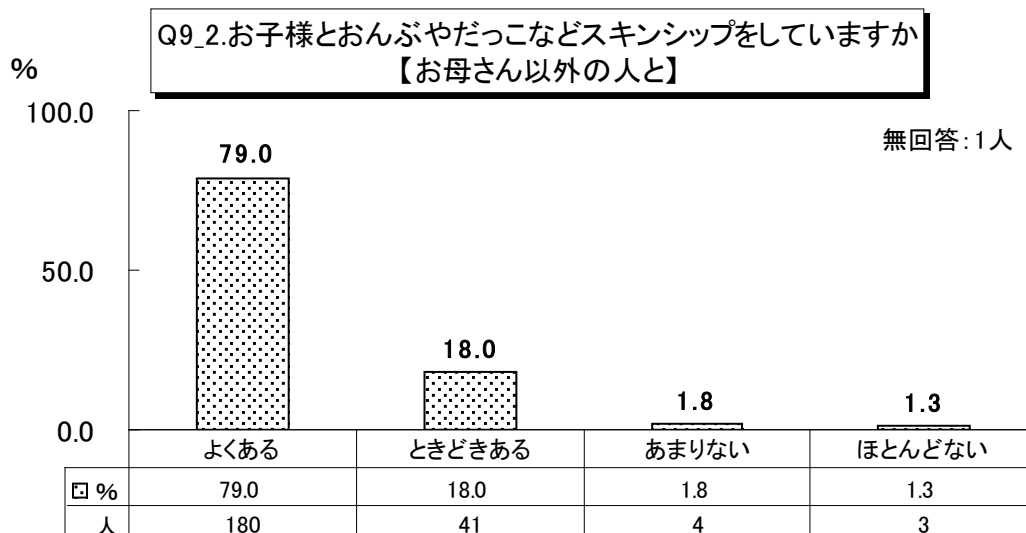
9-1. お母さんとはどうですか

- 1. よくある      2. ときどきある
- 3. あまりない      4. ほとんどない



9-2. お母さん以外の人とはどうですか

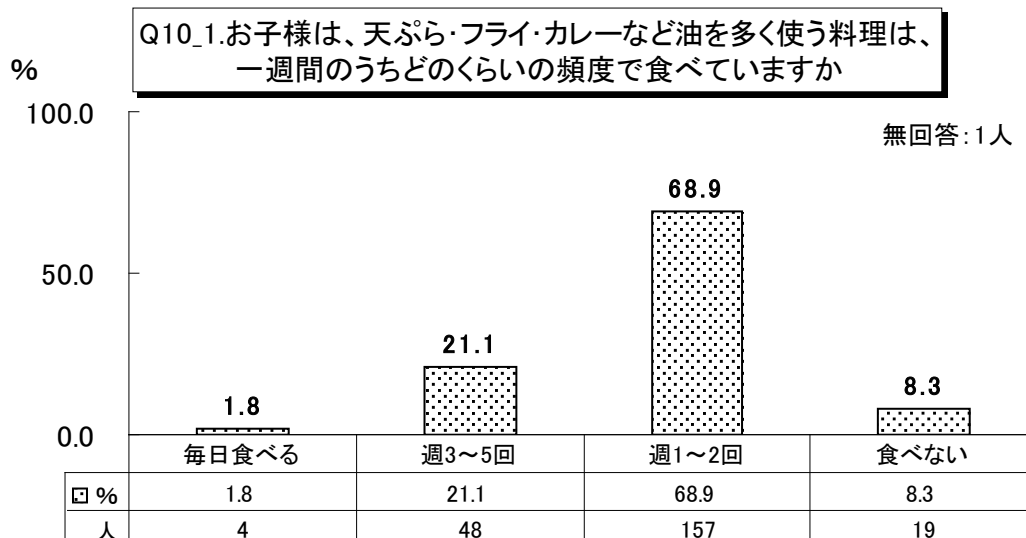
- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



Q10. お子様の食事について伺います。

10-1. お子様は天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。(それぞれの食品は単独ではなく、合わせて考えてください。)

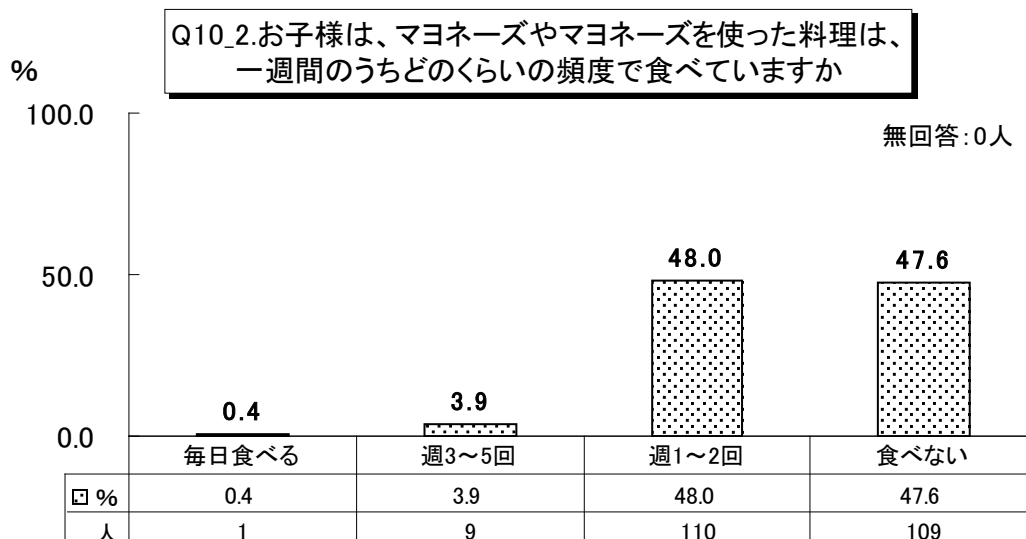
- 1. 毎日食べる
- 2. 週3~5回
- 3. 週1~2回
- 4. 食べない





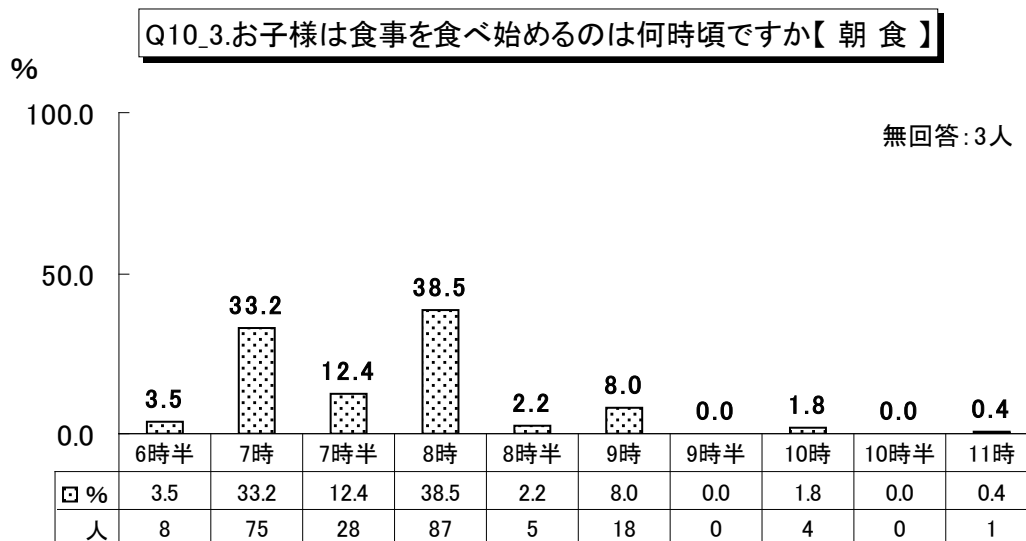
10-2. お子様はマヨネーズやマヨネーズを使った料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない

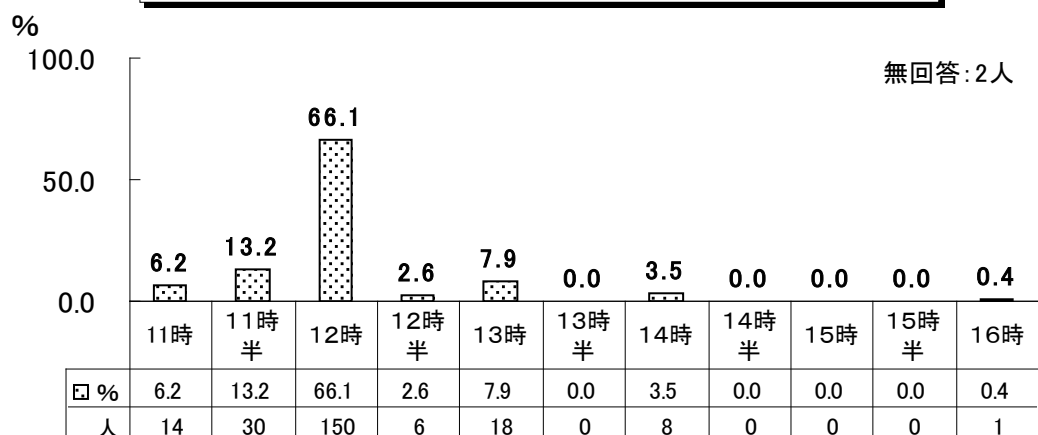


10-3. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

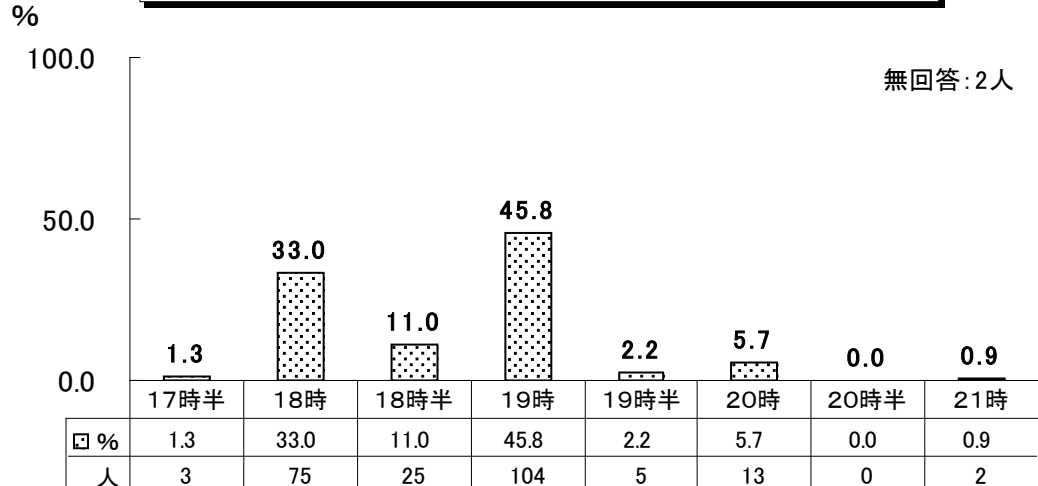
- 朝食            (            ) 時 ころ  
 昼食            (            ) 時 ころ  
 夕食            (            ) 時 ころ



**Q10\_3.お子様は食事を食べ始めるのは何時頃ですか【昼食】**

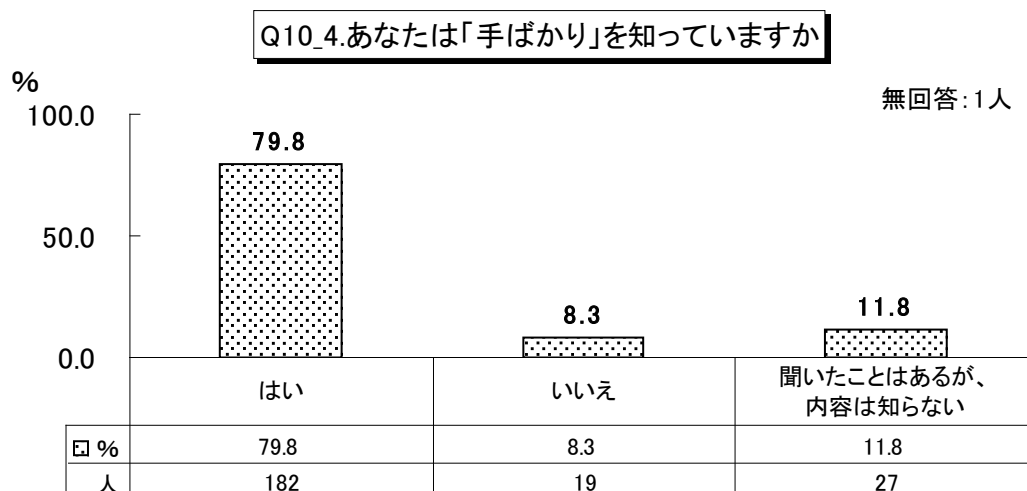


**Q10\_3.お子様は食事を食べ始めるのは何時頃ですか【夕食】**



10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

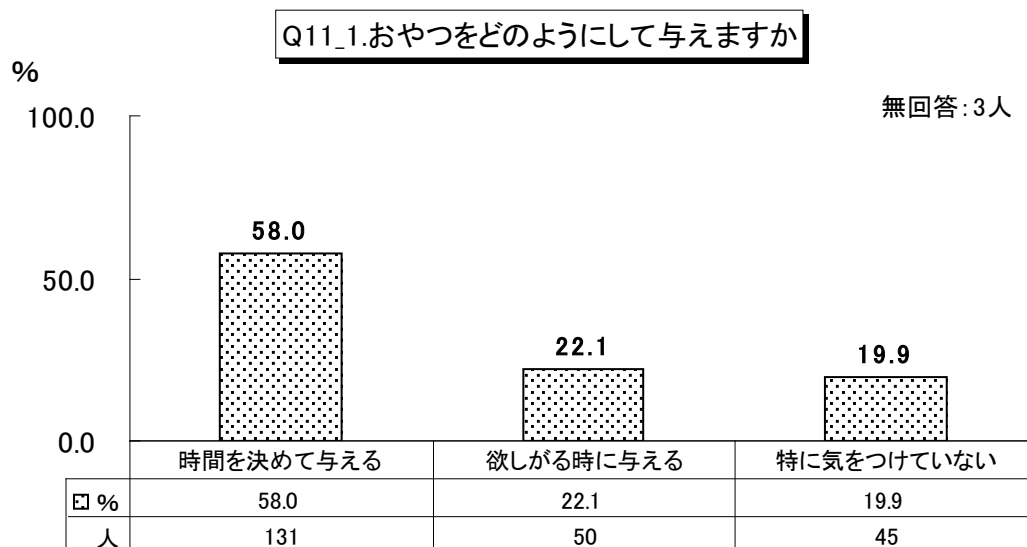
1. はい                      2. いいえ                      3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q11. お子様のおやつについてうかがいます。

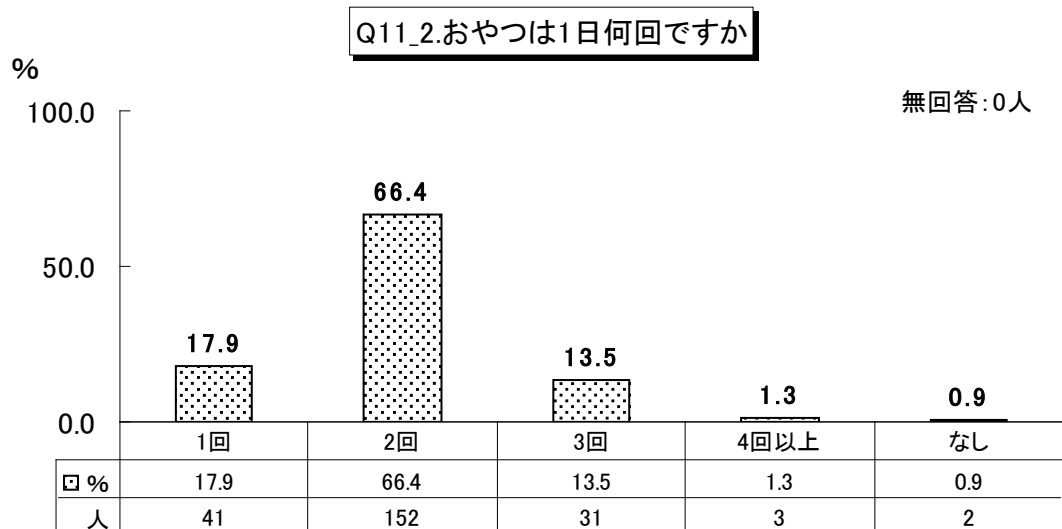
11-1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える  
2. ほしがる時に与える  
3. 特に与え方に気をつけていない



11-2. おやつは1日何回ですか。

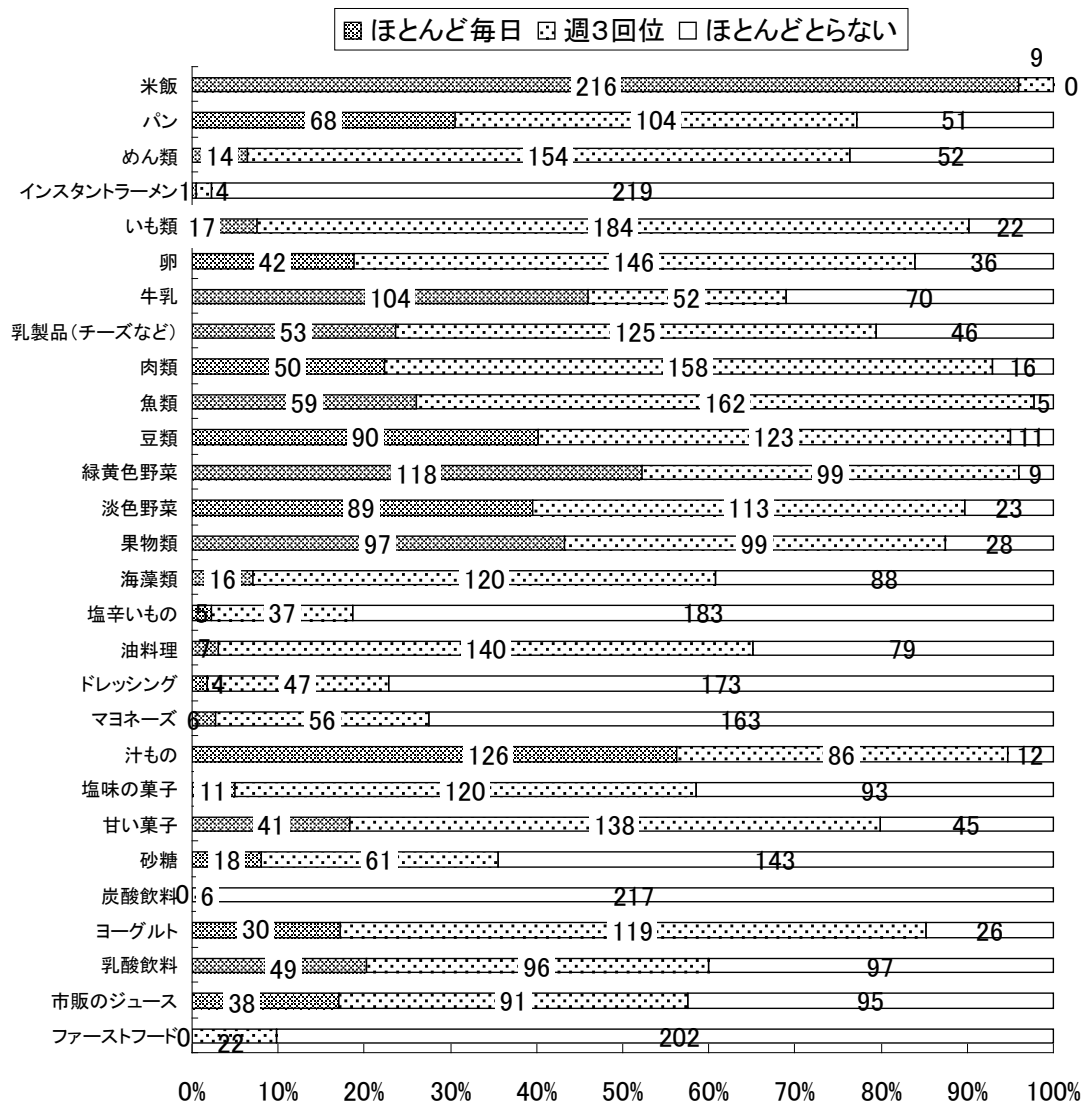
1. 1回      2. 2回      3. 3回      4. 4回以上      5. なし



Q12.お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

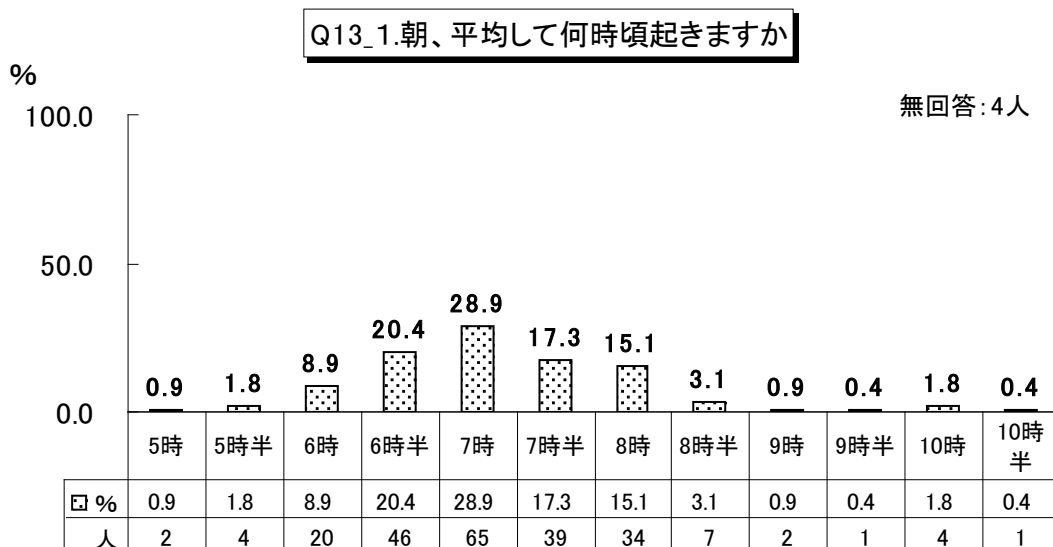
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れる ものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q12.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい

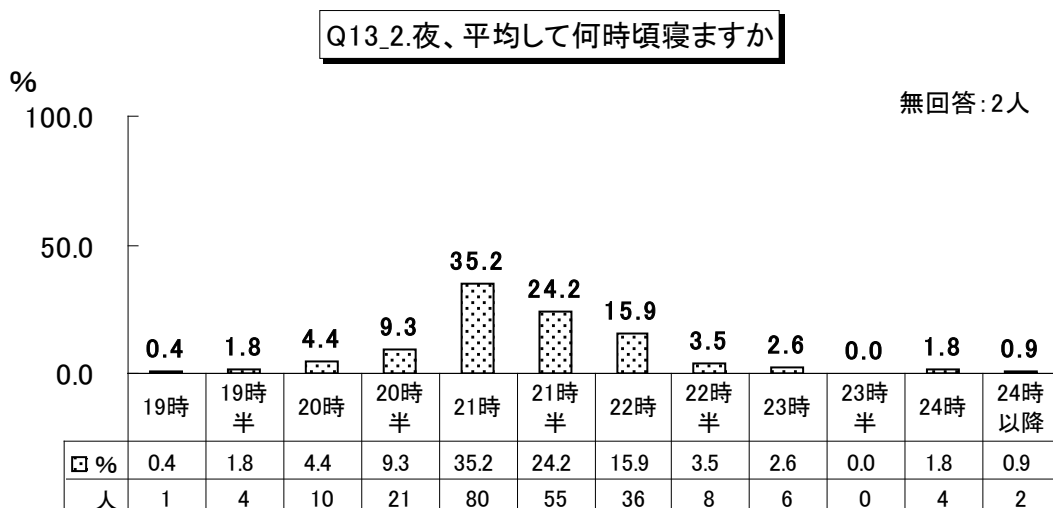


Q13. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

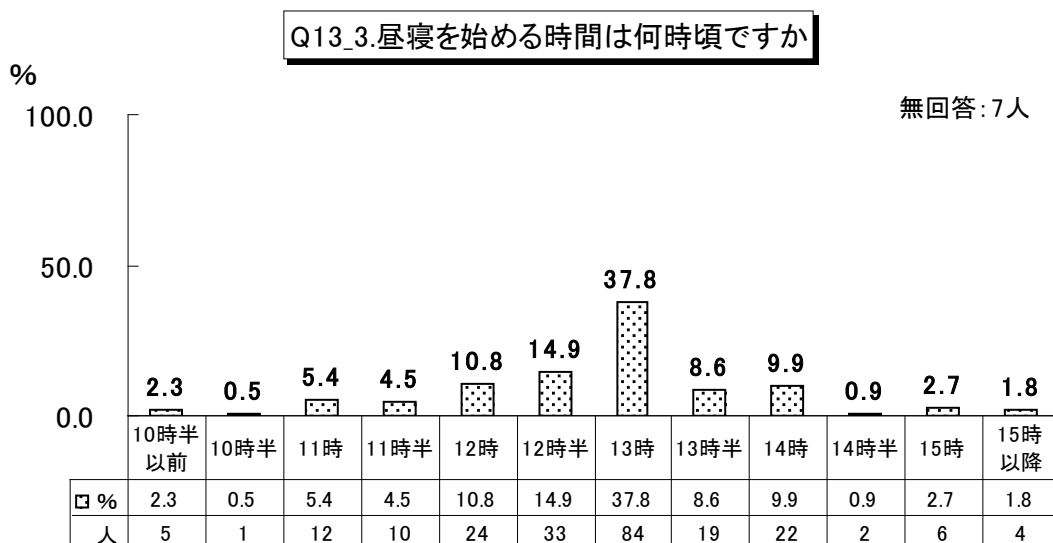
13-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか ( ) 時 ( ) 分ころ



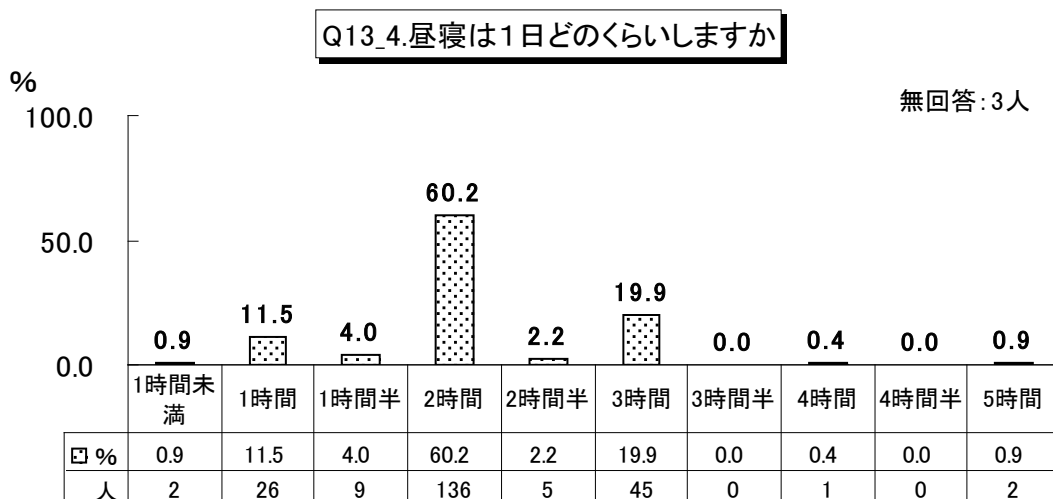
13-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか ( ) 時 ( ) 分ころ



13-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか ( ) 時 ( ) 分ころ

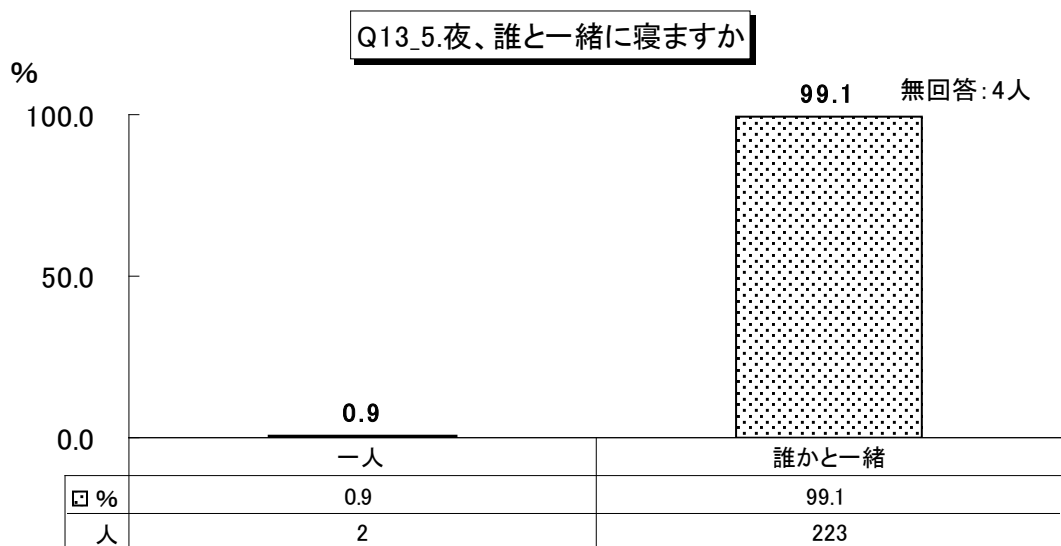


13-4. 昼寝は一日どのくらいしますか ( ) 時間位



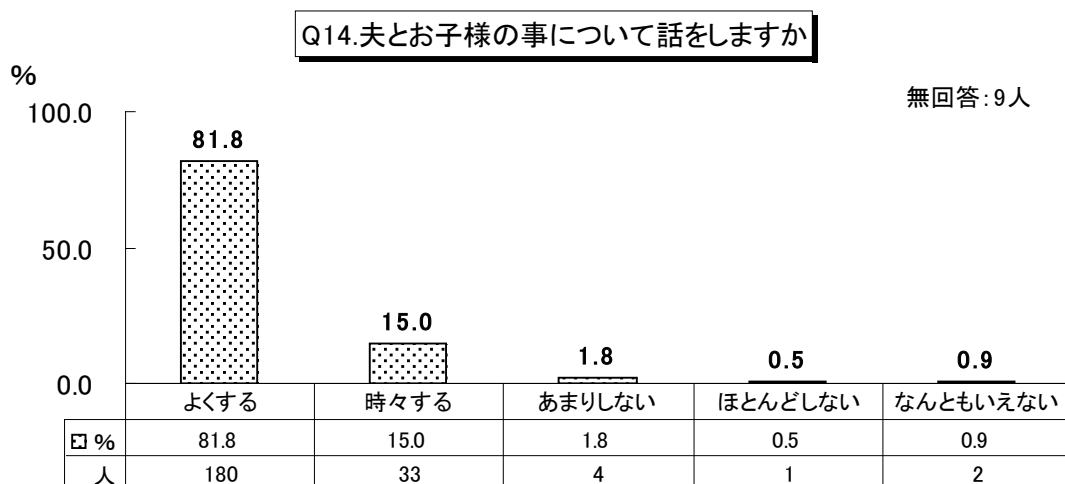


13-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 : )



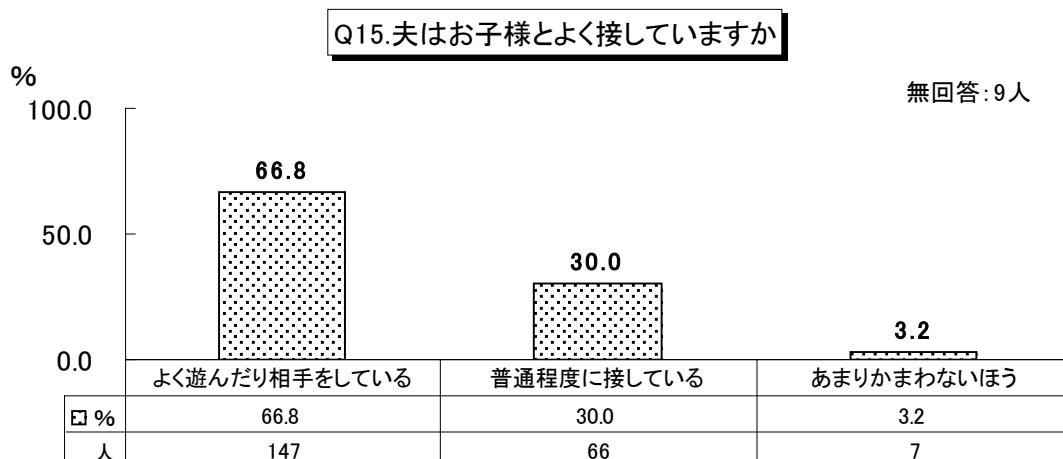
Q14. 夫とお子様のことについて話をしますか。

- 1. よくする                      2. 時々する                      3. あまりしない
- 4. ほとんどしない              5. なんともいえない



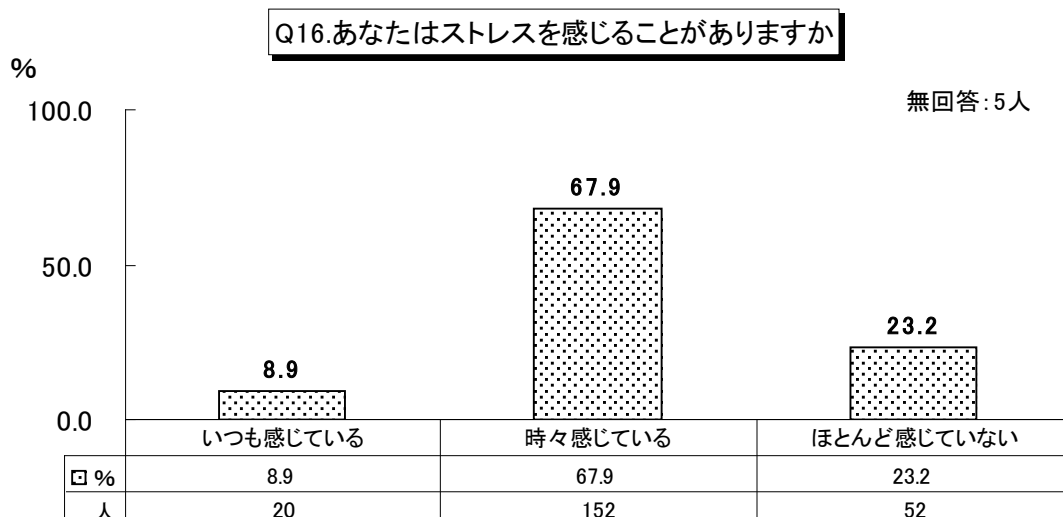
Q15. 夫はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである

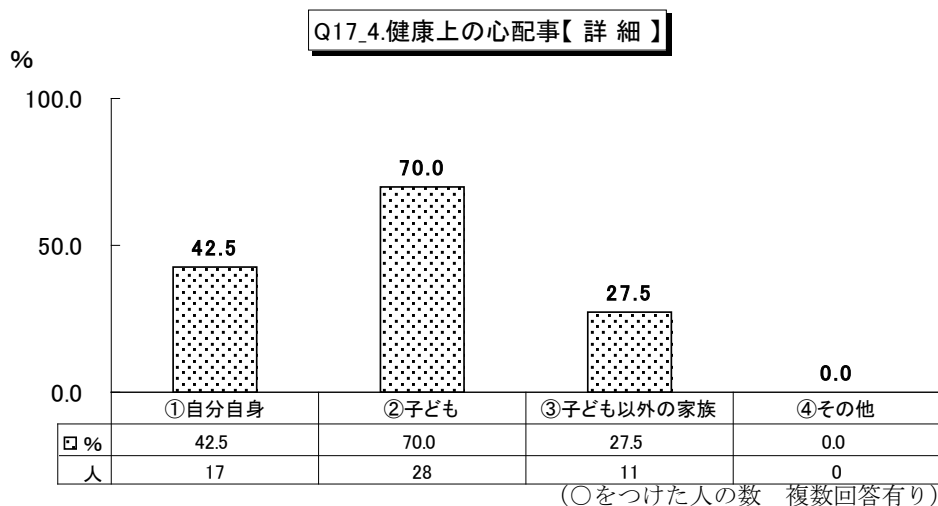
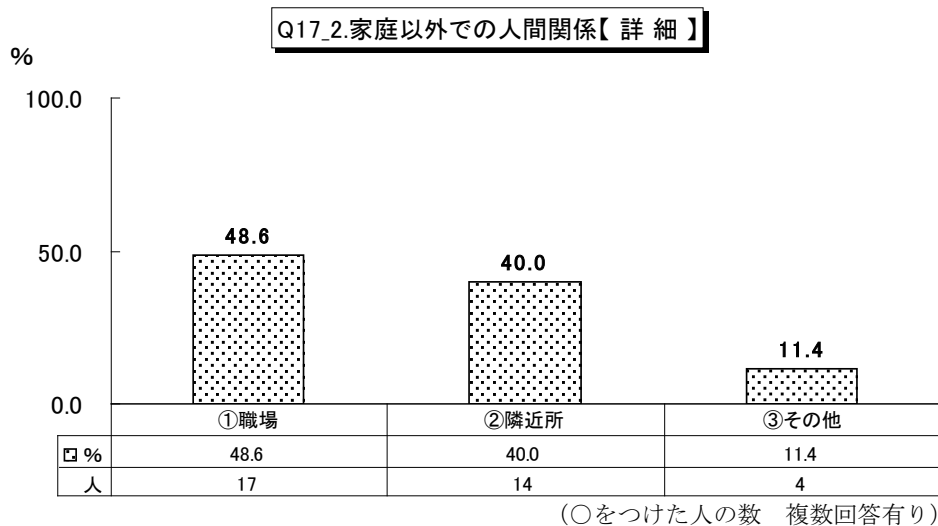


Q16. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

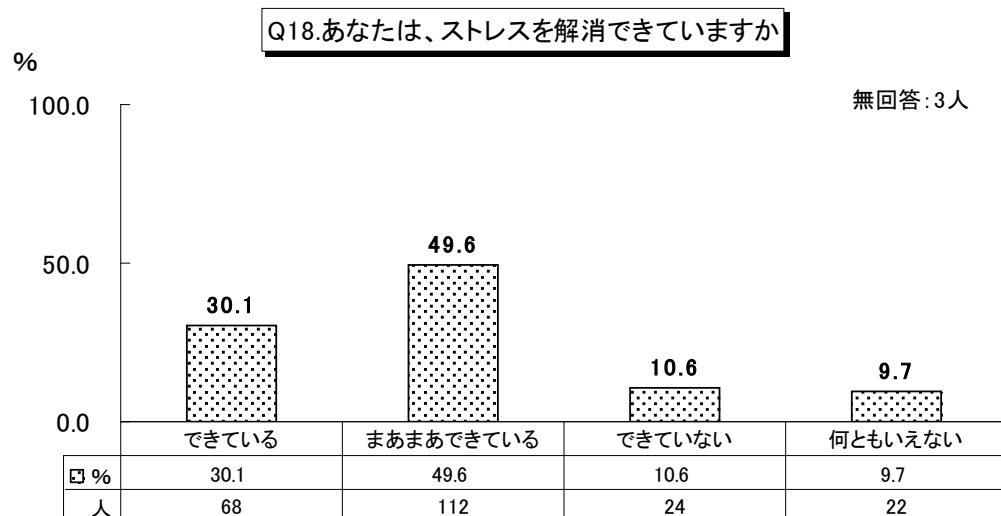






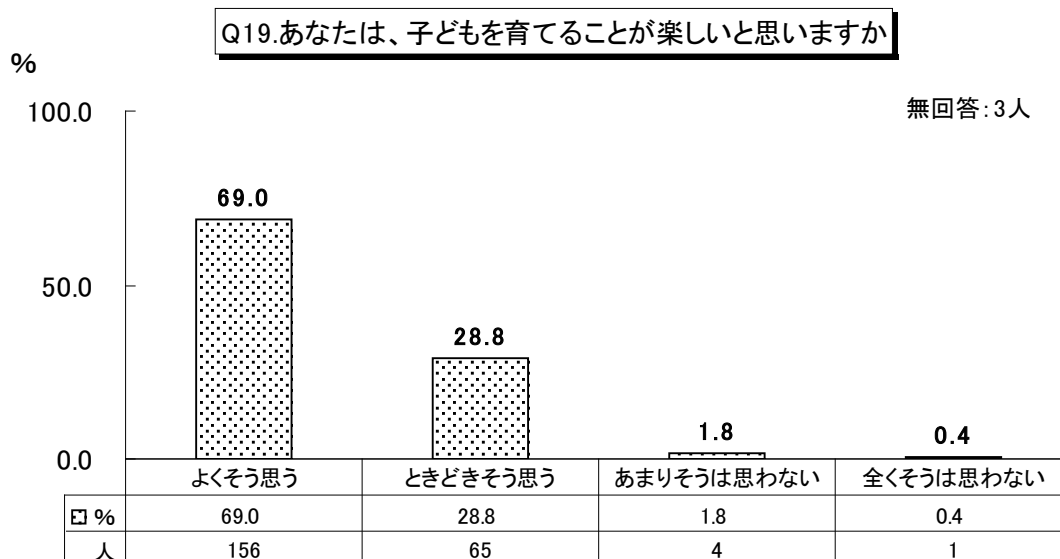
Q18. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



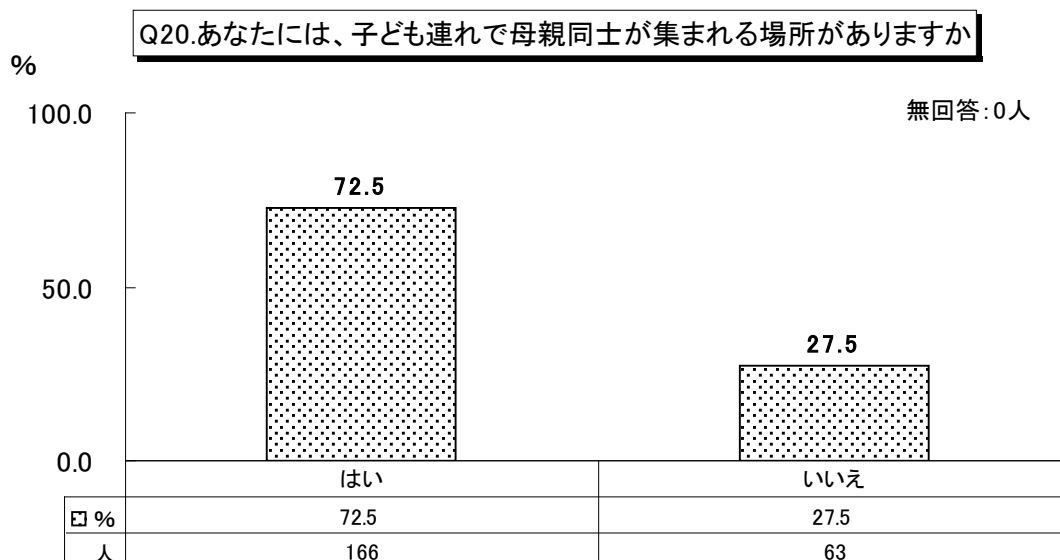
Q19. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

- 1. よくそう思う
- 2. ときどきそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 全くそうは思わない



Q20. あなたには、子ども連れで母親同士が集まれる場所がありますか。

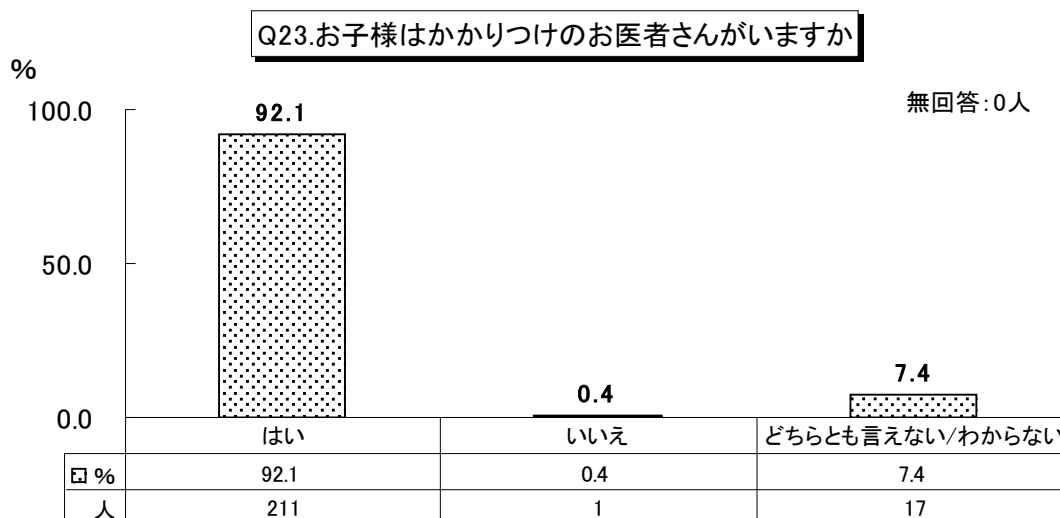
- 1. はい
- 2. いいえ





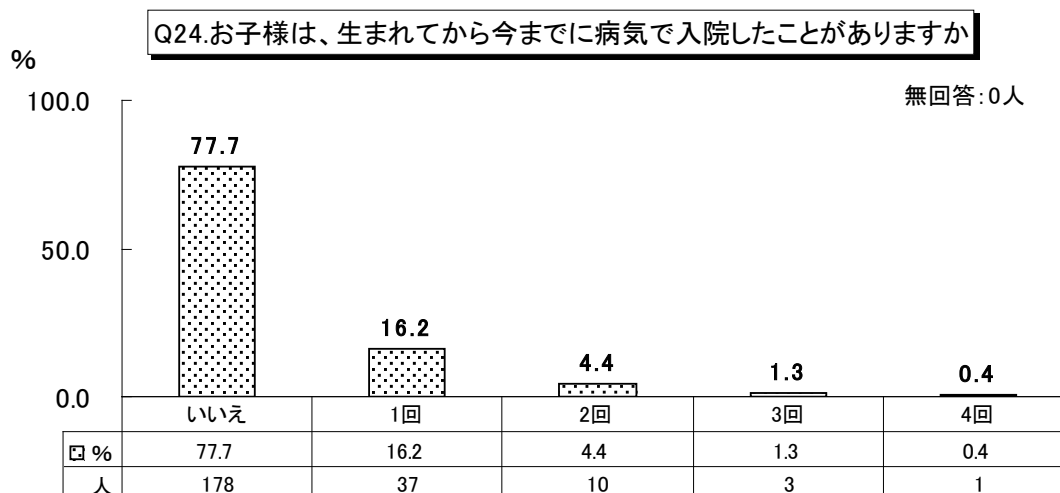
Q23. お子様はかかりつけのお医者さんがいますか。

1. はい                      2. いいえ                      3. どちらともいえない/わからない



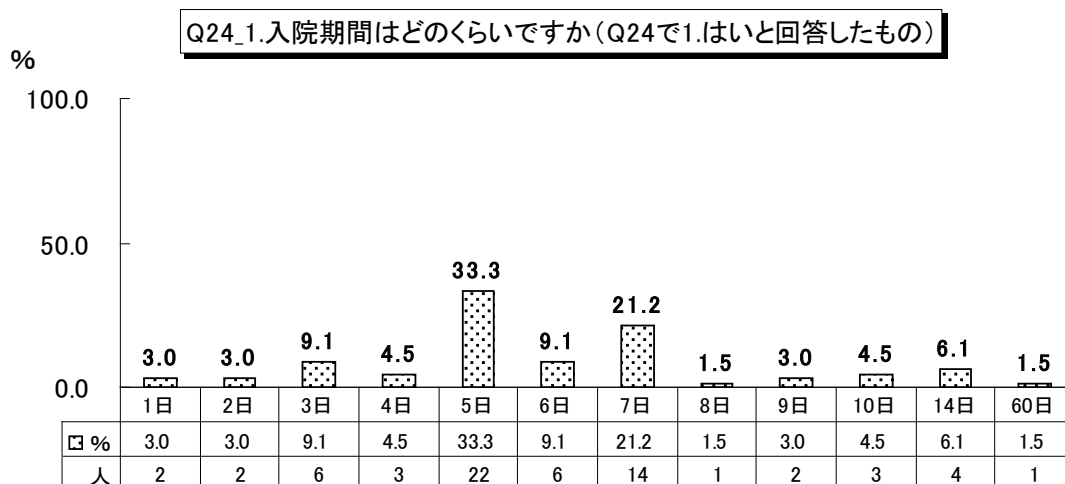
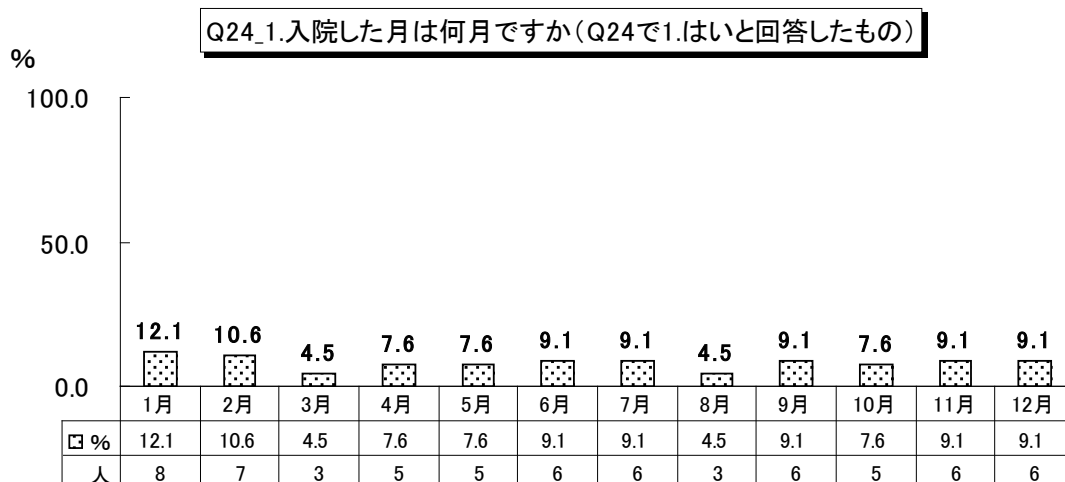
Q24. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (                      回)  
2. いいえ



24-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入ください

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	( 日間)	( 日間)	( 日間)
病名	( )	( )	( )
医療機関名	( )	( )	( )





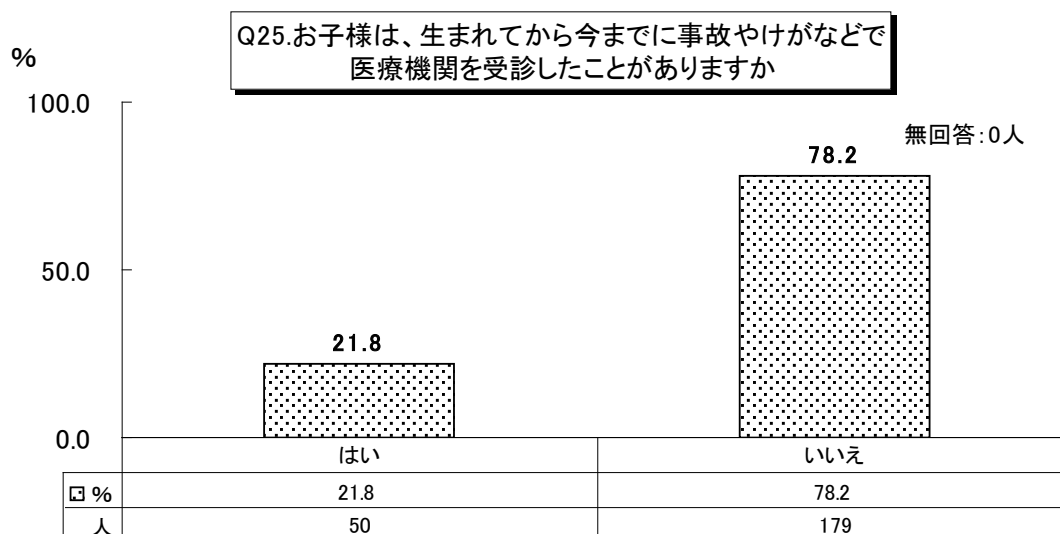
## IV. 調査結果（1歳6ヶ月児健診時）

病名	人	病名	人
肺炎	12	EBウイルス	1
風邪	8	ボタン電池誤飲	1
気管支炎	7	胃腸炎	1
熱性けいれん	5	下痢でお尻がただれて	1
RSウイルス	4	甲状腺・成長不良	1
口唇裂	4	心臓カテ	1
アペール症候群	3	神経芽腫	1
ロタウイルス	3	先天性水腎症	1
発熱	3	川崎病	1
クループ	2	中耳炎	1
腸重積	2	発疹・脱水	1
		未熟児	1

Q25. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

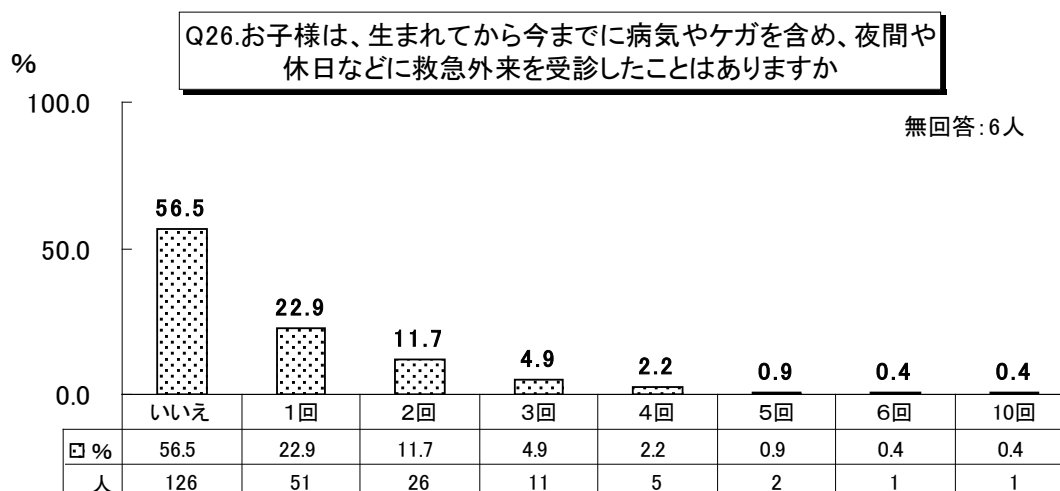
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます。)

1. はい
2. いいえ



Q26. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (                      回)
2. いいえ



26-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
( )	( )
( )	( )
( )	( )
( )	( )

救急病名	人	救急病名	人
風邪	40	プール熱	1
発熱	35	咽頭炎	1
突発性発疹	7	下痢	1
ロタウイルス	4	階段から落ちて鼻と口から出血	1
嘔吐	4	左ひじ脱臼	1
ヘルパンギーナ	3	指をはさんだ	1
熱性けいれん	3	手首をふまれる	1
RSウイルス	2	上唇を切った	1
インフルエンザ	2	食物アレルギー	1
クループ	2	先天性甲状腺機能低下症	1
気管支炎	2	川崎病	1
急性胃腸炎	2	脱臼	1
頭をぶつけた	2	中耳炎	1
お茶に指入れ火傷	1	吐血	1
じんましん	1	発疹	1
ドアに手を挟む	1	鼻をぶつけて鼻血	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

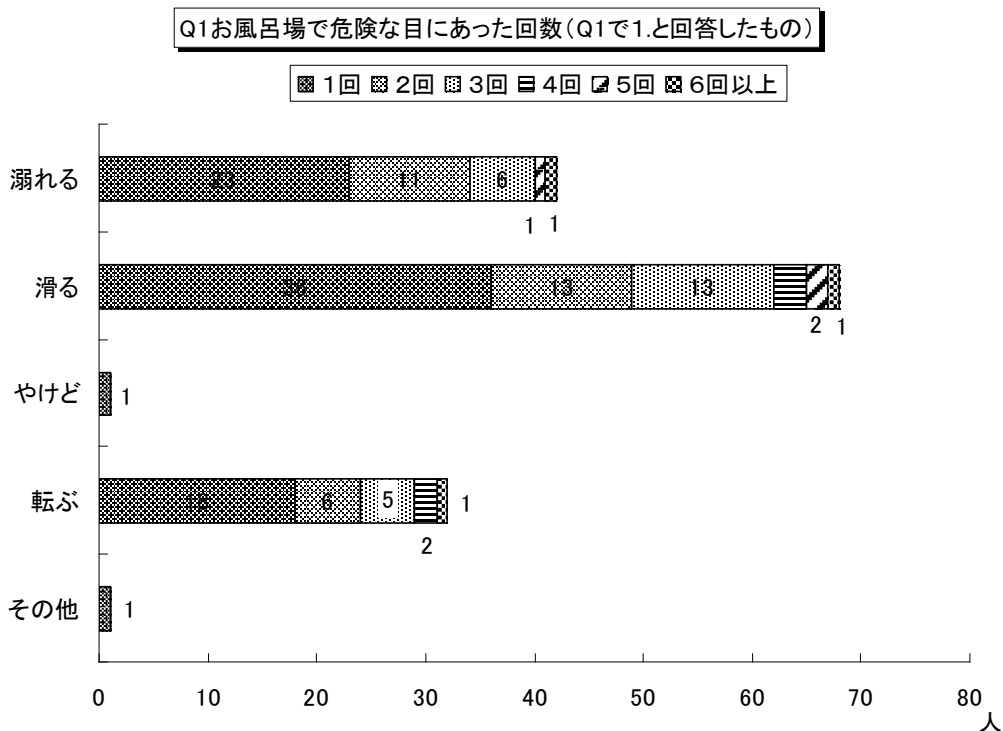
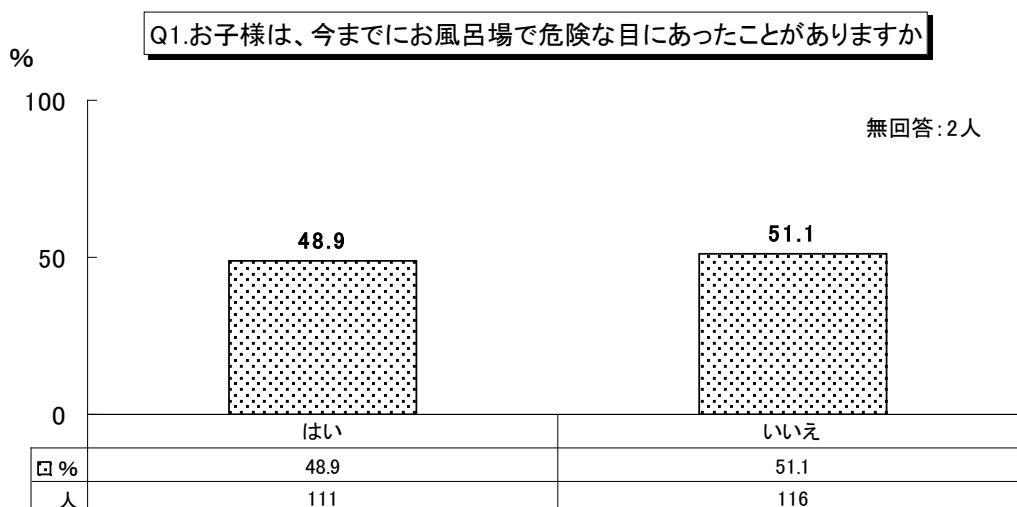
A large empty rectangular box with a thin black border, intended for handwritten input. It occupies the lower half of the page.

子どもの事故について環境の調査

Q1. お子様は、今までにお風呂場で危険な目にあつたことがありますか。

(お風呂場でおぼれかかった、すべった、やけどなど)

1. はい
  - ア. おぼれた ( ) 回
  - イ. すべった ( ) 回
  - ウ. やけど ( ) 回
  - エ. ころんだ ( ) 回
  - オ. その他 ( ) 回
2. いいえ

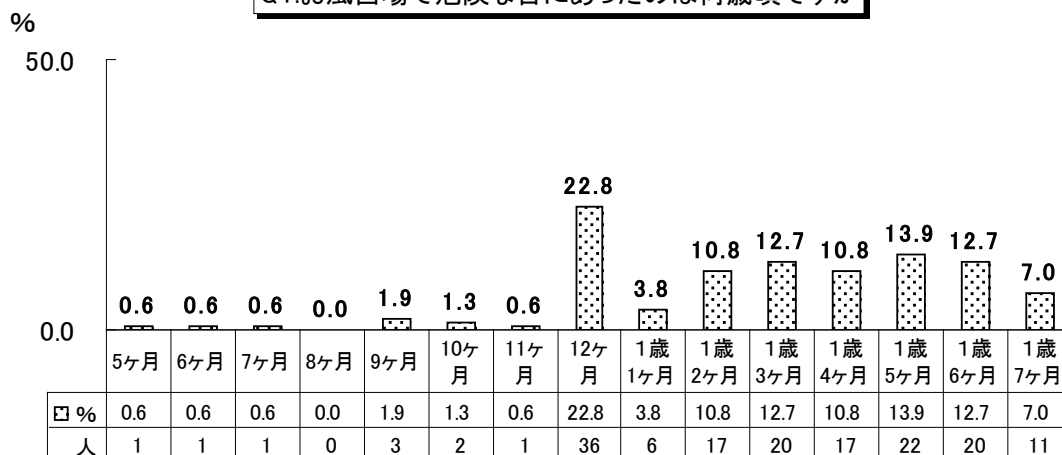


IV. 調査結果（1歳6ヶ月児健診時）

上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入ください。

	1回目	2回目	3回目
何歳頃でしたか	歳 カ月頃	歳 カ月頃	歳 カ月頃
いつでしたか	ア. 平日 イ. 休日	ア. 平日 イ. 休日	ア. 平日 イ. 休日
何時頃でしたか	午前・午後（ ）時頃	午前・午後（ ）時頃	午前・午後（ ）時頃
どんな状況でしたか			
病院受診したか	受診した・しない	受診した・しない	受診した・しない

Q1.お風呂場で危険な目にあったのは何歳頃ですか



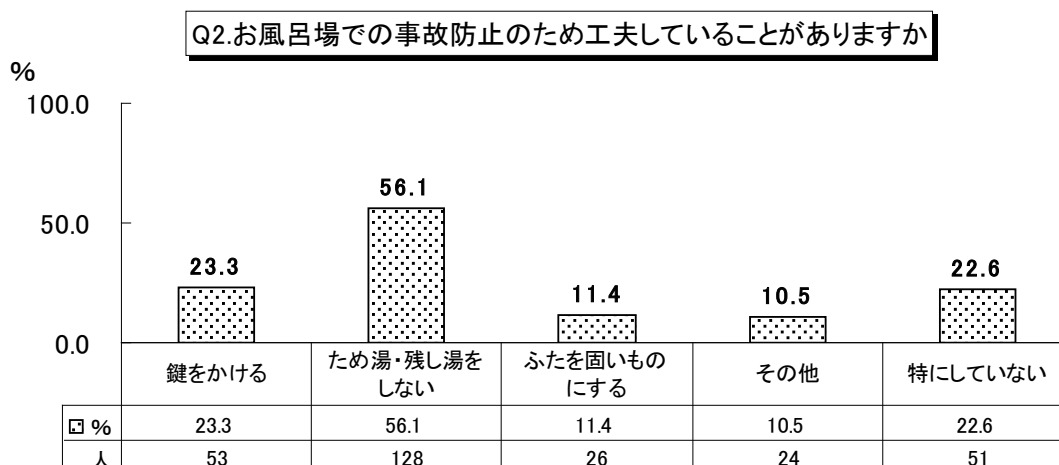
## IV. 調査結果 (1歳6ヶ月児健診時)

事故状況	人	事故状況	人
おぼれかかった	1	目を離したら湯舟でおぼれていた	1
おもちゃで遊んでいて足踏みをしたら滑った	1	体を洗っている時	9
お風呂に入る時	1	段差に躓いた	2
お風呂の中で滑った	3	転んだ	1
お風呂上がり	1	湯船から一人で出ようとして	1
たらいに入ろうとして滑った	1	頭から浴槽に落ちた	2
バスマットから足が外れた	1	入浴しようと洗い場へ入ったとき	1
バスマットの上で尻もち	1	入浴時おもちゃをふんだ	1
ひっくり返った	1	入浴時に洗い場で転倒	3
ゆっくり転んだので頭は打たなかった	1	入浴時誤って高温のお湯に触った	1
一緒にお風呂に入ろうとして	1	入浴中つかまり立ちをしていて	1
一緒に入浴時にタオルを取ろうと手を離して	1	入浴中滑った	24
一緒に入浴中	3	入浴中洗い場で転んだ	1
一人で歩いている	1	入浴中沈んだ	2
一人で浴槽に立たせておいたら滑った	1	入浴中目を離した時	2
桶に躓いた	1	風呂場で滑った	1
温泉で滑った	1	風呂場で少しカミソリで切った	1
温泉の大浴場で滑って落とした	1	風呂場で水遊び中	1
滑った	8	風呂場に入る時にジャンプした	1
滑ってお風呂の中に入った	1	風呂場のタイルで滑った	1
滑って泣いた・頭は強く打っていない	1	物を置く台の上に登って滑った	1
滑って転んだ	2	歩いていると転んだ	1
滑って頭を打った	1	歩けるようになりふざけて	1
兄弟とふざけていて	3	母が体をふいている時あそんでいたら沈んだ	1
自分が洗っている間に浴槽を見たら頭から入っていた	1	暴れている	1
自分で歩いていると転んだ	1	目を離した時滑った	3
床で滑った	2	遊びながら	3
床の上でジャンプした	1	浴槽であおむけにひっくり返った	1
上の子を洗っている間に滑った	3	浴槽に触ろうとして頭から溺れた	1
水遊び中	2	浴槽の中で滑った	24
石鹸で滑り軽くタイルにぶつかった	1	浴槽の中につかまり立ちさせておいて滑った	2
石鹸で遊んでいた	1	浴槽の中に座っていてバランス崩した	1
洗い場で滑った	5	浴槽を覗き込んで落ちた	1
洗い場をウロウロしていて	1	足がもたついてひっくり返った	1

Q2. お風呂場での事故防止のため工夫していることがありますか。

(該当するものにいくつでも○をつけてください)

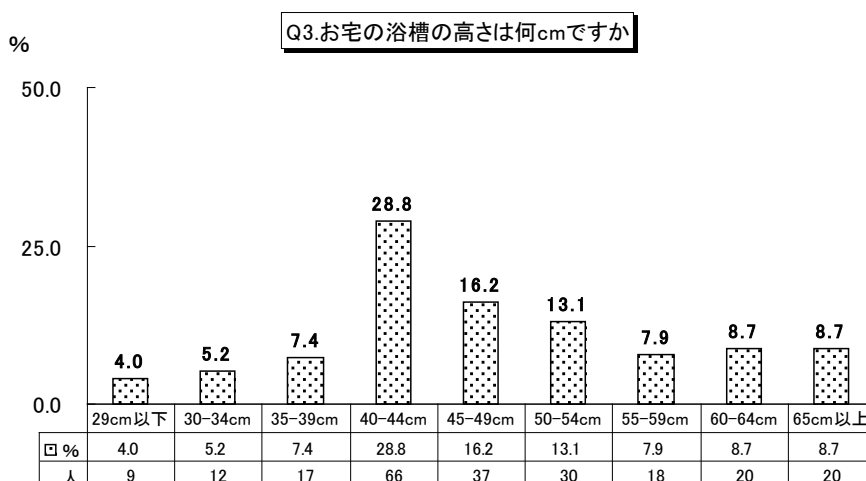
1. お風呂場に入れないように、鍵をかけている
2. 浴槽にため湯や残し湯をしない様になっている
3. 浴槽のふたを固くてしっかりしているものになっている
4. その他 ( )
5. 特にしていない



Q3. お宅の浴槽の高さ (洗い場から浴槽の縁までの高さ) は、何 cm ですか。

\*お手数ですが、同封の紙のメジャーで測定し記入してください。

( ) cm



以上です。ご協力ありがとうございました。

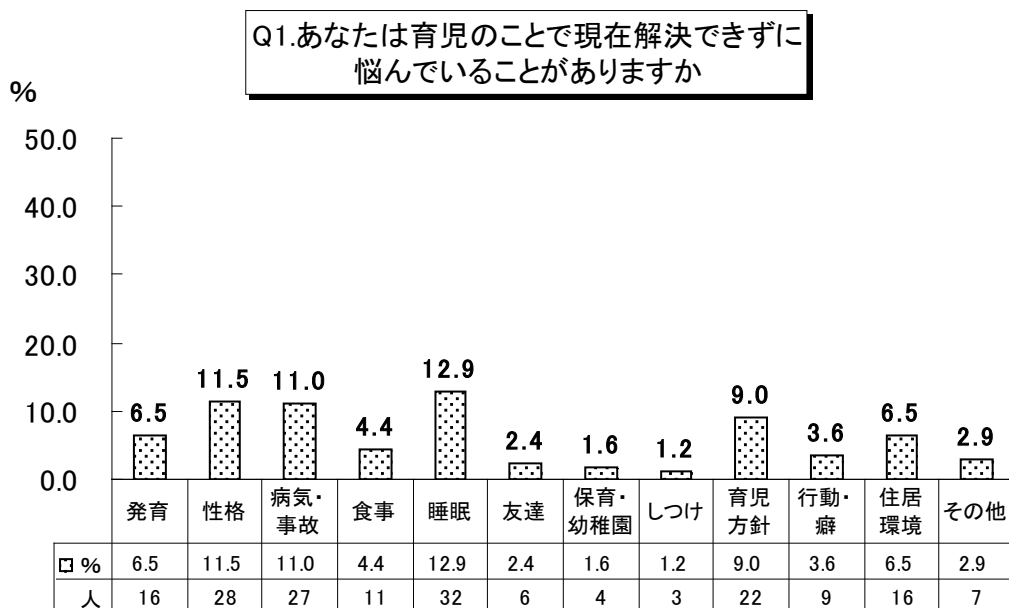


### IV-3.3 歳児健診時

#### IV. 調査結果 (3 歳児健診時)

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

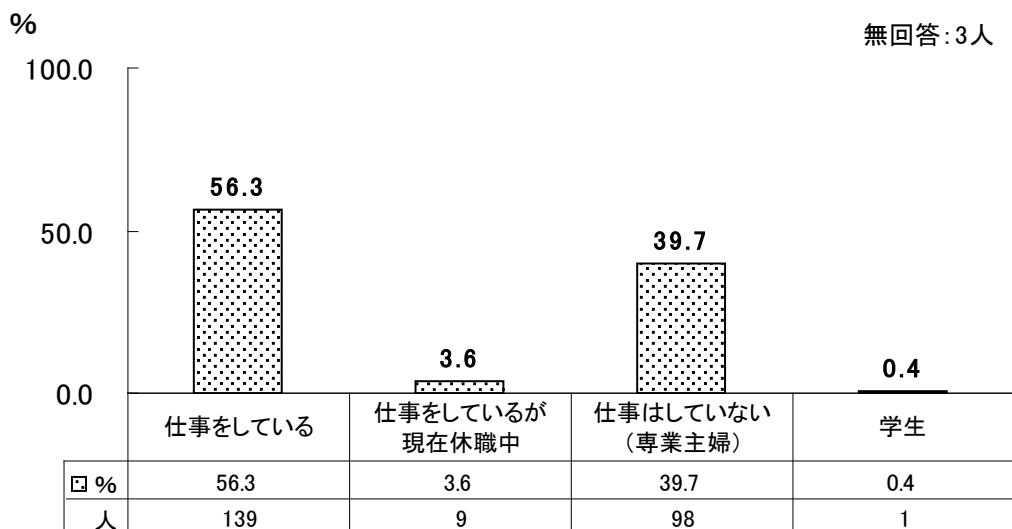
- |                |       |           |
|----------------|-------|-----------|
| ①発育・発達のこと      | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ②性格のこと         | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ③行動・癖のこと       | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ④病気・事故のこと      | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑤食事のこと         | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑥睡眠のこと         | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑦お友達のこと        | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑧保育園・幼稚園の入園のこと | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑨しつけ           | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑩祖父母との育児方針     | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑪住居環境のこと       | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑫その他           | 1. ない | 2. ある ( ) |



Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
  - 2. 仕事はしているが現在休職中である
  - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
  - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は  
Q4. へお進みください

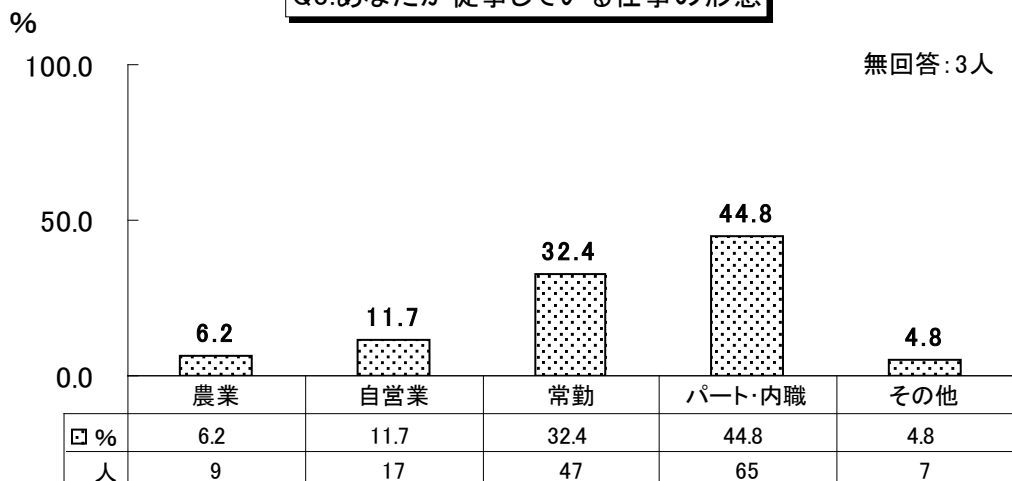
**Q2.あなたのお仕事の有無について**



Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

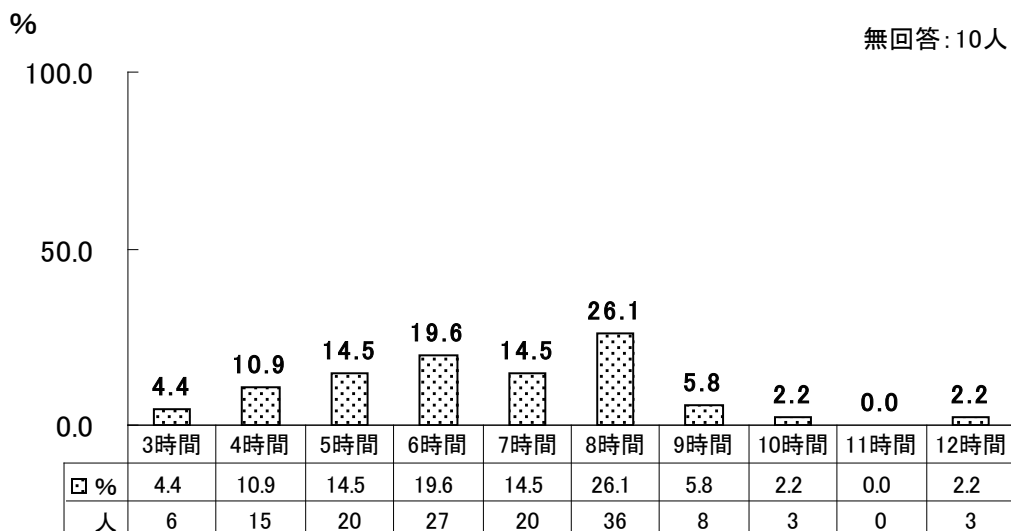
- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. その他 ( )

**Q3.あなたが従事している仕事の形態**

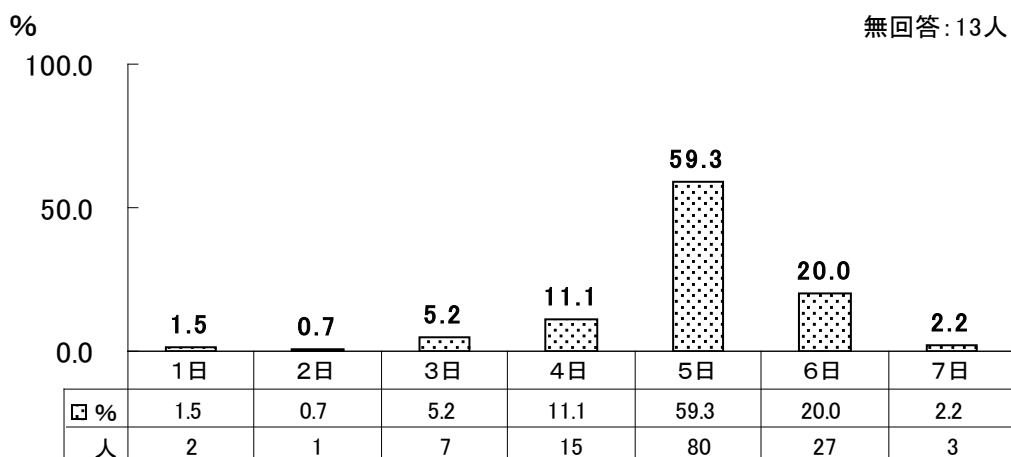


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 ( ) 時間 週 ( ) 日勤務

**Q3\_1.勤務時間/日(Q2.で1.2.と回答したもの)**

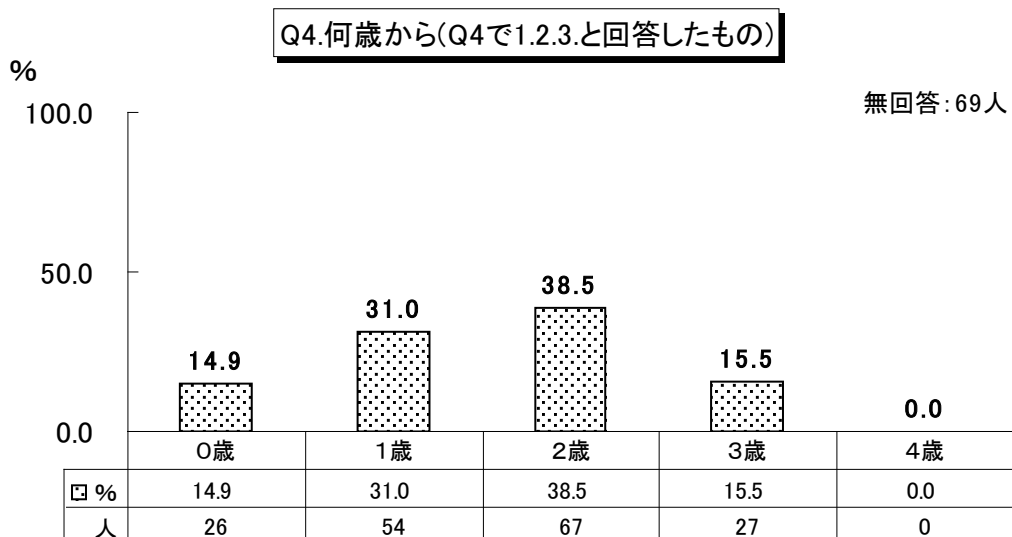
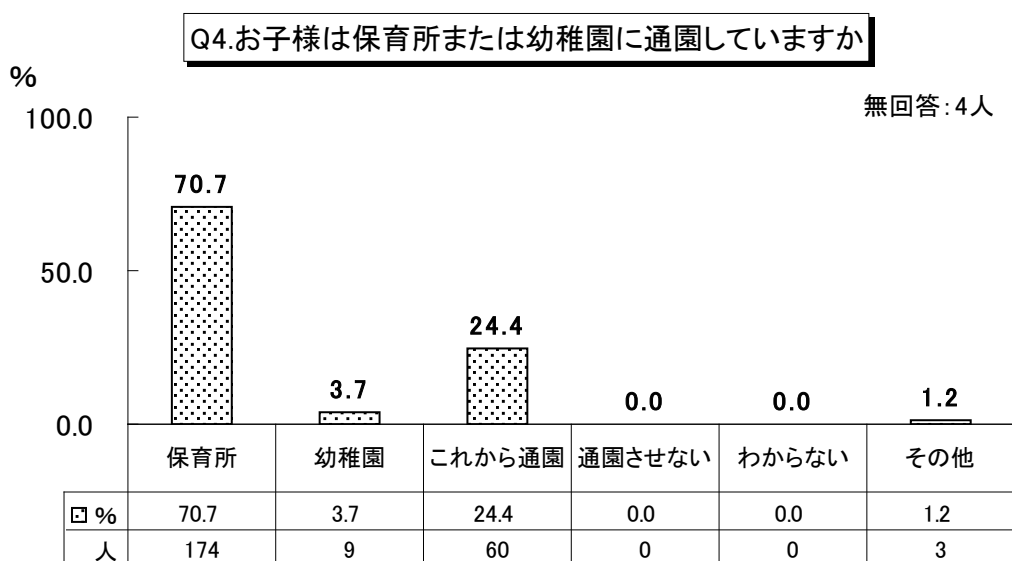


**Q3\_1.勤務日数/週(Q2.で1.2.と回答したもの)**



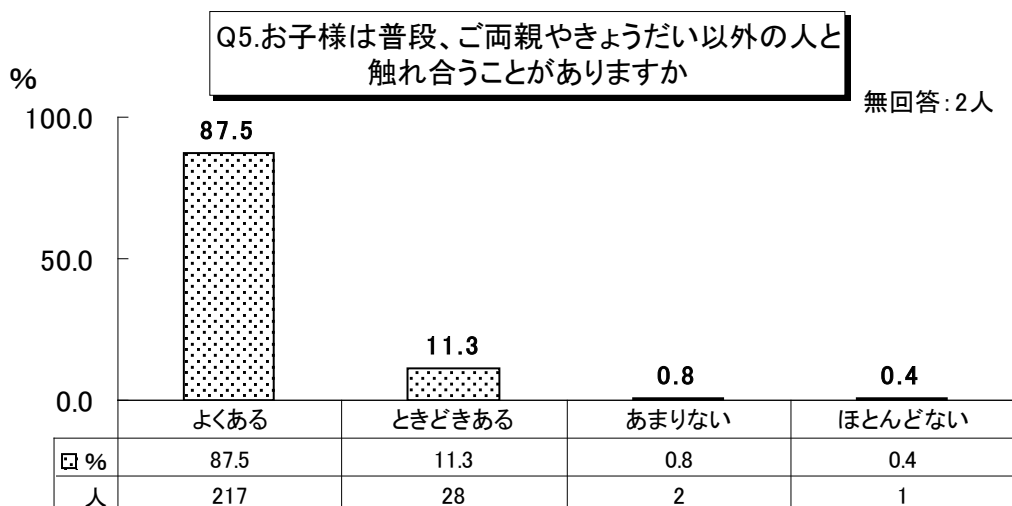
Q4. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

1. 保育所に通園している ( 歳から)
2. 幼稚園に通園している ( 歳から)
3. 通園していないが、これから通園させたい ( 歳から)
4. ずっと通園させないつもりである
5. わからない／なんともいえない
6. その他



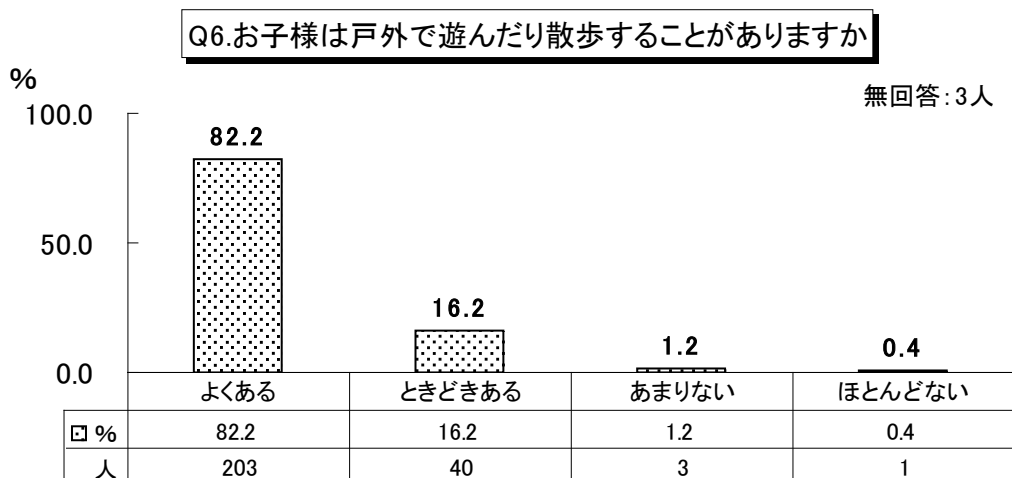
Q5. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



Q6. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない





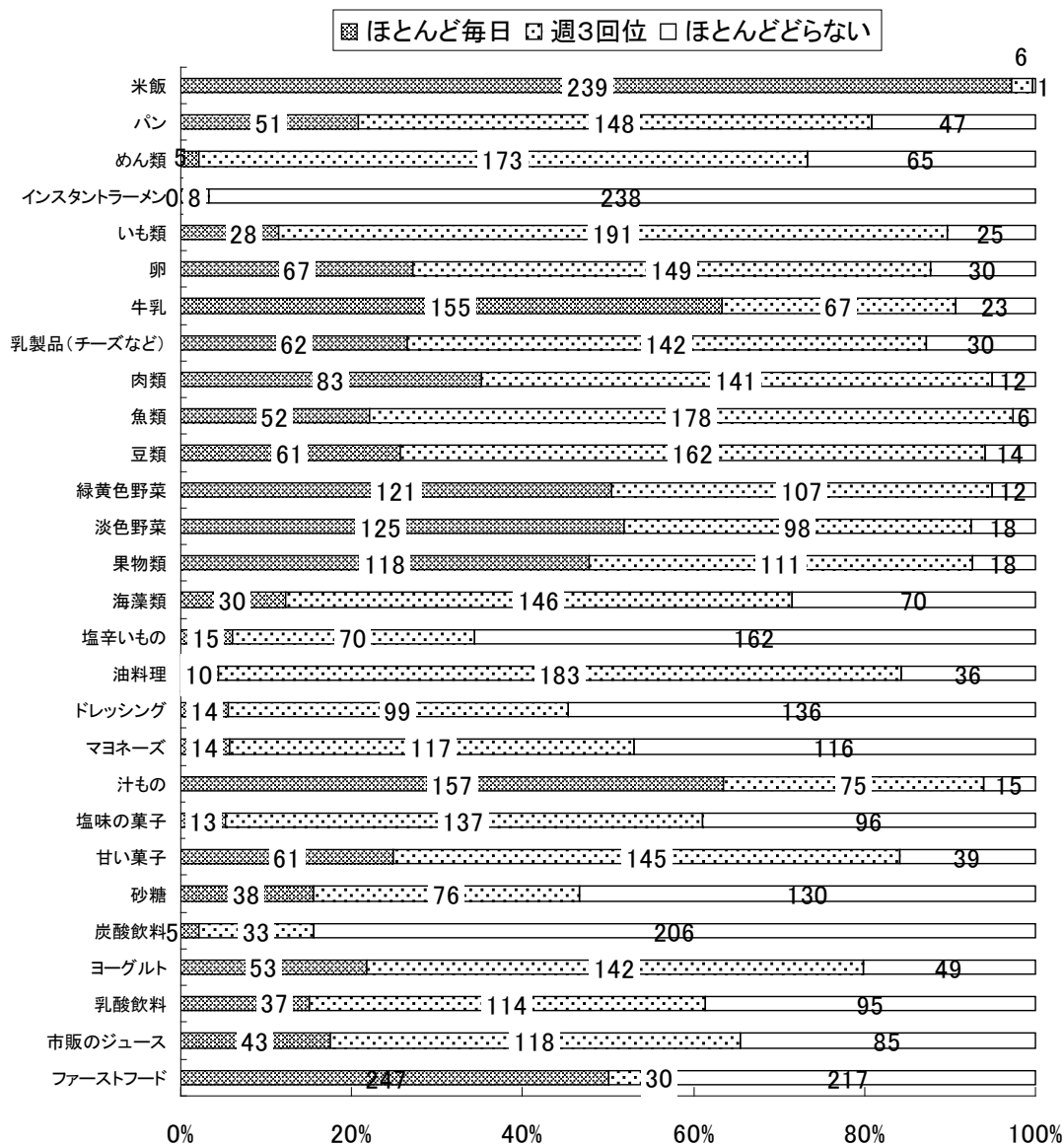


## IV. 調査結果 (3歳児健診時)

Q8. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

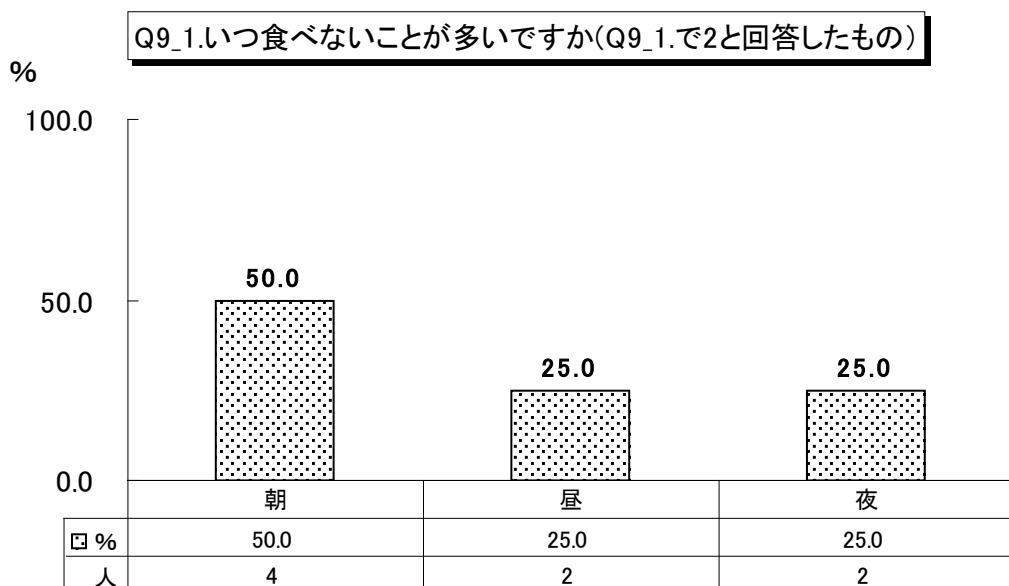
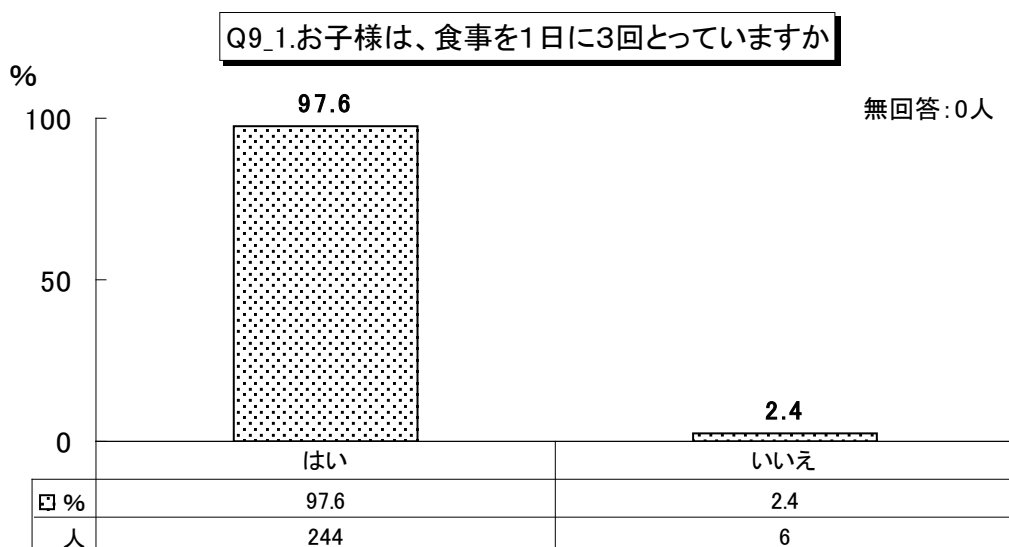
Q6.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい



Q9. お子様の食事について伺います。

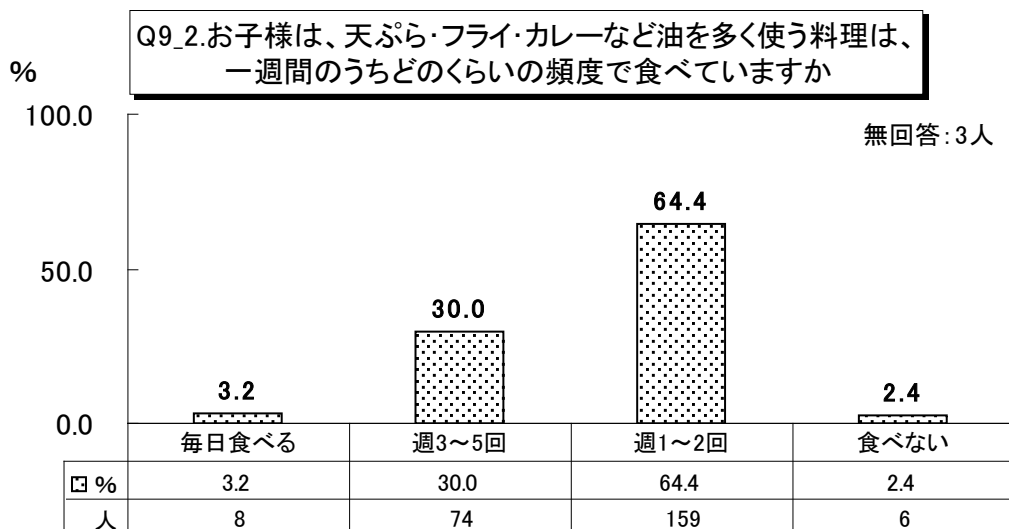
9-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜 )



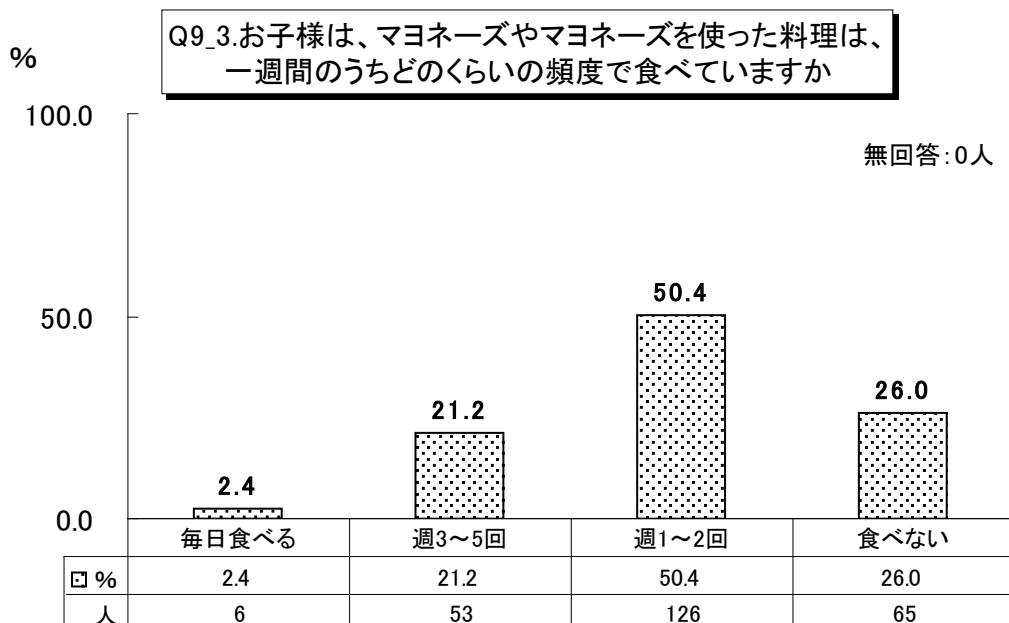
9-2. お子様は天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。(それぞれの食品は単独ではなく、合わせて考えてください。)

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない



9-3. お子様はマヨネーズやマヨネーズを使った料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない

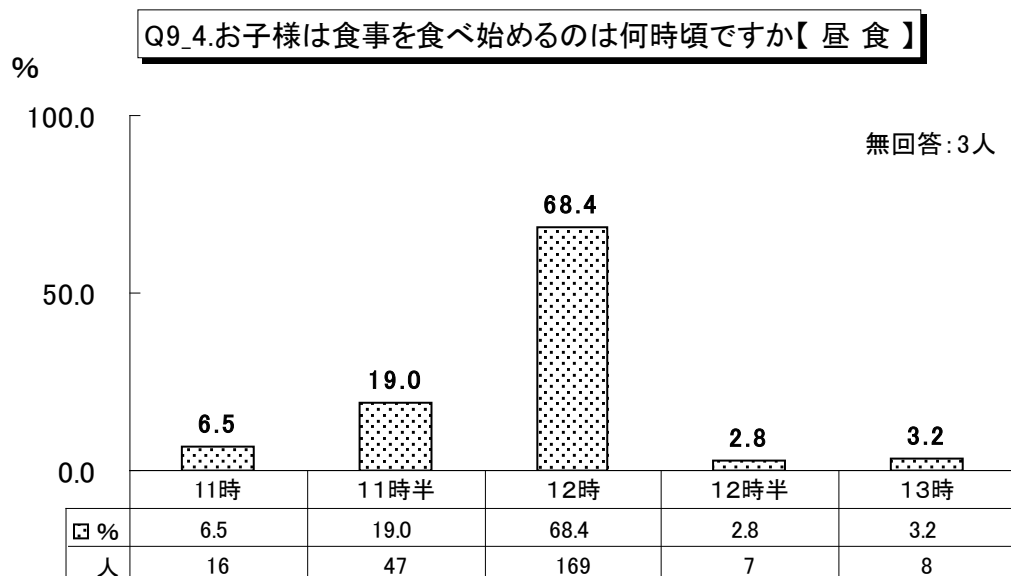
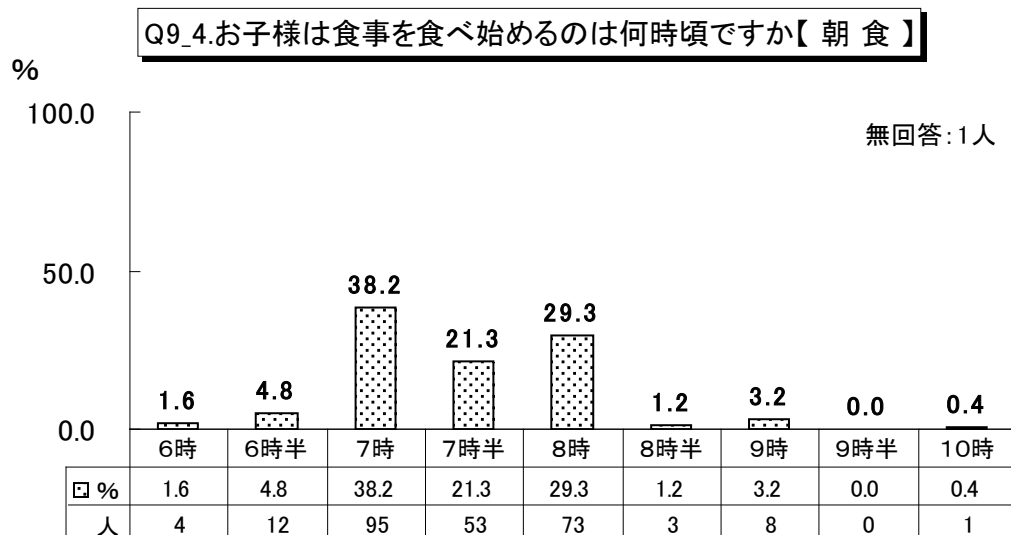


9-4. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

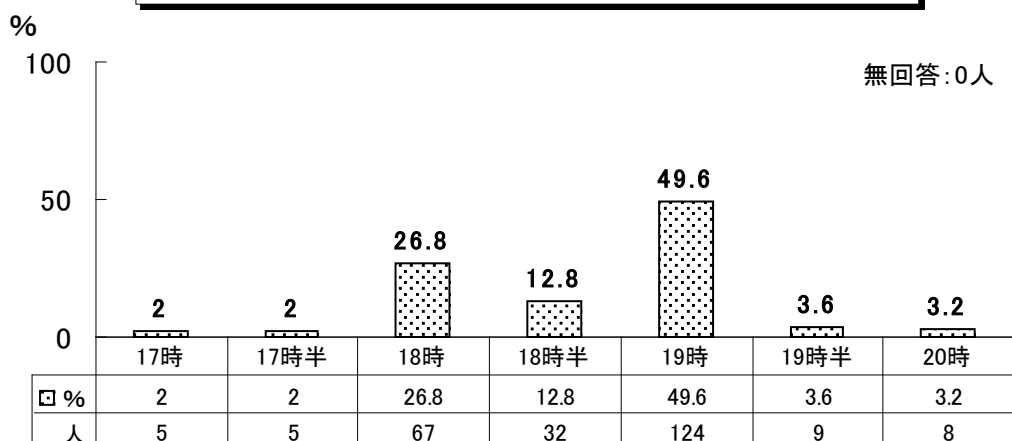
朝食 ( ) 時 ころ

昼食 ( ) 時 ころ

夕食 ( ) 時 ころ



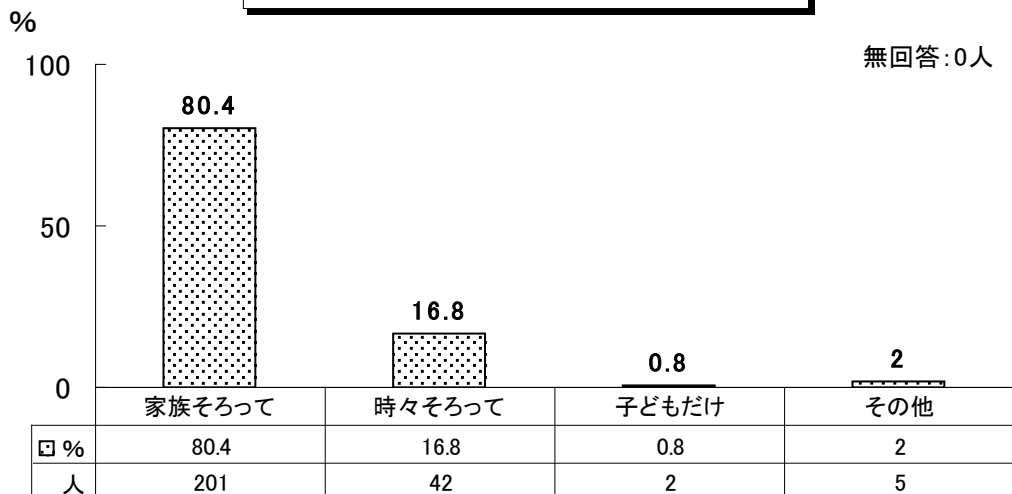
**Q9\_4.お子様は食事を食べ始めるのは何時頃ですか【夕食】**



9-5. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

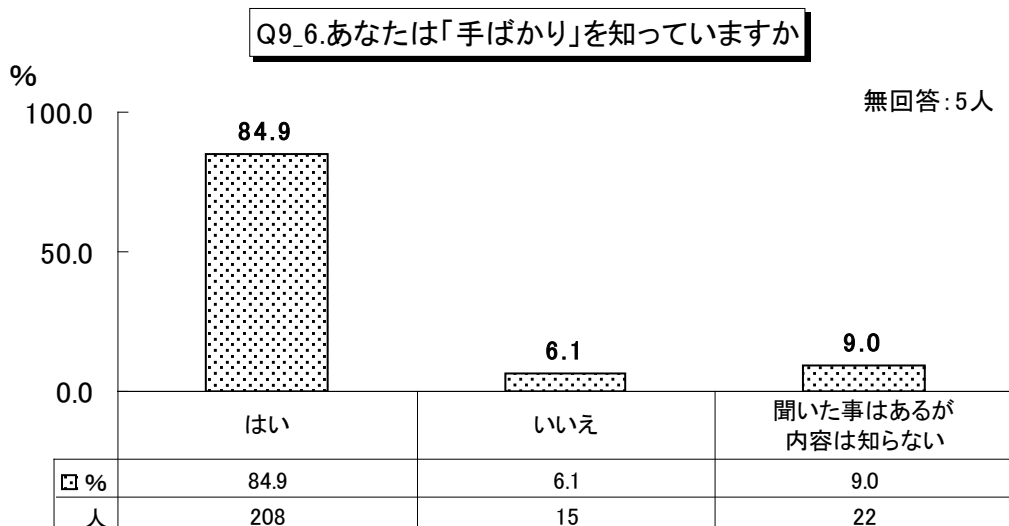
1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ( )

**Q9\_5.お子様は誰と一緒に食事を食べますか**



9-6. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

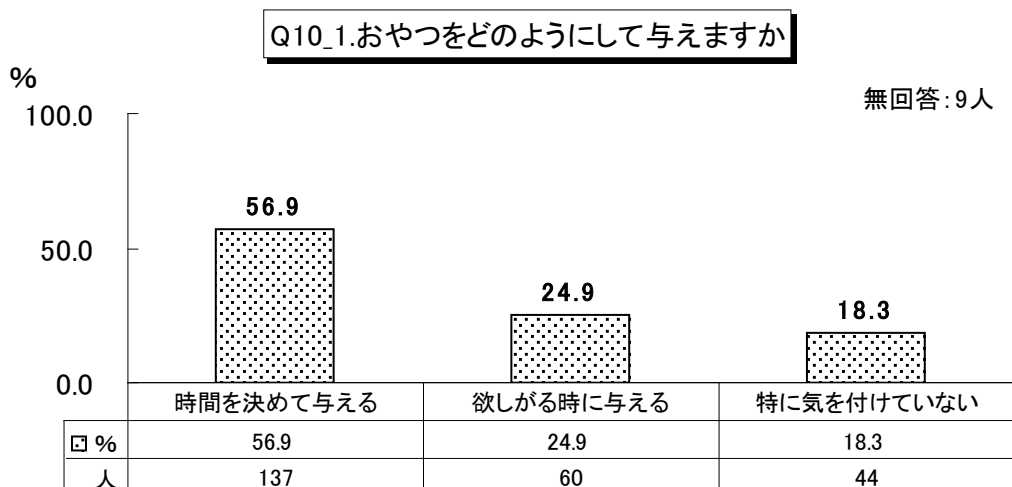
1. はい                      2. いいえ                      3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q10. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）についてうかがいます。

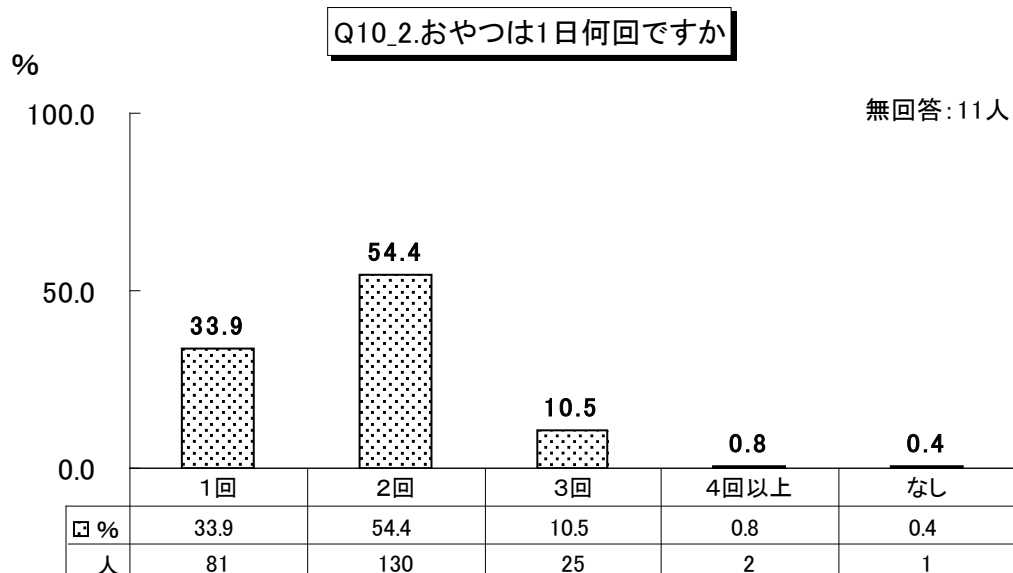
10-1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える  
2. ほしがる時に与える  
3. 特に与え方に気をつけていない



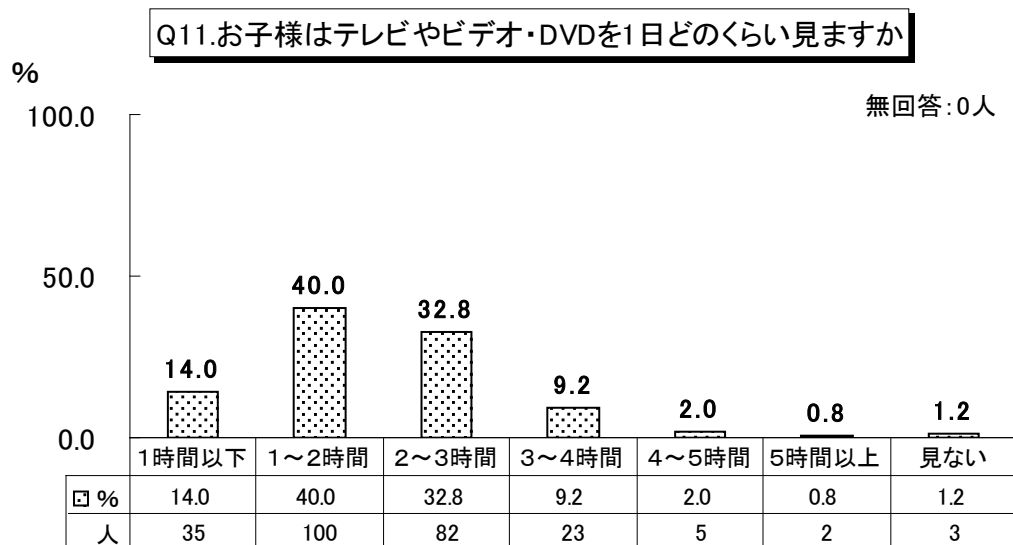
10-2. おやつは1日何回ですか。

1. 1回      2. 2回      3. 3回      4. 4回以上      5. なし



Q11. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

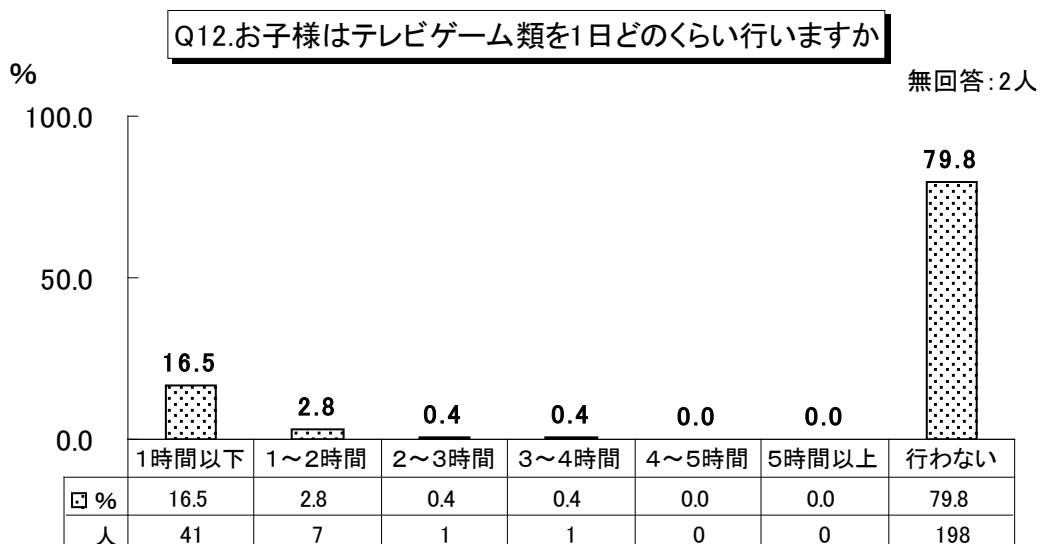
1. 1時間以下      2. 1～2時間      3. 2～3時間      4. 3～4時間  
5. 4～5時間      6. 5時間以上      7. 見ない





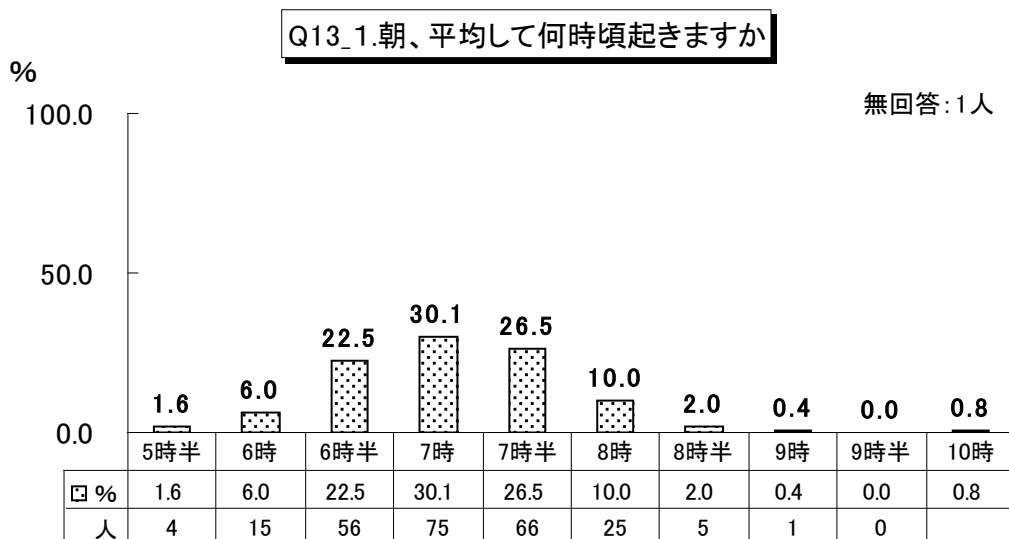
Q12. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下      2. 1~2時間      3. 2~3時間      4. 3~4時間  
 5. 4~5時間      6. 5時間以上      7. 行わない

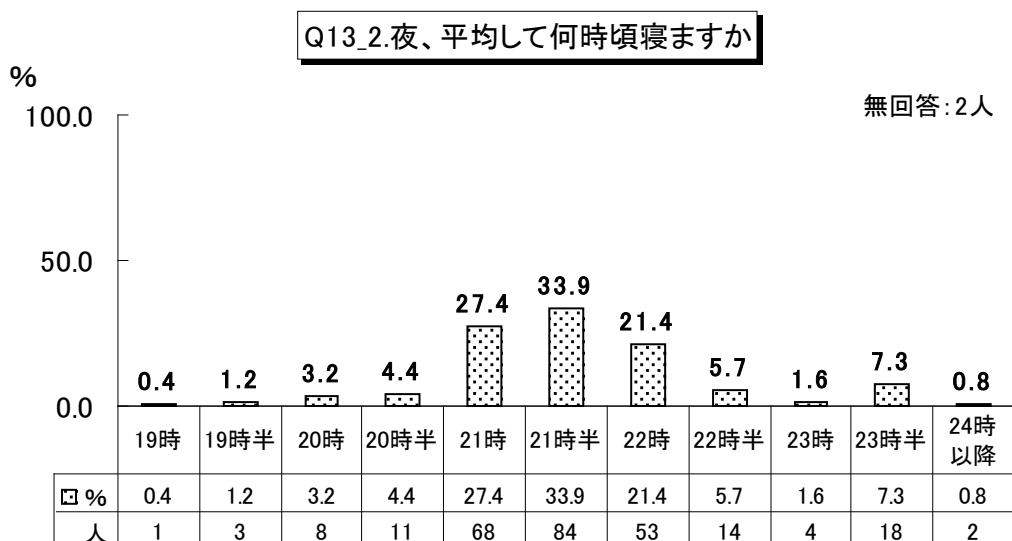


Q13. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

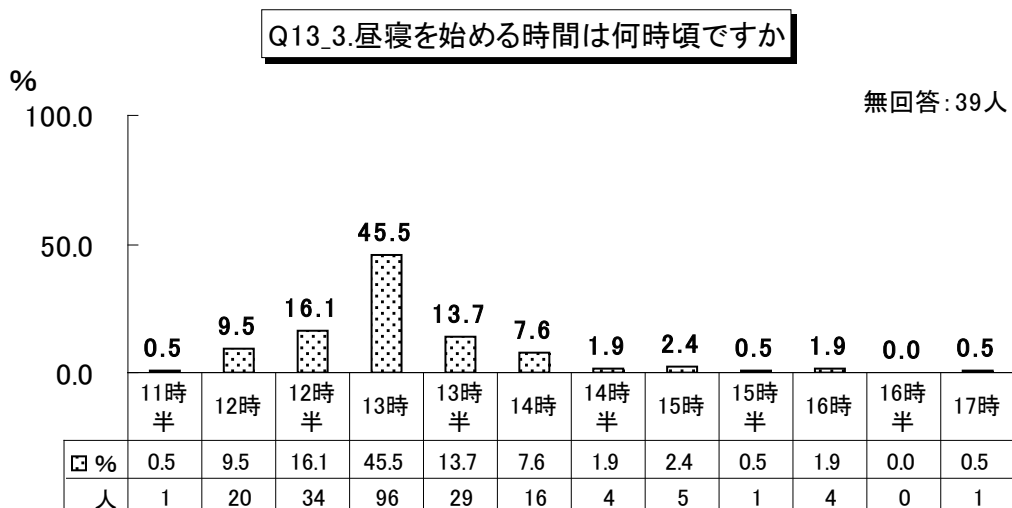
13-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか ( ) 時 ( ) 分ころ



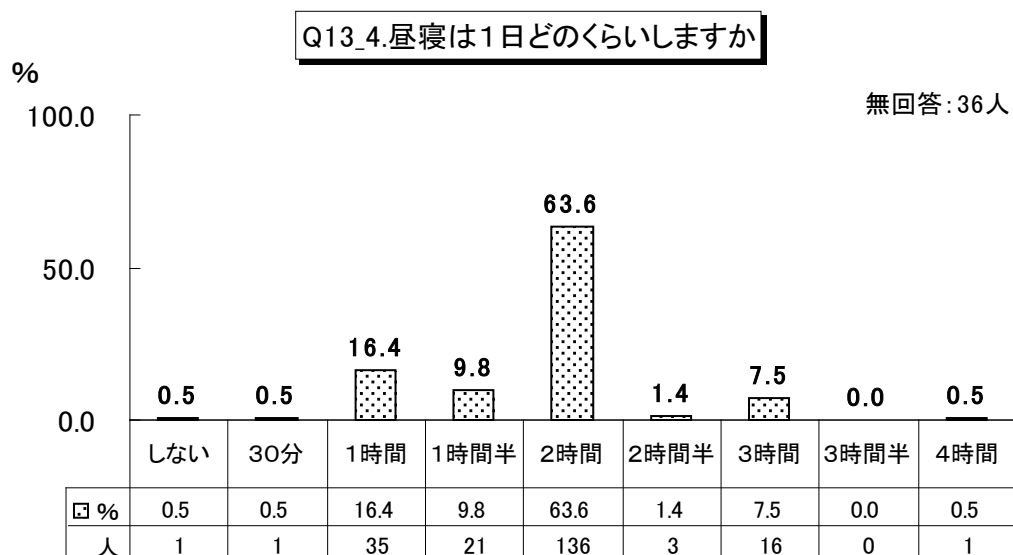
13-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか ( ) 時 ( ) 分ころ



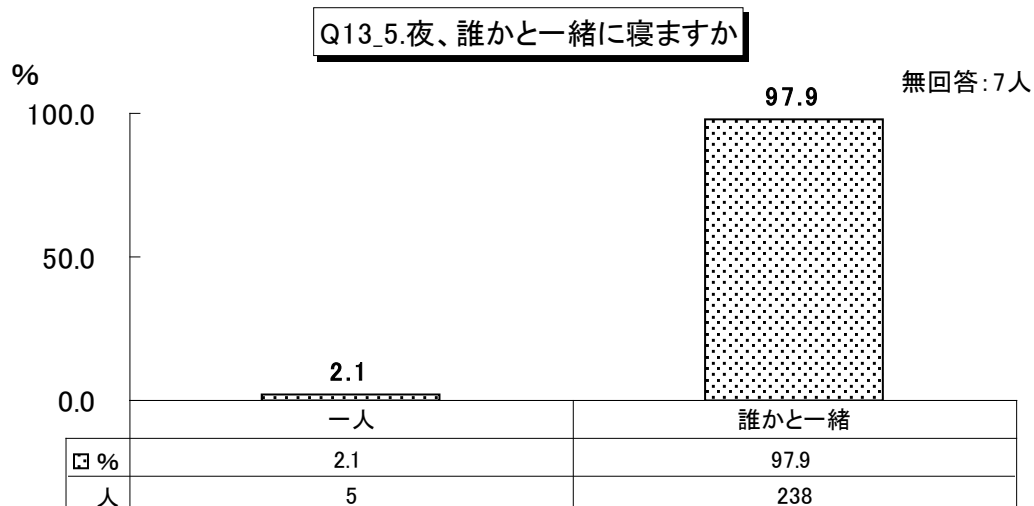
13-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか ( ) 時 ( ) 分ころ



13-4. 昼寝は一日どのくらいしますか ( ) 時間位

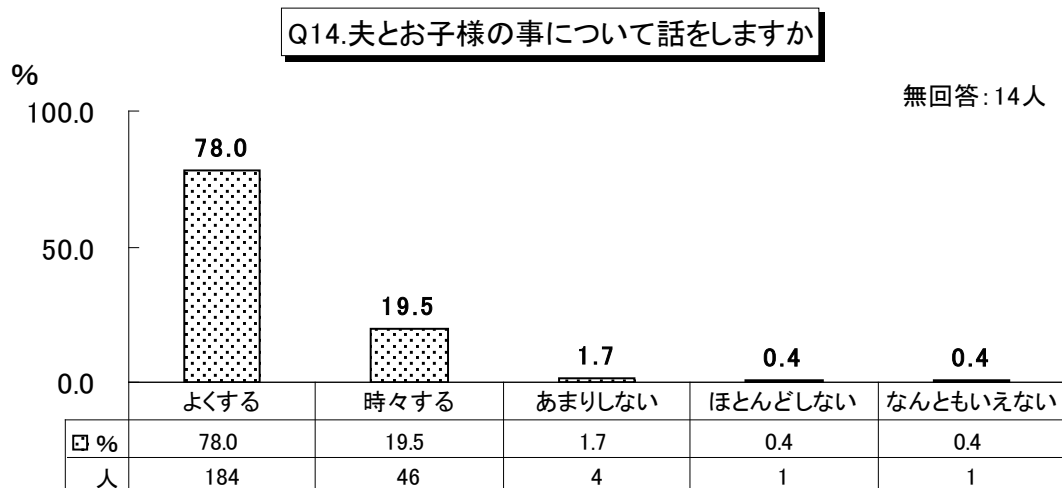


13-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 : )



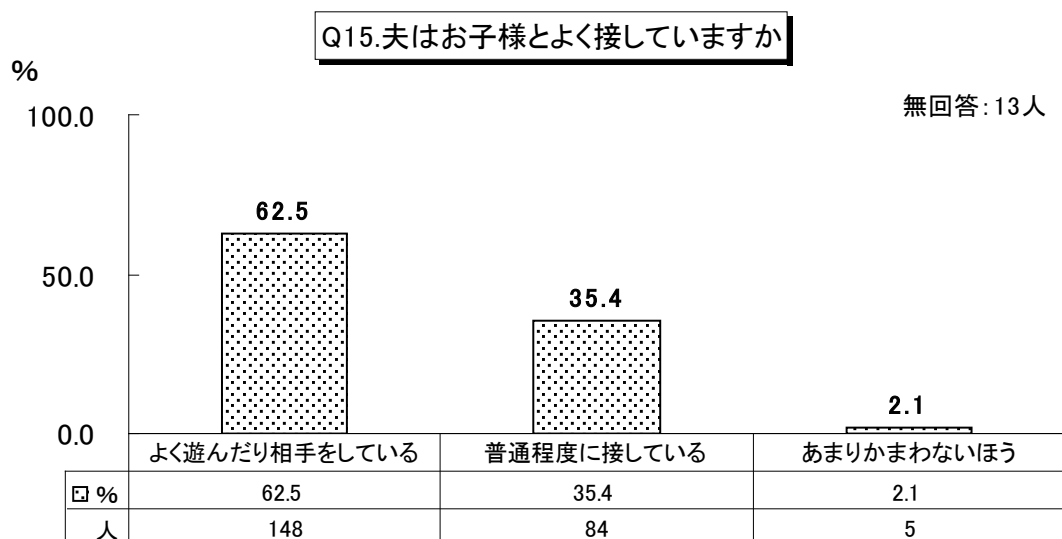
Q14. 夫とお子様の事について話をしますか。

- 1. よくする
- 2. 時々する
- 3. あまりしない
- 4. ほとんどしない
- 5. なんともいえない



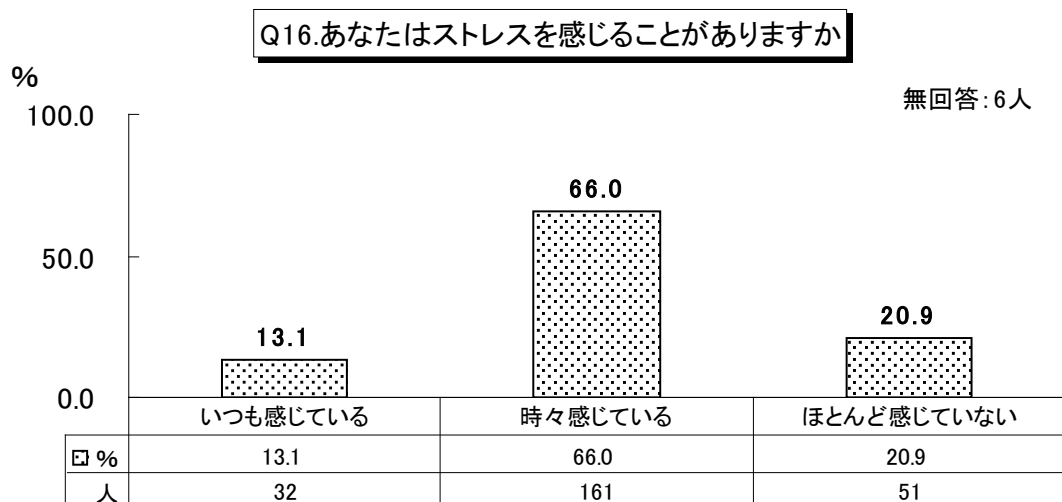
Q15. 夫はお子様とよく接していますか。

- 1. よく遊んだり、相手をしている
- 2. 普通程度に接している
- 3. あまりかまわないほうである



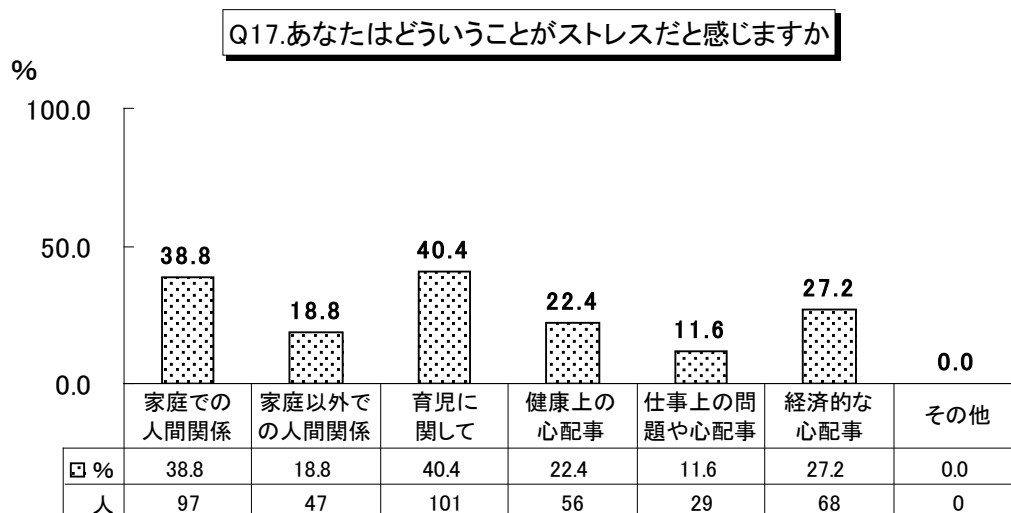
Q16. あなたはストレスを感じることがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

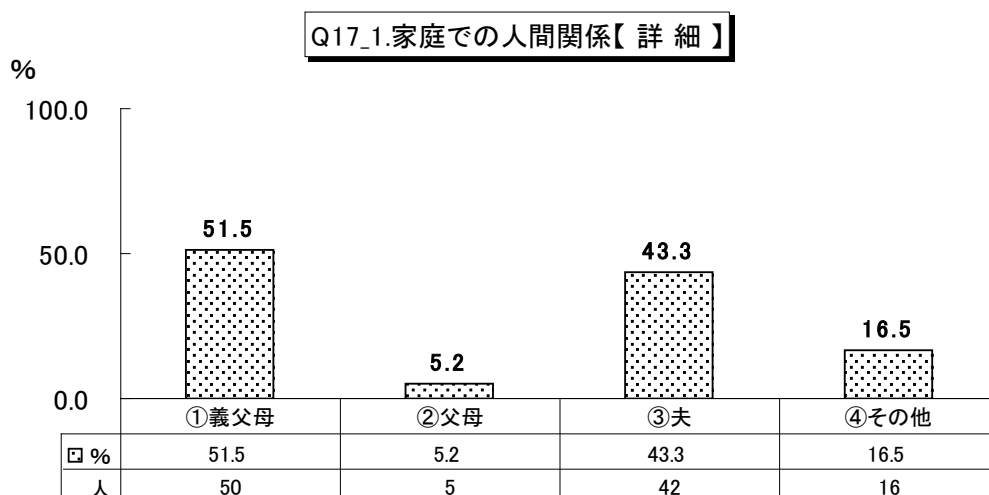


Q17. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

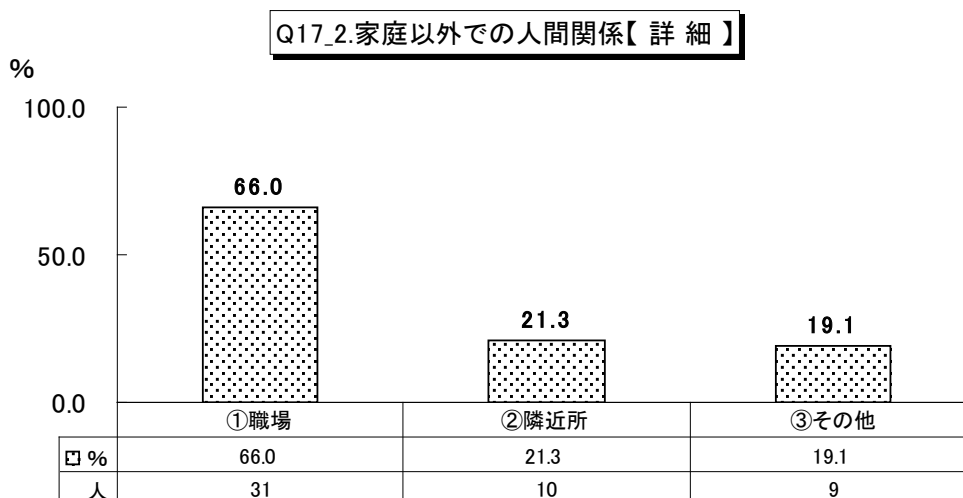
1. 家庭での人間関係
  - ①義父母    ②父母    ③夫    ④その他 (      )
2. 家庭以外での人間関係
  - ①職場    ②隣近所    ③その他 (      )
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
  - ①自分自身    ②子ども    ③子ども以外の家族
  - ④その他 (      )
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 (      )



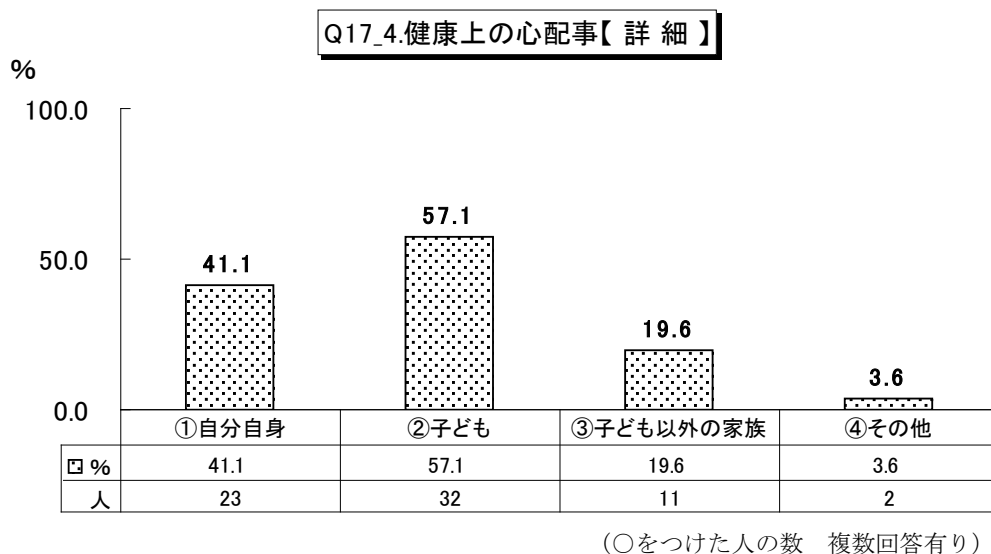
(○をつけた人の数 複数回答有り)



(○をつけた人の数 複数回答有り)

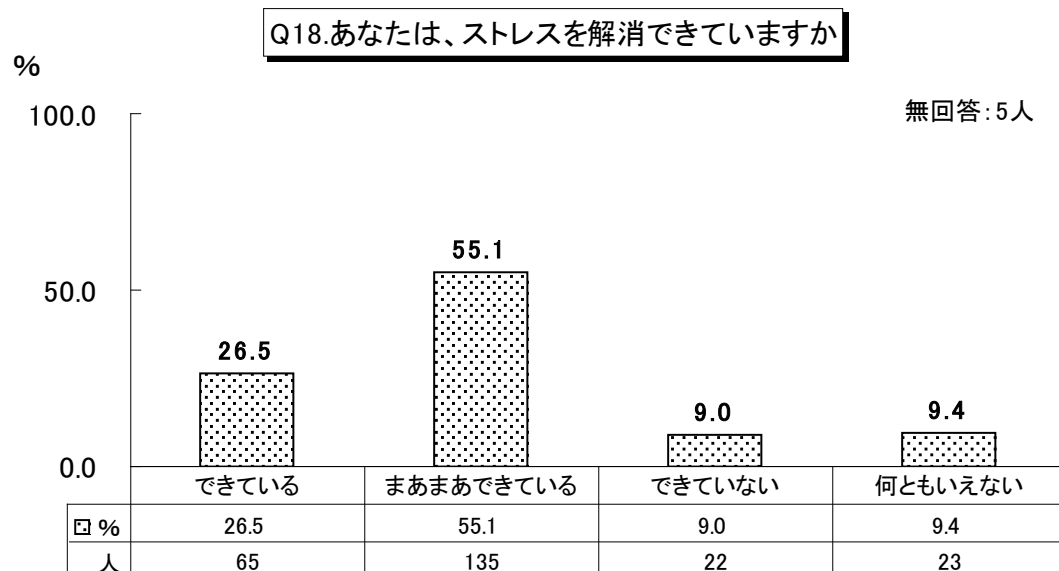


(○をつけた人の数 複数回答有り)



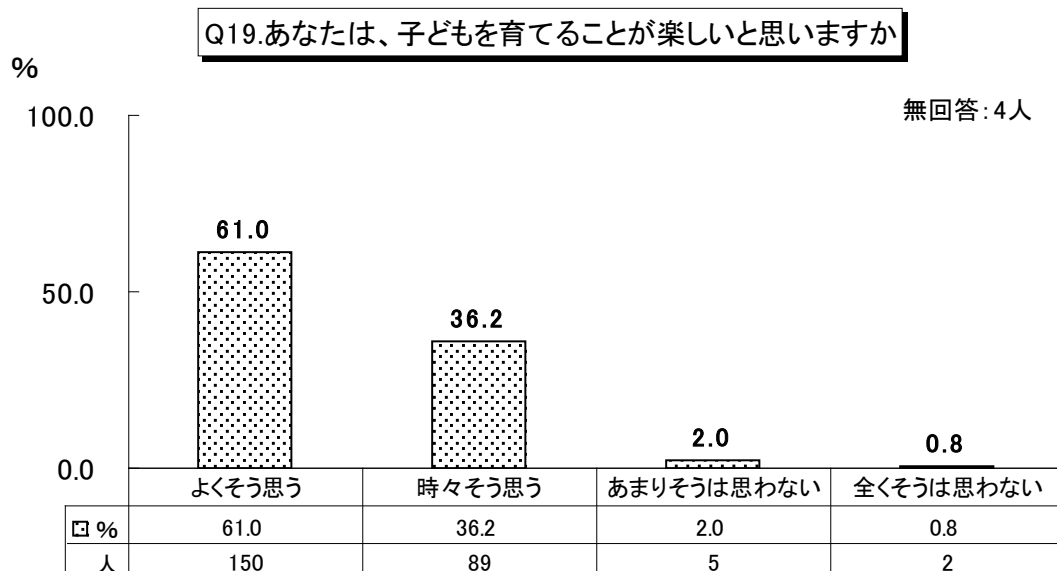
Q18. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている    2. まあまあできている    3. できていない    4. 何ともいえない



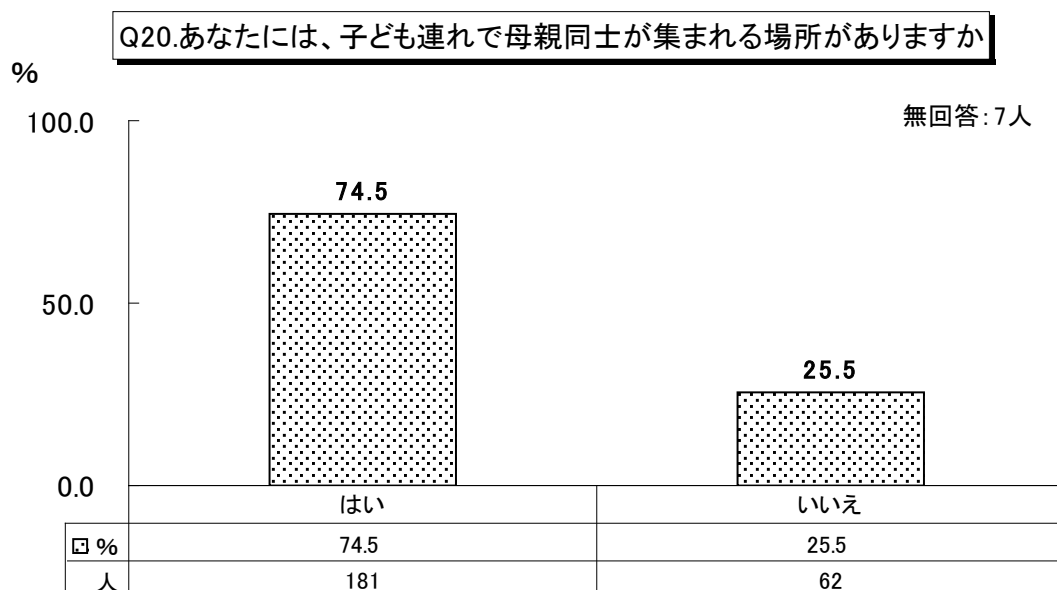
Q19. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

- 1. よくそう思う
- 2. ときどきそう思う
- 3. あまりそうは思わない
- 4. 全くそうは思わない



Q20. あなたには、子ども連れで母親同士が集まれる場所がありますか。

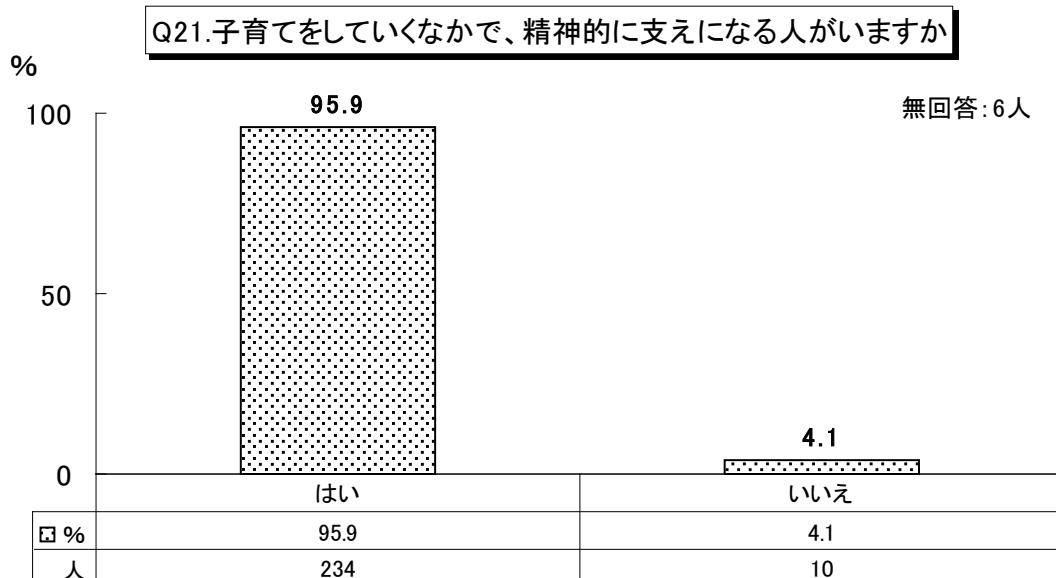
- 1. はい
- 2. いいえ





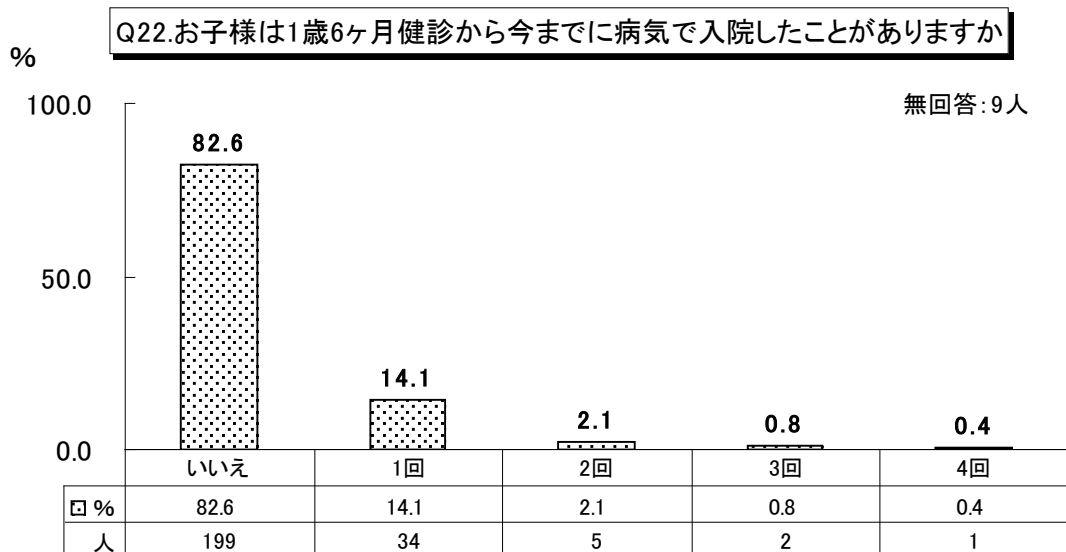
Q21. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

- 1. はい
- 2. いいえ



Q22. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

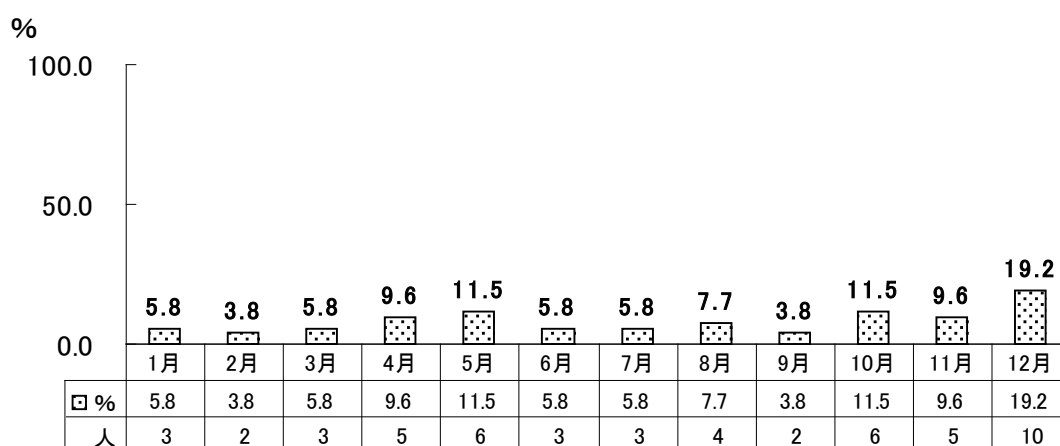
- 1. はい (            回)
- 2. いいえ



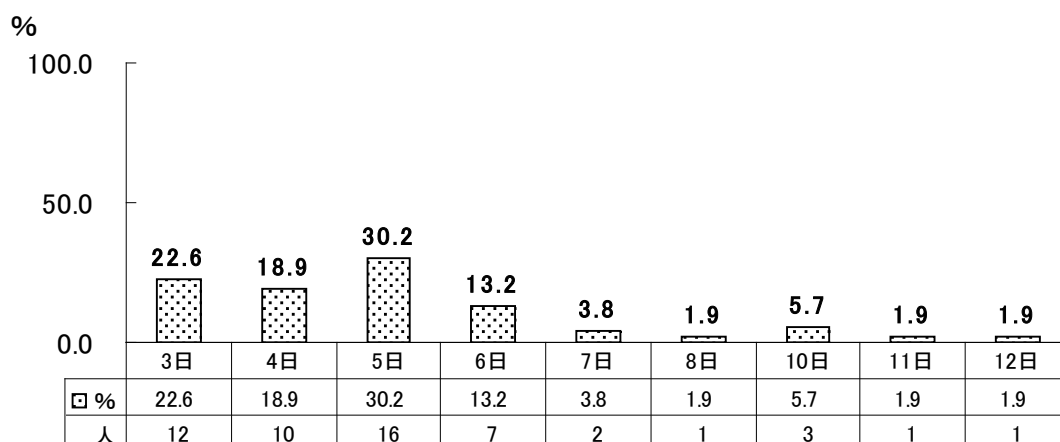
22-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	( 日間)	( 日間)	( 日間)
病名	( )	( )	( )
医療機関名	( )	( )	( )

Q24\_1.入院した月は何月ですか(Q24で1.はいと回答したもの)



Q24\_1.入院期間はどのくらいですか(Q24で1.はいと回答したもの)



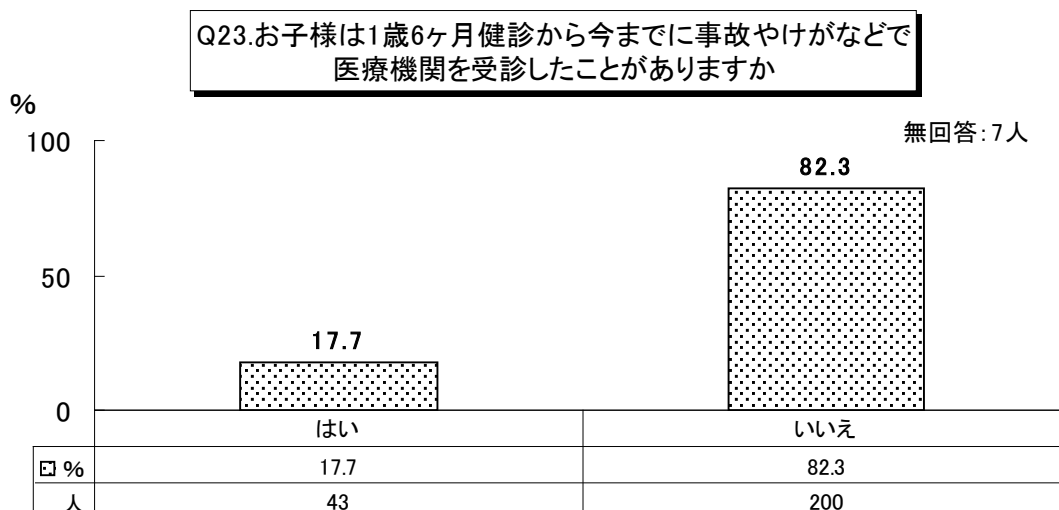
## IV. 調査結果 (3歳児健診時)

病名	人	病名	人
肺炎	13	クループ	1
喘息	8	ノロウイルスによる脱水	1
胃腸炎	6	プール熱	1
熱性けいれん	4	気管支炎	1
停留鞏丸	2	急性扁桃炎	1
とびひ	2	血便	1
ヘルペス口内炎・歯肉炎	2	心房中隔欠損症	1
ロタウイルス	2	川崎病	1
急性胃腸炎	2	脱水	1
RSウイルス急性気管支炎	1	中耳炎等による長期発熱	1
		不明	1

Q23. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

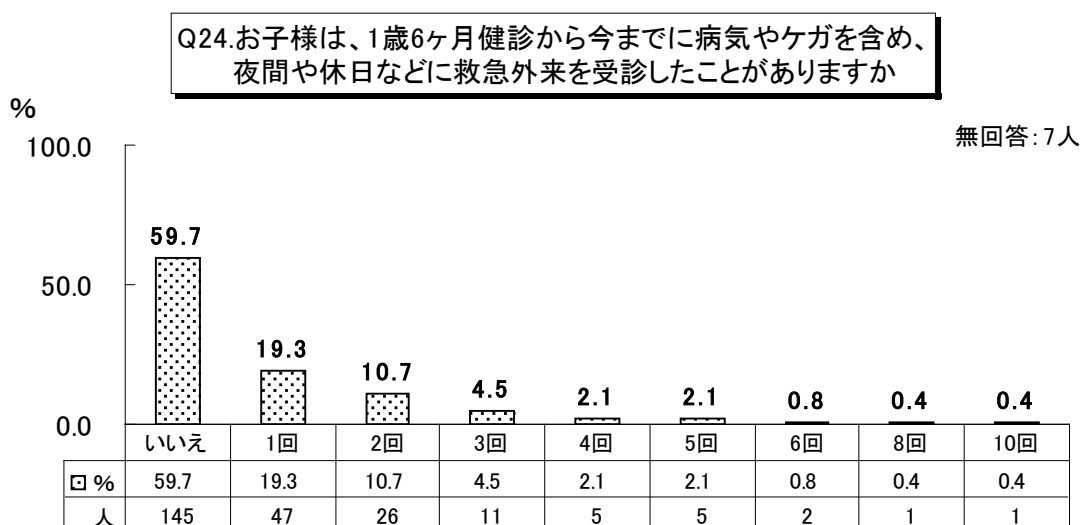
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます)

1. はい
2. いいえ



Q24. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (                  回)
2. いいえ



## 24-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
( )	( )
( )	( )
( )	( )
( )	( )

救急病名	人	救急病名	人
風邪	39	気管支炎	1
発熱	35	血便	1
けが	5	犬にかまれた	1
頭ぶつけた	5	口の周りのケガ	1
中耳炎	4	耳の中の痛み	1
じんましん	3	自動ドアに指をひかれた	1
水ぼうそう	3	小児ヘルペス	1
熱性けいれん	3	上唇切った	1
嘔吐	3	食べ過ぎ	1
食物アレルギー	2	石にぶつけて前歯グラグラ	1
切り傷	2	打撲	1
誤飲(疑い含む)	2	転倒	1
インフルエンザ	1	突発性発疹	1
睾丸の腫れ	1	脳しんとう	1
けいれん	1	肺炎	1
タバコをなめた	1	眉間のけが	1
ヘルペス性口内炎	1	肘内障	1
やけど	1	便秘	1
胃腸炎	1	歩けなくなった	1
襖に手を挟んだ	1	薬疹	1
下痢・嘔吐	1	喘息	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

#### IV. 調査結果 (3 歳児健診時)

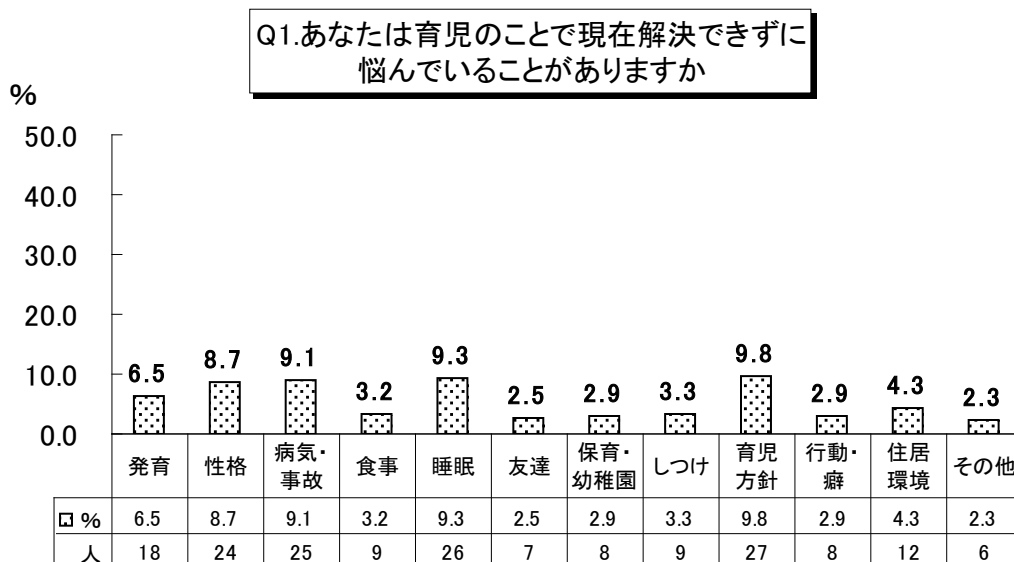
## IV-4.5 歳児健診時

## V. 調査結果 (5 歳児健診時)



Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

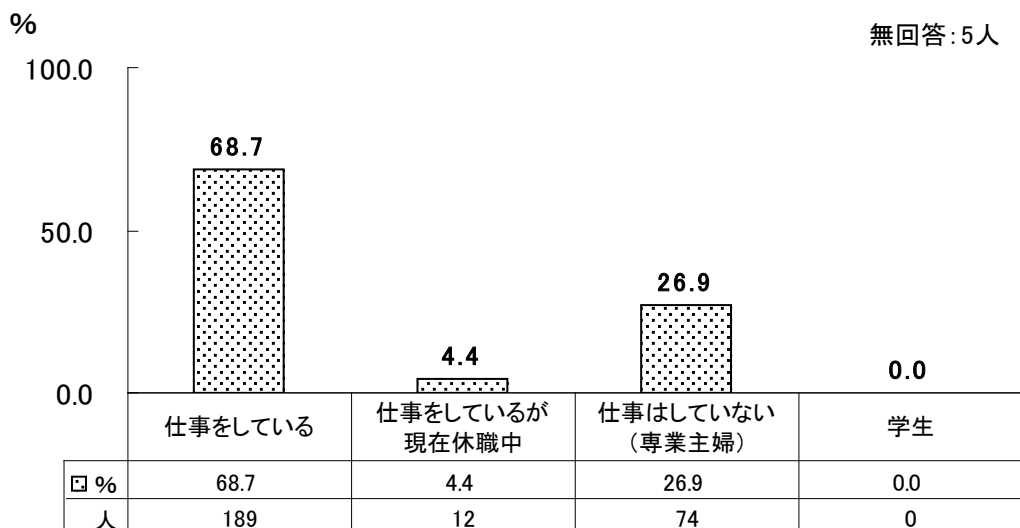
- |              |       |           |
|--------------|-------|-----------|
| ①発育・発達のこと    | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ②性格のこと       | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ③行動・癖のこと     | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ④病気・事故のこと    | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑤食事のこと       | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑥睡眠のこと       | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑦お友達のこと      | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑧保育園・幼稚園について | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑨しつけについて     | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑩祖父母との育児方針   | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑪住居環境のこと     | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑫その他         | 1. ない | 2. ある ( ) |



Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
  - 2. 仕事はしているが現在休職中である
  - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
  - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方はは  
Q4. へお進みください

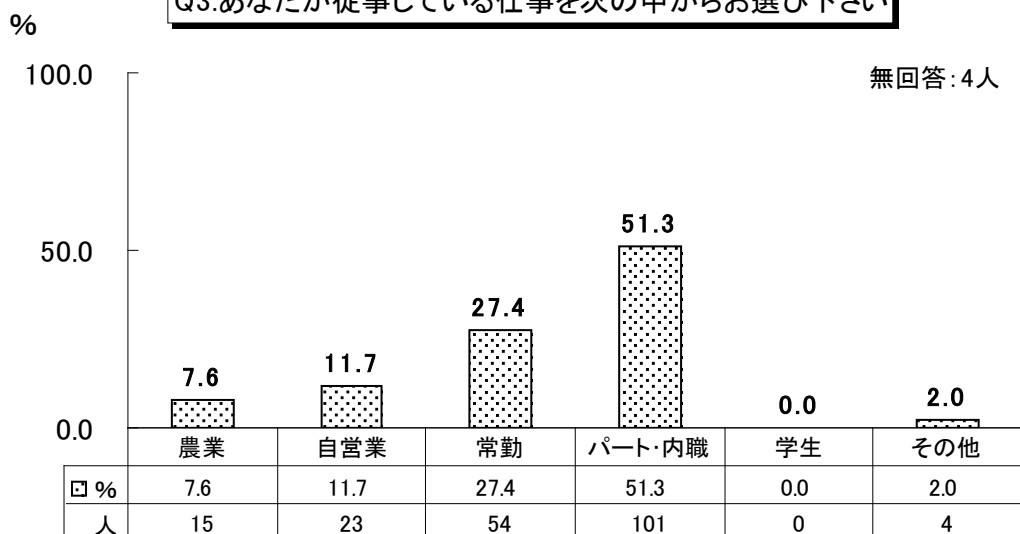
**Q2.あなたのお仕事の有無について**



Q3. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

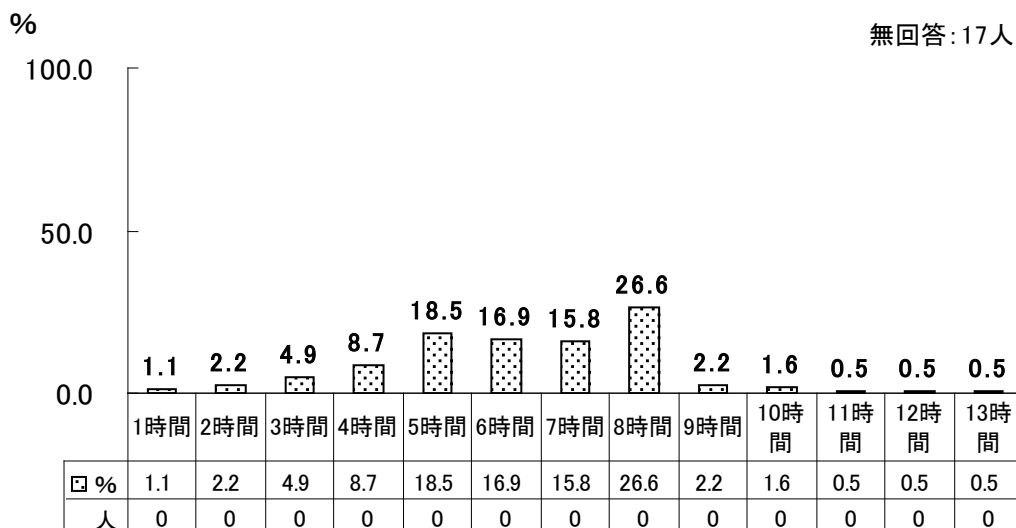
- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. 学生
- 6. その他 ( )

**Q3.あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい**

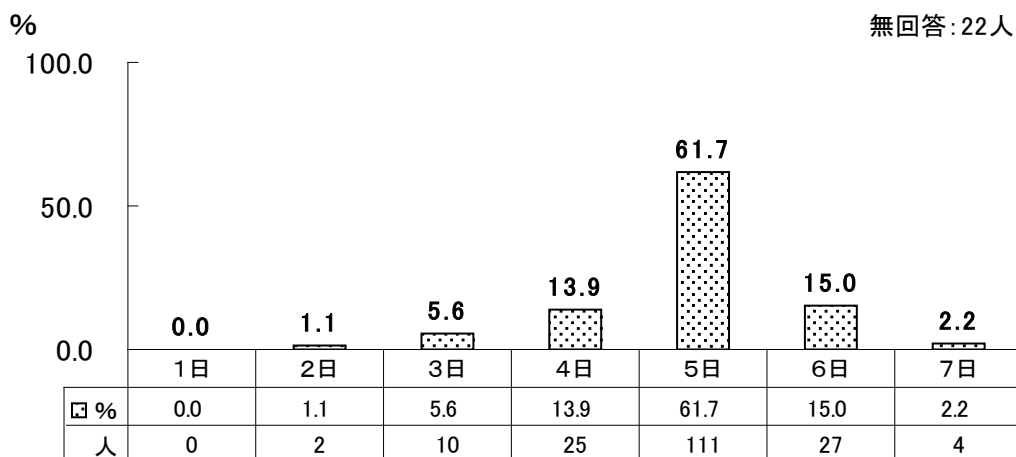


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 → 1日 ( ) 時間 週 ( ) 日勤務

**Q3\_1.勤務時間/日(Q2.で1.2.と回答したもの)**

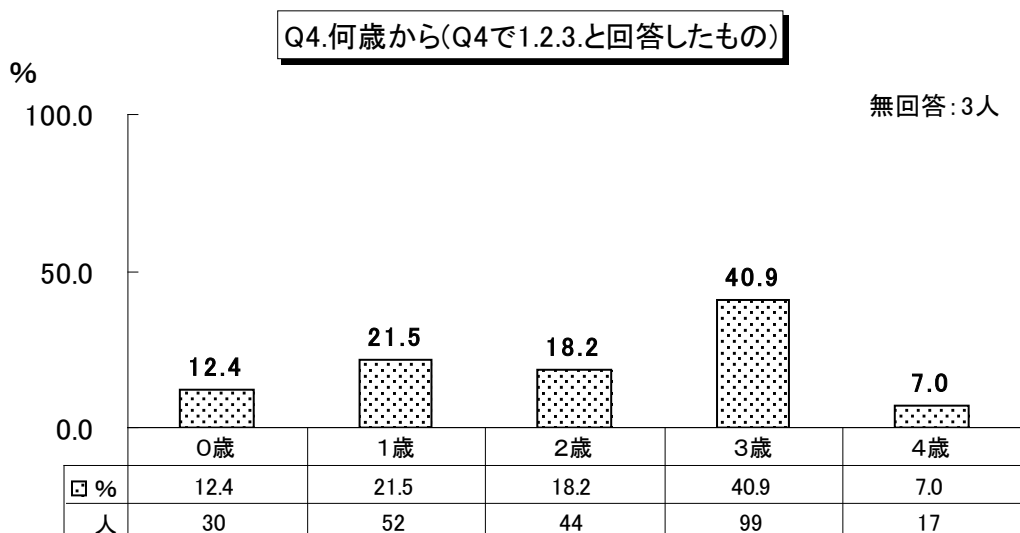
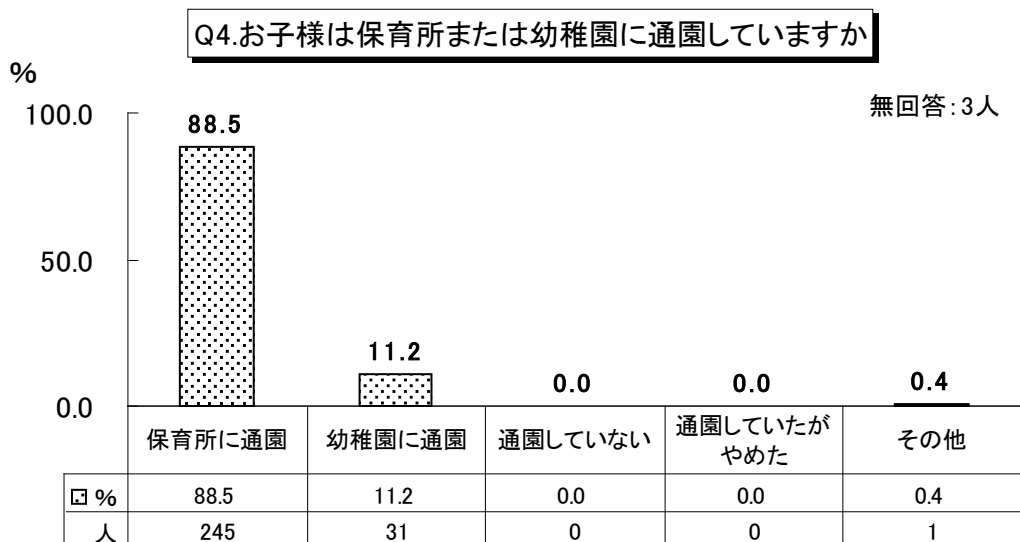


**Q3\_1.勤務日数/週(Q2.で1.2.と回答したもの)**



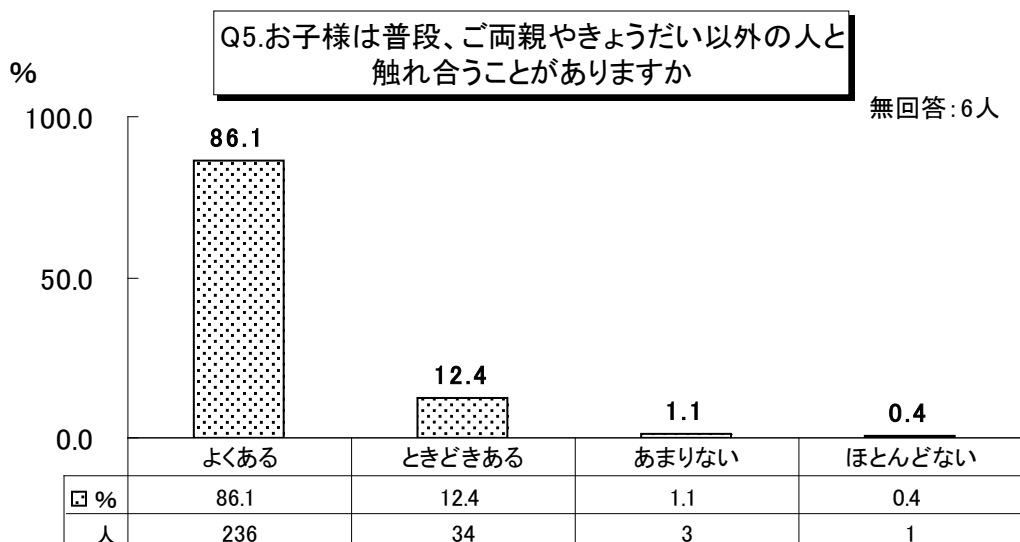
Q4. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

1. 保育園に通園している ( 歳から)
2. 幼稚園に通園している ( 歳から)
3. 通園していない
4. 通園していたがやめた
5. その他 ( )



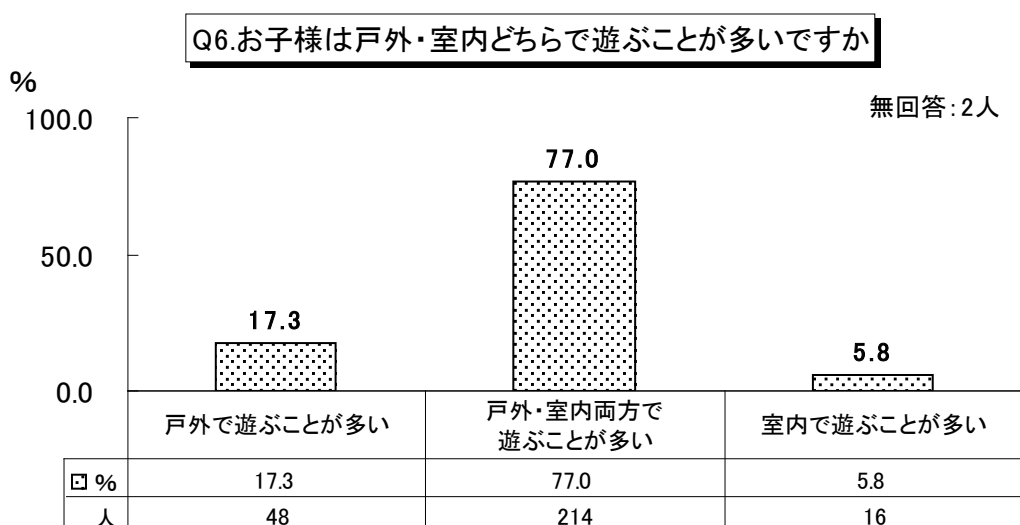
Q5. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない



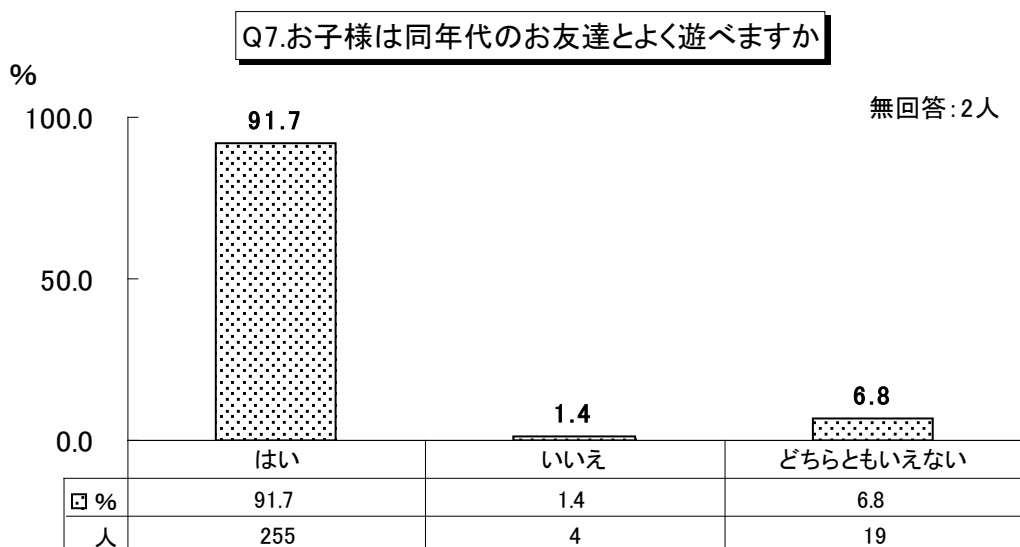
Q6. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

1. 戸外で遊ぶことが多い。
2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
3. 室内で遊ぶことが多い。



Q7. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

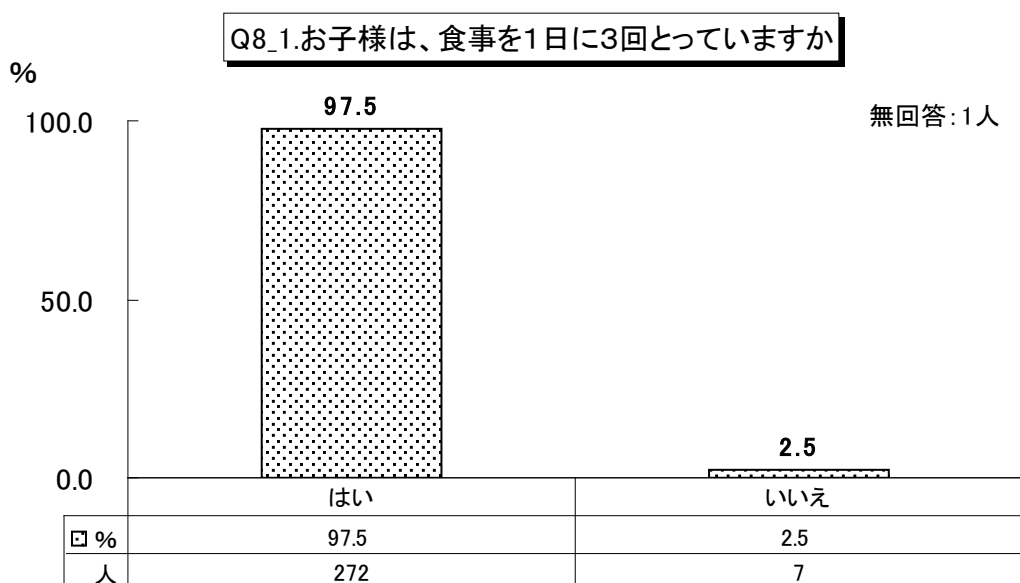
1. はい                      2. いいえ                      3. どちらともいえない

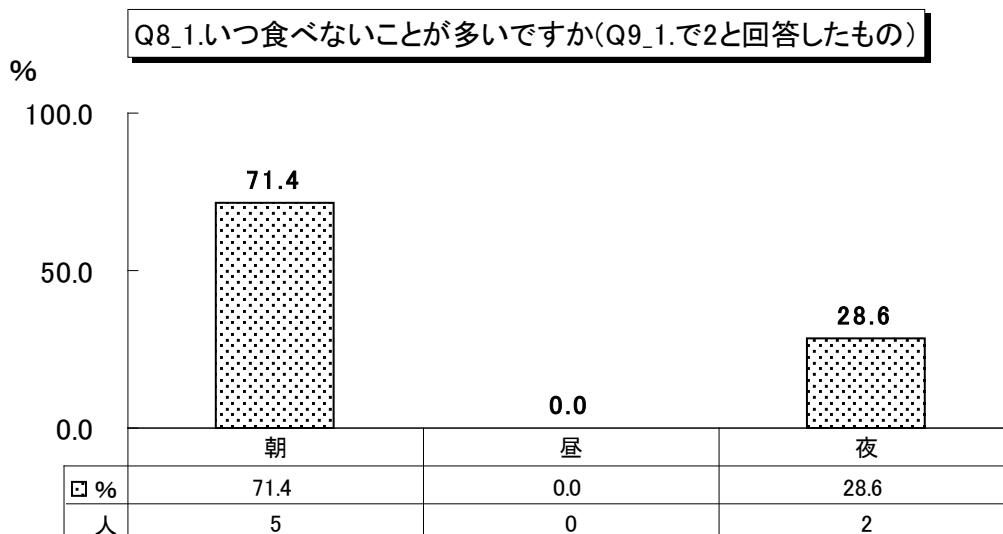


Q8. お子様の食事について伺います。

8-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

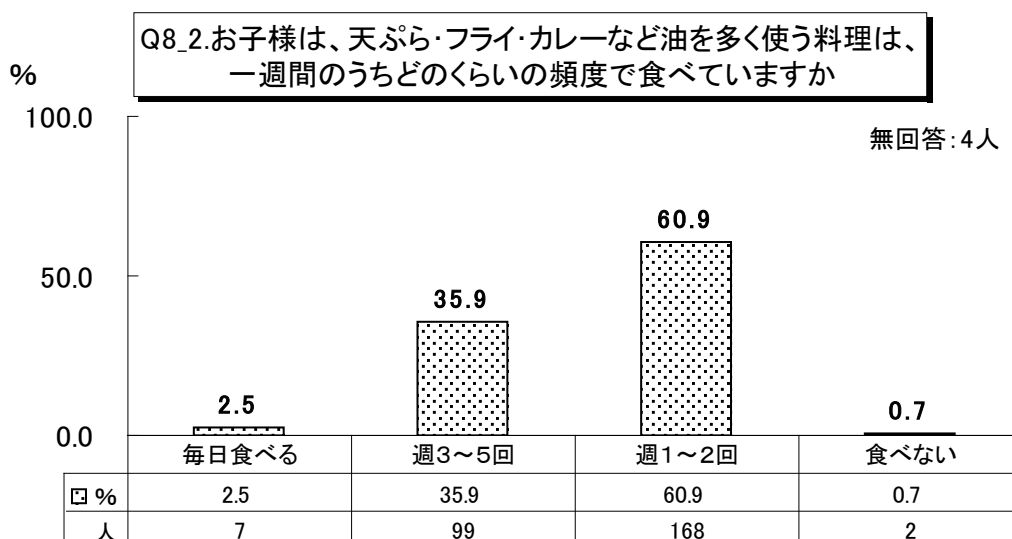
1. はい  
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか: 朝・昼・夜)





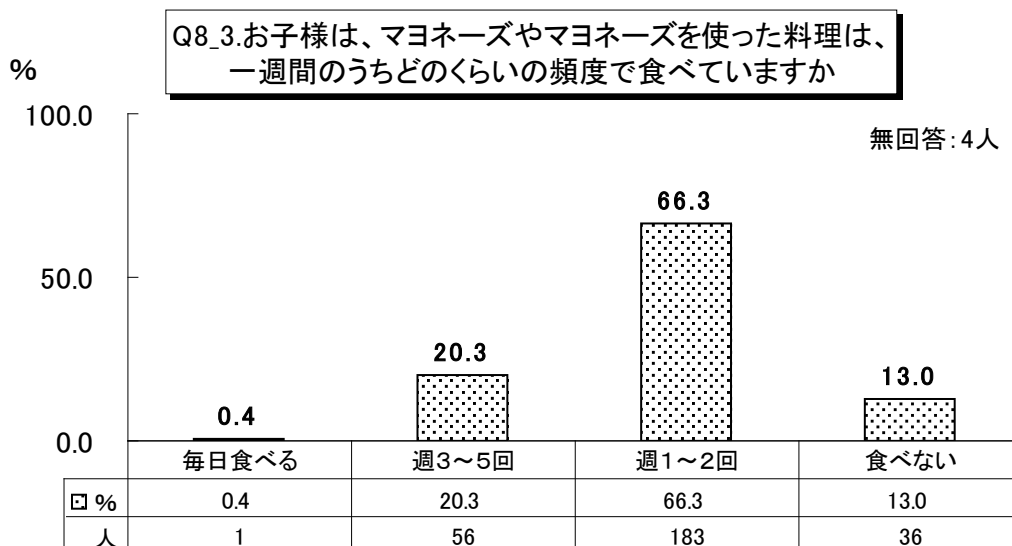
8-2. お子様は天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。(それぞれの食品は単独ではなく、合わせて考えてください。)

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない



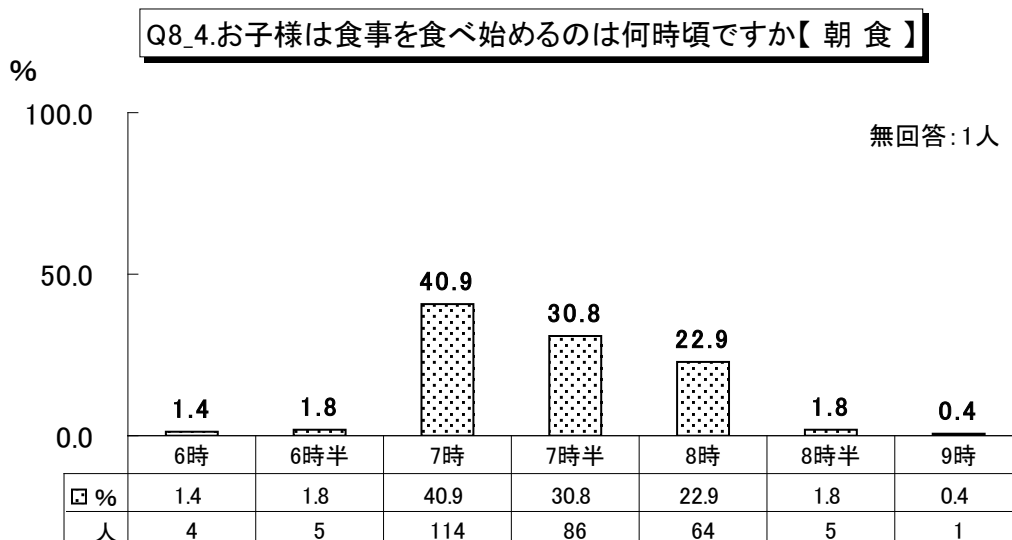
8-3. お子様はマヨネーズやマヨネーズを使った料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない



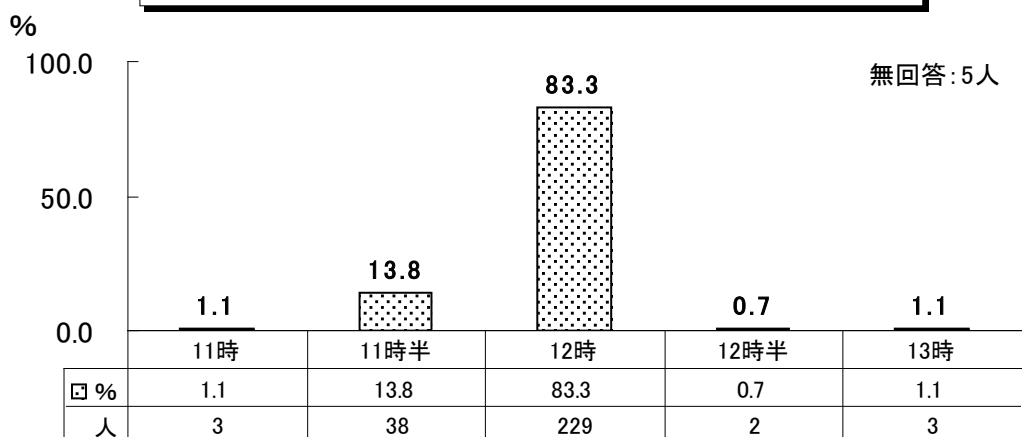
8-4. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食            (        ) 時 ころ  
 昼食            (        ) 時 ころ  
 夕食            (        ) 時 ころ

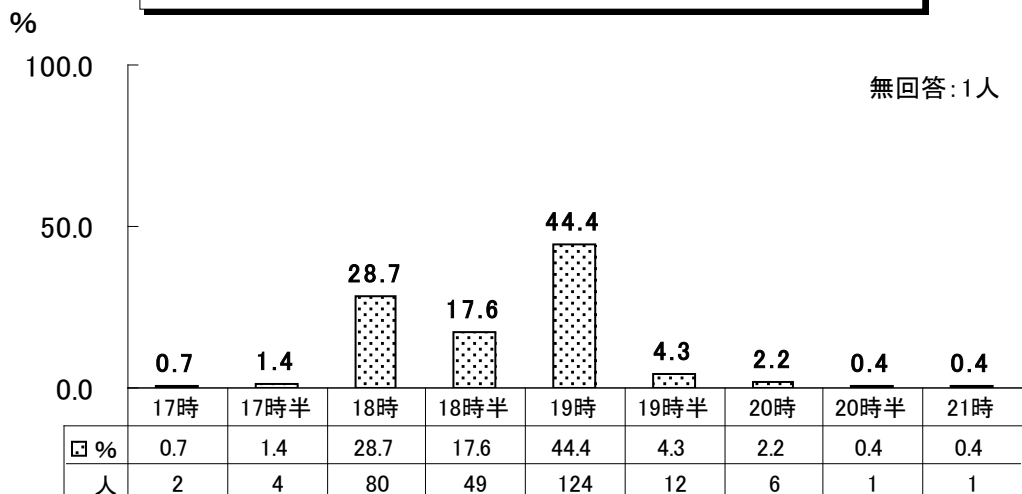




**Q8\_4.お子様は食事を食べ始めるのは何時頃ですか【昼食】**

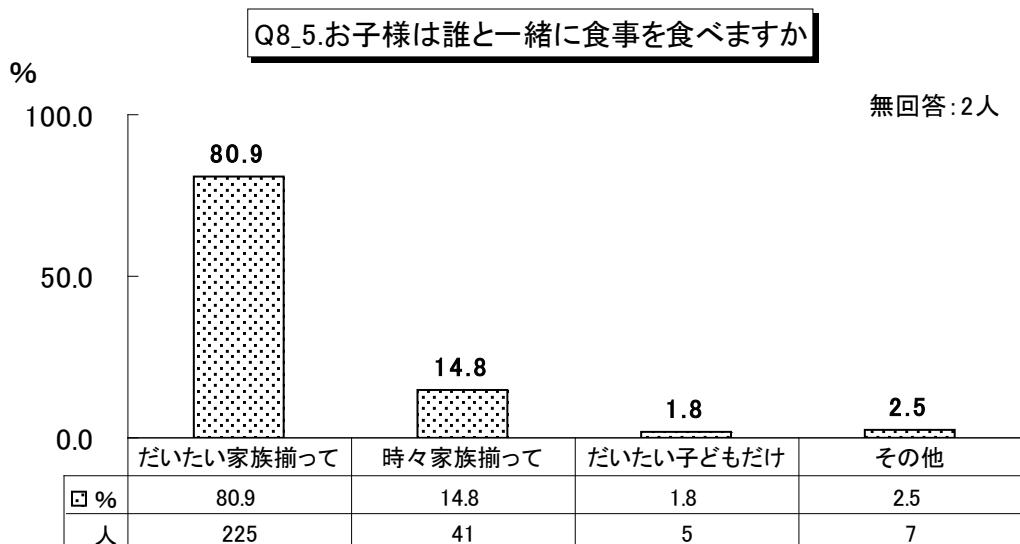


**Q8\_4.お子様は食事を食べ始めるのは何時頃ですか【夕食】**



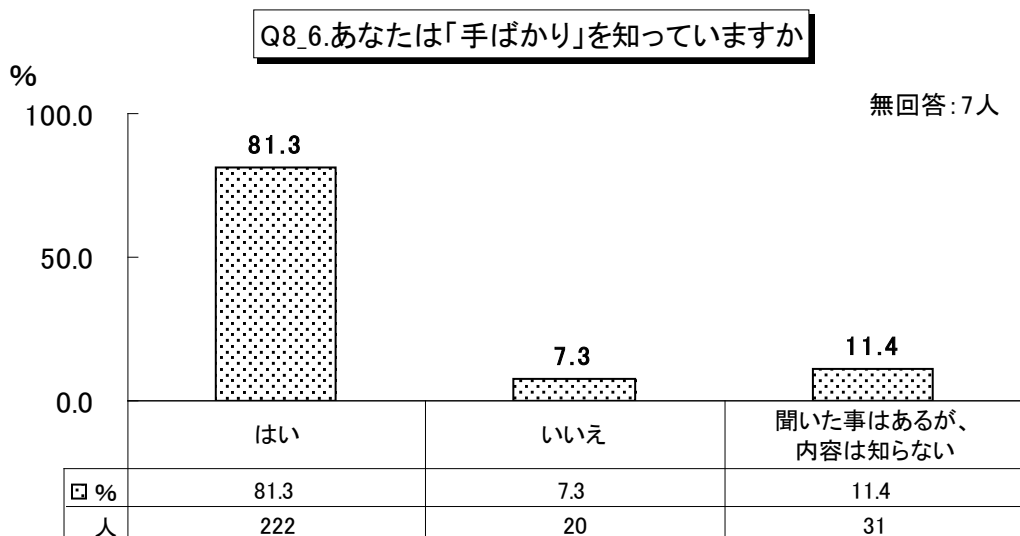
8-5. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ( )



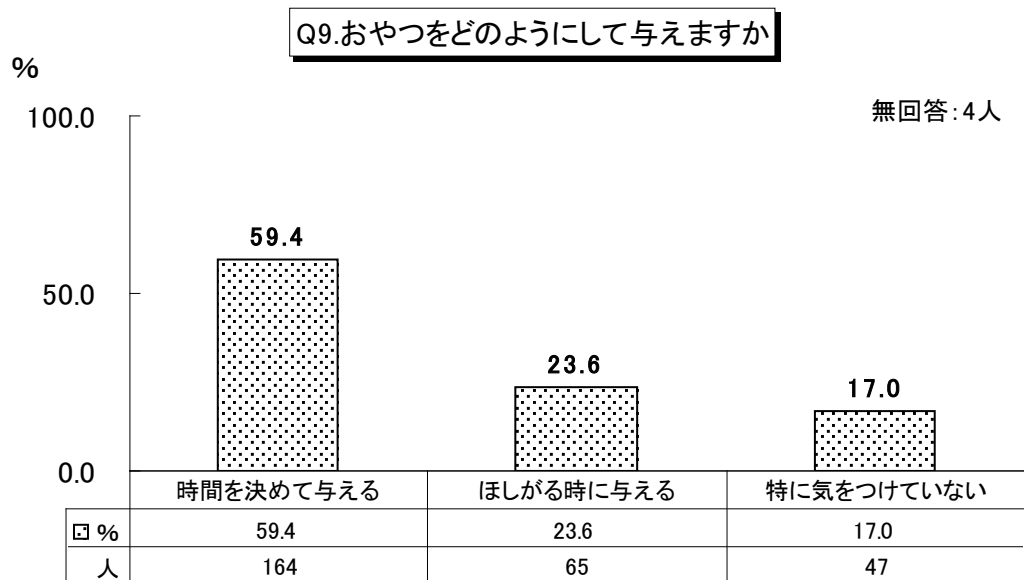
8-6. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q9. お子様のおやつはどのようにして与えますか。(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

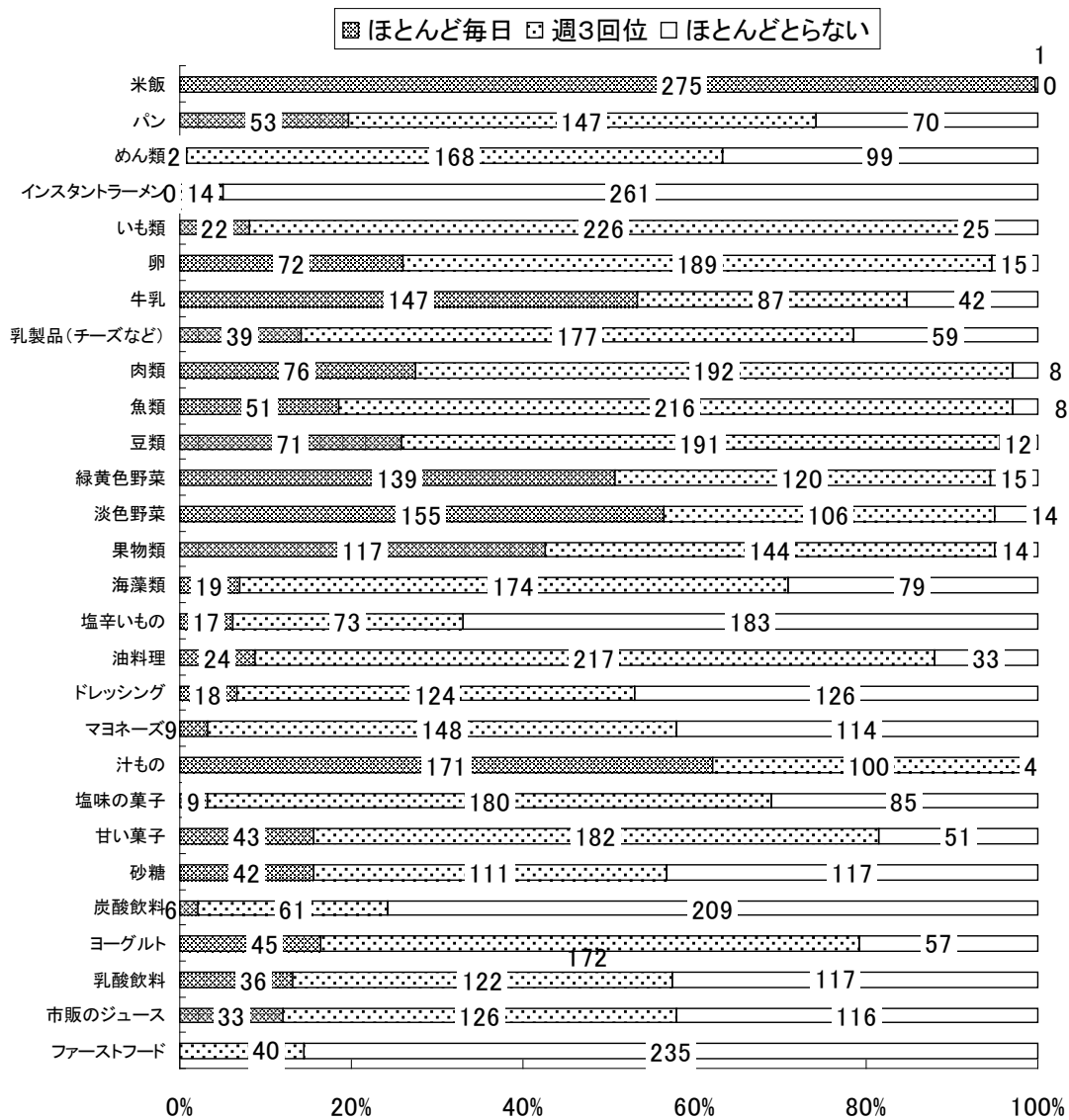
1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



Q10. お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

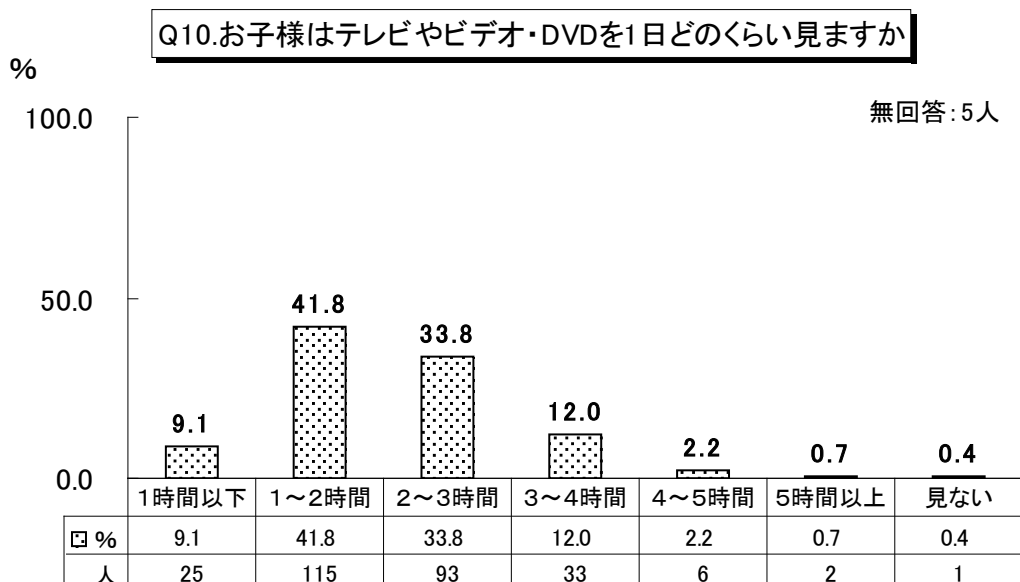
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q10.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい



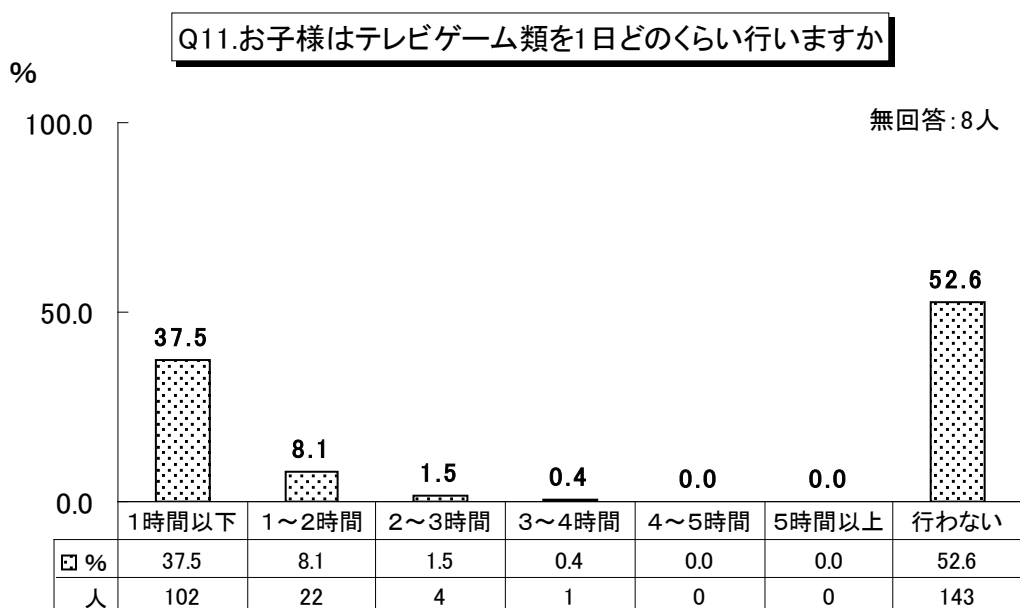
Q10. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下      2. 1～2時間      3. 2～3時間      4. 3～4時間  
5. 4～5時間      6. 5時間以上      7. 見ない



Q11. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか

1. 1時間以下      2. 1～2時間      3. 2～3時間      4. 3～4時間  
5. 4～5時間      6. 5時間以上      7. 行わない



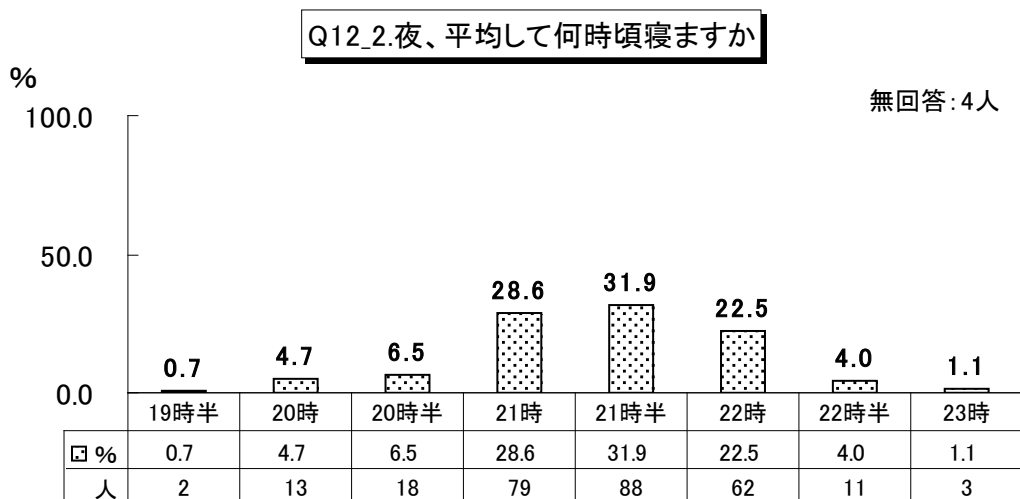
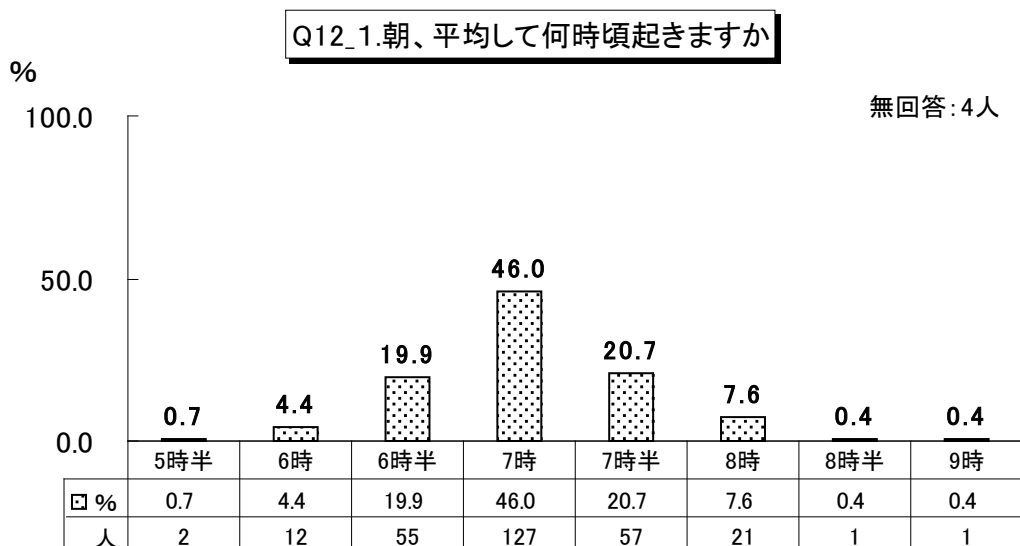
Q12. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

12-1. 朝、平均して何時頃起きますか ( ) 時 ( ) 分ころ

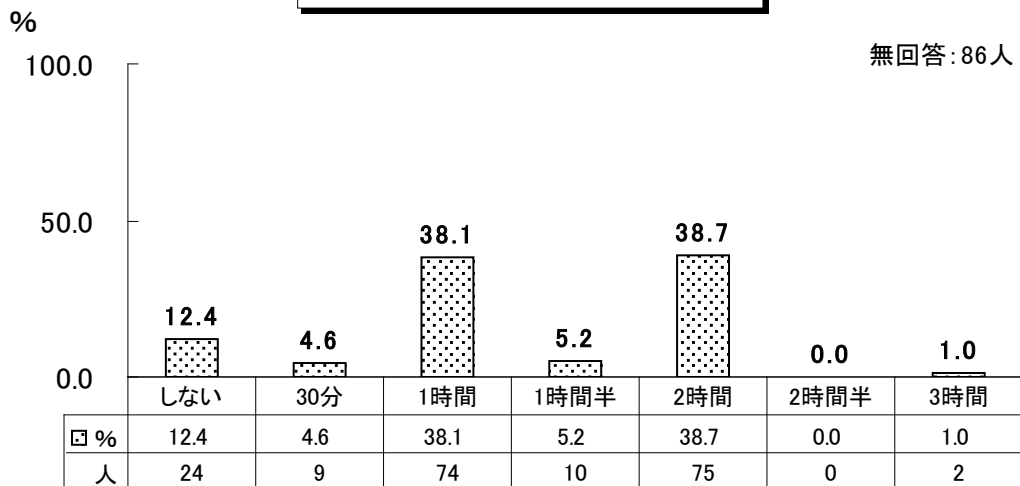
12-2. 夜、平均して何時頃寝ますか ( ) 時 ( ) 分ころ

12-3. 昼寝は一日どのくらいしますか ( ) 時間位

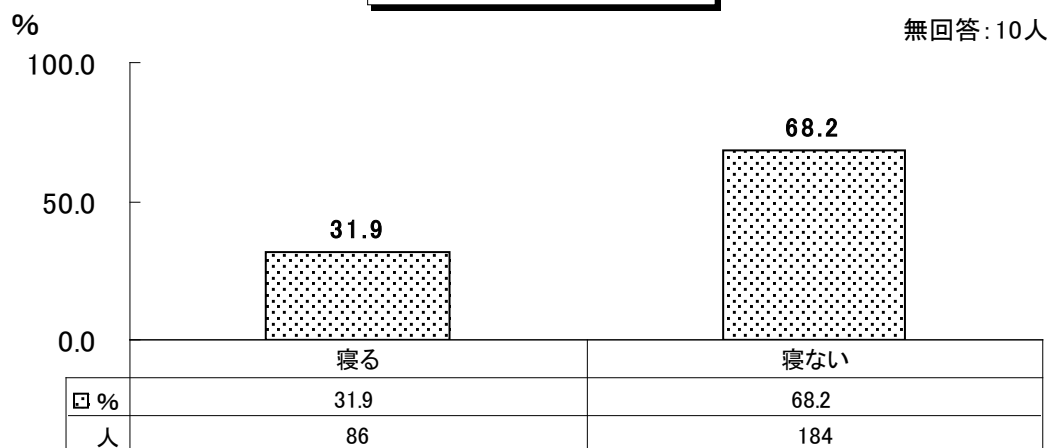
12-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る ②寝ない(誰と: )



**Q12\_3.昼寝は1日どのくらいしますか**



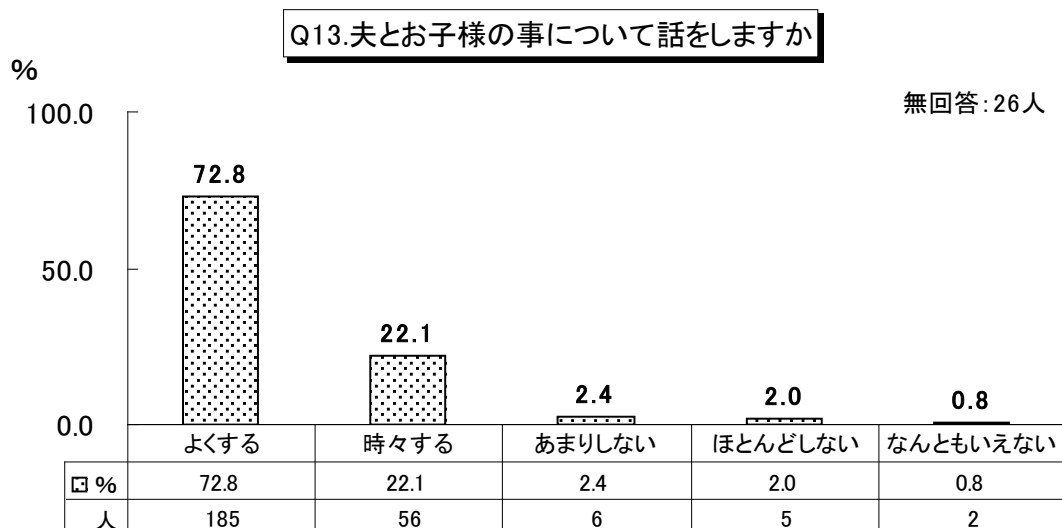
**Q12\_4.夜、一人で寝ますか**





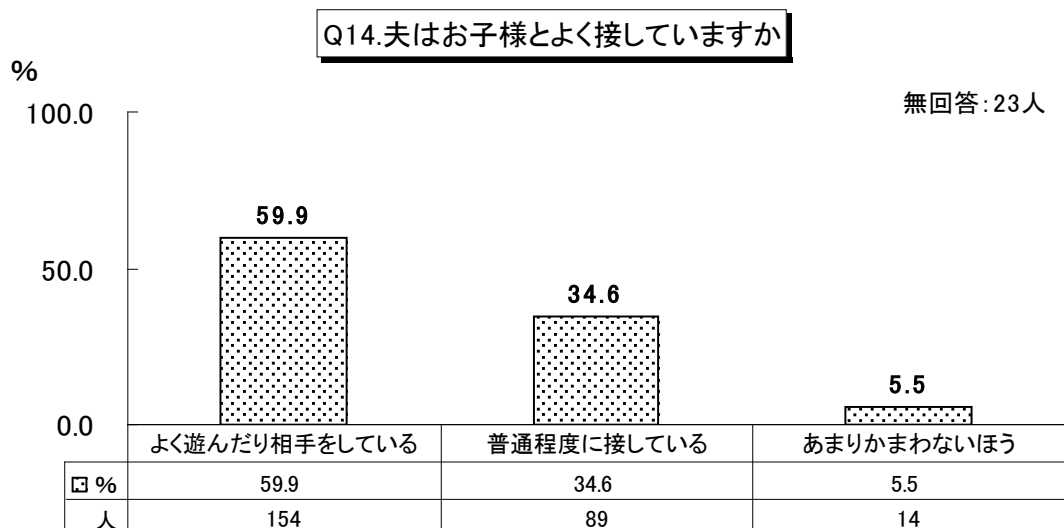
Q13. 夫とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



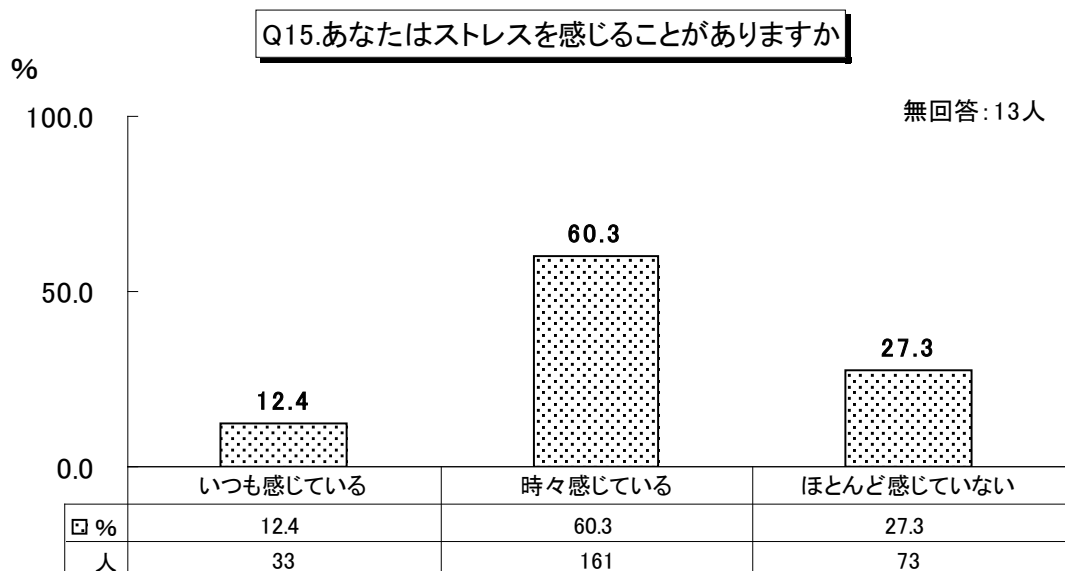
Q14. 夫はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



Q15. あなたはストレスを感じるがありますか。

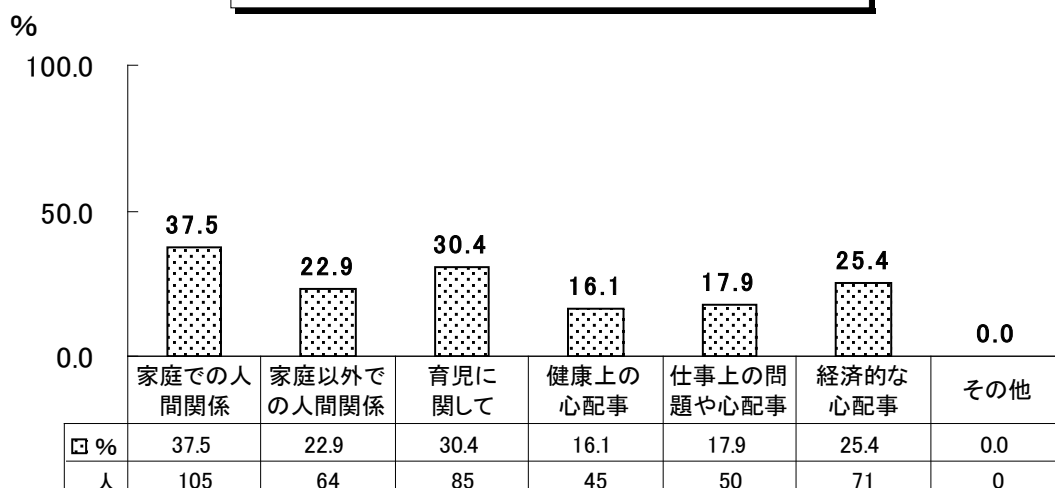
1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じない



Q16. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

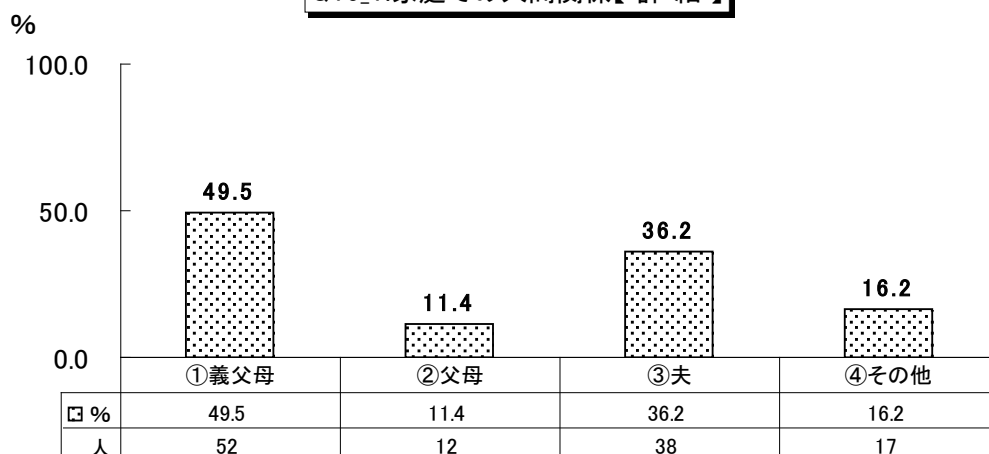
1. 家庭での人間関係
  - ①義父母
  - ②父母
  - ③夫
  - ④その他 ( )
2. 家庭以外での人間関係
  - ①職場
  - ②隣近所
  - ③その他 ( )
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
  - ①自分自身
  - ②子ども
  - ③子ども以外の家族
  - ④その他 ( )
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ( )

**Q16.あなたはどのようなことがストレスだと感じますか**



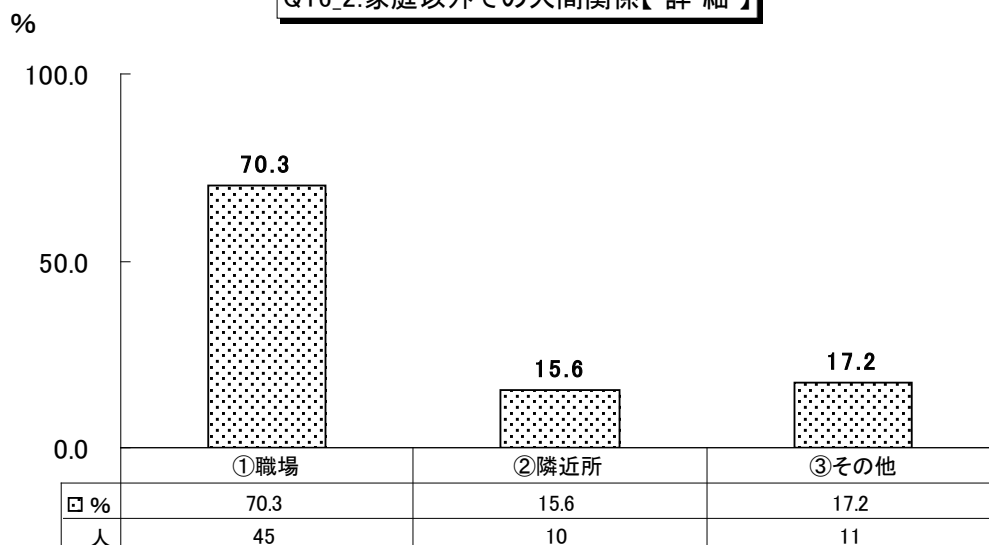
(○をつけた人の数 複数回答有り)

**Q16\_1.家庭での人間関係【詳細】**

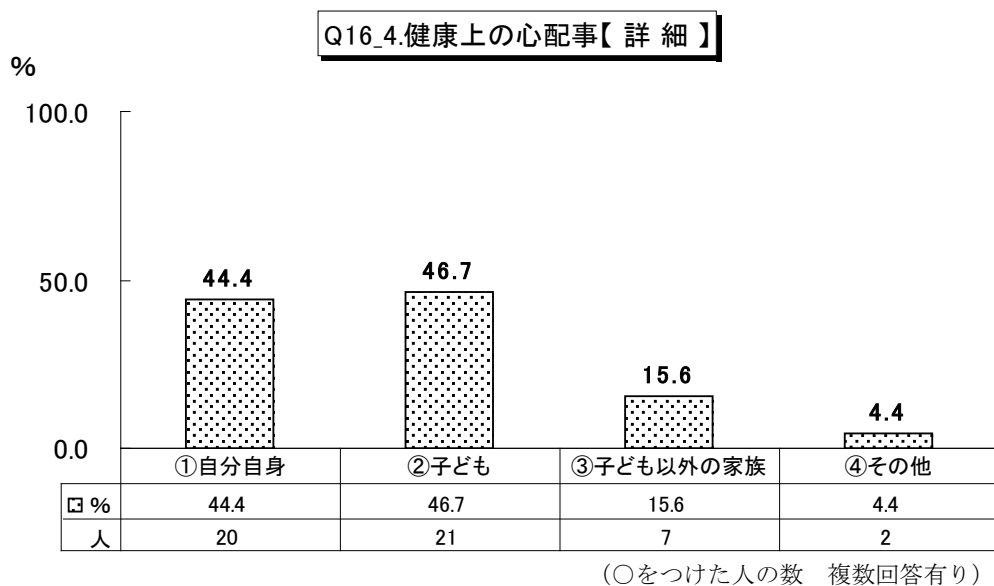


(○をつけた人の数 複数回答有り)

**Q16\_2.家庭以外での人間関係【詳細】**

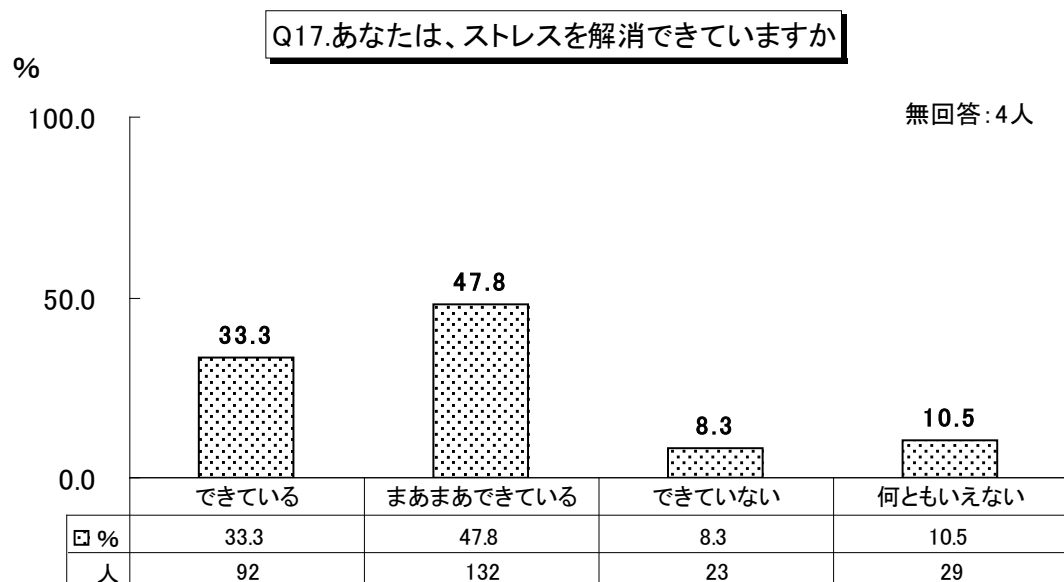


(○をつけた人の数 複数回答有り)



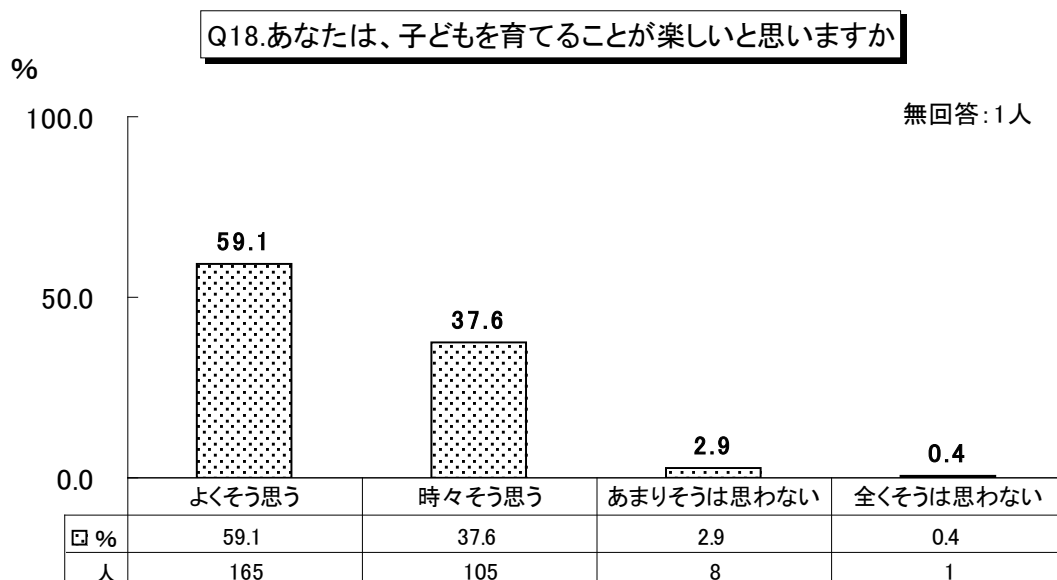
Q17. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



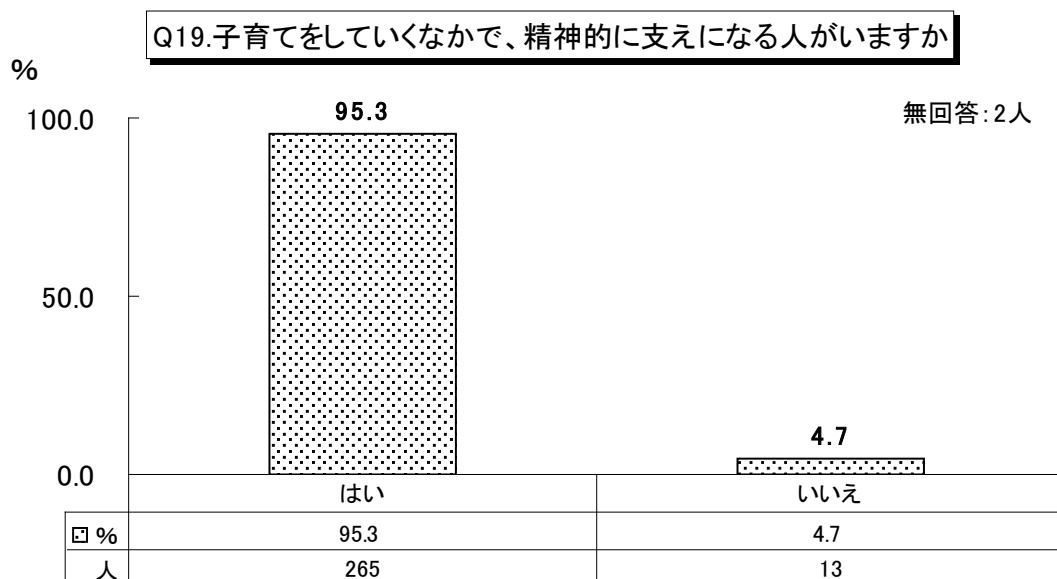
Q18. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



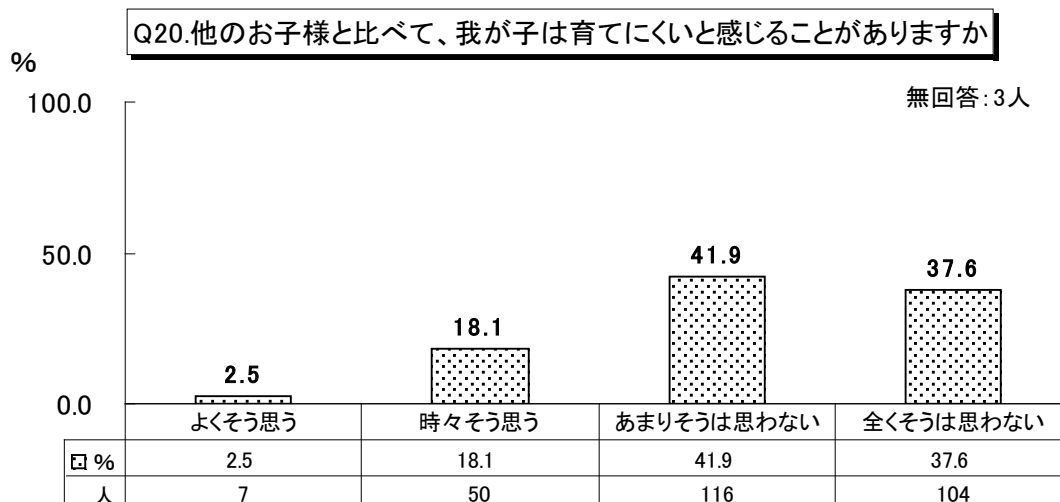
Q19. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

1. はい
2. いいえ



Q20. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

以上です。御協力ありがとうございました。

## V. 調査票





## 母子健康手帳の交付を受けられる方へ

妊娠おめでとうございます。新しい生命の誕生をひかえ、期待に胸をふくらませていることと思います。

さて、甲州市（子育て支援課）では皆様方が妊娠中の生活を健やかに送れますように、様々な方面から健康支援に努めております。より健やかにお子様のご誕生が迎えられるよう、皆様方と一緒に考えていくために、アンケート調査を行っています。このアンケートの結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ皆様の妊娠中の健康管理に役立たせると共に、将来妊娠される方々の保健指導にも生かしていきたいと思っております。

記入された個々の内容に関しては、秘密が守られますので、ありのままにお答えください。

甲州市役所 子育て支援課

世帯

個人

注：妊娠された本人以外の方が母子健康手帳を受け取る場合は、窓口の指示により本アンケート用紙を家庭に持ち帰り、必ず本人が記入したうえで早急に子育て支援課まで届けてください。

（記入法） 各質問に対し、該当する番号に○印や記入をしてください。

氏 名 \_\_\_\_\_  
 出産予定日 年 月 日 \_\_\_\_\_  
 記入年月日 年 月 日 \_\_\_\_\_

Q1. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

1. 仕事をしている
2. 仕事はしているが現在休職中である
3. 仕事はしていない（専業主婦である）
4. 学生である

→3, 4 と答えた方は  
 Q3. へお進みください

Q2. Q1 で 1, 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業
2. 自営業
3. 常勤
4. パート・内職
5. その他（ ）

2-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日（ ）時間 週（ ）日勤務

Q3. 妊娠とわかった時の気持ちはどんなでしたか。

SQ1. あなた自身

↓

1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他（ ）

SQ2. 夫

↓

1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他（ ）

Q4. 今回の妊娠は計画的な妊娠ですか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

Q5. 子どもは全部で何人くらい希望しますか。

- 3-1. 自分は ①（ ）人 ②わからない
- 3-2. 夫は ①（ ）人 ②わからない

Q6. あなたはタバコを吸いますか。

1. 吸う（一日平均\_\_\_\_本、今まで\_\_\_\_年間吸っている）
2. 妊娠する前からやめていた（以前一日平均\_\_\_\_本、今まで\_\_\_\_年間吸った）
3. 妊娠を契機にやめた（以前一日平均\_\_\_\_本、今まで\_\_\_\_年間吸った）
4. 以前から全く吸わない

Q7. Q6 で 1. と答えた方のみお答えください。

あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

1. いつも思っている
2. ときどき思う
3. 思わない

Q8. あなたの夫はタバコを吸いますか。

1. 吸う（一日平均\_\_\_\_本）
2. 妊娠する前からやめていた
3. 妊娠を契機にやめた
4. 以前から全く吸わない

Q9. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙されるかたはいますか。

1. いない
2. いる（どなたですか？ ）

Q10. あなたはお酒を飲みますか。

1. 飲む（月平均\_\_\_\_日、\_\_\_\_年間飲んでいる）
2. 妊娠する前からやめていた（以前、月平均\_\_\_\_日、\_\_\_\_年間飲んでいて）
3. 妊娠を契機にやめた（以前、月平均\_\_\_\_日、\_\_\_\_年間飲んでいて）
4. 以前から全く飲まない

(Q10で1と答えた方のみお答えください。)

10-1. 飲むお酒の種類は何ですか。一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

1. ビール (大びん\_\_本)      2. 日本酒 (\_\_合)      3. ワイン (\_\_合)  
 4. ウイスキー・ブランデー (水割り\_\_杯)      5. しょうちゅう (水割り等\_\_杯)  
 6 その他 ( )

10-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている      2. ときどき思う      3. 思わない

Q11. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい      2. いいえ      3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q12. 妊娠前の食事に関してうかがいます。

※妊娠前とは、おおよそ妊娠する1年間くらい前までのこととお考えください。

12-1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. はい      2. いいえ      3. どちらともいえない

12-2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい      2. いいえ      3. どちらともいえない

12-3. 塩分はできるだけひかえめにしていましたか。

1. はい      2. いいえ      3. どちらともいえない

12-4. 動物性脂肪をできるだけひかえめにしていましたか。

1. はい      2. いいえ      3. どちらともいえない

12-5. 野菜をたべるようにしていましたか。

1. はい      2. いいえ      3. どちらともいえない

12-6. 食品を選ぶ時、無農薬・添加物などを意識して選んでいましたか。

1. はい      2. いいえ      3. どちらともいえない

12-7. 天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていましたか。(それぞれの食品は単独ではなく、トータルして考えてください)

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない

12-8. マヨネーズを使った料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていましたか。

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない

12-9. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる      2. 週3~5回      3. 週1~2回      4. 食べない

12-10. 外食の頻度はどのくらいでしたか。

1. 毎日      2. 週3~5回      3. 週1~2回  
 4. 月1~2回      5. それ以下の頻度

12-11. 妊娠前の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろでしたか?平日と休日で異なった場合は平日のことをお書きください。

朝食 ( ) 時 ころ

昼食 ( ) 時 ころ

夕食 ( ) 時 ころ

Q13. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。  
当てはまる箇所には○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q14. 妊娠前、あなたは運動不足だと思っていましたか。

1. 運動不足であった
2. 少し運動不足であった
3. まあ運動している方であった
4. よく運動していた

Q15. 妊娠前、あなたは一日に戸外をどのくらい歩きましたか。

(平日についてお答えください)

1. ほとんど歩かない
2. 15分未満
3. 15分～30分未満
4. 30分～1時間未満
5. 1時間～2時間未満
6. 2時間以上

Q16. 妊娠前、あなたはスポーツ (ジョギング・エアロビクス・テニス・卓球・水泳・ゴルフ・その他) をどれくらいやっていましたか。

1. 週5回以上
2. 週2～4回
3. 週1回
4. 月1～2回
5. それ以下の頻度
6. 全くやらない

Q17. 妊娠前のあなたの平日 (土、日を除く) の起床・就寝時間についてうかがいます。

1. 朝、平均して何時ごろ起きますか ( ) 時ごろ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか ( ) 時ごろ
3. 平均して何時間寝ますか ( ) 時間位

Q18. 現在ストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

Q19. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係  
①義父母 ②父母 ③夫 ④その他 ( )
2. 家庭以外での人間関係  
①職場 ②隣近所 ③その他 ( )
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事  
①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族  
④その他 ( )
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ( )

Q20. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない

Q21. 近所づきあいはどのようにしていますか。

1. ほとんどしない 2. 普通程度にする 3. 積極的にする 4. 何ともいえない

Q22. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

1. はい 2. いいえ

Q23. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい 2. いいえ

以上です。ご協力ありがとうございました。

## 1歳6か月児健康診査に来られる保護者の皆様へ

1歳半を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょう。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市役所（子育て支援課）では、様々な方面から健康への支援に努めております。お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、1歳6か月児に関するアンケート調査を行っています。

このアンケートの結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様のこれからの健康管理に役立つ大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、ありのままにお答えください。

甲州市役所 子育て支援課  
世帯  
個人

[この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。]

(記入法：各質問の該当するものの番号に○をつけて下さい。)

記入年月日 → ( )年( )月( )日 記入者続柄【父 母 その他( )】  
お子様のお名前 ( ) 生年月日( 年 月 日生)

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- |                        |       |           |
|------------------------|-------|-----------|
| ①発育・発達のこと              | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ②性格のこと                 | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ③行動・癖のこと               | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ④病気・事故のこと              | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑤食事のこと                 | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑥睡眠のこと                 | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑦お友達のこと                | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑧しつけについて (トイレトレーニング含む) | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑨保育園・幼稚園について           | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑩祖父母との育児方針             | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑪住居環境のこと               | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑫その他                   | 1. ない | 2. ある ( ) |

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 仕事をしている           | } →3. 4. と答えた方は<br>Q4. へお進みください |
| 2. 仕事はしているが現在休職中である  |                                 |
| 3. 仕事はしていない(専業主婦である) |                                 |
| 4. 学生である             |                                 |

Q3. Q2で1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- |            |        |       |           |
|------------|--------|-------|-----------|
| 1. 農業      | 2. 自営業 | 3. 常勤 | 4. パート・内職 |
| 5. その他 ( ) |        |       |           |

3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日( )時間 週( )日勤務

Q4. たばこについておききます。

- 4-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。
- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- 4-2. 現在あなたの夫はたばこを吸っていますか。
- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q5. お子様は保育所に通園していますか。

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 通園している ( 歳 ヶ月から) | 2. 通園していない |
|---------------------|------------|

Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. ほとんどない |

Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. ほとんどない |

Q8. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 1時間以下 | 2. 1～2時間 | 3. 2～3時間 | 4. 3～4時間 |
| 5. 4～5時間 | 6. 5時間以上 | 7. 見ない   |          |

Q9. お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか？お母さんとお母さん以外の人についてそれぞれお答えください。

9-1. お母さんとはどうですか

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. ほとんどない |

9-2. お母さん以外の人とはどうですか

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. ほとんどない |

Q10. お子様の食事について伺います。

10-1. お子様は天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。(それぞれの食品は単独ではなく、合わせて考えてください。)

1. 毎日食べる    2. 週3~5回    3. 週1~2回    4. 食べない

10-2. お子様はマヨネーズやマヨネーズを使った料理は、1週間のうちどのくらいの頻度で食べていますか。

1. 毎日食べる    2. 週3~5回    3. 週1~2回    4. 食べない

10-3. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか?平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食            (        ) 時 ころ  
 昼食            (        ) 時 ころ  
 夕食            (        ) 時 ころ

10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい            2. いいえ            3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q11. お子様のおやつについてうかがいます。

11-1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える  
 2. ほしがる時に与える  
 3. 特に与え方に気をつけていない

11-2. おやつは1日何回ですか。

1. 1回    2. 2回    3. 3回    4. 4回以上    5. なし

Q12. お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q13. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

- 12-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか ( ) 時 ( ) 分ころ  
 12-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか ( ) 時 ( ) 分ころ  
 12-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか ( ) 時 ( ) 分ころ  
 12-4. 昼寝は一日どのくらいしますか ( ) 時間位  
 12-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰: )

Q14. 夫とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない  
 4. ほとんどしない 5. なんともいえない

Q15. 夫はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている  
 2. 普通程度に接している 3. あまりかまわないほうである

Q16. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている 2. 時々感じている 3. ほとんど感じていない

Q17. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係  
 ①義父母 ②父母 ③夫 ④その他 ( )  
 2. 家庭以外での人間関係  
 ①職場 ②隣近所 ③その他 ( )  
 3. 育児に関して  
 4. 健康上の心配事  
 ①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族  
 ④その他 ( )  
 5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)  
 6. 経済的な心配事  
 7. その他 ( )

Q18. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない

Q19. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思えますか。

1. よくそう思う 2. ときどきそう思う  
 3. あまりそう思わない 4. 全くそうは思わない

Q20. あなたには、子ども連れで母親同士が集まれる場所がありますか。

1. はい 2. いいえ

Q21. 子育てをしていくなかで、あなたにとって誰か精神的に支えになる人がいますか。

1. はい 2. いいえ

Q22. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う 2. ときどきそう思う  
 3. あまりそうは思わない 4. 全くそうは思わない

Q23. お子様はかかりつけのお医者さんがいますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない/わからない

Q24. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい ( ) 回  
 2. いいえ

24-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入ください

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	( ) 日間	( ) 日間	( ) 日間
病名	( )	( )	( )
医療機関名	( )	( )	( )

Q25. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

(注: タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます。)

1. はい  
 2. いいえ

Q26. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (                    回)
2. いいえ

26-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
(                                    )	(                                    )
(                                    )	(                                    )
(                                    )	(                                    )
(                                    )	(                                    )

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

子どもの事故について環境の調査ご協力お願い

幼児の事故の中で、全国的にも本市においても多く起こっているのが、交通事故や溺水事故です。

今回、溺水事故を防止していくために、特に危険とされるお風呂を中心に生活環境についてお伺い致します。

お手数でもご協力くださいますようお願い致します。

Q1. お子様は、今までにお風呂場で危険な目にあったことがありますか。

(お風呂場でおぼれかかった、すべった、やけどなど)

1. はい
 

ア. おぼれた (            ) 回	イ. すべった (            ) 回
ウ. やけど (            ) 回	エ. ころんだ (            ) 回
オ. その他 (            ) 回	
2. いいえ

上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入ください。

	1回目	2回目	3回目
何歳頃でしたか	歳    カ月頃	歳    カ月頃	歳    カ月頃
いつでしたか	ア. 平日 イ. 休日	ア. 平日 イ. 休日	ア. 平日 イ. 休日
何時頃でしたか	午前・午後 (    ) 時頃	午前・午後 (    ) 時頃	午前・午後 (    ) 時頃
どんな状況でしたか			
病院受診したか	受診した・しない	受診した・しない	受診した・しない

Q2. お風呂場での事故防止のため工夫していることがありますか。

(該当するものにいくつでも○をつけてください)

1. お風呂場に入れないように、鍵をかけている
2. 浴槽にため湯や残し湯をしない様にしている
3. 浴槽のふたを固くてしっかりしているものにしてている
4. その他 (                                    )
5. 特にしていない

Q3. お宅の浴槽の高さ (洗い場から浴槽の縁までの高さ) は、何 cm ですか。

\*お手数ですが、同封の紙のメジャーで測定し記入してください。

(                    cm)

以上です。ご協力ありがとうございました。



### 3 歳児健康診査に来られる保護者様へ

3 歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の方の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市（子育て支援課）では、様々な方面から健康への支援に努めております。お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、3 歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康管理に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 子育て支援課  
世帯  
個人

[この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。]

(記入法：各質問の該当するものの番号に○をつけて下さい。)

記入年月日 → ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日

お子様のお名前 ( ) 生年月日 ( 年 月 日生)

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- |                |       |           |
|----------------|-------|-----------|
| ①発育・発達のこと      | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ②性格のこと         | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ③行動・癖のこと       | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ④病気・事故のこと      | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑤食事のこと         | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑥睡眠のこと         | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑦お友達のこと        | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑧保育園・幼稚園の入園のこと | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑨しつけ           | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑩祖父母との育児方針     | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑪住居環境のこと       | 1. ない | 2. ある ( ) |
| ⑫その他           | 1. ない | 2. ある ( ) |

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中から選び下さい。

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 仕事をしている           | } →3. 4. と答えた方は<br>Q4. へお進みください |
| 2. 仕事はしているが現在休職中である  |                                 |
| 3. 仕事はしていない（専業主婦である） |                                 |
| 4. 学生である             |                                 |

Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中から選び下さい。

- |            |        |       |           |
|------------|--------|-------|-----------|
| 1. 農業      | 2. 自営業 | 3. 常勤 | 4. パート・内職 |
| 5. その他 ( ) |        |       |           |

3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 ( ) 時間 週 ( ) 日勤務

Q4. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

1. 保育所に通園している ( 歳から)
2. 幼稚園に通園している ( 歳から)
3. 通園していないが、これから通園させたい ( 歳から)
4. ずっと通園させないつもりである
5. わからない／なんともいえない
6. その他

Q5. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. ほとんどない |

Q6. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. ときどきある |
| 3. あまりない | 4. ほとんどない |

Q7. お子様は同年代の子どもに興味や関心をもちますか。

- |       |        |              |
|-------|--------|--------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともいえない |
|-------|--------|--------------|

Q8. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類（インスタントラーメン以外）	1	2	3
インスタントラーメン （カップラーメン含む）	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品（チーズなど）	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類（豆腐・納豆などを含む）	1	2	3
緑黄色野菜（ピーマン・にんじんなど）	1	2	3
淡色野菜（きゅうり・キャベツなど）	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの（つくだに・漬け物など）	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの（味噌汁・すましなど）	1	2	3
塩味のお菓子（ポテトチップなど）	1	2	3
甘いお菓子（砂糖を含むもの）	1	2	3
砂糖（コーヒー・紅茶に 入れるものを含む）	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料（ヤクルトなど）	1	2	3
市販のジュース（スポーツ飲料含む）	1	2	3
ファーストフード（ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど）	1	2	3

Q9. お子様の食事について伺います。

9-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ（いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜）

9-2. お子様は天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理は、1週間のうちのどのくらいの頻度で食べていますか。（それぞれの食品は単独ではなく、合わせて考えてください。）

1. 毎日食べる
2. 週3～5回
3. 週1～2回
4. 食べない

9-3. お子様はマヨネーズやマヨネーズを使った料理は、1週間のうちのどのくらいの頻度で食べていますか。

1. 毎日食べる
2. 週3～5回
3. 週1～2回
4. 食べない

9-4. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食（ ）時 ころ  
 昼食（ ）時 ころ  
 夕食（ ）時 ころ

9-5. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他（ ）

9-6. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q10. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）についてうかがいます。

10-1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

10-2. おやつは1日何回ですか。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回以上
5. なし

Q11. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下
2. 1～2時間
3. 2～3時間
4. 3～4時間
5. 4～5時間
6. 5時間以上
7. 見ない

Q12. お子様はテレビゲーム類（ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む）を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下      2. 1～2時間      3. 2～3時間      4. 3～4時間  
5. 4～5時間      6. 5時間以上      7. 行わない

Q13. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

- 13-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか      (      ) 時 (      ) 分ごろ  
13-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか      (      ) 時 (      ) 分ごろ  
13-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか      (      ) 時 (      ) 分ごろ  
13-4. 昼寝は一日どのくらいしますか      (      ) 時間位  
13-5. 夜、誰と一緒に寝ますか      (誰:      )

Q14. 夫とお子様の事について話をしますか。

1. よくする      2. 時々する      3. あまりしない  
4. ほとんどしない      5. なんともいえない

Q15. 夫はお子様とよく接していますか。

1. よく遊んだり、相手をしている  
2. 普通程度に接している  
3. あまりかまわないほうである

Q16. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている  
2. 時々感じている  
3. ほとんど感じていない

Q17. あなたはということがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係  
①義父母    ②父母    ③夫    ④その他 (      )  
2. 家庭以外での人間関係  
①職場    ②隣近所    ③その他 (      )  
3. 育児に関して  
4. 健康上の心配事  
①自分自身    ②子ども    ③子ども以外の家族  
④その他 (      )  
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)  
6. 経済的な心配事  
7. その他 (      )

Q18. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている    2. まあまあできている    3. できていない    4. 何ともいえない

Q19. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思えますか。

1. よくそう思う    2. ときどきそう思う  
3. あまりそうは思わない    4. 全くそうは思わない

Q20. あなたには、子ども連れて母親同士が集まれる場所がありますか。

1. はい    2. いいえ

Q21. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

1. はい    2. いいえ

Q22. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (      回)  
2. いいえ

22-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(      日間)	(      日間)	(      日間)
病名	(      )	(      )	(      )
医療機関名	(      )	(      )	(      )

Q23. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

(注: タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)

1. はい  
2. いいえ

Q24. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (      回)  
2. いいえ

24-1. その時の病名と医療機関名は

病名（またはその症状）	医療機関名
( )	( )
( )	( )
( )	( )
( )	( )

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

## 5 歳児健康診査に来られる保護者様へ

5歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市役所（子育て支援課）では、様々な方面から健康への支援に努めております。お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、5歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康管理に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 子育て支援課  
世帯  
個人

[この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。]

(記入法：各質問の該当するものの番号に○をつけて下さい。)

記入年月日 → 平成（ ）年（ ）月（ ）日

お子様のお名前（ ） 生年月日（ 年 月 日生）

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- |              |       |          |
|--------------|-------|----------|
| ①発育・発達のこと    | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ②性格のこと       | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ③行動・癖のこと     | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ④病気・事故のこと    | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑤食事のこと       | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑥睡眠のこと       | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑦お友達のこと      | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑧保育園・幼稚園について | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑨しつけについて     | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑩祖父母との育児方針   | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑪住居環境のこと     | 1. ない | 2. ある（ ） |
| ⑫その他         | 1. ない | 2. ある（ ） |

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- |                      |                                  |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 仕事をしている           | } →3. 4. と答えた方はは<br>Q4. へお進みください |
| 2. 仕事をしているが現在休職中である  |                                  |
| 3. 仕事はしていない（専業主婦である） |                                  |
| 4. 学生である             |                                  |

Q3. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

- |        |           |       |           |
|--------|-----------|-------|-----------|
| 1. 農業  | 2. 自営業    | 3. 常勤 | 4. パート・内職 |
| 5. 学 生 | 6. その他（ ） |       |           |

3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 → 1日（ ）時間 週（ ）日勤務

Q4. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

1. 保育園に通園している（ 歳から）
2. 幼稚園に通園している（ 歳から）
3. 通園していない
4. 通園していたがやめた
5. その他（ ）

Q5. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない

Q6. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

1. 戸外で遊ぶことが多い。
2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
3. 室内で遊ぶことが多い。

Q7. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

1. は い
2. いいえ
3. どちらともいえない

Q8. お子様の食事について伺います。

8-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝・昼・夜 )

8-2. お子様は天ぷら・フライ・カレーなど油を多く使う料理は、1週間のうちのどのくらいの頻度で食べていますか。(それぞれの食品は単独ではなく、合わせて考えてください。)

1. 毎日食べる
2. 週3~5回
3. 週1~2回
4. 食べない

8-3. お子様はマヨネーズやマヨネーズを使った料理は、1週間のうちのどのくらいの頻度で食べていますか。

1. 毎日食べる
2. 週3~5回
3. 週1~2回
4. 食べない

8-4. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 ( ) 時 ころ  
 昼食 ( ) 時 ころ  
 夕食 ( ) 時 ころ

8-5. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ( )

8-6. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q9. お子様のおやつはどのようにして与えますか。(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

Q10. お子様の食事について、該当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

- Q10. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。
1. 1時間以下    2. 1～2時間    3. 2～3時間    4. 3～4時間  
5. 4～5時間    6. 5時間以上    7. 見ない

- Q11. お子様はテレビゲーム・テレビゲーム類（ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む）を一日どのくらい行いますか
1. 1時間以下    2. 1～2時間    3. 2～3時間    4. 3～4時間  
5. 4～5時間    6. 5時間以上    7. 行わない

- Q12. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

- 12-1. 朝、平均して何時頃起きますか    (    ) 時 (    ) 分ごろ  
12-2. 夜、平均して何時頃寝ますか    (    ) 時 (    ) 分ごろ  
12-3. 昼寝は一日どのくらいしますか    (    ) 時間位  
12-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る    ②寝ない (誰と:    )

- Q13. 夫とお子様の事について話をしますか。

1. よくする    2. 時々する    3. あまりしない  
4. ほとんどしない    5. なんともいえない

- Q14. 夫はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている  
2. 普通程度に接している  
3. あまりかまわないほうである

- Q15. あなたはストレスを感じることはありませんか。

1. いつも感じている  
2. 時々感じている  
3. ほとんど感じない

- Q16. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることをすべてに

○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係  
①義父母    ②父母    ③夫    ④その他 (    )
2. 家庭以外での人間関係  
①職場    ②隣近所    ③その他 (    )
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事  
①自分自身    ②子ども    ③子ども以外の家族  
④その他 (    )
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 (    )

- Q17. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている    2. まあまあできている    3. できていない    4. 何ともいえない

- Q18. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思えますか。

1. よくそう思う    2. ときどきそう思う  
3. あまりそうは思わない    4. 全くそうは思わない

- Q19. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

1. はい    2. いいえ

- Q20. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う    2. ときどきそう思う  
3. あまりそうは思わない    4. 全くそうは思わない

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

以上です。御協力ありがとうございました。





## VI. 個別研究



## Original Article

**Is Maternal Smoking during Early Pregnancy a Risk Factor for All Low Birth Weight Infants?**Kohta Suzuki,<sup>1</sup> Taichiro Tanaka,<sup>1</sup> Naoki Kondo,<sup>1</sup> Junko Minai,<sup>1</sup> Miri Sato,<sup>1</sup> and Zentaro Yamagata<sup>1</sup><sup>1</sup> Department of Health Sciences, School of Medicine, University of Yamanashi

Received September 12, 2007; accepted December 18, 2007; released online May 9, 2008

**ABSTRACT**

**Background:** Low birth weight (LBW) infants do not form a homogeneous group; LBW can be caused by prematurity or poor fetal growth manifesting as small for gestational age (SGA) infants or intrauterine growth retardation. We aimed to clarify the relationship of maternal smoking with both SGA and preterm LBW infants.

**Methods:** The study population comprised pregnant women who registered at the Koshu City between January 1, 1995, and December 31, 2000, and their children. We performed multivariate analyses using multiple logistic regression models to clarify the relationship of maternal smoking during pregnancy with the SGA outcome and preterm birth in LBW infants.

**Results:** In this study period, 1,329 pregnant women responded to questionnaires, and infant data were collected from 1,100 mothers (follow-up rate: 82.8%). The number of LBW infants was 81 (7.4%). In this cohort, maternal smoking during early pregnancy was associated with LBW and the SGA outcome. Maternal smoking during early pregnancy was a risk factor for LBW with SGA outcome and for LBW with full-term birth. However, it was not a risk factor for LBW with appropriate weight for gestational age (AGA) and LBW with preterm birth.

**Conclusion:** These results suggested that LBW with AGA and LBW with preterm birth were associated with other risk factors that were not considered in this study, such as periodontal disease. For the prevention of LBW, not only abstinence from smoking during pregnancy but also other methods such as establishing a clinical setting should be adopted.

**Key words:** Infant, Low Birth Weight; Pregnancy; Risk Factors; Smoking.

**INTRODUCTION**

In recent years, Japan has witnessed an increase in the incidence of low birth weight (LBW) infants. In 1975, 5.5% of all infants born weighed less than 2,500 g, while in 2003, this value increased to 10.1%.<sup>1</sup> Contrastingly, other industrialized countries such as the US, Canada, Sweden, and Norway have witnessed an opposite trend, i.e., a decrease in the prevalence of LBW, during the same period.<sup>2</sup> LBW is a more important public health problem in Japan than in other industrialized countries.

The cause of LBW infants can be either preterm birth or poor fetal growth manifesting as small for gestational age (SGA) infants or intrauterine growth retardation (IUGR). Moreover, LBW, SGA, and prematurity or a combination of these outcomes are closely related to neonatal and long-term morbidity.<sup>3,4</sup> Preterm birth accounts for a large proportion of

neonatal deaths.<sup>5,6</sup> It is also increasingly recognized that SGA babies have an increased risk of developing chronic diseases in adulthood, such as hypertension, type-2 diabetes, and coronary heart disease.<sup>7,8</sup>

Maternal smoking during pregnancy is a strong dose-dependent risk factor for LBW.<sup>9-11</sup> It also increases the risk of preterm birth,<sup>6,9</sup> although it appears to affect fetal growth more than gestational duration.<sup>5</sup>

The relationship between maternal smoking during pregnancy and each of these pregnancy outcomes, namely, LBW, SGA infants, and preterm birth, have been reported in many previous studies,<sup>5,9,10,12,13</sup> however, there was an overlap among the outcomes in these studies. LBW infants do not form a homogeneous group. For example, LBW babies who are SGA and those who show appropriate weight for gestational age (AGA) do not exhibit the same characteristics. To our knowledge, the relationship between maternal

Address for correspondence: Zentaro Yamagata, Professor, Department of Health Sciences, School of Medicine, University of Yamanashi, 1110 Shimokato, Chuo, Yamanashi 409-3898, Japan (e-mail: zenymgt@yamanashi.ac.jp)  
Copyright © 2008 by the Japan Epidemiological Association



## Research report

## Confirmatory factor analysis of the Child Feeding Questionnaire (CFQ) in Japanese elementary school children

Guozhu Geng, Zhixia Zhu, Kohta Suzuki, Taichiro Tanaka, Daisuke Ando, Miri Sato, Zentaro Yamagata<sup>a,\*</sup><sup>a</sup> Department of Health Sciences, School of Medicine, University of Yamanashi, 1110 Shimokato, Chuo, Yamanashi 409-3898, Japan

## ARTICLE INFO

**Article history:**  
 Received 5 February 2008  
 Received in revised form 6 June 2008  
 Accepted 21 June 2008

**Keywords:**  
 Child feeding  
 Body mass index  
 Confirmatory factor analysis  
 Child Feeding Questionnaire  
 Elementary schoolchildren

## ABSTRACT

The validity of the Child Feeding Questionnaire (CFQ), one of the measures used to assess parental child feeding practices and attitudes, has been confirmed in American populations. We used confirmatory factor analysis to test the validity and factor structure of the translated version of the CFQ among parents of Japanese elementary school children. The structural equation modelling software Linear Structural Relationships (LISREL) was applied to explore the validity of the translated CFQ to examine child feeding behaviours and attitudes in a sample of 920 parents of Japanese elementary schoolchildren from schools in Koshu City in Yamanashi prefecture (grades 4–6), Japan. The confirmatory factor analysis suggested that after dropping the items with a low factor loading and adding three error covariances between items, the 7-factor model displayed acceptable fit and most items loaded as expected. Of the 24 direct factor-item correlations, 22 were greater than 0.50. Our study confirmed the validity of the translated CFQ to assess child feeding practices and attitudes among parents of elementary schoolchildren brought up in a Japanese eating culture.

© 2008 Elsevier Ltd. All rights reserved.

## Introduction

The prevalence of childhood obesity is rising rapidly worldwide. It is estimated that at least 155 million children worldwide are overweight or obese (Lobstein, Baur, & Uauy, 2004). Japan is also facing the problem of an increasing trend in the prevalence of childhood obesity. The number of obese boys and girls increased from 6.1% and 7.1%, respectively, in the period of 1976–1980 to 11.1% and 10.2% in 1996–2000 (Matsushita, Yoshiike, Kaneda, Yoshita, & Takimoto, 2004). The adverse health consequences of obesity, its economic costs, and poor response to treatment emphasize the pressing need for effective prevention strategies. Aetiology research has already corroborated that obesity is influenced by multiple genetic and environmental factors (Phillippas & Lo, 2005). With regard to the latter, parents' child feeding practices, which shape children's eating behaviours, have been gaining increasing attention (Birch, 2006; Carnell & Wardle, 2007; Faith, Scanlon, Birch, Francis, & Sherry, 2004b; Johannsen, Johannsen, & Specker, 2006).

Parental attitudes towards child feeding and concerns about children's obesity may influence child-feeding practices, which, in turn, may have an effect on children's eating habits and weight status (Birch et al., 2001; Costanzo & Woody, 1985). Feeding

practices may influence children's food intake by creating an eating environment in the family; further, deciding the type of food, portion size, and eating time can have an impact on children's eating habits (Johnson & Birch, 1994). Some parenting behaviours, such as excessive control of feeding, may interfere with the children's ability to respond to their internal cues of hunger and satiety (Birch & Fisher, 1995; Birch & Fisher, 1998; Rolls, Engell, & Birch, 2000), thus decreasing the children's capacity to self-regulate energy intake (Johnson & Birch, 1994) and eventually influencing their body weight status.

The Child Feeding Questionnaire (CFQ) used in our study was developed by Birch et al. (2001); it is one of the few existing measures to assess the various aspects of child feeding attitudes and practices. The CFQ contains 31 items and measures the following seven factors: perceived responsibility (three items), parent perceived weight (four items), perceived child weight (six items), parents' concern about child weight (three items), restriction (eight items), pressure to eat (four items), and monitoring (three items). These factors were thought to be possibly associated with the children's weight status.

Since its development, the CFQ has been applied to investigate the relationship between parental child feeding beliefs and attitudes, practices, and children's proneness to obesity (Faith et al., 2004a; Hughes, Power, Orlet Fisher, Mueller, & Nicklas, 2005; Saelens, Ernst, & Epstein, 2000; Spruijt-Metz, Lindquist, Birch, Fisher, & Goran, 2002). The relationship between children's adiposity and parental feeding strategies is largely inconclusive,

\* Corresponding author.  
 E-mail address: [zenymgt@yamanashi.ac.jp](mailto:zenymgt@yamanashi.ac.jp) (Z. Yamagata).

## Association between maternal lifestyle during early pregnancy and subsequent childhood obesity in Japan

\*K. SUZUKI, D. ANDO, M. SATO, T. TANAKA, N. KONDO and Z. YAMAGATA

(University of Yamanashi, Chuo, Japan)

We previously clarified the association of maternal lifestyle during early pregnancy, including smoking and breakfast consumption, with childhood obesity and overweight at 5 years of age. In this study, we aimed to show that this association continued up to 9–10 years of age in the same study area. The study population comprised 1276 children born between 1991 and 1997, in Japan, and their mothers. The dependent variables, namely, childhood overweight and obesity at 9–10 years of age were defined as international cutoff value. Maternal lifestyles during early pregnancy were used as independent variables. Anthropometric data were collected from 996 of these children (follow-up rate: 78.1%). Maternal smoking during early pregnancy was found to be associated with obesity in the 9- to 10-year-old children (adjusted odds ratio (OR): 2.9; 95% confidence interval (CI): 1.0–8.2). Further, we found that children whose mothers skip breakfast are likely to become obese (adjusted OR: 2.4; 95% CI: 1.0–5.6). On the other hand, there was no association between maternal lifestyle during early pregnancy and childhood overweight. Childhood overweight might also be caused by childhood lifestyle. Our results suggested that the effect of these environmental factors on childhood overweight might be more pronounced at 9–10 years of age than at 5 years of age. Moreover, our results clarified that both maternal smoking and skipping breakfast during early pregnancy might be independent risk factors for childhood obesity. These results suggested that both maternal smoking and dietary habits during pregnancy may be considered while considering the association between fetal environment and post-delivery development.

## Relationship between Prenatal Alcohol Exposure and Depressive Symptoms in Children

\*M. Sato, K. Suzuki, D Ando, T. Tanaka, N. Kondo, and Z. Yamagata

(University of Yamanashi Chuo, Japan)

Maternal alcohol consumption during pregnancy leads to various disorders such as fetal alcohol spectrum disorders. In these disorders, alcohol-related neurodevelopmental disorders exerts remarkable effects on child developments related to their psychological problems. Especially, a significant relationship has been reported between prenatal alcohol exposure (PAE) and depressive status in children; this is also consistent with the anatomical perspective. Recently, a remarkably high incidence of pediatric depressive status has been observed in Japan. Therefore, the purpose of this study was to examine the association between PAE and the self-reported of depressive symptoms in children between the ages of 10 and 15 years old. The initial cohort comprised 1276 infants born in between 1991 to 1997 and their mothers in Japan. The each mother was interviewed about their lifestyles including their alcohol consumptions. In 2007, depressive status of the children was determined using Birleson's depression self-rating scale for children. As a result, there were 877 out of 1276 data successfully obtained satisfying with both data of the children and their mothers, and the follow-up rate was 68.7%. A total of 84 mothers (9.6%) consumed alcohol during pregnancy. The odds ratio between PAE and depressive status was 2.2(95%CI 1.1-4.2) using a multiple logistic regression analysis. This study found that PAE was significantly associated with depressive status in a community-based study. Furthermore, whether the children's depressive status were congenital or acquired the each of possibilities are complexly related so that more specific studies are required to clarify them.

## Association between maternal lifestyle during early pregnancy and onset phase of childhood overweight

K Suzuki, D Ando, T Tanaka, M Sato, N Kondo, Z Yamagata

University of Yamanashi, School of Medicine, Japan

**Introduction:** We previously clarified the association of maternal lifestyle during early pregnancy, including smoking and breakfast consumption, with childhood obesity and overweight at 5 years of age and 9–10 years of age. To prevent childhood obesity, we considered that it was important to specify the risk factor about each onset phase.

**Objectives:** We aimed to clarify the association between maternal lifestyle during early pregnancy and being childhood overweight between birth and 5 years of age, and between 5 years of age and 9–10 years of age.

**Method:** The study population comprised children born between April 1, 1991 and March 31, 1997, in Japan, and their mothers. The dependent variables were being childhood overweight between birth and 5 years of age, and between 5 years of age and 9–10 years of age. Childhood overweight at 5 years of age and 9–10 years of age were defined as international cutoff value. Maternal lifestyles during early pregnancy were used as independent variables. We used a multiple logistic regression analysis to clarify the relationship of maternal lifestyle during early pregnancy with each dependent variable.

**Results:** The mothers who answered the questionnaire gave birth to 1276 babies during the study period. From among these, anthropometric data were collected from 868 of these children during the medical checkup at 5 years of age and 9–10 years of age (follow-up rate: 68.0%). The number of overweight children at 9–10 years of age was 147 (16.9%). Of these, 67 (45.6%) children were overweight at 5 years of age. The maternal smoking habit was associated with the children being overweight between birth and 5 years of age (adjusted odds ratio (OR): 3.6, 95% confidence interval (CI): 1.4–9.2). The children whose mothers skipped breakfast were likely to become overweight (adjusted OR: 2.6; 95% CI: 1.3–5.3). On the other hand, there was no association between maternal lifestyle during early pregnancy and being childhood overweight between 5 years of age and 9–10 years of age.

**Conclusion:** These results suggested that there were some differences of risk factor about each onset phase of childhood overweight. We believe that maternal lifestyle during early pregnancy is an important contributor to the prevention of being childhood overweight between birth and 5 years of age.

## 地域の母子保健長期縦断調査(甲州プロジェクト)20年間の概要

山縣然太郎、鈴木孝太、田中太一郎、安藤大輔、近藤尚己

山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

【目的】本調査の目的は甲州市の母子保健の現状を把握し、よりよい母子保健行政を実施するための基礎資料とすることである。将来、母子のみならず人の一生涯の健康問題を明らかにし、より豊かで健やかな人生を送るための対策を検討する上で重要な縦断的資料となることが期待される。

【経緯】塩山市の保健環境課(現 甲州市健康増進課)が主体となって山梨医科大学保健学 II 講座(現 山梨大学医学部社会医学講座)が専門家として加わり、昭和 63 年 7 月から調査を開始した。以後、全体会議を 1 年間に 2 回、研究のための打ち合わせは随時開き、調査票の検討や研究について話し合いをもった。これまで 5 度の調査票の変更を実施している。最近では平成 8 年より乳幼児の事故に関する調査を加えた。また、小学生、中学生を対象とした思春期調査を 2001 年と 2007 年、2008 年に実施した。

【対象と方法】調査対象は母子健康手帳交付時の妊婦、1 歳 6 ヵ月児健診、3 歳児健診、5 歳児健診受診の全幼児及び母親で、乳幼児健診受診率は 90~95%であり、ほぼ悉皆調査となる。調査用紙を各健診の受診予定者に健診案内とともにあらかじめ郵送し、記入の上、健診時に持参してもらっている。健診当日は記入漏れの事項や事故に関する二次質問などを面接で行っている。思春期調査は教育委員会に依頼して実施した。本研究は山梨大学医学部倫理委員会により承認されている。

【内容】健康状態、生活習慣及び育児に関する内容の調査を実施している。さらに母子管理カードから母子健康手帳交付時、出生届出時、乳幼児健診からのデータを情報源としている。思春期調査は生活習慣、心の健康、身体計測値等である。

【成果】毎年報告書を作成している。調査結果をリーフレットにして配布している。低出生体重、幼児期の肥満、小児事故に関する研究成果を学会等で発表している。最近では妊娠初期の喫煙が幼児期の肥満とリスクとなることを明らかにした。\* 甲州プロジェクト研究グループ(著者以外):山梨大学医学部社会医学講座:日暮 眞、浅香昭雄、飯島純夫、武田康久、竹下達也、織田正昭、宮村季浩、輿石郁夫、木之下徹、山田七重、大木秀一、間淵文彦、水谷隆史、大学院生、甲州市健康増進課:課長、保健師、栄養士



## 子どもの肥満を予防するための、2つのアプローチ

— 甲州市母子保健長期縦断研究から —

○鈴木孝太、佐藤美理、安藤大輔、田中太一郎、永井亜貴子、近藤尚己、山縣然太朗  
山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座

## 【はじめに】

われわれはこれまでに、妊娠初期の喫煙や朝食欠食が 5 歳児、また小学生の肥満や過体重と関連することを、本縦断研究のデータを用いて明らかにした。本研究では、小学生における過体重が、5 歳以前、あるいはそれ以後に発症したかどうかに着目し、それぞれの発症時期におけるリスクファクターを同定することを目的とした。

## 【方法】

対象は 1991 年 4 月から 1997 年 3 月までに山梨県甲州市（旧塩山市）で出生した児およびその母親である。妊娠届出時に記入した調査票から、届出時の喫煙などの生活習慣、妊娠時年齢、母親の非妊娠時の身長・体重などについての情報を得た。また母子管理票から児の出生体重、5 歳児健診における児の身長・体重、児童生徒健康診断票から小中学生における身長・体重のデータを得た。小学校 4 年生における過体重児を、5 歳児における過体重の有無により 2 群に分け、それぞれを従属変数とし、妊娠初期の生活習慣などの独立変数との関連を、多変量解析を用いて検討を行った。統計解析には SAS ver9.1 を用いた。

## 【結果】

母親が妊娠届出時に調査票に回答し、期間内に出生した児は 1276 人であった。そのうち 5 歳児健診時と、小学校 4 年生における身長・体重データが存在した 868 人 (68.0%) を解析対象とした。小学校 4 年生で過体重と判定されたのは 147 人 (16.9%) であり、そのうち 67 人 (45.6%) が 5 歳時にも過体重であった。妊娠初期の母親の生活習慣を独立変数として、非妊娠時の母親の BMI と分娩時の母親の年齢で調整し、多変量解析を行ったところ、5 歳までに過体重となった児が、小学校 4 年生で過体重であることに関して、妊娠初期の喫煙 (調整オッズ比 3.6 (95%信頼区間 1.4-9.2))、朝食欠食があること (調整オッズ比 2.6 (95%信頼区間 1.3-5.3)) が有意にリスクとなっていた。一方で、5 歳時点では過体重でないもののその後小学校 4 年生までに過体重となった児については、妊娠初期の生活習慣との有意な関連は認められなかった。

## 【考察】

本研究結果から、5 歳までの乳幼児期に過体重となる場合には、妊娠初期の母親の生活習慣の影響が大きい。5 歳以降に過体重となる場合には、運動や食事といった、子ども本人の生活習慣が大きく関連している可能性が示唆された。子どもの肥満予防を効果的に行うには、妊婦に対して、また子ども本人に対してという、2 種類のアプローチが重要であると思われた。

## 体格変化と小学生の超音波骨強度指標の関連の検討

— 甲州市母子保健長期縦断研究から —

安藤大輔、佐藤美理、鈴木孝太、田中太一郎、永井亜貴子、古屋洋子、山縣然太郎

山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

【背景】骨の定量的超音波（QUS）法によって得られる測定値は、骨塩量だけでなく骨の微細構造などの他の骨の特性を反映することが知られている。また、踵骨の QUS 指標が骨折の予知に役立つことが報告されている。高齢期における骨折を予防するためには、若年期の間に QUS 指標を十分に高めておくことが 1 つの重要な戦略であると考えられる。これまでに横断的な研究にて体格指標と QUS 指標の関連が指摘されているが、小学生を対象に体格の変化と QUS 指標の関連を検討している報告は少ない。

【目的】本研究の目的は、小学生を対象に体格の変化と踵骨 QUS 指標の関連を検討することである。

【方法】対象は 2006 年に踵骨 QUS 指標の測定を行った山梨県甲州市（旧塩山市）の小学校に通う 4・5・6 年生のうち、入学時の身長・体重データが存在するものである。本研究では、Achilles A-1000 InSight（GE Healthcare）にて右踵骨の QUS スキャンを行い、そこで得られたスティフネス値（STI）を QUS 指標とした。入学時および QUS 指標測定学年時の BMI をそれぞれ算出し、国際基準により肥満（成人の BMI 25 に相当）と非肥満に分け、さらに入学時点から QUS 指標測定学年時までの体格変化により非肥満→非肥満群、非肥満→肥満群、肥満→非肥満群、肥満→肥満群の 4 群に分類した。共分散分析により、QUS スキャンを行った学年時の体重で調整した STI 値と体格変化の関連を検討した。

【結果】2006 年に踵骨 QUS 指標の測定を行った児童は 571 人であり、全員の入学時の身長・体重データが存在した。非肥満→非肥満群、非肥満→肥満群、肥満→非肥満群、肥満→肥満群に分類されたものはそれぞれ、459 人（80.4%）、42 人（7.4%）、19 人（3.3%）、51 人（8.9%）であった。非肥満→非肥満群と比較し、非肥満→肥満群および肥満→肥満群では調整 STI 値が低値を示した（ $p < 0.001$ ）。また、肥満→非肥満群に比し、肥満→肥満群では有意に調整 STI 値が低い値であった（ $p < 0.05$ ）。

【考察】STI 値は QUS 測定時点での体重と強く関連することから、STI 値を QUS 指標測定学年時の体重で調整し検討を行った。本研究結果から、運動や食事等の肥満に関連する生活習慣が、学童期の骨の形成に影響する可能性が示唆された。

## 中学生におけるボディイメージがメンタルヘルスに及ぼす影響

佐藤美理、鈴木孝太、安藤大輔、田中太一郎、永井亜貴子、近藤尚己、山縣然太郎  
(山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座)

【背景】思春期における体型がメンタルヘルスと関係していることが明らかとなっており、その要因の1つとして、自己の体型の捉え方であるボディイメージがあげられている。本研究では、中学生のボディイメージ、また実際の体型とボディイメージとの乖離が抑うつ状態とどのような関連があるのかを検討した。さらに親の子どもに対するボディイメージとの関連も検討した。

【方法】2007年、山梨県甲州市の全中学生1073人を対象に、ボディイメージ、抑うつ状態及び身長・体重データが調査された。また、保護者に対しても、子どもに対するボディイメージの調査を実施した。中学生の抑うつ状態については、バールソン自己記入式抑うつ評価尺度を使用し、カットオフポイントにより、抑うつ群と非抑うつ群を定義した。身体データは、ローレル指数により、体型をカテゴリー化した。中学生におけるボディイメージと抑うつ状態との検討を行い、ボディイメージと実際の体型の乖離と抑うつ状態との検討を行った。保護者の子どもに対するボディイメージと子どもの体型との検討も行った。

【結果】女子は男子よりも自己の体型を太っていると捉える傾向が強く、更に痩せたいという願望も強かった。抑うつ状態とボディイメージとの検討では、自己を太っていると捉えている群において、抑うつ群の割合が高かった。また女子において、自分の体型の認識と実際の体型との乖離があることが、抑うつに有意に関連していた。保護者のボディイメージは、子どもの実際の体型と一致していた。

【考察】女子において、痩せたいという願望がより強いほど、また太っていると認識しているほど抑うつ群の割合が高い結果となった。加えて、実際の体型とボディイメージが乖離していることが、メンタルヘルスに影響を及ぼす結果になったが、これは、海外の先行研究と一致する。しかし、社会的・文化的背景により大人のボディイメージの歪みが生じているという海外の報告がある中で、日本では、保護者の子どもに対する体型の捉え方は正しいと思われた。大人のボディイメージの歪みは、子どものメンタルヘルスにも影響を及ぼすので、今後この点にも留意をし、思春期のメンタルヘルスという面では、特に女子のボディイメージに注意を払っていく必要があると考えられる。

## 手ばかりを用いた食事摂取量と小・中学生肥満の関連

— 甲州市母子保健長期縦断研究から —

○芳我ちより、鈴木孝太、佐藤美理、安藤大輔、田中太一郎、山縣然太郎

山梨大学大学院 医学部 社会医学講座

【背景】甲州市は小児期からの食育推進に向け、「自分にあった食事の量がひと目で分かる手段」として、「塩山式手ばかり」（以後「手ばかり」）を開発し、これをツールとして住民が食に関する知識と食を選択できる力の育成を目指している。本研究は、手ばかりをツールとして小中学生の食事摂取量を測定し、肥満との関連を検討した。

【方法】2007年2月に山梨県甲州市において、全小中学校の小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒を対象として調査を実施した。食事の摂取量は、手ばかりを用いて測定する調査票（手ばかり調査票）を使用し、児童生徒健康診断票から身長・体重についての情報を得てBMIを算出した。肥満（成人でのBMI25以上に相当）の判定は、先行研究において明らかにされた各年齢・性別のカットオフ値を用い、食事摂取量の評価は食品群毎に中央値を用いた。小学生・中学生別、男女別に肥満の有無と食品群（炭水化物・果物・野菜・動物性蛋白質・植物性蛋白質・乳製品・嗜好品）の摂取量の多少の関連を明らかにするため、 $\chi^2$ 検定を行った。統計解析にはSPSS Ver.16.0を用いた。

【結果】対象者は小学生（4年生から6年生まで）982人、中学生（全学年）912人、の計1894人であった。まず、小学生で肥満と判定されたのは134人（13.6%）、中学生では119人（13.0%）であった。また、肥満でない小中学生に比べて肥満の小中学生の摂取量が有意に多かった食品群は、小学生男子で「炭水化物」（ $p=0.012$ ）「動物性蛋白質」（ $p=0.024$ ）、中学生男子で「炭水化物」（ $p=0.030$ ）であった。逆に有意に少なかった食品群は、小学生女子で「野菜」（ $p=0.049$ ）「果物」（ $p=0.000$ ）「植物性蛋白質」（ $p=0.027$ ）、中学生男子で「乳製品」（ $p=0.029$ ）であった。

【考察】肥満を予防・改善するために、炭水化物・動物性蛋白質・植物性蛋白質・野菜の摂取量に注意する必要性が示唆された。これらの摂取量と肥満の関係は、一般的に指摘されている内容であり、手ばかりという身近で簡便なスケールが、有効なツールであることを示唆している。今後、学校や家庭での食事指導への活用が期待される。なお、本研究は甲州市健康増進課母子保健担当との共同研究として実施した。

## 小学生のう蝕と 5 歳児の生活習慣の縦断的検討

— 甲州市母子保健長期縦断研究から —

○上田ちはる<sup>1</sup>、鈴木孝太<sup>2</sup>、佐藤美理<sup>2</sup>、安藤大輔<sup>2</sup>、田中太一郎<sup>2</sup>、永井亜貴子<sup>2</sup>、  
近藤尚己<sup>2</sup>、山縣然太郎<sup>2</sup>

1 甲州市福祉保健部健康増進課

2 山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座

## 【はじめに】

われわれはこれまでに、乳幼児期のう蝕について、ジュースを毎日飲むことなどがリスクとなっていることを、本縦断研究のデータを用いて明らかにした。本研究では、小学生におけるう蝕に着目し、乳歯でのう蝕と永久歯との関連、さらには 5 歳児の生活習慣と小学生のう蝕との関連について検討した。

## 【方法】

対象は 1991 年 4 月から 1997 年 3 月までに山梨県甲州市（旧塩山市）で出生し、2007 年 2 月に甲州市内の小中学校に在籍した、小学校 4 年生～中学校 3 年生までの児童・生徒である。5 歳児健診における問診表より児の生活習慣、児童生徒健康診断票から小中学生における、小学校入学時からの身長・体重、う蝕のデータを得た。小学校 1 年生のときに永久歯にう蝕がなかった児童・生徒について、乳歯にう蝕のあることが、その後の永久歯のう蝕と関連しているか、さらには小学校入学時のう蝕と 5 歳児の生活習慣との関連について、カイ 2 乗検定を用いて検討した。統計解析には SAS ver9.1 を用いた。

## 【結果】

期間内に出生し、甲州市内の小中学校に在籍していたのは 1530 人であり、そのうち 1151 人が 5 歳児健診を受診していた。そのうち、小学校 1 年生において永久歯にう蝕がなかったのは 1033 人（89.7%）であった。まず、今回の調査時に中学生であった 548 人のうち、289 人（52.7%）が中学校 1 年生で永久歯のう蝕を有しており、小学校 1 年生で乳歯にう蝕のあることは、中学校 1 年生の永久歯のう蝕についてオッズ比 3.3（95%信頼区間 2.2–5.1）と有意にリスクとなっていた。さらに今回の調査対象者について、小学校 1 年生で乳歯のう蝕があることについて、「男児」、5 歳児健診時の「歯磨きをあまりしない」、「欠食がある」、「おやつ時間が決まっていない」、「ジュースを毎日飲む」、「牛乳を全く飲まない」ことが有意にリスクとなっていた。

## 【考察】

乳歯のう蝕が、その後の永久歯のう蝕のリスクとなっていることが、学校保健のデータにより明らかになった。さらに、これらの児童・生徒のう蝕には、5 歳児の生活習慣が強く関連していることから、5 歳児健診の場を利用して児の生活習慣をチェックすることが、小学生、さらにはそれ以降のう蝕予防につながる可能性が示唆された。

## 1 歳 6 か月までの、低出生体重児の発育や親の意識などの検討

○鈴木 孝太、田中太一郎、近藤 尚己、佐藤 美理、山縣然太郎  
山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座

### はじめに

低出生体重児に関しては、出生後の発育に関してもさまざまなリスクがあることが知られている。しかしながら、低出生体重児についての追跡調査は、よりリスクの高い超低出生体重児などについてのものがほとんどであり、地域において追跡した研究はあまりない。そこで本研究では、低出生体重児の発育と親の意識について、出生時と 1 歳 6 か月児健診のデータを用いて検討したので報告する。

### 方法

対象者：山梨県甲州市において 1993 年 4 月から 1998 年 3 月までに出生した児とその母親。  
調査方法：母子管理票から出生体重と分娩時の妊娠週数、3 ヶ月時点での栄養方法、さらに 1 歳 6 ヶ月児健診での身長・体重のデータを収集し BMI を計算した。また 1 歳 6 か月児健診における調査票より、育児についての悩み、ストレスの有無についての情報を得た。  
統計解析：低出生体重児群 (LBW 群)、正常出生体重児群 (Normal 群) の 2 群に分け、それぞれについて、1 歳 6 ヶ月時点での身長、体重、BMI に差を生じるかどうかを、平均値の差の検定 (t 検定) を用いて解析した。さらに、両群について、3 ヶ月時点での栄養方法、1 歳 6 か月時点での母親の育児についての悩みの有無、ストレスの有無についての割合を、カイ 2 乗検定を用いて検定した。

### 結果

期間中の対象者は 1181 人であり、そのうち低出生体重児は 100 人 (8.5%) であった。1 歳 6 ヶ月児健診を受診したのは 1061 人 (89.8%) であった。1 歳 6 か月児の身長、体重、BMI については、LBW 群で有意に小さくなっていた。また、3 ヶ月時点の栄養方法については、完全に母乳で行っている割合が LBW 群で低い傾向があった。また、LBW 群では、育児についての悩みがある、ストレスがあると回答した割合が有意に高かった。

### 考察

低出生体重児は 1 歳 6 か月時点では、正常出生体重児に比べ小さい体格であることが明らかになった。低出生体重児の母親は、また育児についての悩みなどを抱えていることが多いことがうかがわれ、地域での支援体制の整備が重要であることが示唆された。

キーワード：妊娠、育児不安、低出生体重児

## 思春期におけるメンタルヘルスの経年的検討

○佐藤 美理、鈴木 孝太、田中太一郎、近藤 尚己、山縣然太郎  
山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座

### はじめに

思春期におけるメンタルヘルスの問題は、その後の青年期、成人期の生活習慣や健康状態に強く影響を与えることが明らかとなっている。思春期のメンタルヘルスについては、近年、抑うつ症状と起立性調節障害について、有症率の増加が報告されている。本研究では、甲州市で行われた思春期調査の結果から、これらの状況の経年的な検討を行った。

### 方法

2006 年度と 2008 年度に山梨県甲州市の小学 4 年生から中学 3 年生を対象に、バールソン自己記入式抑うつ評価尺度 (DSRS-C) を用いて抑うつ状態の調査を行った。更に、2008 年度には、診断時の問診項目を用いて起立性調節障害の調査も行った。抑うつ症状については、DSRS-C のカットオフポイント以上を抑うつ症状あり群とした。また、診断基準に則って、起立性調節障害症状あり群を定義した。2006 年度から 2008 年度の抑うつ症状の経年的変化と 2008 年度の起立性調節障害との関連を、多重ロジスティックモデルによる多変量解析を用いて検討を行った。

### 結果

2 年の経年変化の対象となったのは、2006 年度に小学 4 年生から中学 1 年生であった児童生徒で、すべてのデータが揃っていた男子 626 人、女子 605 人となった。期間中、抑うつ症状が継続してあった児童生徒は、男子 12 人 (2.0%)、女子 23 人 (3.8%) だった。また、2008 年度に起立性調節障害の症状がある児は、男子 69 人 (11%)、女子 127 人 (21%) であった。多重ロジスティック解析の結果、抑うつ症状が継続していた児は、それ以外の児に比べて起立性調節障害であるリスクが有意に高かった (OR 3.0, 95%CI 1.5-6.1)。

### 考察

思春期での抑うつ症状や起立性調節障害は、近年増加している不登校との関連が示唆されており、早急な対応が必要である。本研究では、抑うつ症状の継続している児に起立性調節障害の症状が出るリスクが高いことが明らかとなった。これらの因果関係は不明であるが、抑うつ症状への対応のひとつとして、起立性調節障害へのアプローチが重要である可能性が示唆された。

キーワード：思春期、メンタルヘルス

子どもの肥満と親の食意識の関連  
 —甲州市母子保健長期縦断研究より—

芳我ちより、鈴木孝太、佐藤美理、田中太一郎、山縣然太郎  
 (山梨大学医学部社会医学講座)

【背景】子どもの肥満は世界的に増加傾向にあり、我が国においても予防の必要性が検討されている。また、子どもの肥満は高い割合で成人肥満に移行する可能性が指摘されており、成人肥満を予防するために、子どもの肥満をもたらす要因を明らかにし、生活習慣を改善する必要がある。食事は肥満と強く関連する生活習慣であるが、子どもの食事は親の意識による影響を強く受けるため、肥満と食事に対する親の意識の関連を明らかにすることは、子どもの肥満予防に資する資料となりうる。本研究は、子どもの食事に対する親の意識を査定するためのスケール日本語版 Child Feeding Questionnaire(CFQ)を用いて、5歳から小学生の間に肥満となることが、親の子どもの食事についての意識に与える影響を検討することを目的とした。

【方法】1994年4月から1997年3月までに山梨県甲州市に生まれた小児とその親を対象として2006年度に調査を実施した。5歳児健診票および児童健康診断票から得た身長・体重よりBMIを算出し、肥満(成人でのBMI25以上に相当)の判定には、各年齢・性別による国際的なカットオフ値を用いた。CFQは因子1「子に対して食事の責任を感じる」、2「親が自分を太っていると感じる」、3「子を太っていると感じる」、4「子の体重を心配している」、5「子の食事を制限している」、6「子に食べさせたい」、7「子の食事を管理している」の7因子31問から構成され、それぞれについて5段階リッカート尺度で得点化される。解析は、男女別に、5歳時に非肥満で小学校4～6年生に肥満となった群(肥満群)、および5歳時に非肥満で小学生でも非肥満であった群(非肥満群)の2群に分け、CFQ得点について各因子の平均値の差を、t検定を用いて検定した。

【結果】調査期間内に5歳児健診を受診した児は700人であり、そのうち2006年度の調査(調査時小学校4～6年生)におけるデータがあり、CFQに回答の得られた親子561組(80.1%; 男児263人、女児268人)を解析対象とした。まず5歳で非肥満と判定されたのは男児243人(92.4%)、女児235人(87.7%)であった。そのうち、小学生で肥満となった肥満群は男児32人(13.2%)、女児15人(6.4%)であった。比較した結果、男児において肥満群で有意に高得点であった項目は因子3、4、5、7であり、女児において肥満群で有意に高得点であった項目は因子2、3、4であった。

【考察】子どもの肥満をもたらす要因として、因子2(親が自分を太っていると感じる)、



3（子を太っていると感じる）、4（子の体重を心配している）、5（子の食事を制限している）、7（子の食事を管理している）が関連していることが示唆された。親が肥満であれば、その子も肥満である可能性が高まることは一般的に知られている。また、肥満傾向にある子の体重を心配し、子の食事を制限したり、管理したりすることは一般的であり、結果は妥当であると思われる。さらに、男児の肥満群のみに関連があった因子は、5（子の食事を制限している）、7（子の食事を管理している）であった。一方、女児の肥満群のみに関連した因子は、因子2（親が自分を太っていると感じる）であった。5歳における親の食意識が不明であるため、因果関係は不明であるが、このことは女児よりも男児において親が食事に気をつけていることを示唆しており、男児よりも女児において親の体格の認識が子どもの肥満へと関係したことを示唆している。今後、CFQを活用し、食事に関する親の育児状況を明らかにすることにより、子どもの肥満を予防するための育児指導へと研究を発展させたい。

## 妊娠初期の喫煙が小児期の BMI の変化に及ぼす影響の縦断的検討

### — 甲州市母子保健長期縦断研究から —

鈴木孝太、近藤尚己、佐藤美理、田中太一郎、山縣然太郎

(山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座)

【はじめに】近年、喫煙を含む妊娠中、あるいは妊娠以前の生活習慣が、出生後の児における肥満のリスクとなることが明らかになってきている。以前、われわれは児の発育に関して、妊娠初期の喫煙および、非妊娠時の朝食欠食などの生活習慣が、5 歳あるいは小学生の肥満と関連することを、本縦断研究のデータを用いて明らかにした。本研究では、妊娠初期の喫煙が小児期の経時的な BMI の変化にどのような影響を及ぼすかを、縦断的に検討した。

【方法】対象は 1991 年 4 月から 1999 年 3 月までに山梨県甲州市で出生した児およびその母親のうち、母親の妊娠届出時より追跡が可能だったものである。発育に関して、喫煙以外のリスクが大きいと考えられる低出生体重児を対象者より除外し、解析に用いた。母子健康手帳交付時に記入した調査票から、届出時の喫煙母親の非妊娠時の身長・体重についての情報を得た。また母子管理票から児の出生データ、3 歳、5 歳における身長・体重、児童生徒健康診断票から小学生における身長・体重のデータを得た。出生体重および、出生時、3 歳、5 歳、小学校 2 年生 (7-8 歳)、小学校 4 年生 (9-10 歳) の各時点における BMI を算出し、男女別に、妊娠初期の喫煙の有無によって出生体重、BMI の推移に差があるかどうかを検討した。統計解析には時点をレベル 1・個人をレベル 2 とした階層線形モデルに基づく individual growth analysis を行った (SAS Proc Mixed)。

【結果】期間内に出生した児のうち、妊娠初期の調査票に回答した母親は 1644 人で、そのうち低出生体重児は 112 人 (6.8%) であり、対象者は 1532 人となった。喫煙していた母親は 102 人 (6.7%) であった。各時点での解析対象者は、出生時 1508 人 (98.4%)、3 歳 1269 人 (82.8%)、5 歳 1170 人 (76.4%)、小学校 2 年生 1182 人 (77.2%)、小学校 4 年生 1186 人 (77.4%) であった。出生体重は、男女ともに母親が喫煙していた児で有意に小さかったが、それ以降の BMI については喫煙ありの母親を持つ男児は、非喫煙の母親を持つ男児に比べ一貫して BMI が有意に増加しやすいことが示された。女児については喫煙ありの母親を持つ場合、5 歳時で有意に高い BMI を認めたが、一貫した傾向は見られなかった。

【考察】これまで、妊娠中の喫煙の影響を経時的な傾向として捉え、さらに男女差について検討した報告はない。今回の結果は、妊娠中の喫煙が出生体重を減少させ、一方でその後の BMI の増大については、喫煙が男児にのみ影響している可能性を示唆した。胎内環境に対する反応性や、動脈硬化に対する喫煙の影響についての性差などが、過去の報告により示されており、今回の結果はそれらを支持するものと考えられる。また、Fetal programming についても性差が存在する可能性を示唆するものであり、メカニズム解明に向けての重要な知見となると思われた。

## 児童生徒の体型が抑うつ状態に及ぼす影響 — 甲州市母子保健長期縦断研究・思春期追跡調査より —

佐藤美理<sup>1</sup>、鈴木孝太<sup>1</sup>、田中太一郎<sup>1</sup>、安藤大輔<sup>2</sup>、永井亜貴子<sup>1</sup>、近藤尚己<sup>1</sup>、山縣然太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座   <sup>2</sup>防衛大学校

【はじめに】子どもの体型と抑うつ状態の関連が示唆されているが、国内においてこれらの因果関係を縦断的に検討した研究は、ほとんど存在しない。2006 年度に本研究者が山梨県甲州市で実施した思春期調査においても、児童生徒の抑うつ状態に体型に関する因子との関連が示唆されたが、本研究では、2008 年度に行った思春期追跡調査により、これらの関連を縦断的に検討した。

【方法】2006 年度に山梨県甲州市の小学 4 年生から中学 3 年生を対象に、パールソン自己記入式抑うつ評価尺度(DSRS-C)を用いて抑うつ状態の調査を行い、さらに身体データを収集した。また、2008 年度に同様の追跡調査を行った。2006 年度に小学 4 年生から中学 1 年生だった児童生徒のうち、DSRS-C のカットオフポイントを用いて、抑うつ症状がないと判断された児童生徒を本研究の対象とした。対象者の 2006 年度と 2008 年度の体型を国際 BMI カットオフポイントにより、Overweight 群と Normal 群に分類した。2 時点での体型の推移により、Normal→Normal 群、Overweight→Normal 群、Normal→Overweight 群、Overweight→Overweight 群の 4 群に分類した。Normal→Normal 群をリファレンスにし、これらを独立変数として、2008 年度の抑うつ症状の有無を従属変数、学年と性別を共変量として、多重ロジスティックモデルによる多変量解析を用いて検討を行った。統計解析には SAS ver9.1 を用いた。

【結果】対象者 1529 人のうち、解析対象者は 1375 人(男子 618 人、女子 757 人)であった。また 2008 年度の抑うつ症状あり群は 117 人(8.5%)であった。多変量解析の結果は、Overweight→Normal 群(OR 2.1, 95%CI 0.9-4.6)、Normal→Overweight 群(OR 1.4, 95%CI 0.7-3.0)、Overweight→Overweight 群(OR 2.4, 95%CI 1.2-4.7)となった。

【考察】本研究では、2006 年度に抑うつ症状のなかった小学 4 年生～中学 1 年生の児童生徒が、体型の推移の違いによって 2008 年度、すなわち小学 6 年生～中学 3 年生での抑うつ状態にどのような影響を及ぼすかを検討した。ベースラインで抑うつ症状のなかった児童生徒でも、肥満傾向が持続することは、数年後に抑うつ症状を有するリスクが高いことが示唆された。思春期に肥満傾向を有するという経験が、抑うつ症状を有するリスクとなる可能性も示唆されたが、この点に関しては、更なる追跡を行ったうえで、経時的解析を行う必要があると思われる。

その他新聞記事等

山縣然太郎：母子の健康調査 20 年. 読売新聞（2009.3.19）記事

山縣然太郎：妊娠初期に飲酒した母親の子は・・・小中で抑うつ確率 2.2 倍 甲州の 877 組調査.

山梨日日新聞（2008.8.22）記事

山縣然太郎, 鈴木孝太：特集コーナー「妊婦の喫煙と子どもの肥満」.

YBS ワイドニュース（2008.5.22）OA



平成 20 年度  
甲州市母子保健調査報告書

平成 21 年 12 月 発行

山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110  
山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座

平成二十年度

甲州市母子保健調査報告書

山梨大学大学院医学工学総合研究部

社会医学講座